

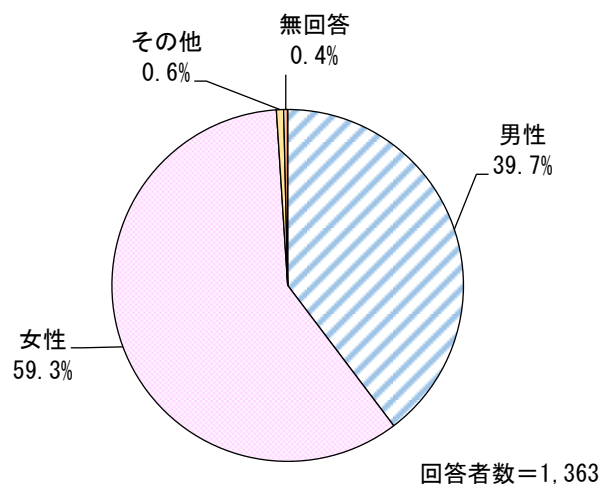
## 第2章 調査結果

### 1 回答者属性

Q 1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

「男性」の割合が39.7%、「女性」が59.3%となっています。

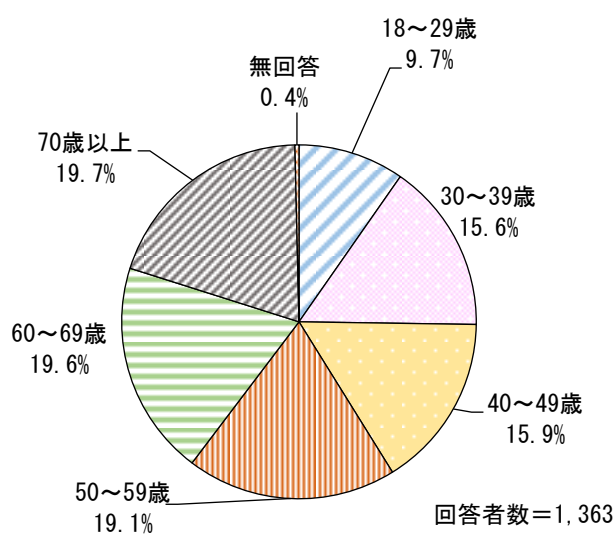
カテゴリ	件数
男性	541
女性	808
その他	9
無回答	5
全 体	1,363



Q 2 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)

「70歳以上」の割合が19.7%と最も高く、次いで「60～69歳」が19.6%、「50～59歳」が19.1%となっています。

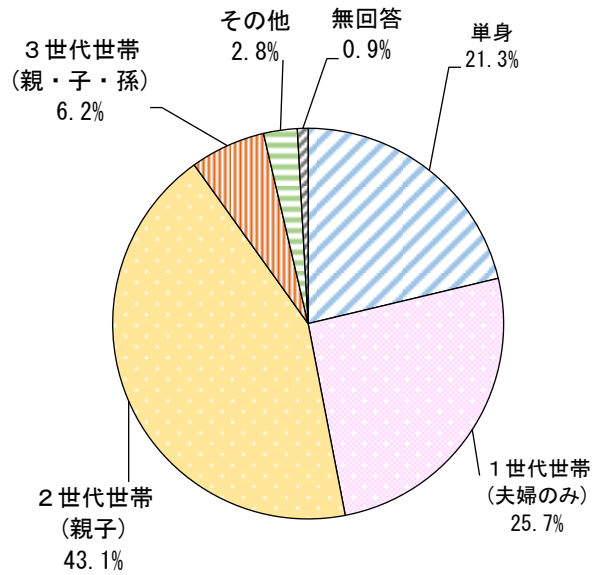
カテゴリ	件数
18～29歳	132
30～39歳	212
40～49歳	217
50～59歳	261
60～69歳	267
70歳以上	269
無回答	5
全 体	1,363



Q 3 あなたの家族構成をお答えください。(〇は1つ)

「2世代世帯(親子)」の割合が43.1%と最も高く、次いで「1世代世帯(夫婦のみ)」が25.7%、「単身」が21.3%となっています。

カテゴリ	件数
単身	290
1世代世帯(夫婦のみ)	350
2世代世帯(親子)	588
3世代世帯(親・子・孫)	85
その他	38
無回答	12
全 体	1,363

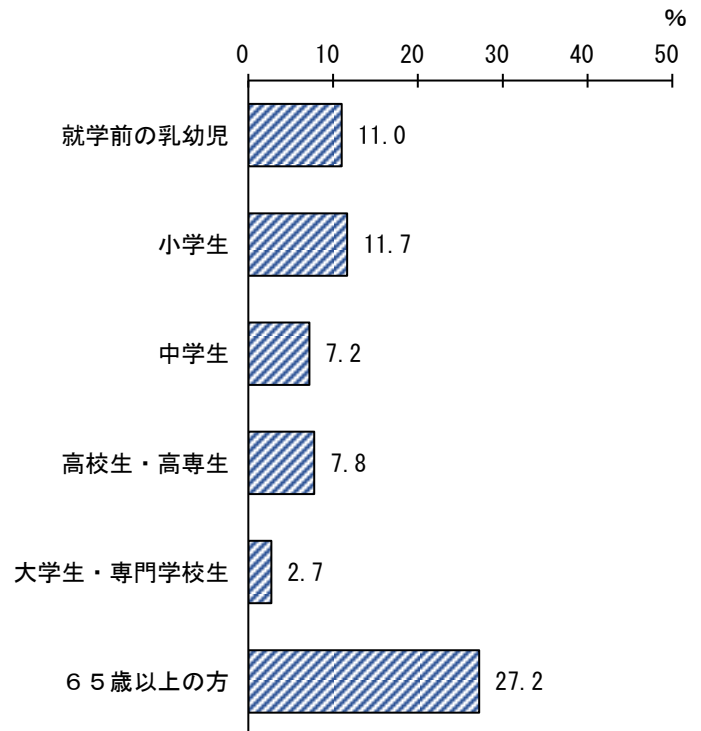


回答者数=1,363

Q 4 あなたは、以下の方と同居されていますか。  
(該当する方がいれば、すべてに〇)

「65歳以上の方」との同居が27.2%と最も高く、次いで「小学生」との同居が11.7%、「就学前の乳幼児」との同居が11.0%となっています。

カテゴリ	件数
就学前の乳幼児	150
小学生	159
中学生	98
高校生・高専生	106
大学生・専門学校生	37
65歳以上の方	371

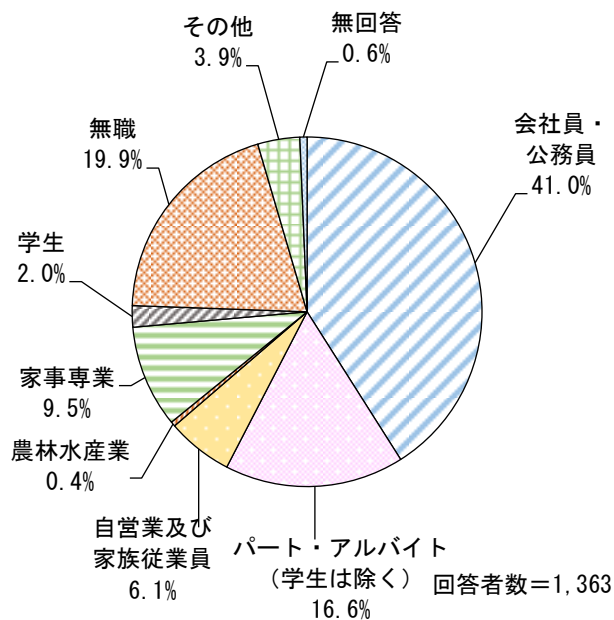


※全回答者(1,363人)のうちの割合

Q5 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

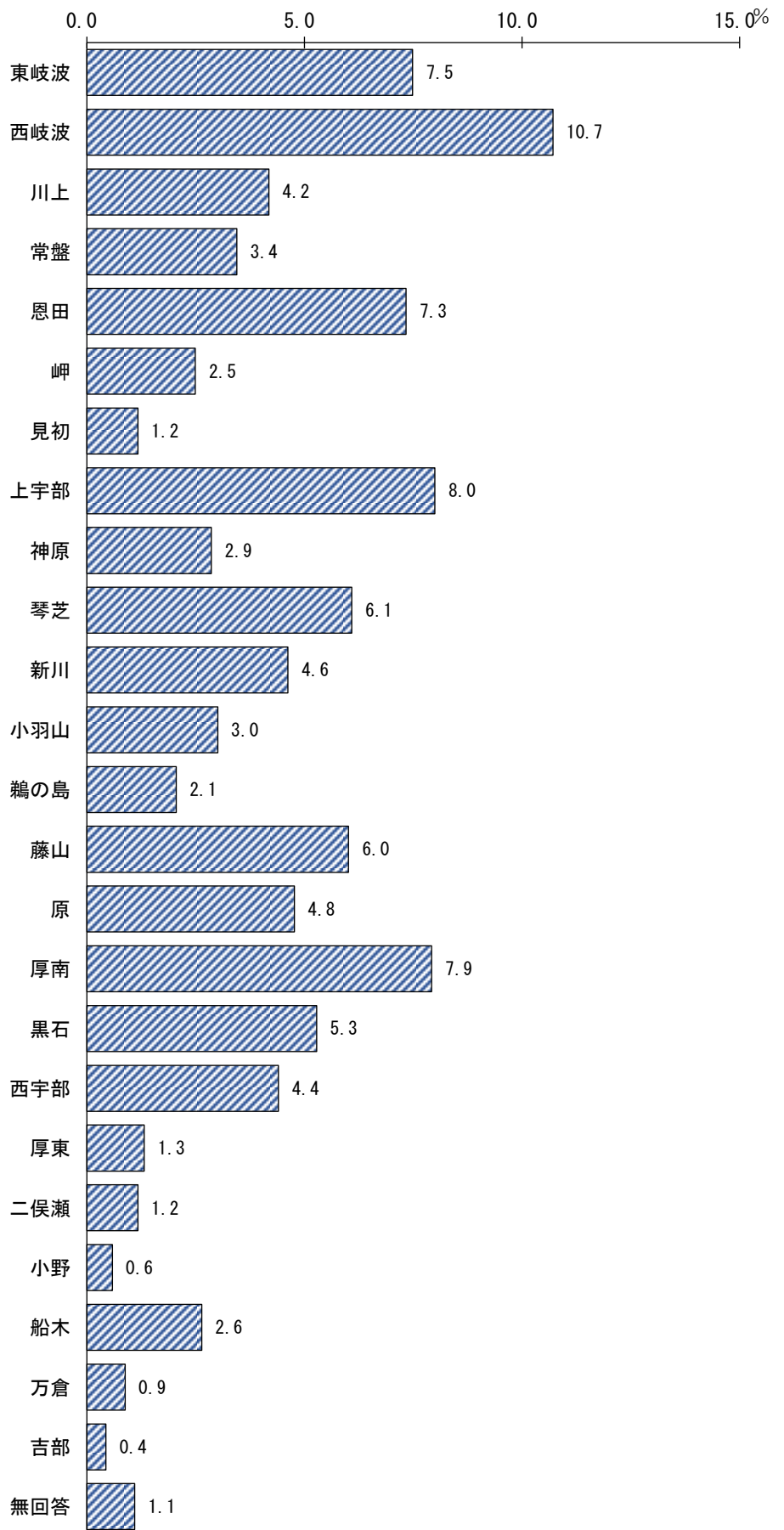
「会社員・公務員」の割合が41.0%と最も高く、次いで「無職」が19.9%、「パート・アルバイト（学生は除く）」が16.6%となっています。

カテゴリ	件数
会社員・公務員	559
パート・アルバイト（学生は除く）	226
自営業及び家族従業員	83
農林水産業	6
家事専業	129
学生	27
無職	271
その他	53
無回答	9
全 体	1,363



Q6 あなたの居住地区をお答えください。(〇は1つ)

カテゴリ		件数
東部	東岐波	102
	西岐波	146
	川上	57
	常盤	47
中南部	恩田	100
	岬	34
	見初	16
	上宇部	109
	神原	39
	琴芝	83
	新川	63
	小羽山	41
	鵜の島	28
	藤山	82
	西部	原
厚南		108
黒石		72
西宇部		60
北部	厚東	18
	二俣瀬	16
	小野	8
	船木	36
	万倉	12
	吉部	6
無回答		15
合計		1,363

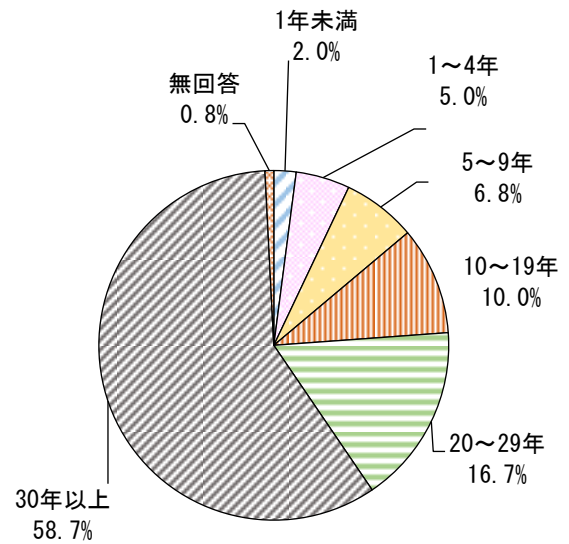


※ 市の人口に占める各地区の居住人口の割合に概ね近い回答が得られています。

Q7 あなたの宇部市（旧楠町を含む）での通算居住年数をお答えください。  
（〇は1つ）

「30年以上」の割合が58.7%と最も高く、次いで「20～29年」が16.7%、「10～19年」が10.0%となっています。

カテゴリ	件数
1年未満	28
1～4年	68
5～9年	93
10～19年	136
20～29年	227
30年以上	800
無回答	11
全体	1,363

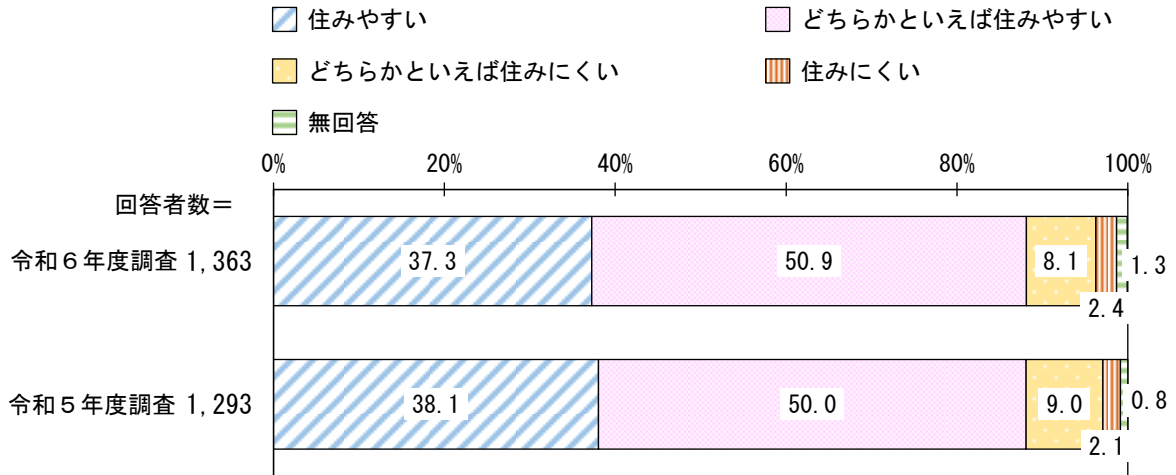


回答者数=1,363

## 2 宇部市の住みやすさについて

### Q8 宇部市は住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

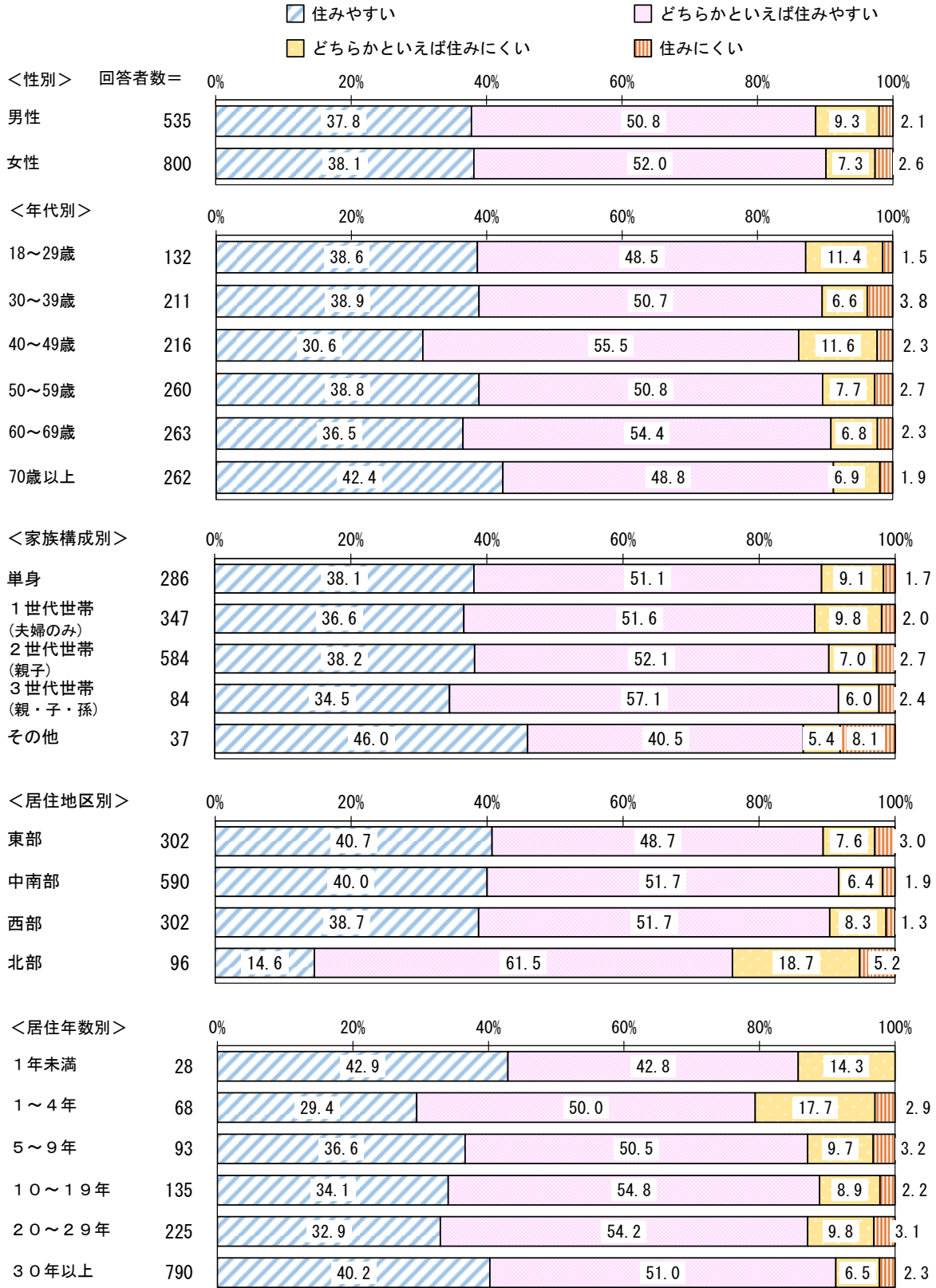
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合が88.2%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合が10.5%となっています。令和5年度調査と比較すると、“住みやすい”の割合が0.1ポイント上昇しています。



※ 前回調査(令和5年度)と比較するため、無回答を含めて集計しています。

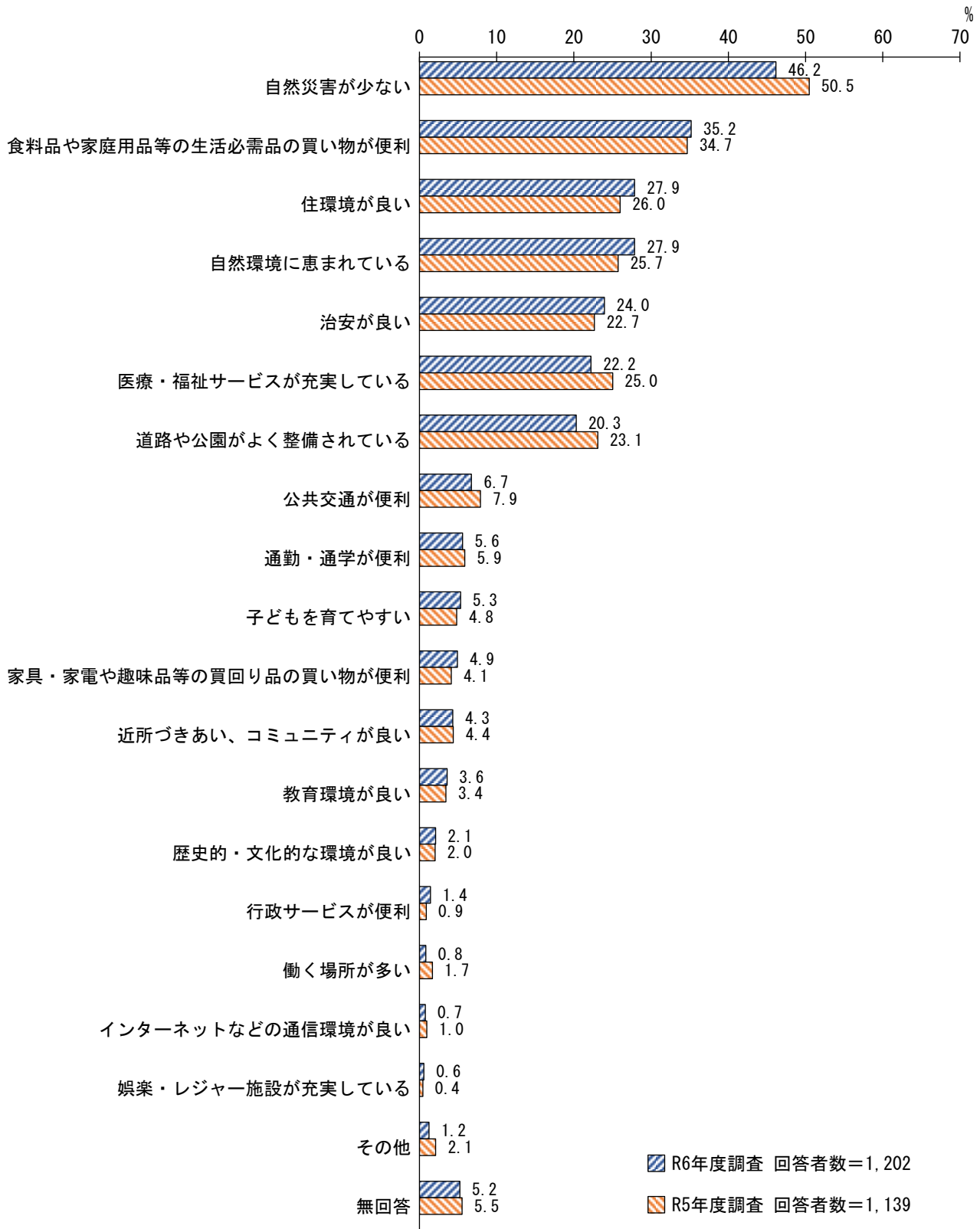
## 【属性別】

属性別でみると、年代が上がるにつれて、“住みやすい”の割合が高くなる傾向があります。また、家族構成別では、「3世代世帯(親・子・孫)」が他の世帯層に比べて、“住みやすい”の割合が高くなっています。居住地区別では、北部地区が他の地区に比べて、“住みやすい”の割合が低くなっています。



Q9 Q8で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお聞きします。  
あなたが思う宇部市の住みやすいところを教えてください。(〇は3つまで)

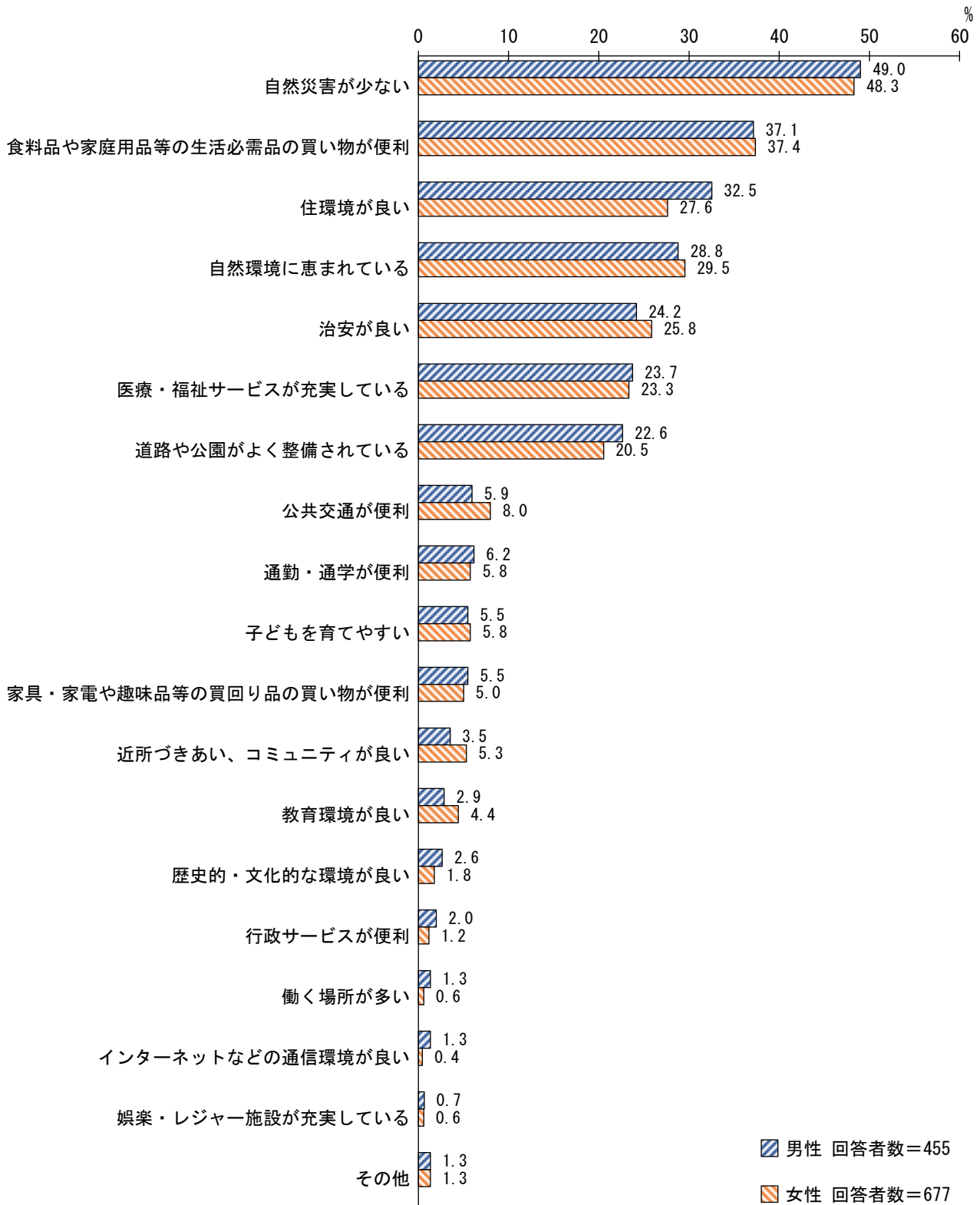
「自然災害が少ない」の割合が46.2%と最も高く、次いで「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が便利」が35.2%、「住環境が良い」「自然環境に恵まれている」が27.9%と続いています。





## 【性別】

性別で見ると、「自然災害が少ない」「住環境が良い」「医療・福祉サービスが充実している」については男性が、「自然環境に恵まれている」「治安が良い」については女性の割合が高くなっています。

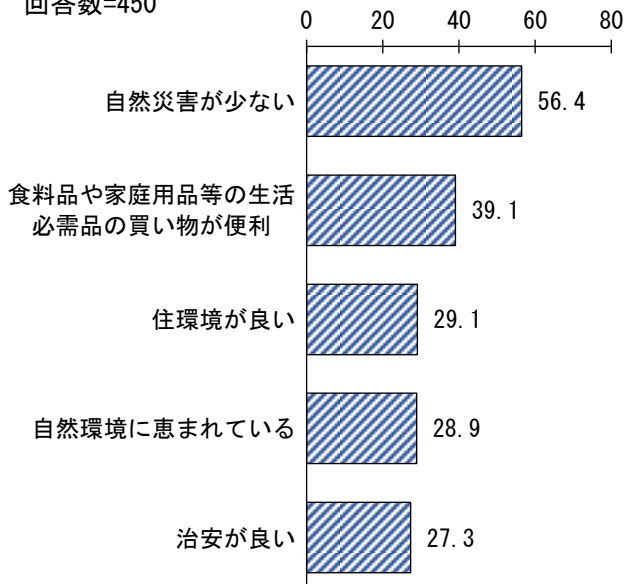


### 【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「自然災害が少ない」が1位となっており、「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が便利」「住環境が良い」「自然環境に恵まれている」が上位5位以内に入っています。

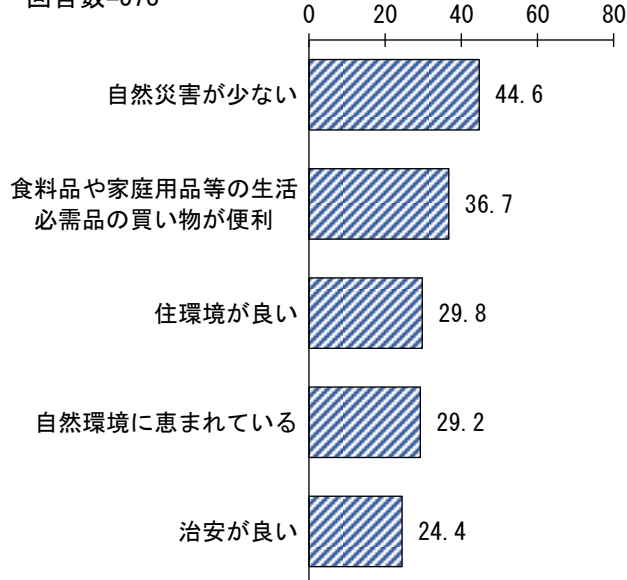
#### 【シニア世代(60歳以上)】

回答数=450



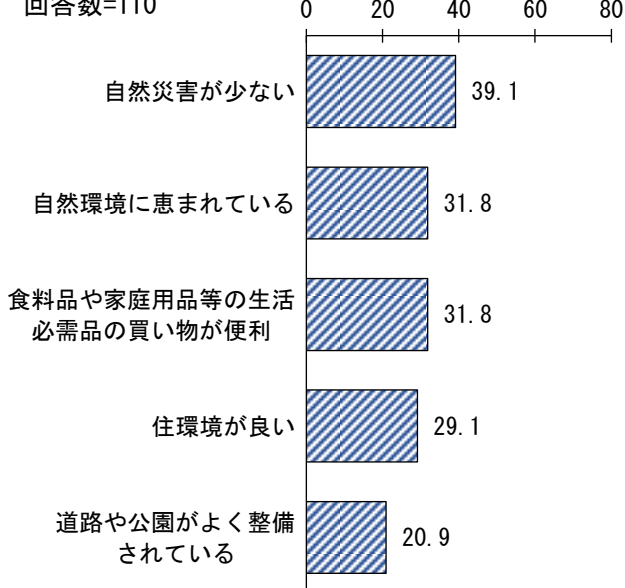
#### 【ミドル世代(30~50歳代)】

回答数=578



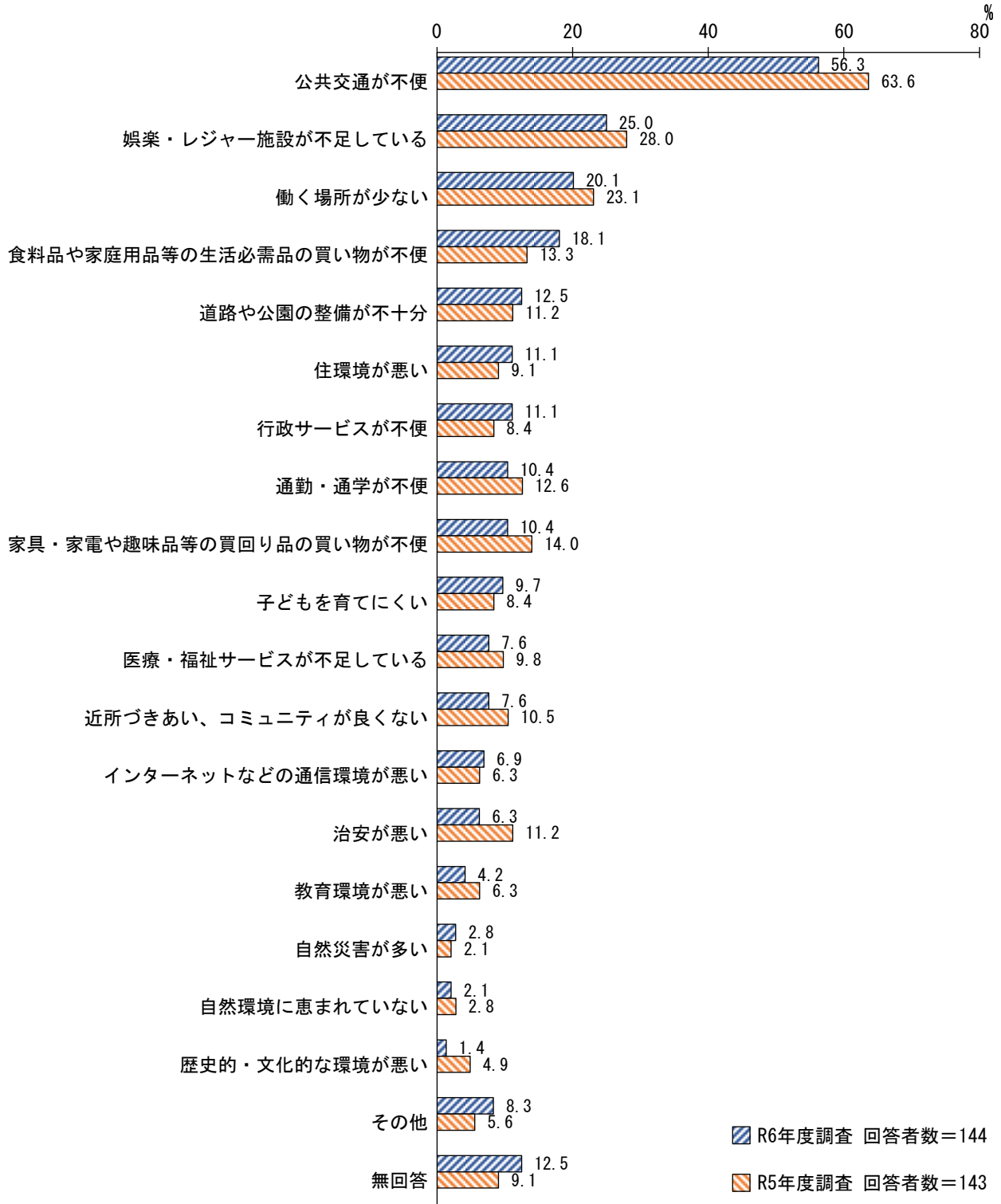
#### 【若者世代(10~20歳代)】

回答数=110



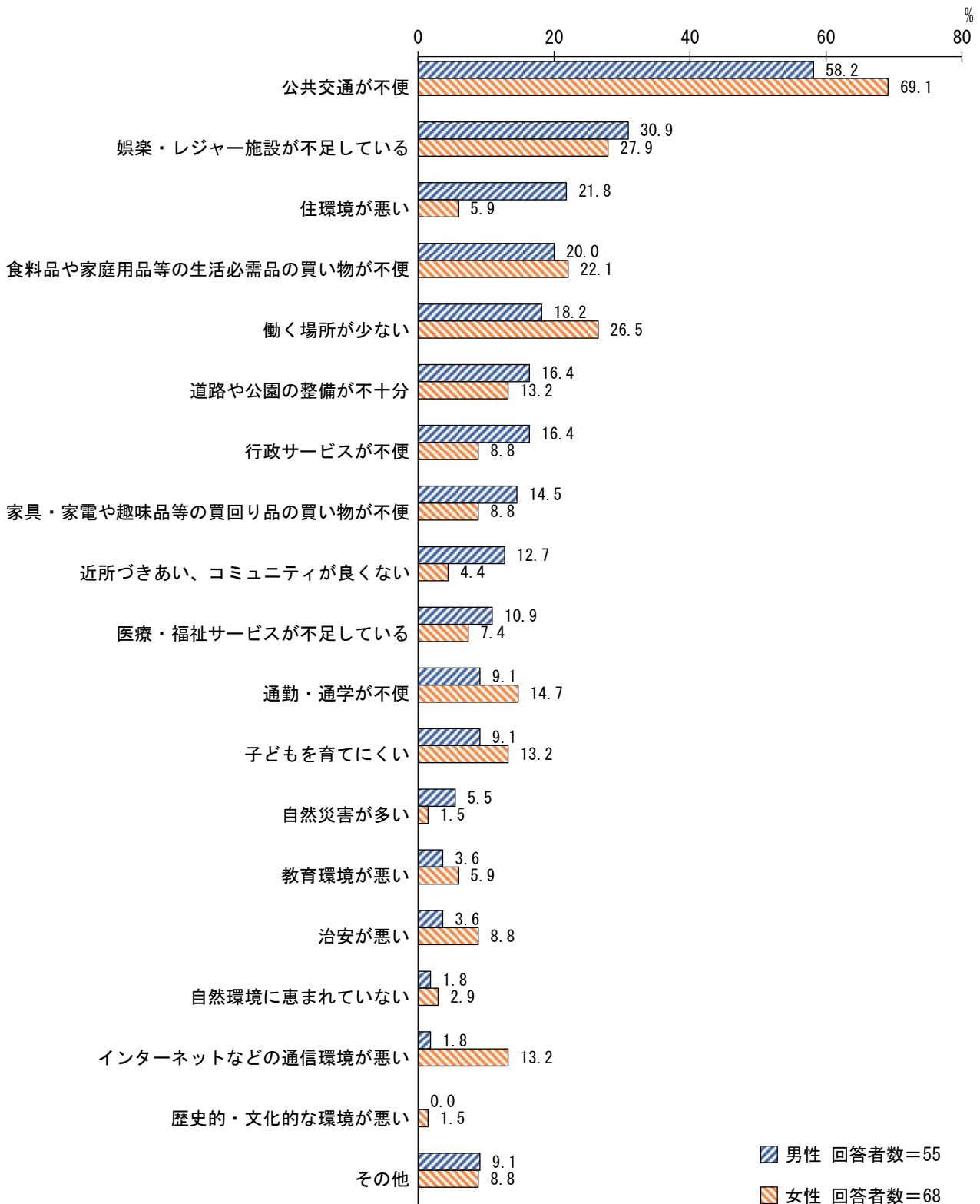
Q10 Q8で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお聞きします。  
あなたが思う宇部市の住みにくいところを教えてください。(〇は3つまで)

「公共交通が不便」の割合が56.3%と最も高く、次いで「娯楽・レジャー施設が不足している」が25.0%、「働く場所が少ない」が20.1%と続いています。



## 【性別】

性別でみると、「公共交通が不便」「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が不便」「働く場所が少ない」では女性が、「娯楽・レジャー施設が不足している」「住環境が悪い」「道路や公園の整備が不十分」では男性の割合が高くなっています。

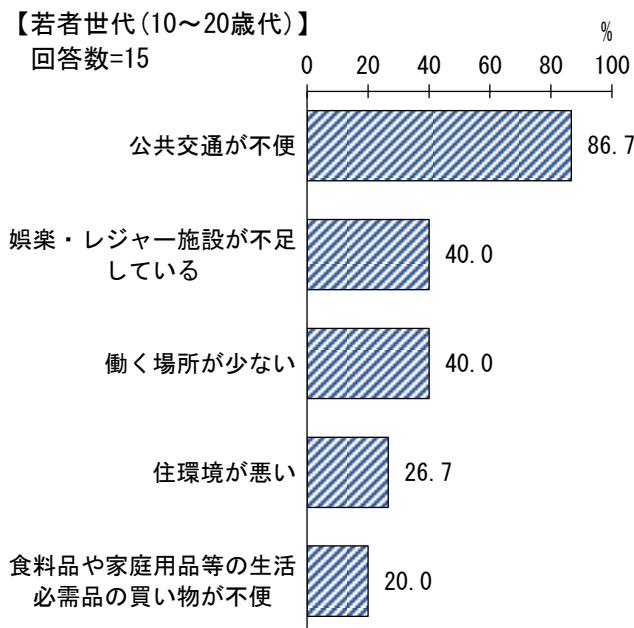


### 【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「公共交通が不便」が1位となっています。また、若者～ミドル世代では「娯楽・レジャー施設が不足している」が、シニア世代では「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が不便」が2位になっています。

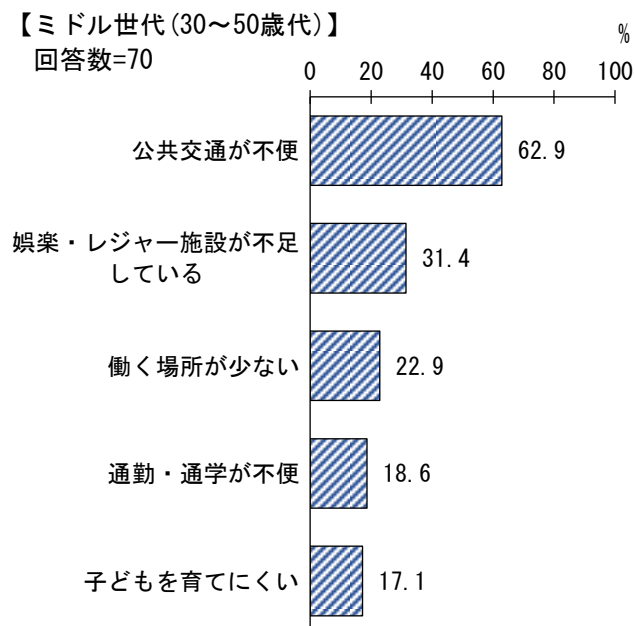
#### 【若者世代(10～20歳代)】

回答数=15



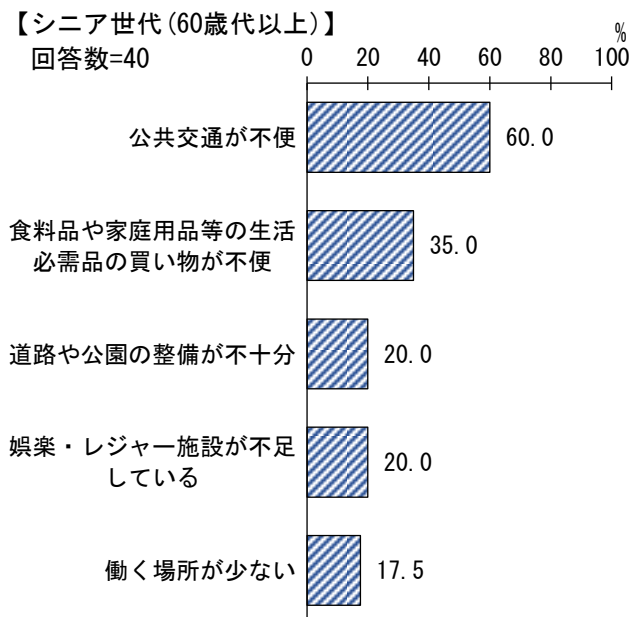
#### 【ミドル世代(30～50歳代)】

回答数=70



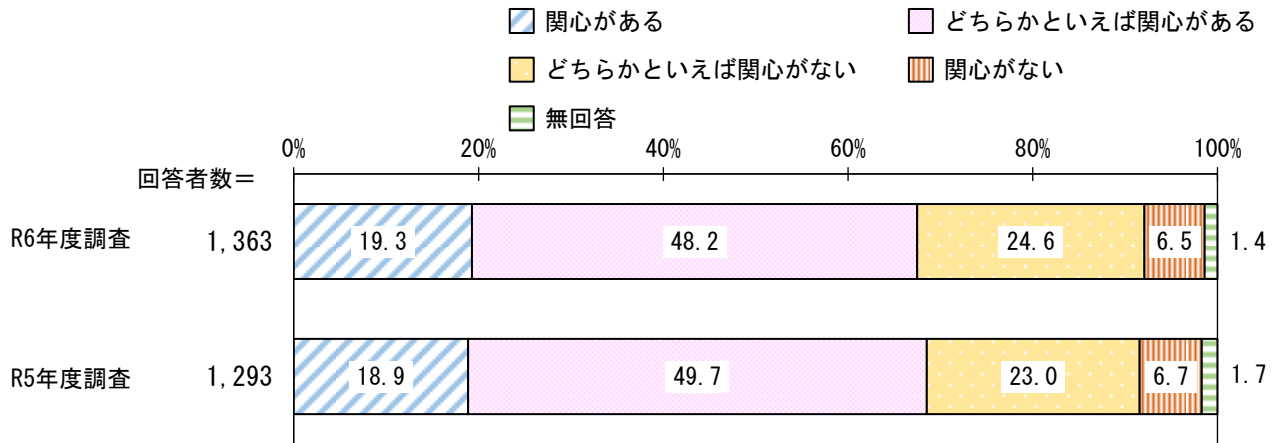
#### 【シニア世代(60歳代以上)】

回答数=40



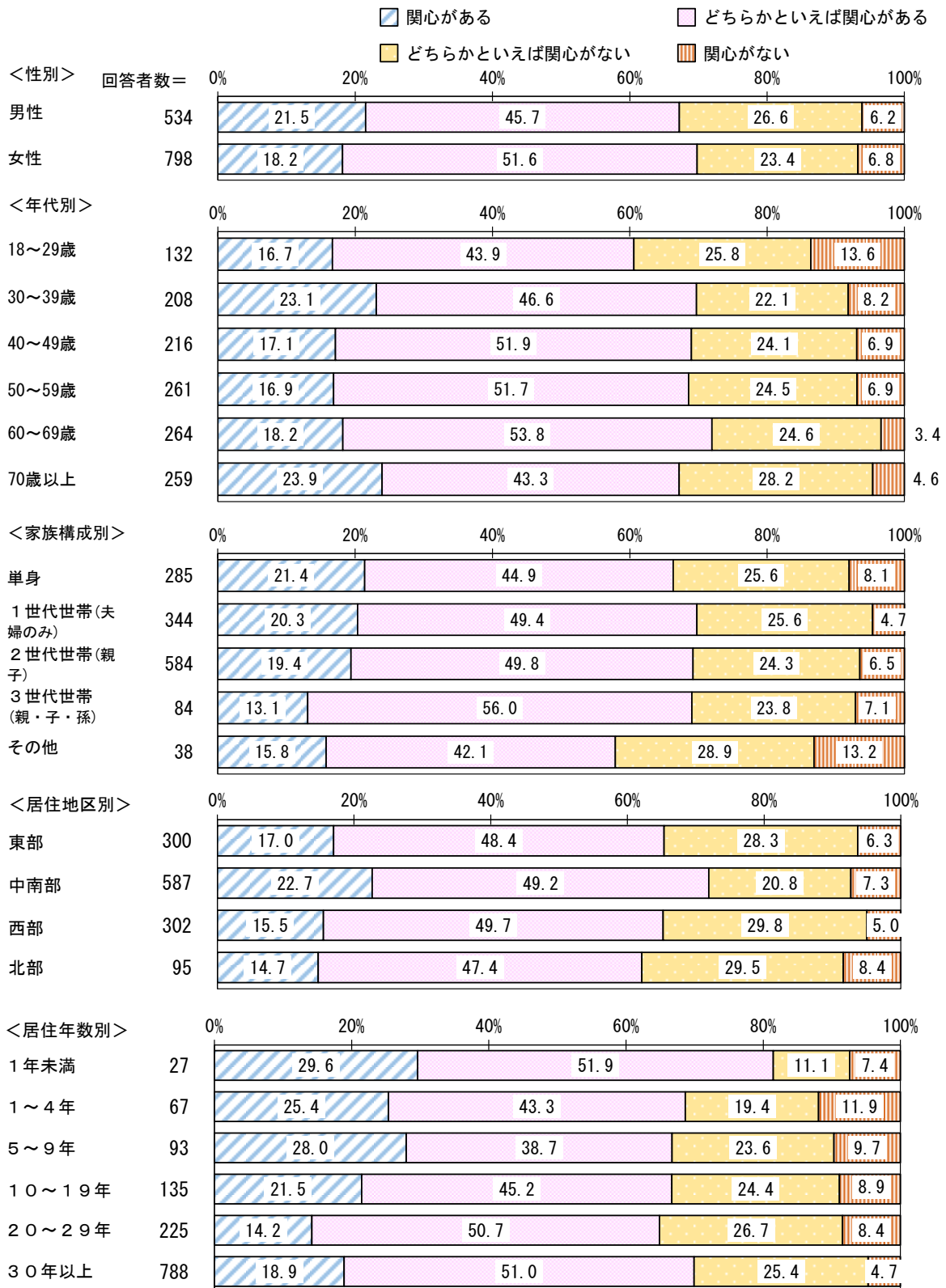
**Q11 宇部市の市政（まちづくり）に関心がありますか。（〇は1つ）**

「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が67.5%、「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が31.1%となっています。令和5年度調査と比較すると、“関心がある”の割合が1.1ポイント低下しています。



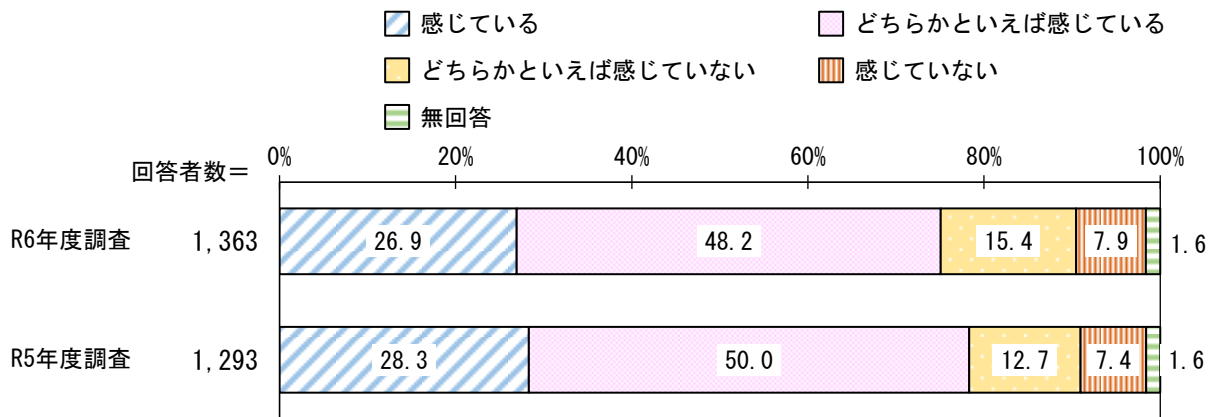
## 【属性別】

属性別でみると、性別では女性、年代では60～69歳、居住地区では中南部地区、居住年数では1年未満で“関心がある”の割合が高くなっています。一方で、18～29歳や北部地区、居住年数20～29年で“関心がある”の割合が低くなっています。



**Q12 宇部市に愛着（誇り）を感じていますか。（○は1つ）**

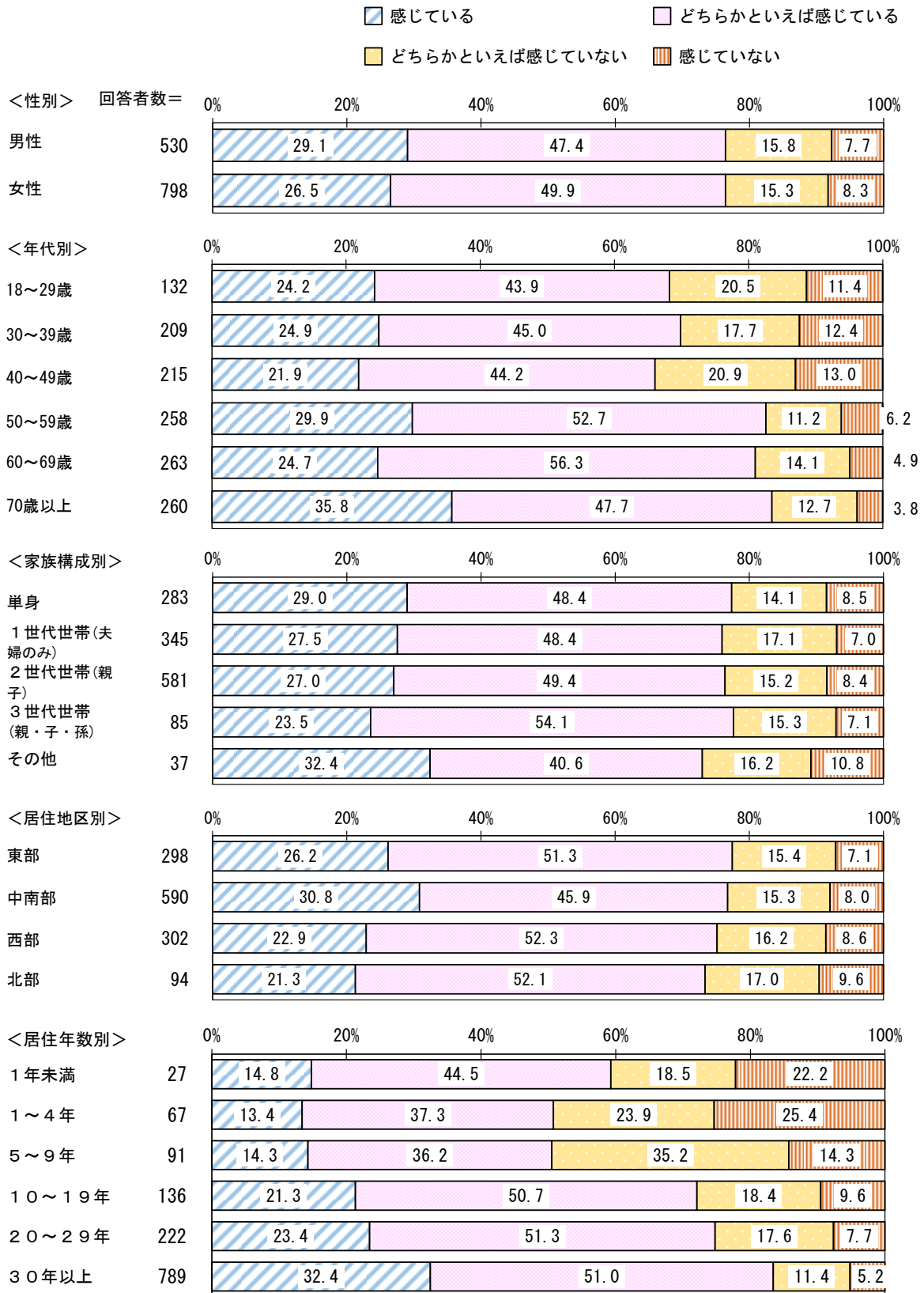
「感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が75.1%、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が23.3%となっています。令和5年度調査と比較すると、“感じている”の割合が3.2ポイント低下しています。





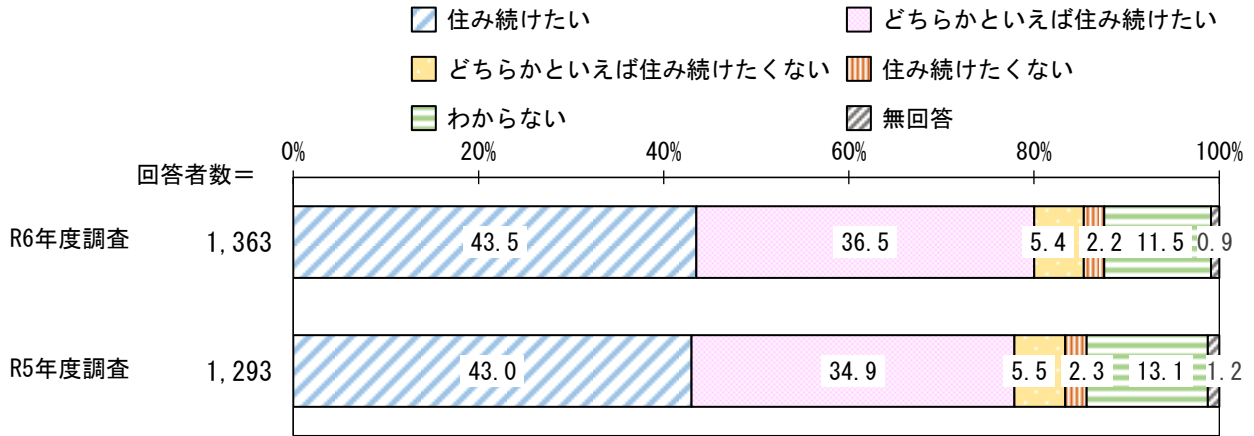
## 【属性別】

属性別でみると、年代では50歳以上、居住年数では30年以上で“感じている”の割合が高くなっています。一方で、40歳代以下や居住年数9年以下において“感じている”の割合が低くなっています。



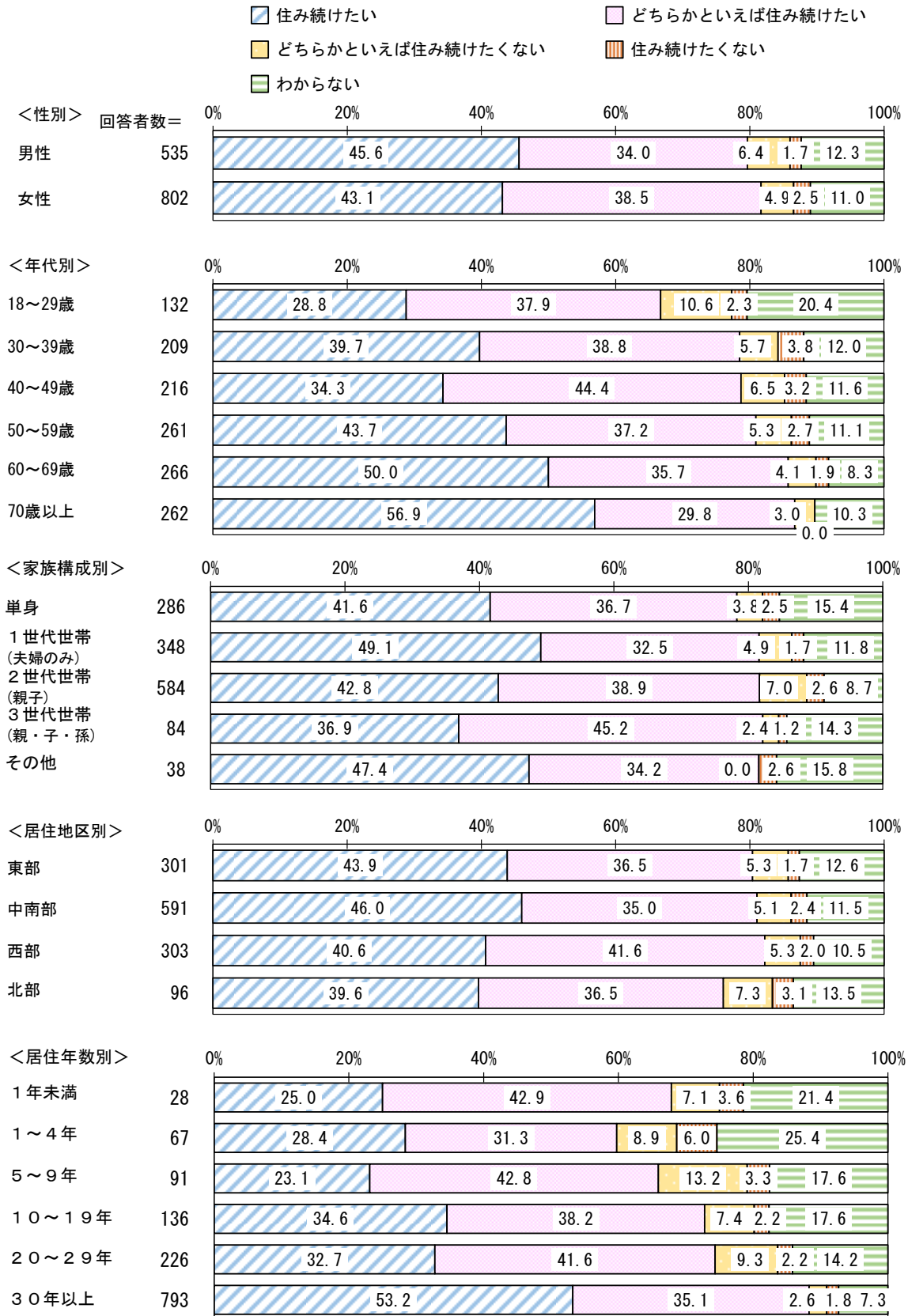
**Q13 これからも宇部市に住みたいですか。(〇は1つ)**

「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」を合わせた“住みたい”の割合が80.0%、「どちらかといえば住みたくない」と「住みたくない」を合わせた“住みたくない”の割合が7.6%となっています。令和5年度調査と比較すると、“住みたい”の割合が2.1ポイント上昇しています。



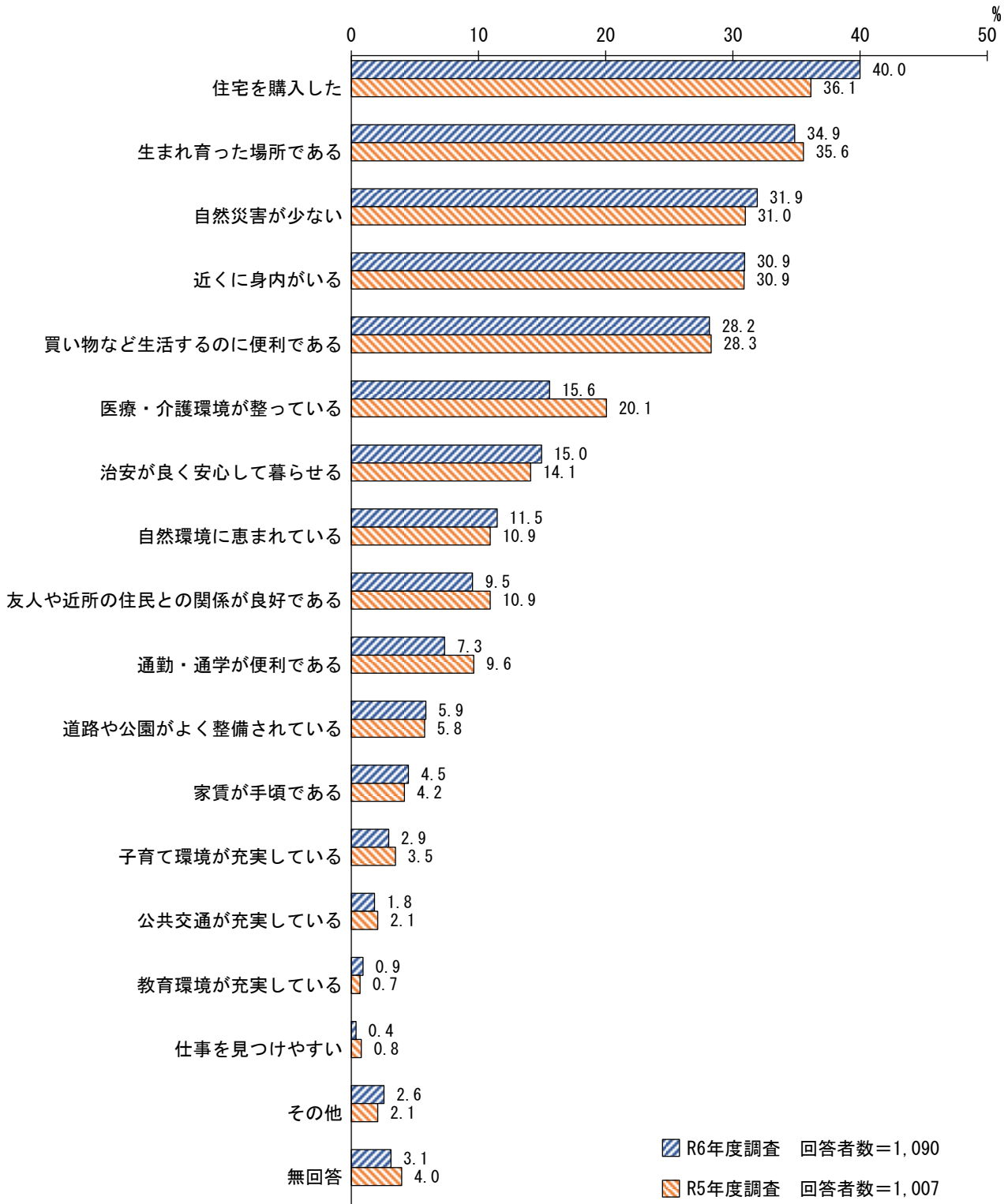
【属性別】

属性別でみると、年代別では年齢が上がるほど、また、居住年数が長くなるにつれて、“住み続けたい”の割合が高くなる傾向がみられます。



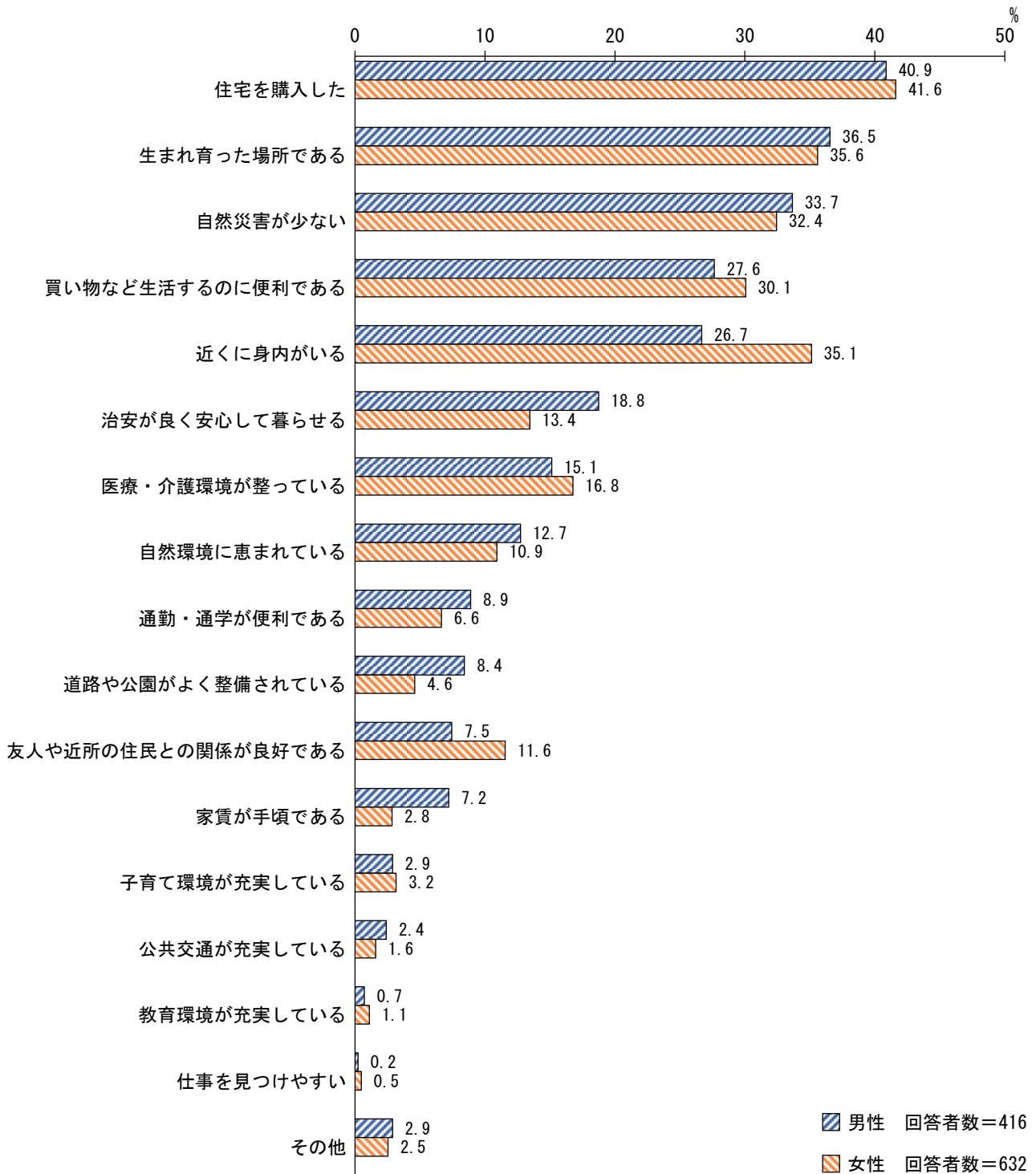
Q14 Q13で「住みたい」「どちらかといえば住みたい」と答えた方にお聞きします。  
あなたが住みたいと考える理由を教えてください。(〇は3つまで)

「住宅を購入した」の割合が40.0%と最も高く、次いで「生まれ育った場所である」が34.9%、「自然災害が少ない」が31.9%と続いています。



## 【性別】

性別でみると、「住宅を購入した」「買い物など生活するのに便利である」「近くに身内がいる」では女性が、「生まれ育った場所である」「自然災害が少ない」では男性の割合が高くなっています。

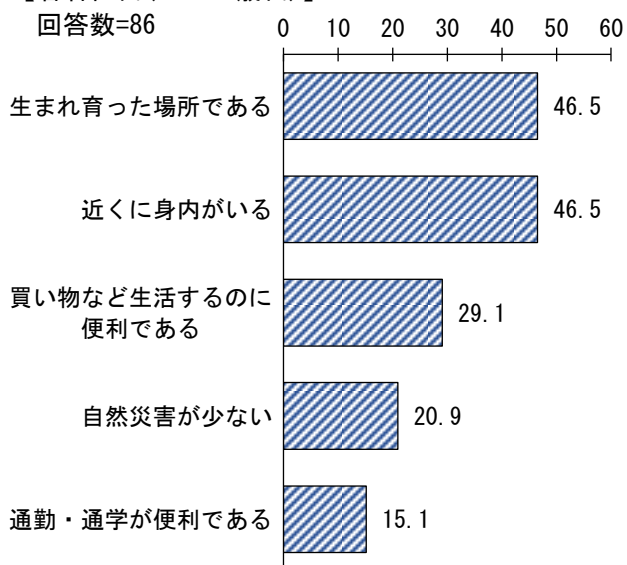


### 【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「生まれ育った場所である」「自然災害が少ない」「買い物など生活するのに便利である」が上位5位以内に入っています。

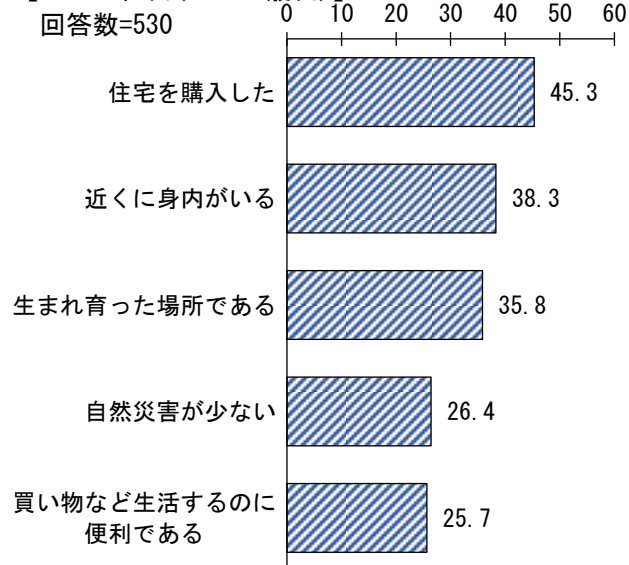
#### 【若者世代(10～20歳代)】

回答数=86



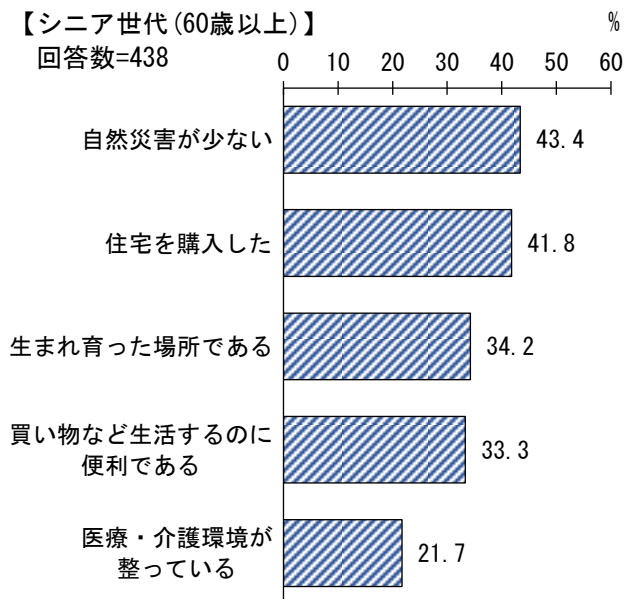
#### 【ミドル世代(30～50歳代)】

回答数=530



#### 【シニア世代(60歳以上)】

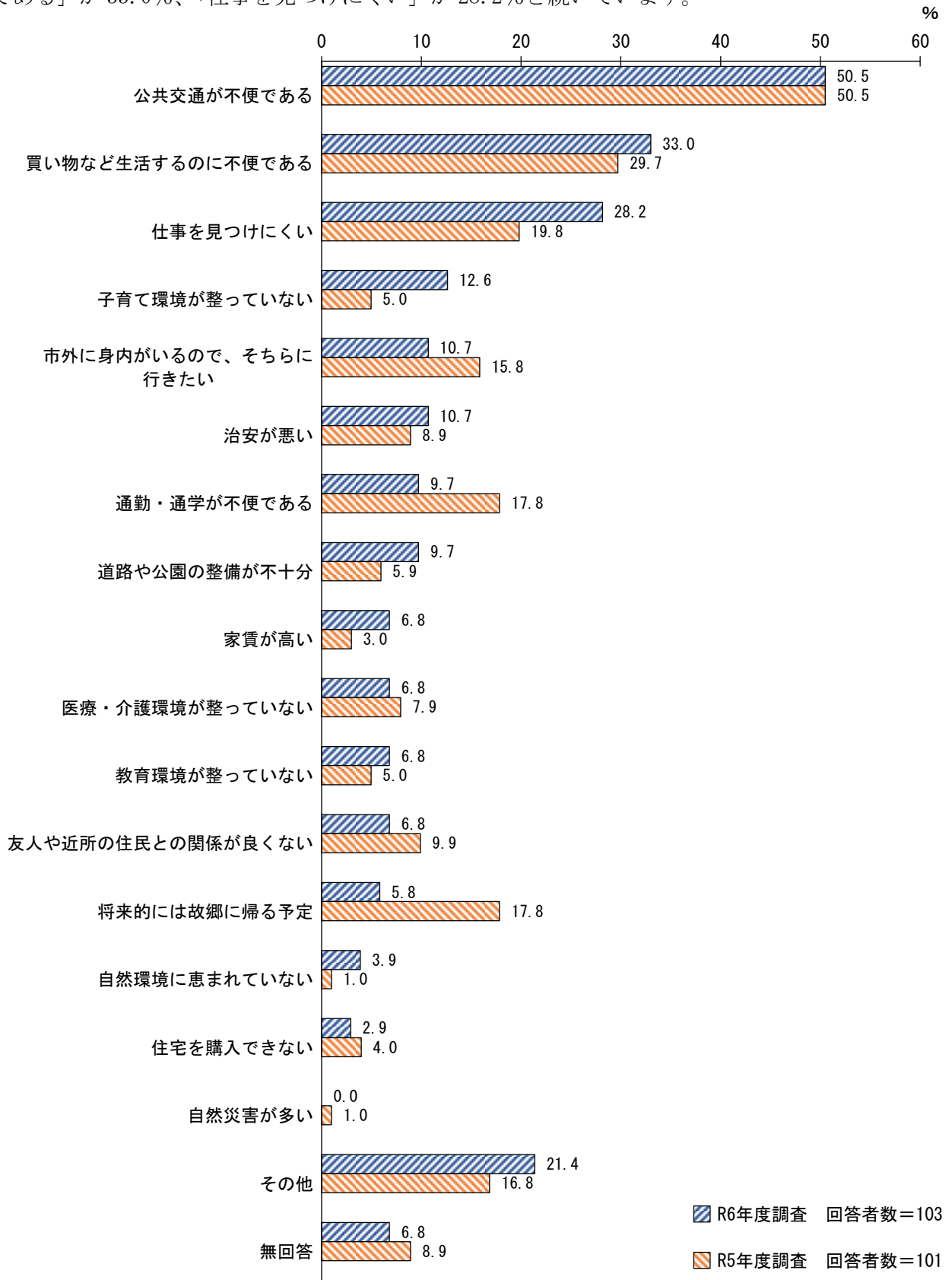
回答数=438



Q15 Q13で「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」と答えた方にお聞きします。

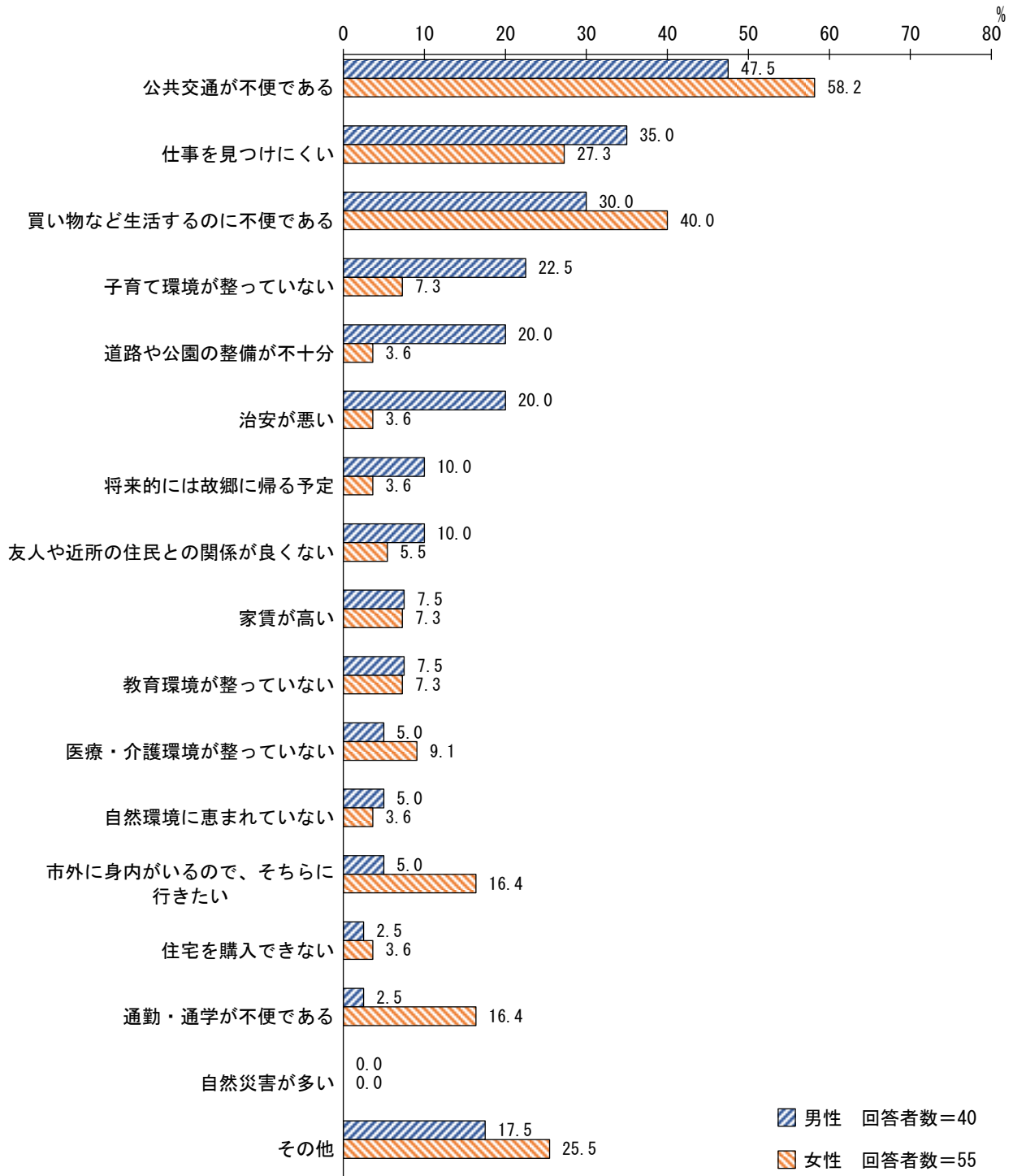
あなたが住み続けたくないと考える理由を教えてください。(〇は3つまで)

「公共交通が不便である」の割合が50.5%と最も高く、次いで「買い物など生活するのに不便である」が33.0%、「仕事を見つけにくい」が28.2%と続いています。



## 【性別】

性別でみると、「公共交通が不便である」「買い物など生活するのに不便である」では女性が、「仕事を見つけにくい」「子育て環境が整っていない」「道路や公園の整備が不十分」「治安が悪い」では男性の割合が高くなっています。



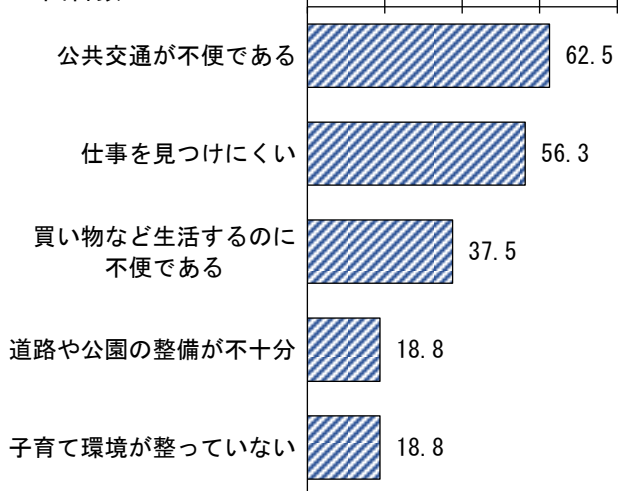


### 【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「公共交通が不便である」「仕事を見つけにくい」「買い物など生活するのに不便である」が上位5位以内に入っています。

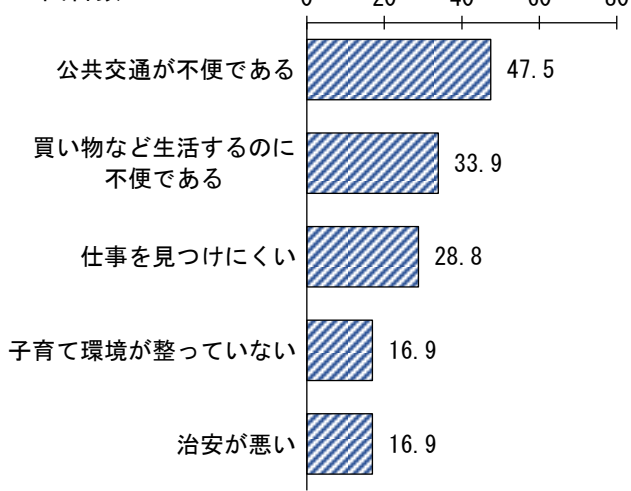
#### 【若者世代(10～20歳代)】

回答数=16



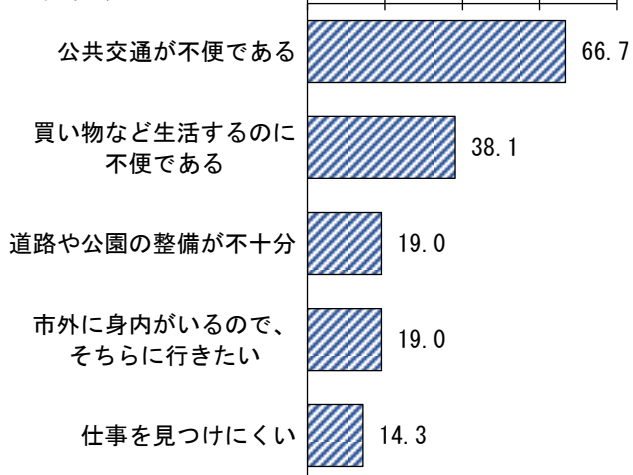
#### 【ミドル世代(30～50歳代)】

回答数=59



#### 【シニア世代(60歳以上)】

回答数=21

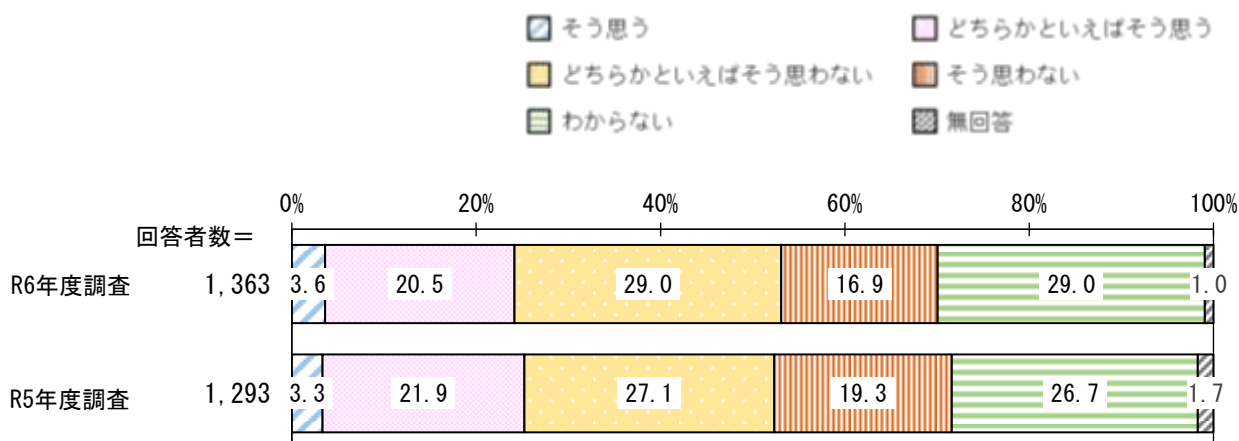


### 3 宇部市のまちやご自身について思うこと

#### (1) 産業や雇用環境について

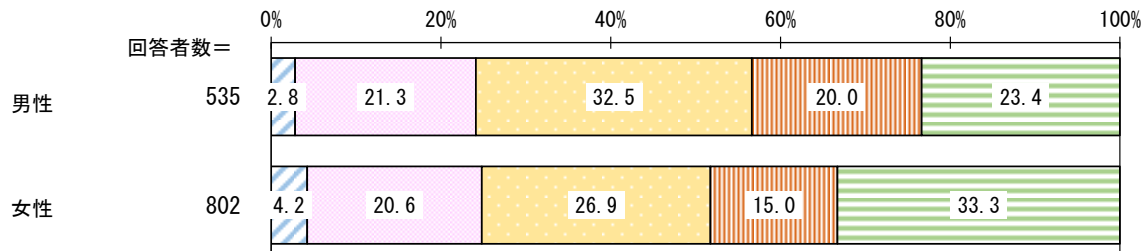
Q16 新しい事業の展開など、市内企業の事業活動が活発に行われていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が24.1%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が45.9%となっています。



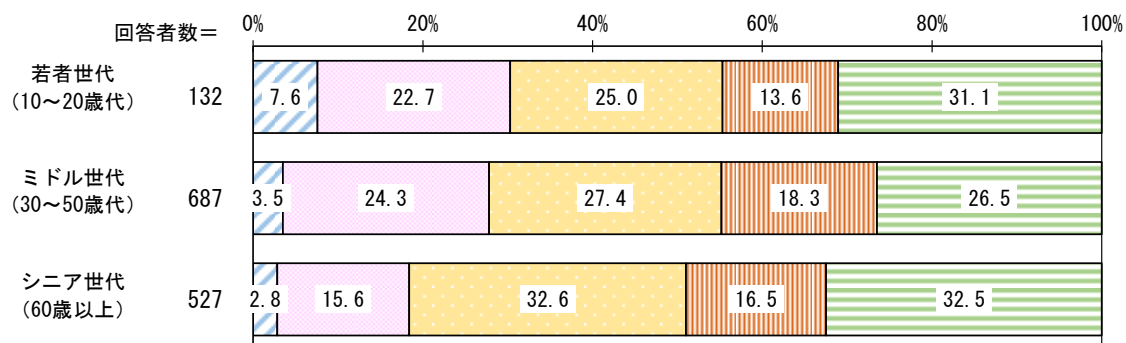
#### 【性別】

性別でみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



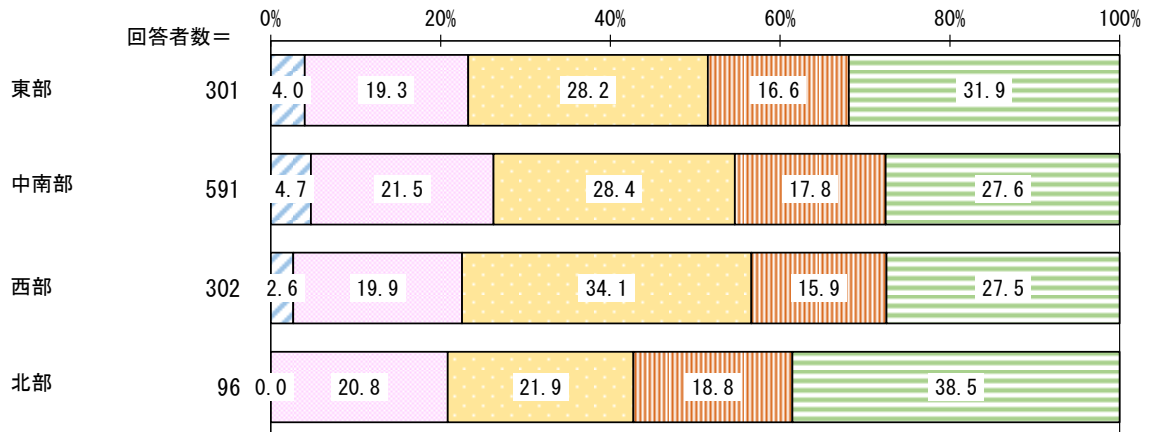
#### 【世代別】

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“そう思う”の割合が低くなる傾向がみられます。



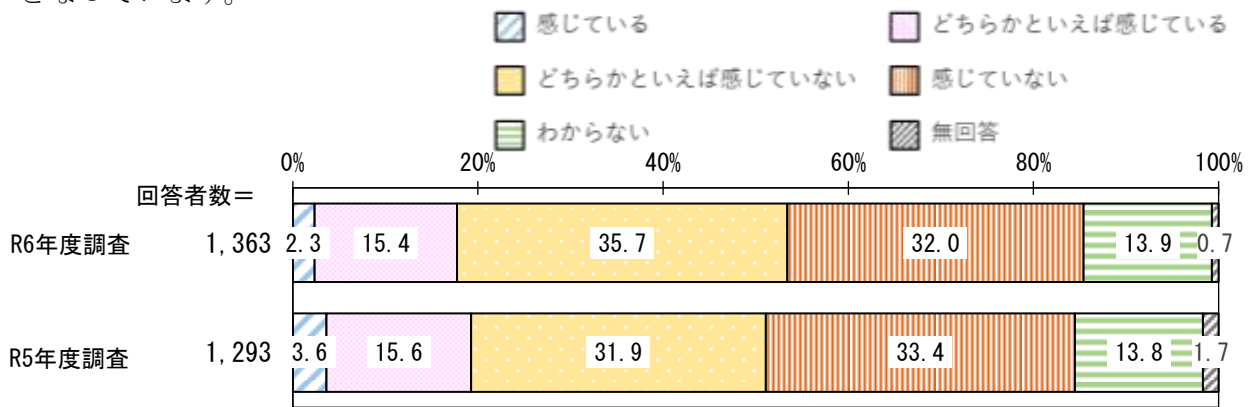
**【居住地区別】**

居住地区別で見ると、他の地区に比べて、中南部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



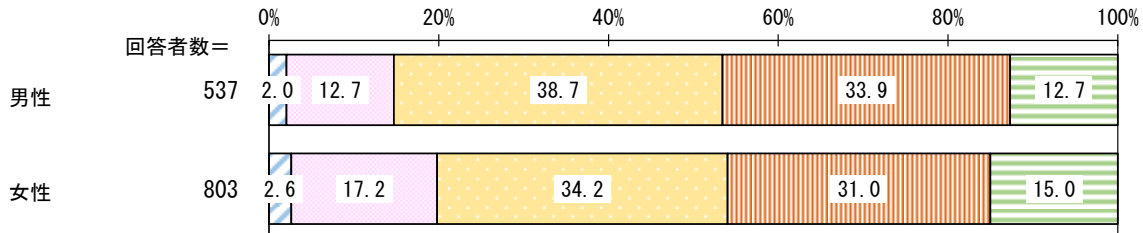
**Q17 新たな店舗の開業など、地元商業に活力を感じますか。(〇は1つ)**

「感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が17.7%、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が67.7%となっています。



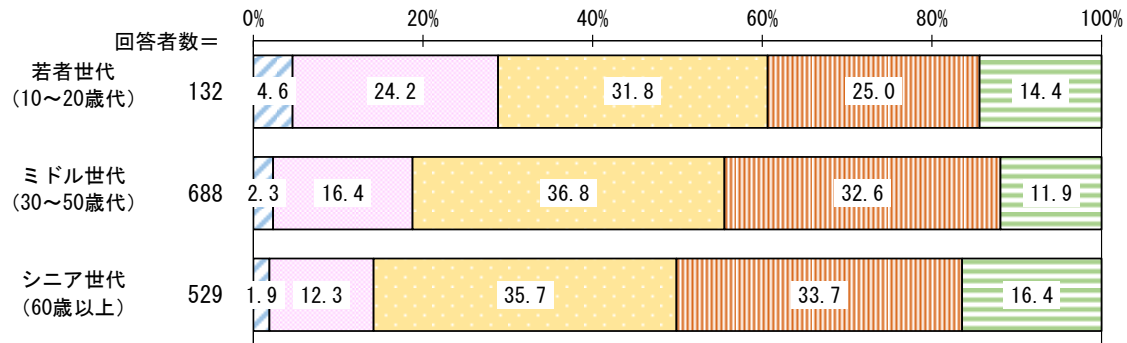
**【性別】**

性別でみると、女性で“感じている”の割合が高くなっています。



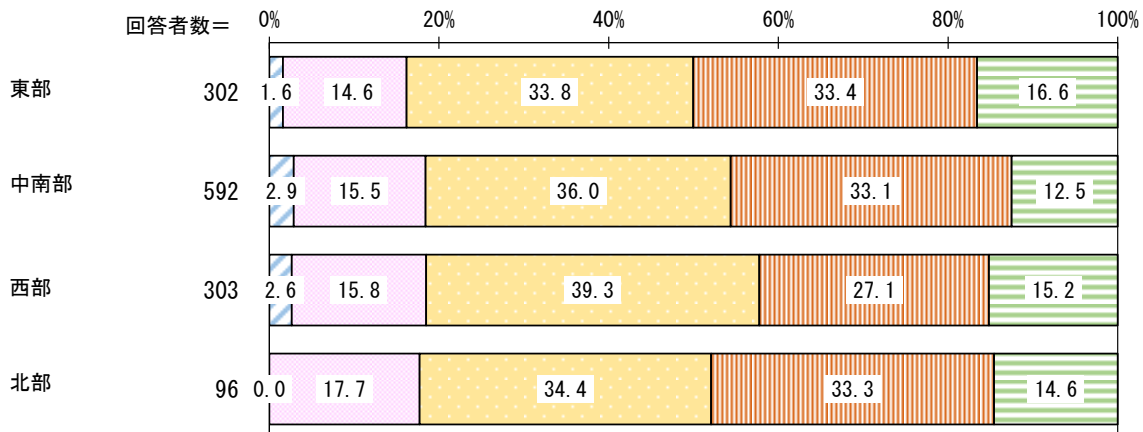
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“感じている”の割合が低くなる傾向が見られます。



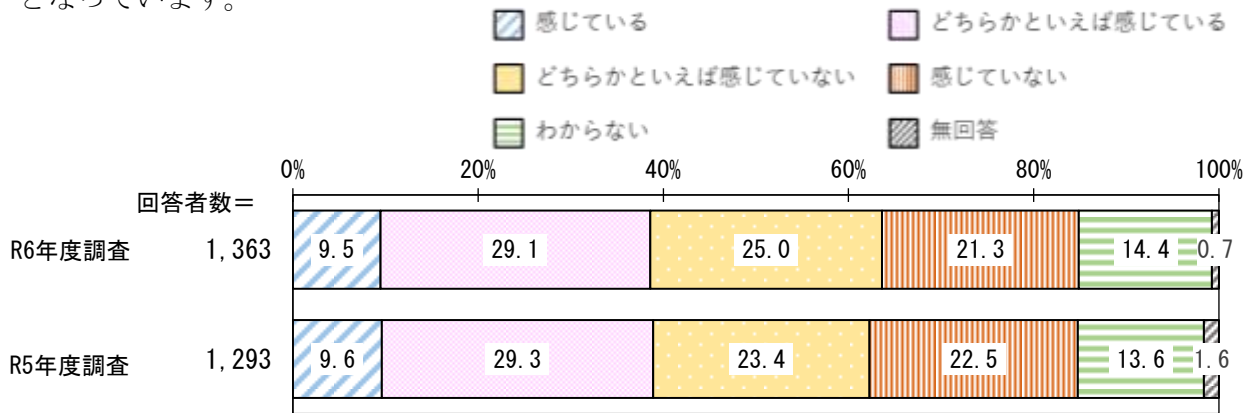
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、中南部地区で“感じていない”の割合が高くなっています。



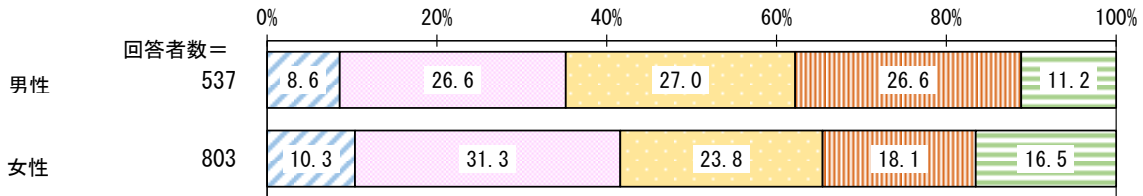
**Q18 新鮮で安心な「うべ産農林水産物」を身近に感じていますか。(〇は1つ)**

「感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が38.6%、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が46.3%となっています。



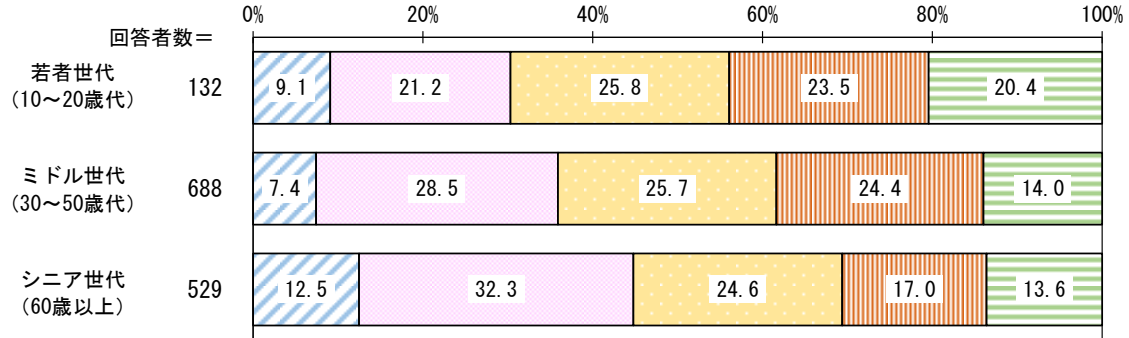
**【性別】**

性別でみると、女性で“感じている”の割合が高くなっています。



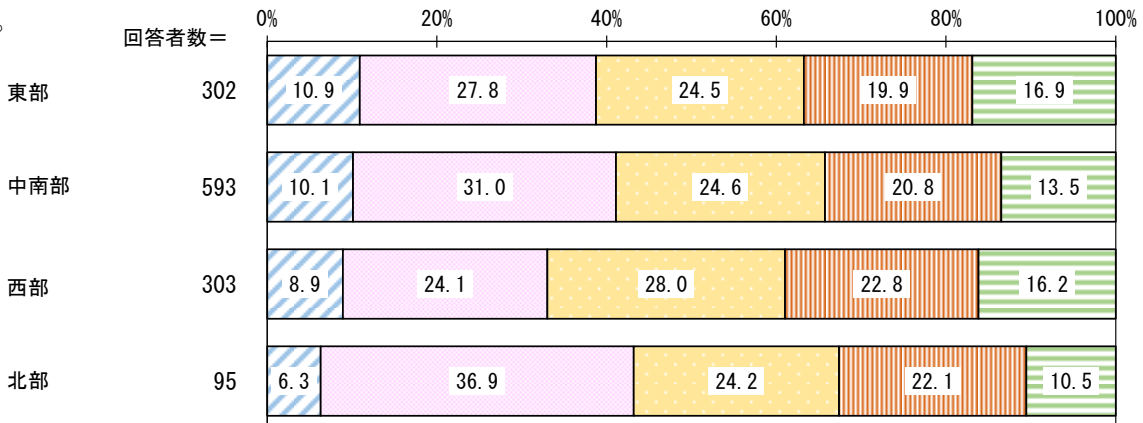
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“感じている”の割合が高くなる傾向がみられます。



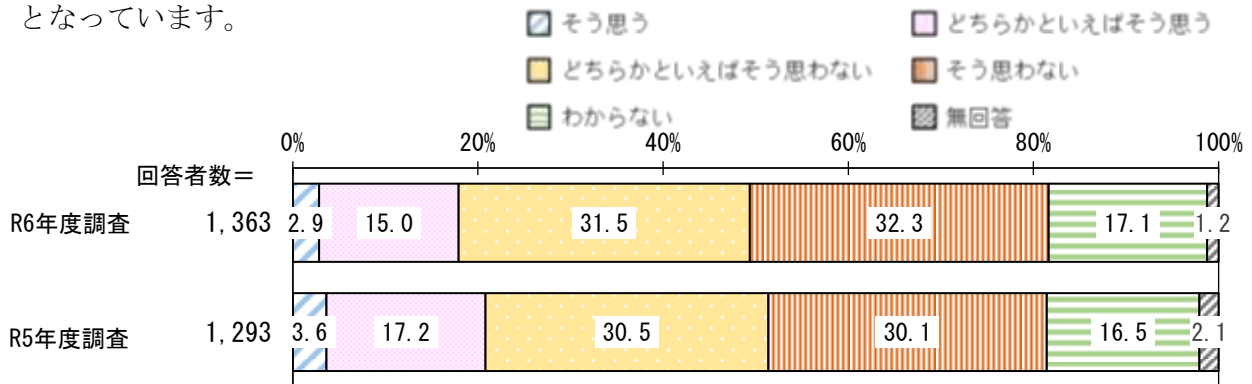
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、西部地区で“感じている”の割合が低くなっています。



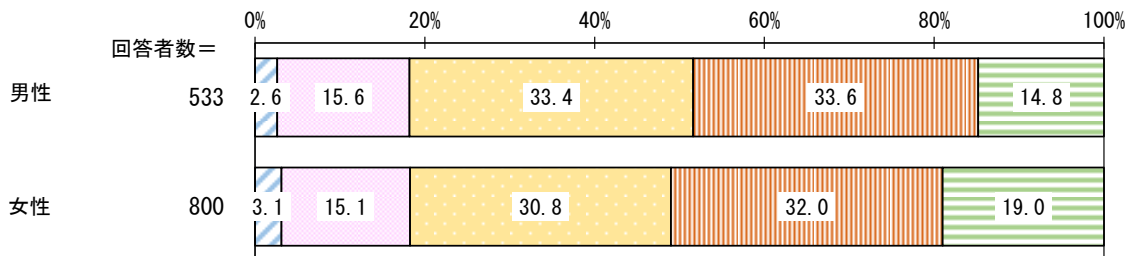
**Q19 (就職する際に、市内には) 希望する仕事(職種)は多いと思いますか。**  
(○は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「そう思う」の割合が17.9%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない」の割合が63.8%となっています。



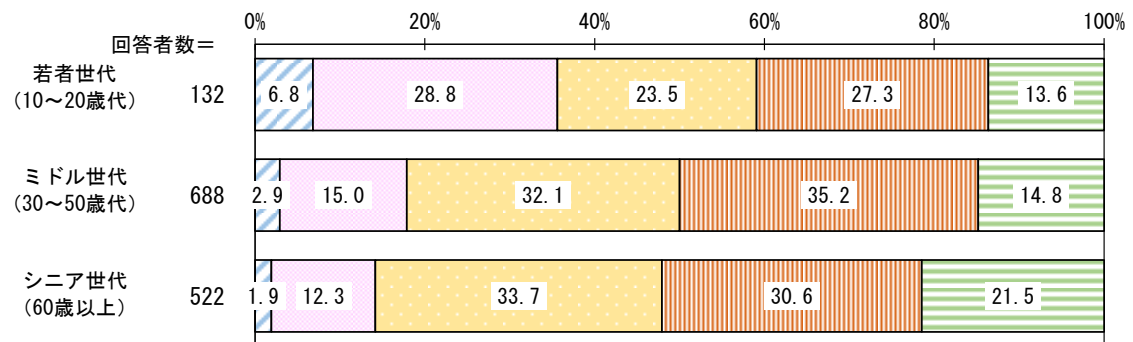
**【性別】**

性別でみると、男性で「そう思わない」の割合が高くなっています。



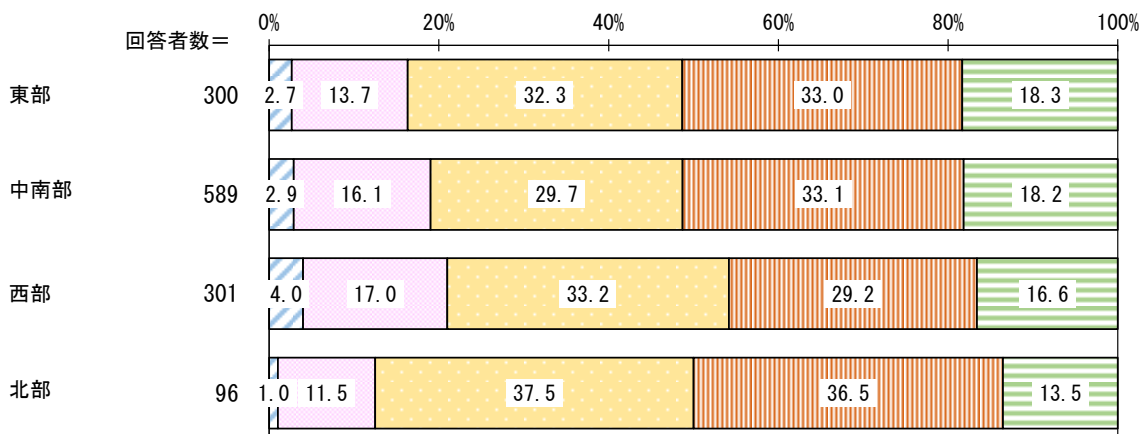
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、「そう思う」の割合が低くなる傾向がみられます。



**【居住地区別】**

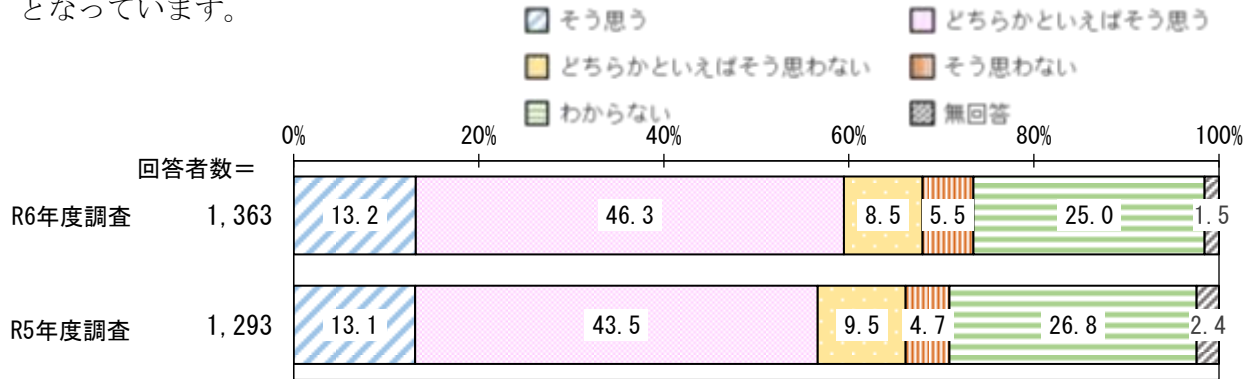
居住地区別でみると、他の地区に比べて、西部地区で「そう思う」の割合が高くなっています。



## (2) 子育て支援や教育環境について

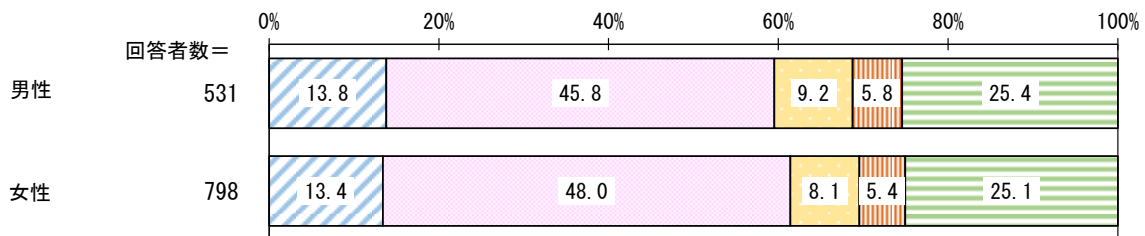
### Q20 子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が59.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が14.0%となっています。



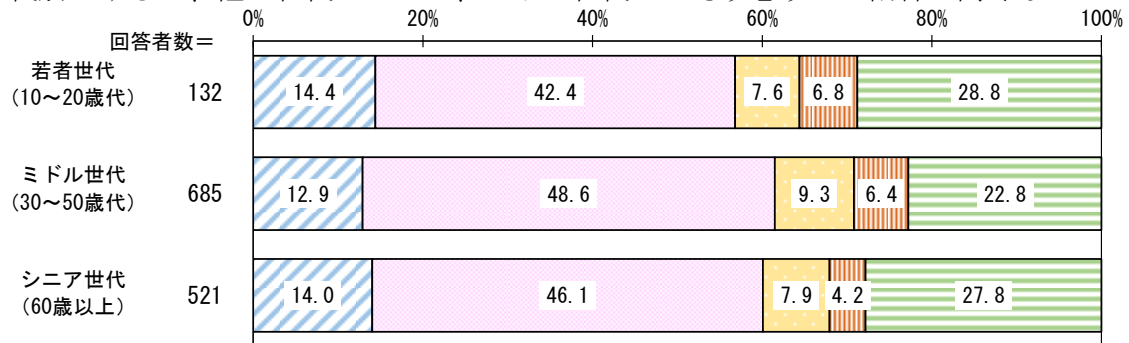
#### 【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



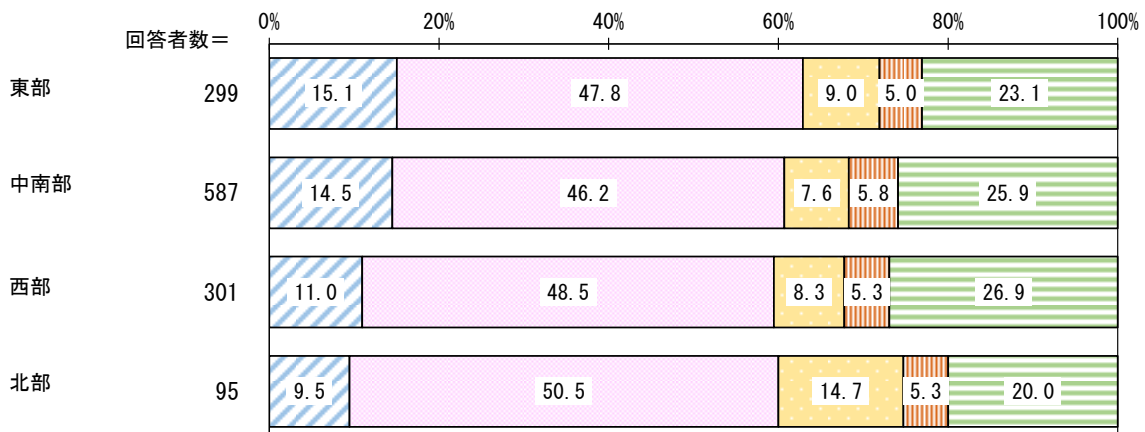
#### 【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べて、ミドル世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



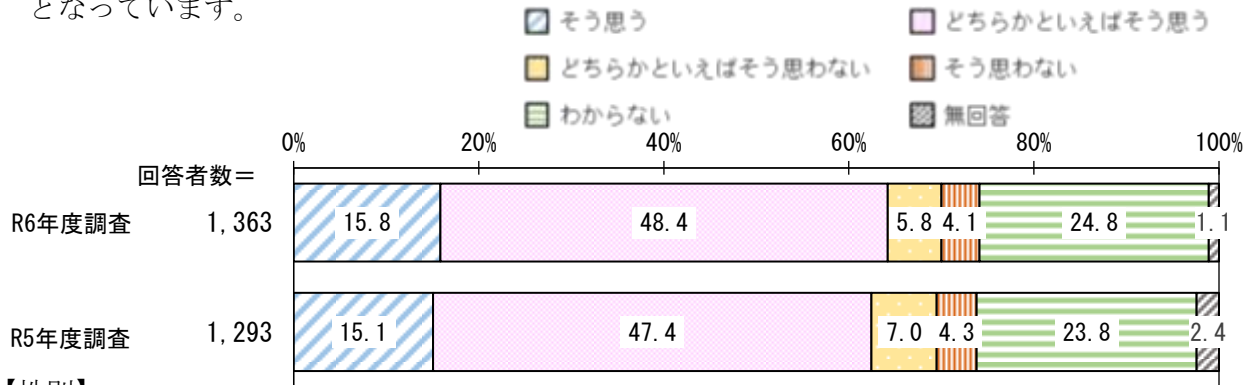
#### 【居住地区別】

居住地区別でみると、北部地区で“そう思わない”の割合が高くなっています。



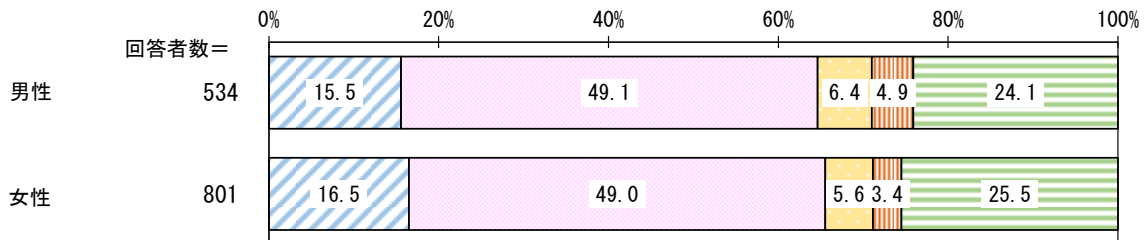
**Q21 お住まいの地域では、子どもが健やかにたくましく育っていると思いますか。**  
(○は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が64.2%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が9.9%となっています。



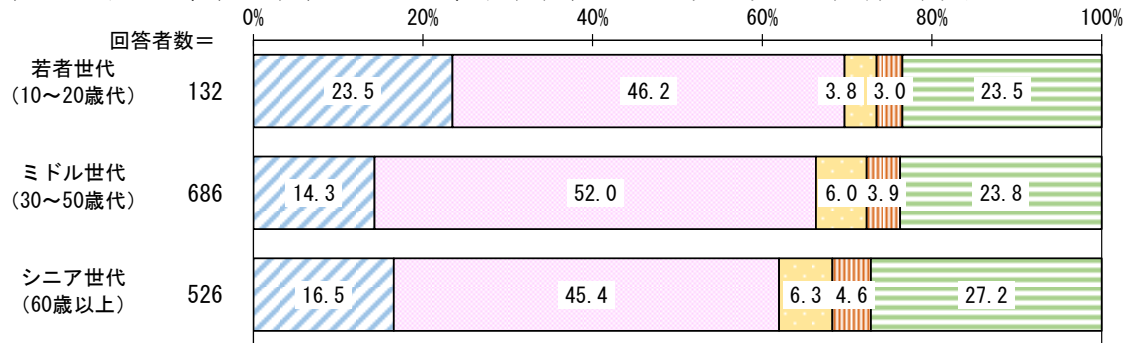
**【性別】**

性別でみると、大きな差異は見られません。



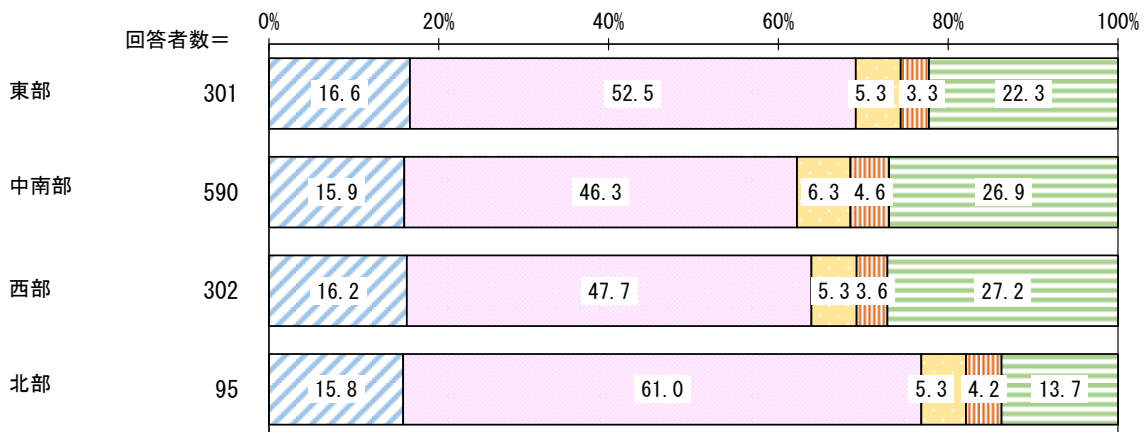
**【世代別】**

世代別でみると、他の世代に比べて、若者世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



**【居住地区別】**

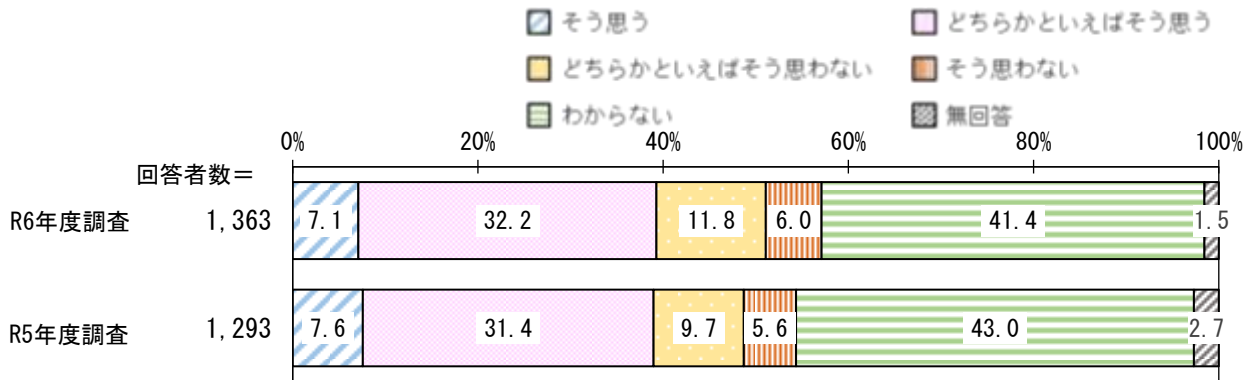
居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。





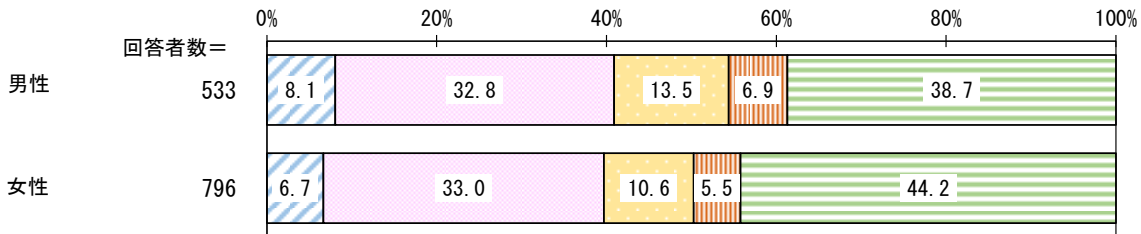
**Q22 宇部市の学校教育の取組は充実していると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 39.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 17.8% となっています。



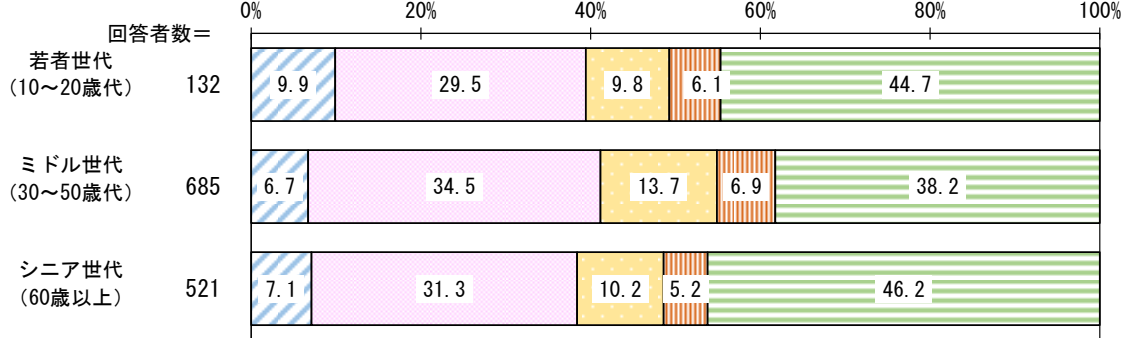
**【性別】**

性別でみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



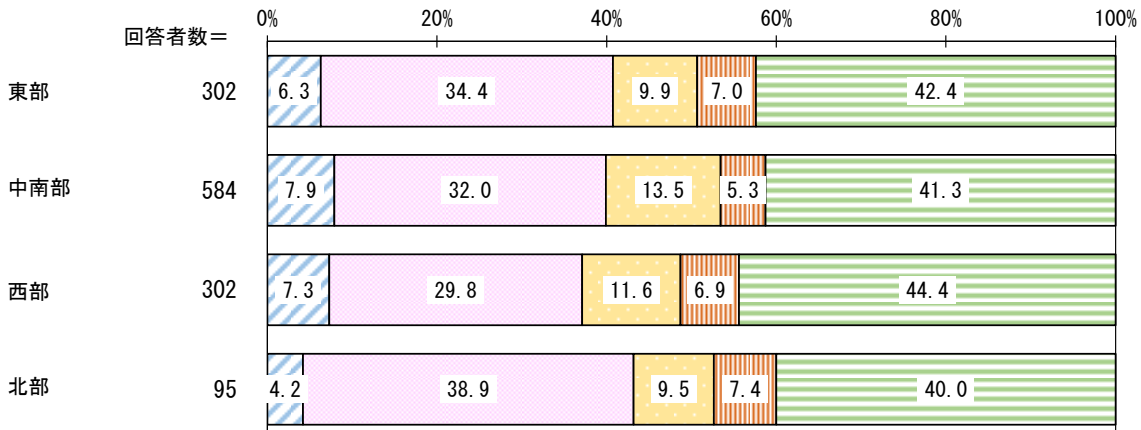
**【世代別】**

世代別でみると、ミドル世代で、“そう思わない”の割合が高くなっています。



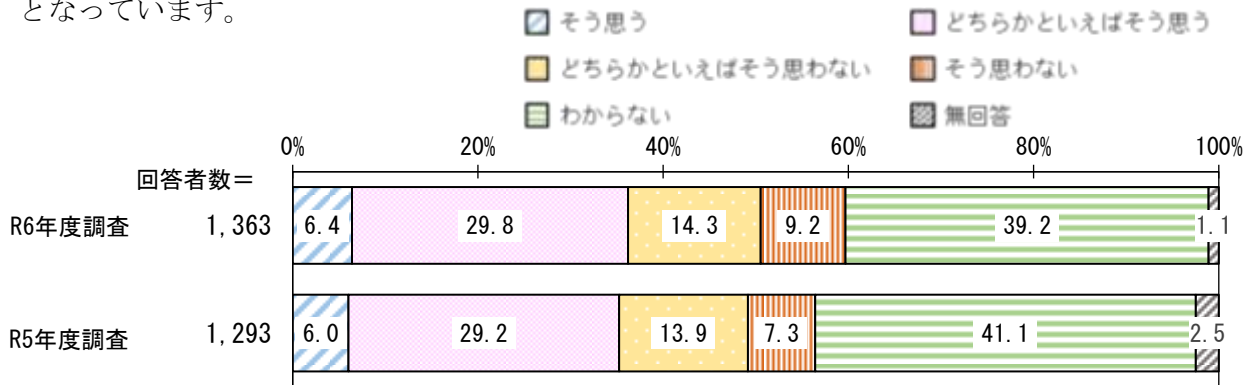
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



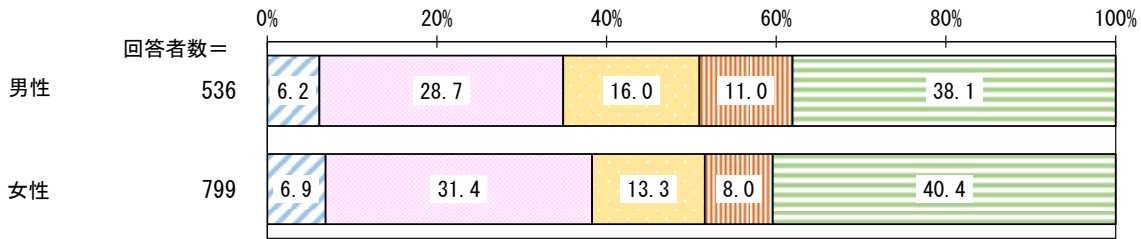
**Q23 保護者や地域の方が学校の様々な活動に参画し、地域ぐるみの教育が進んでいると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が36.2%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が23.5%となっています。



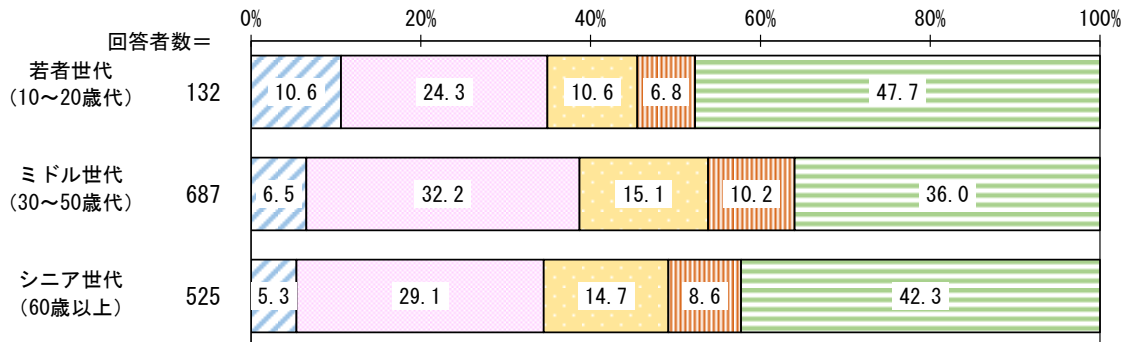
**【性別】**

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



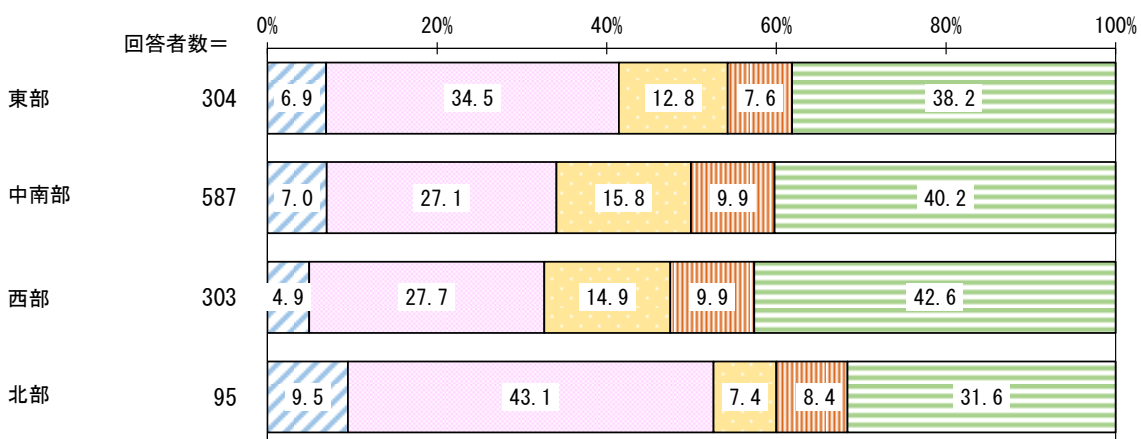
**【世代別】**

世代別でみると、他の世代に比べて、ミドル世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



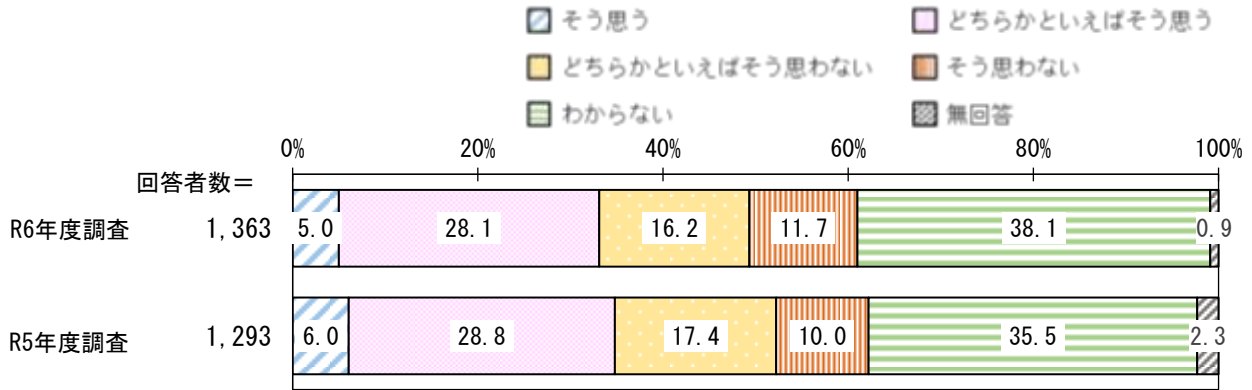
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



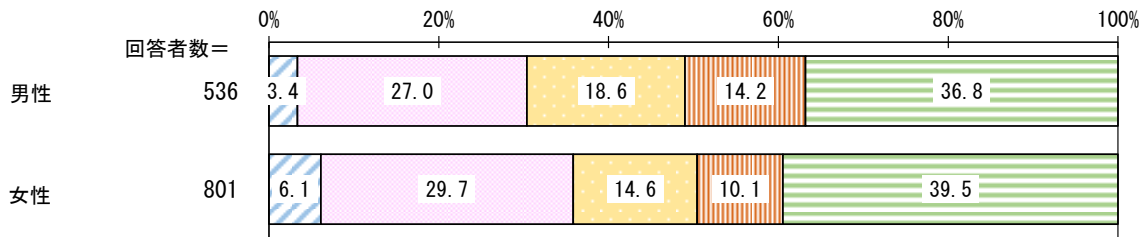
**Q24 生涯学習など、学びの機会に恵まれていると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が33.1%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が27.9%となっています。



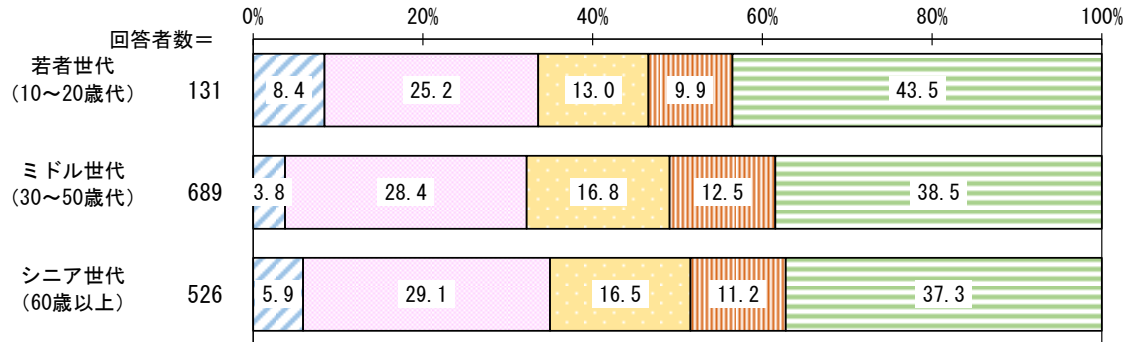
**【性別】**

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



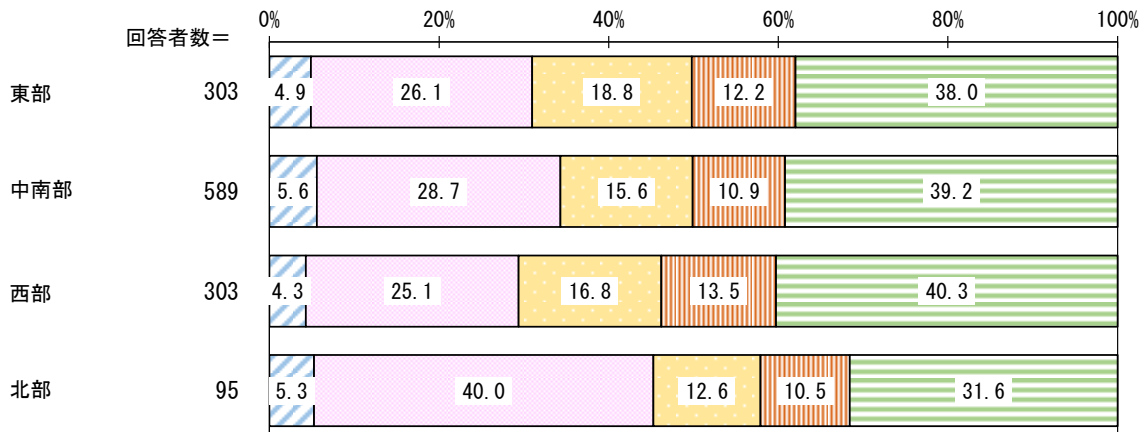
**【世代別】**

世代別でみると、ミドル世代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



**【居住地区別】**

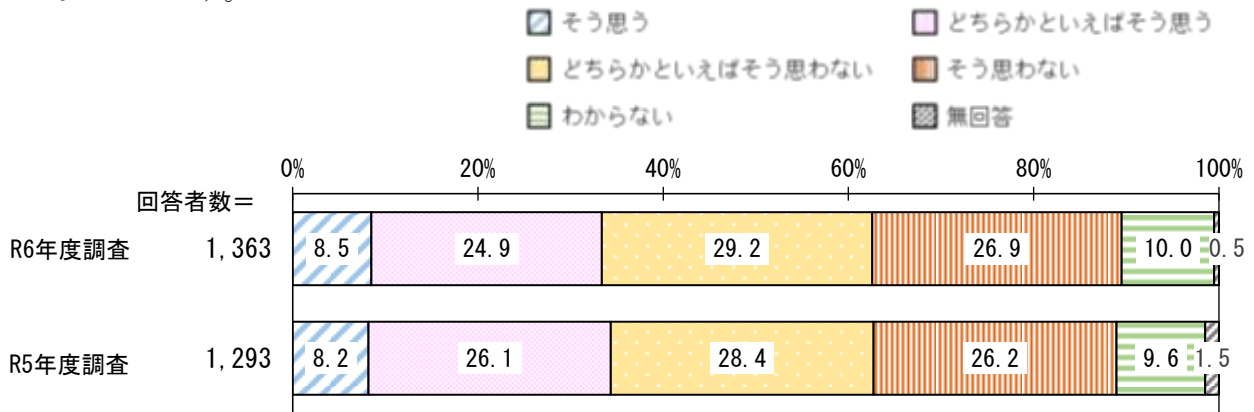
居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



### (3) 観光やイベント、スポーツ・文化活動について

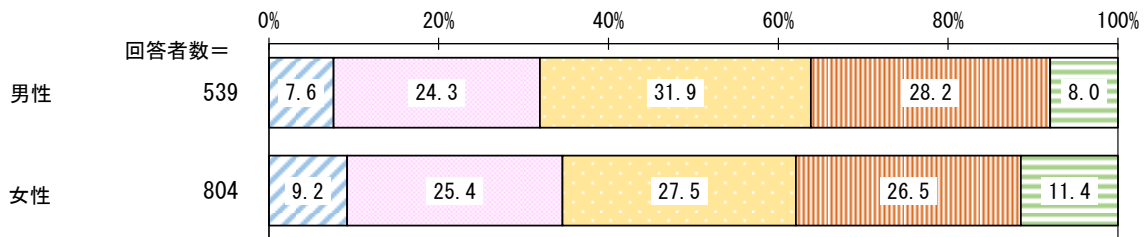
#### Q25 市外の人に自慢できる観光資源があると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が33.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が56.1%となっています。



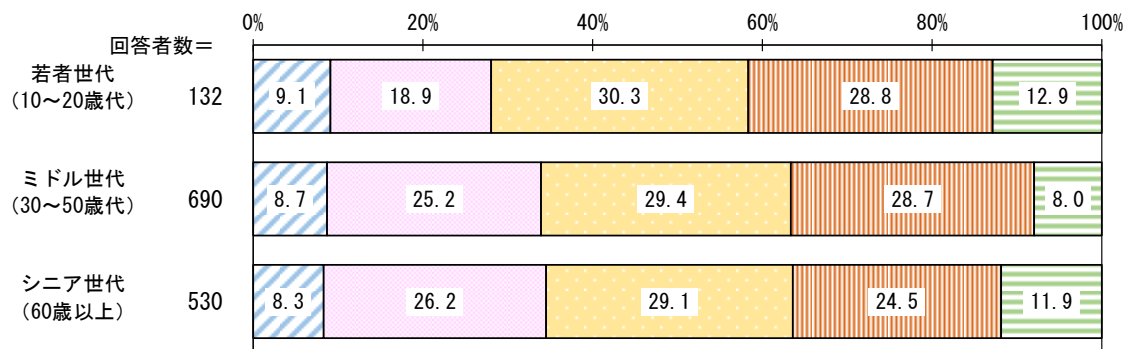
#### 【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



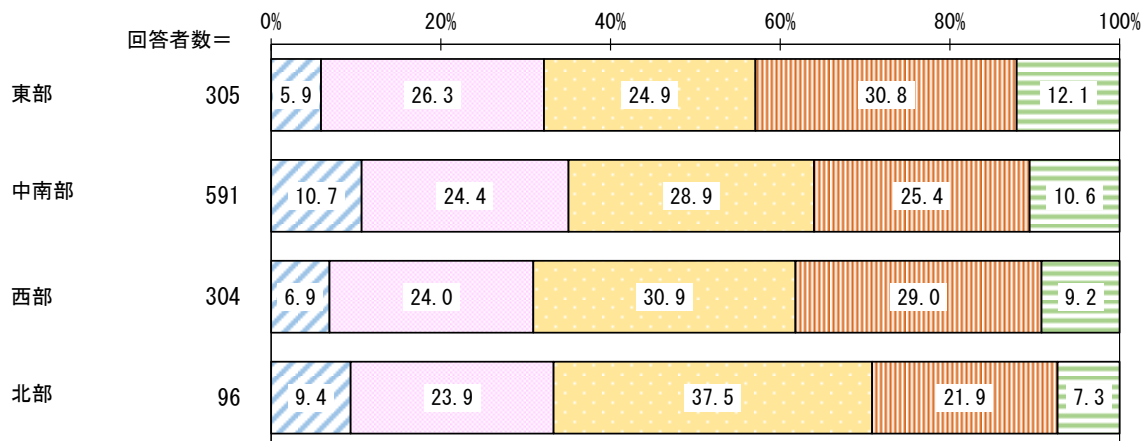
#### 【世代別】

世代別でみると、若者世代で“そう思う”の割合が低くなっています。



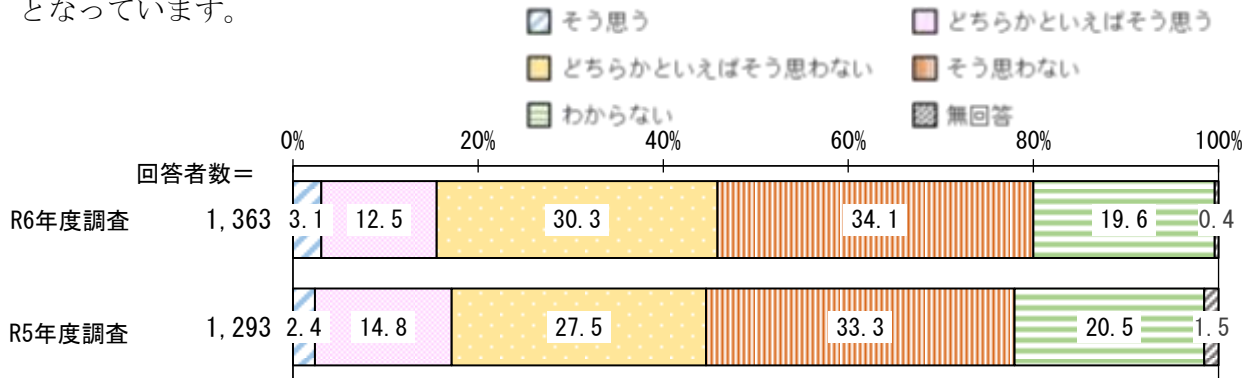
**【居住地区別】**

居住地区別で見ると、他の地区に比べて、中南部地区と北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



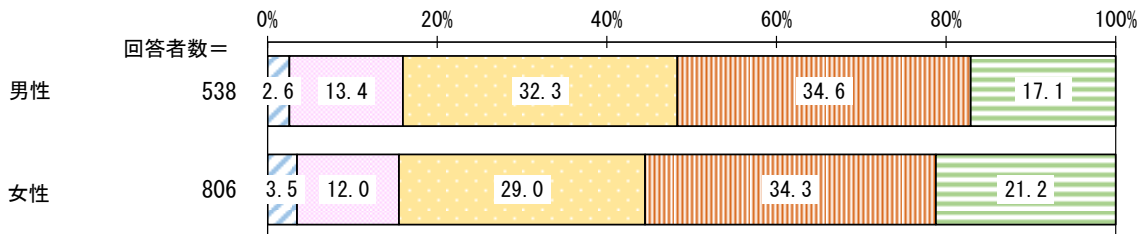
**Q26 大規模な会議や学会、イベント等が盛んに開かれ、市内外から多様な人々が集まっていますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が15.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が64.4%となっています。



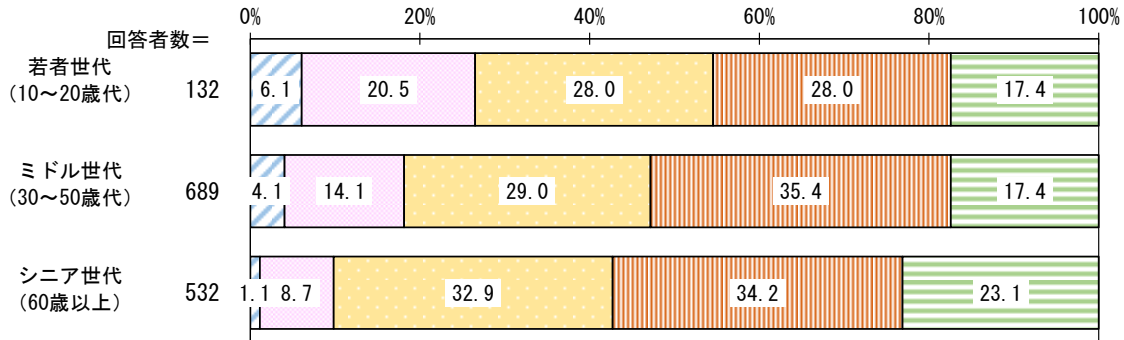
**【性別】**

性別でみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



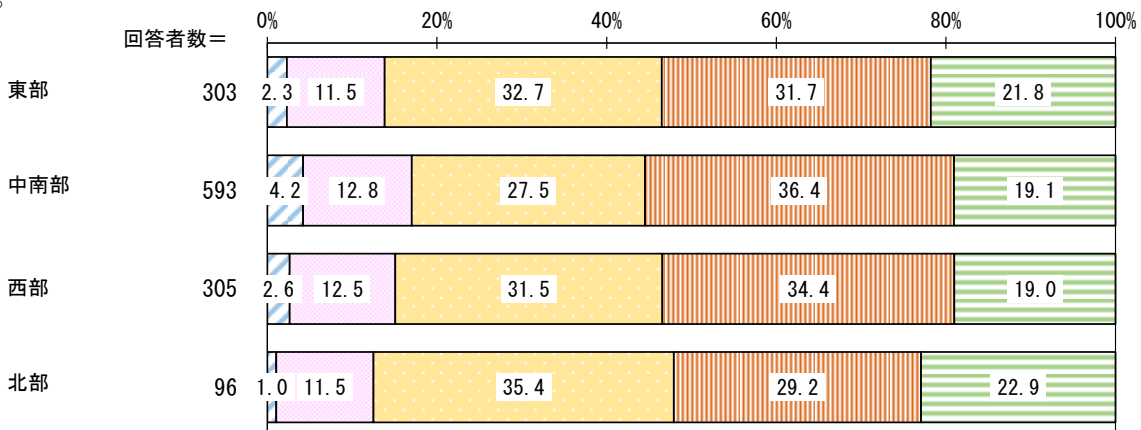
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“そう思う”の割合が低くなる傾向がみられます。



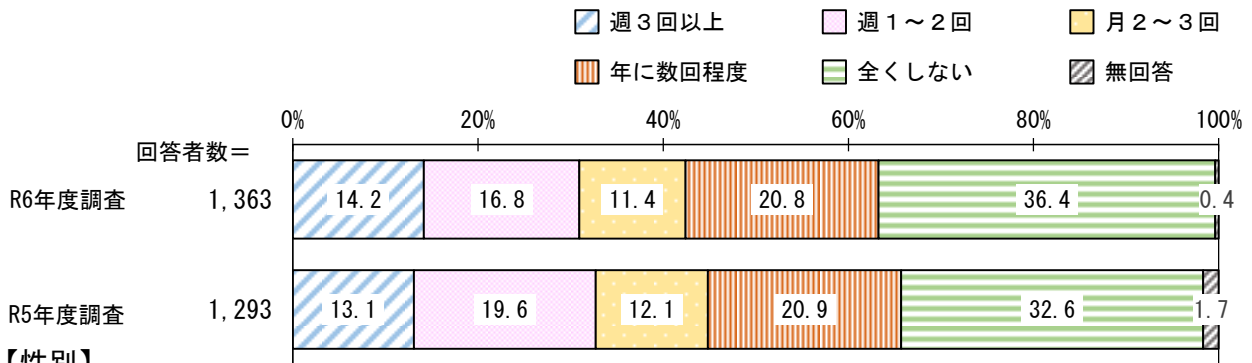
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、中南部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



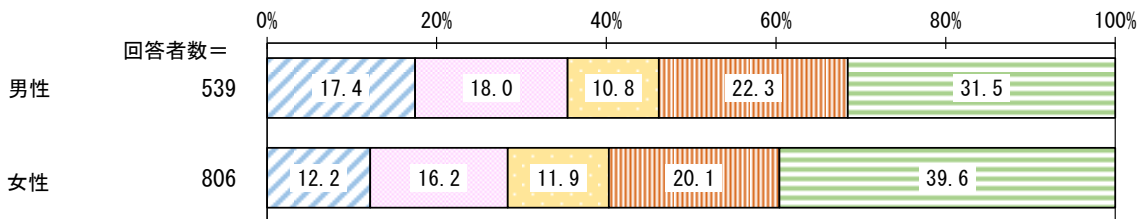
**Q27 あなたは、どのくらいの頻度でスポーツ・レクリエーション活動を行っていますか。(〇は1つ)**

「週に1回以上」スポーツ・レクリエーション活動を行う人が31.0%である一方、「全くしない」人の割合が36.4%となっています。



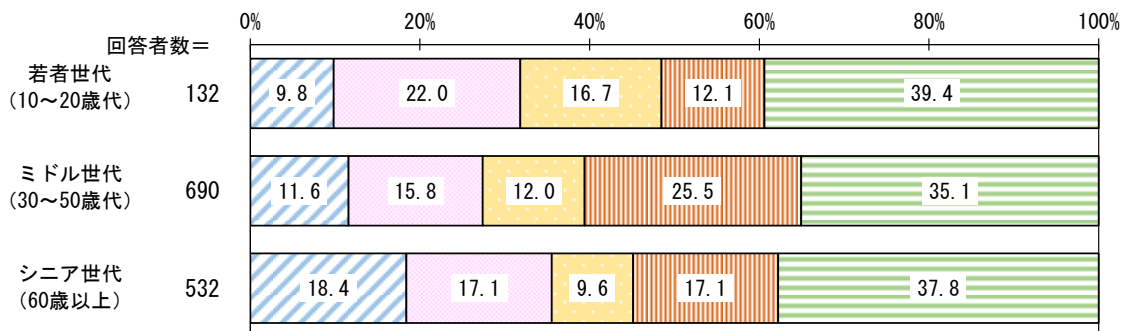
**【性別】**

性別でみると、女性で「全くしない」の割合が高くなっています。



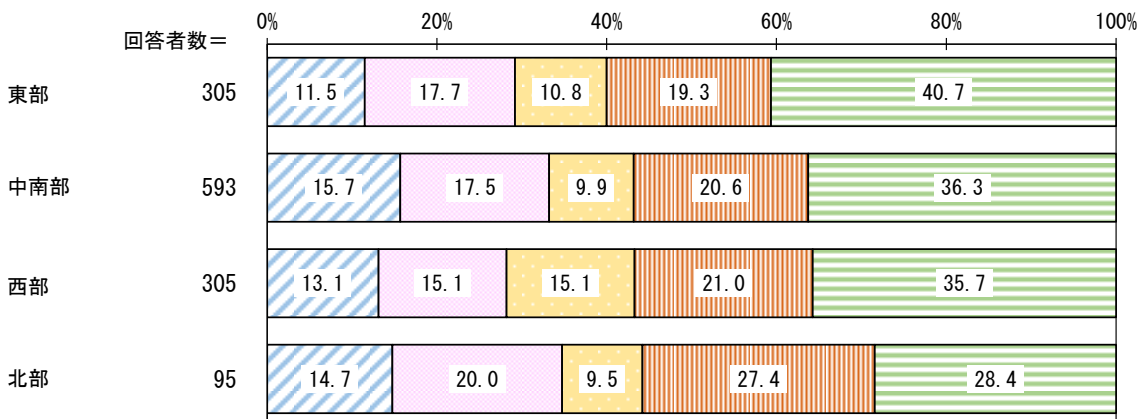
**【世代別】**

世代別でみると、ミドル世代が他の世代に比べて、週1回以上のスポーツ・レクリエーション活動の頻度が低くなっています。



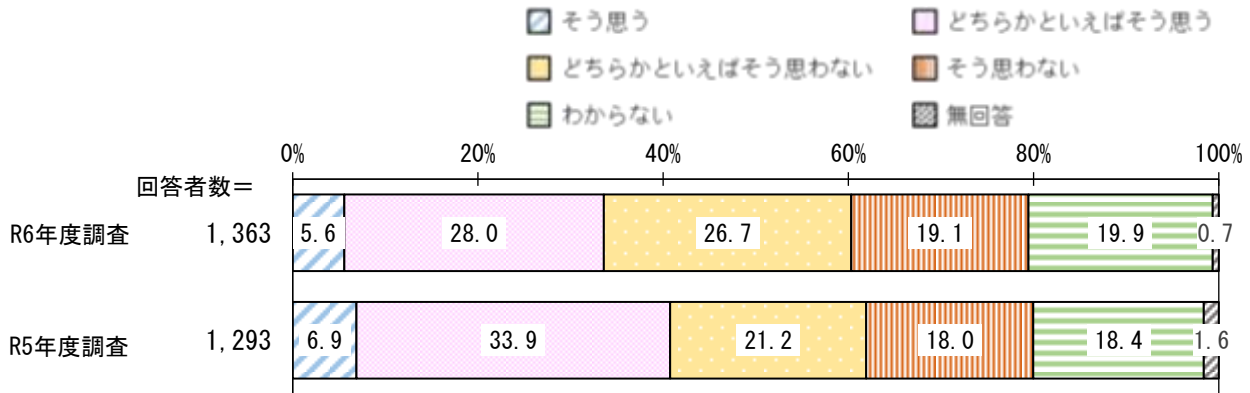
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、中南部地区と北部地区で、週1回以上のスポーツ・レクリエーション活動の頻度が高くなっています。



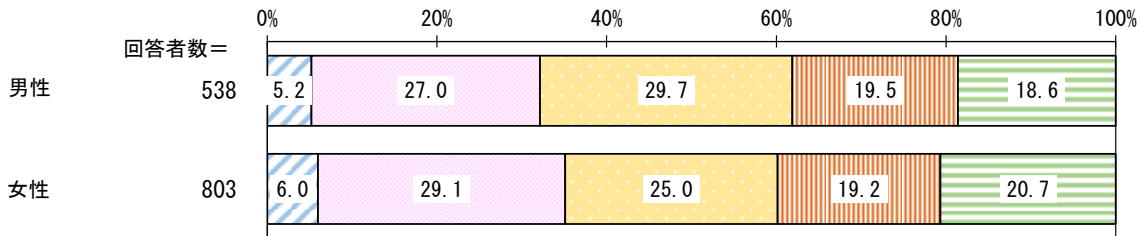
**Q28 文化・芸術に触れる機会に恵まれていると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が33.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が45.8%となっています。



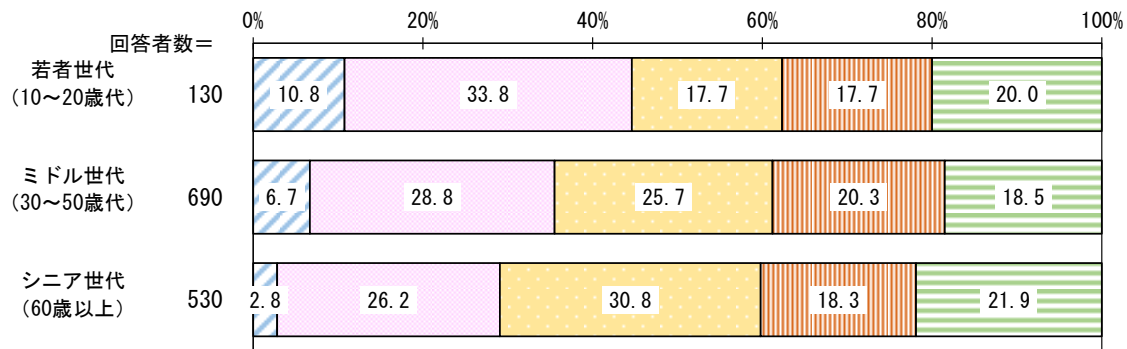
**【性別】**

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



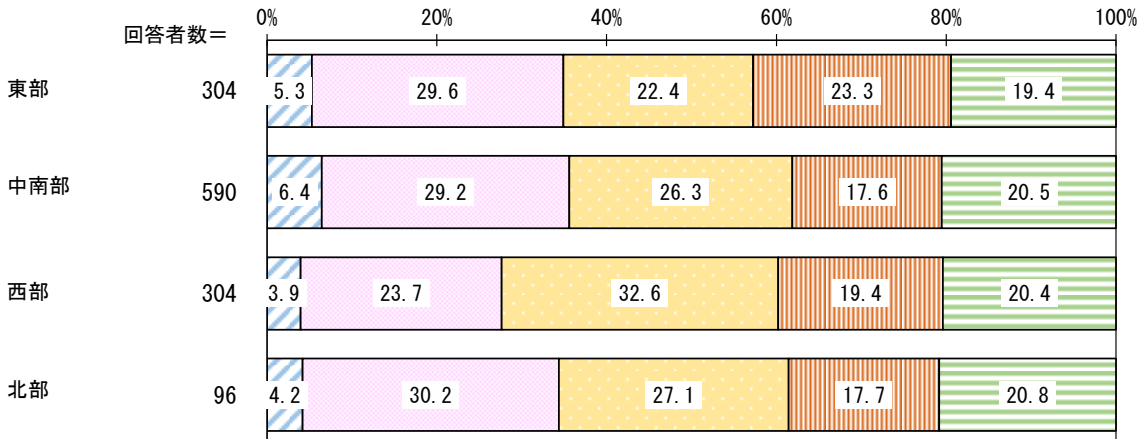
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“そう思う”の割合が低くなる傾向がみられます。



**【居住地区別】**

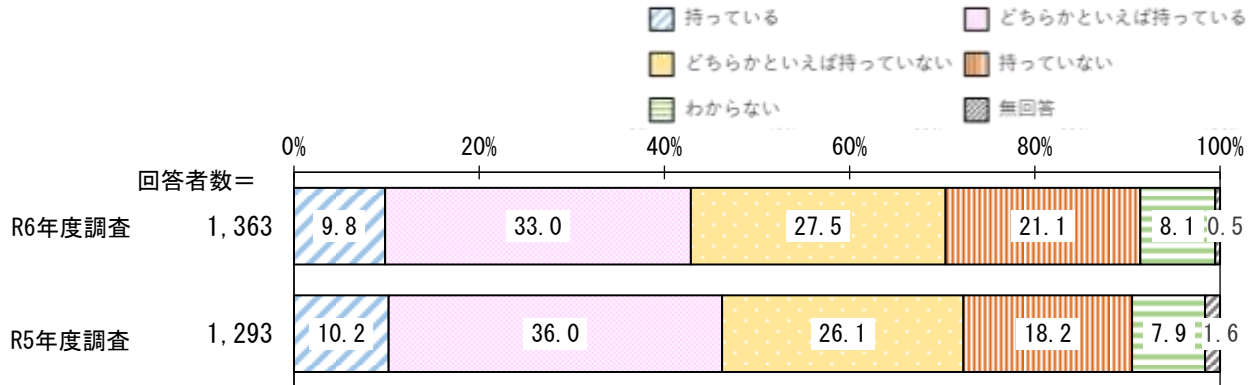
居住地区別でみると、他の地区に比べて、西部地区で“そう思う”の割合が低くなっています。





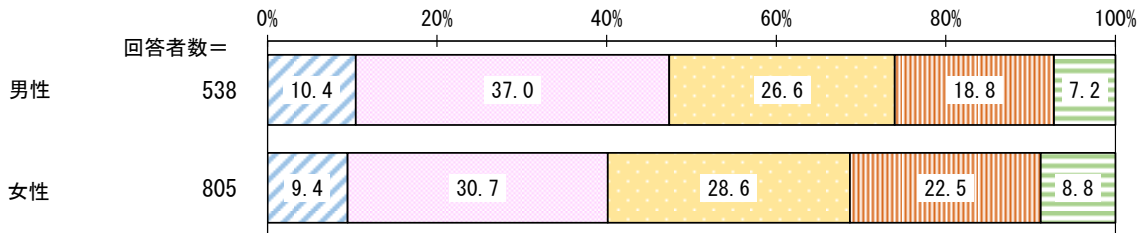
**Q29 宇部市の歴史や文化に関心を持っていますか。(○は1つ)**

「持っている」と「どちらかといえば持っている」を合わせた“持っている”の割合が42.8%、「どちらかといえば持っていない」と「持っていない」を合わせた“持っていない”の割合が48.6%となっています。



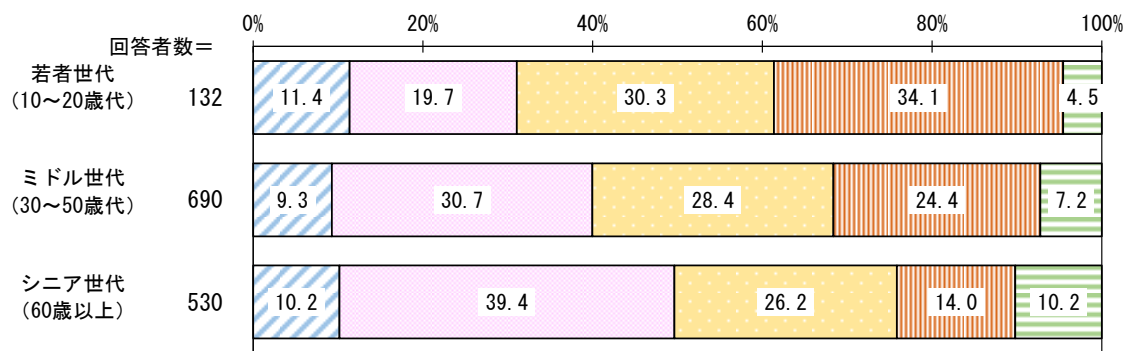
**【性別】**

性別でみると、男性で“持っている”の割合が高くなっています。



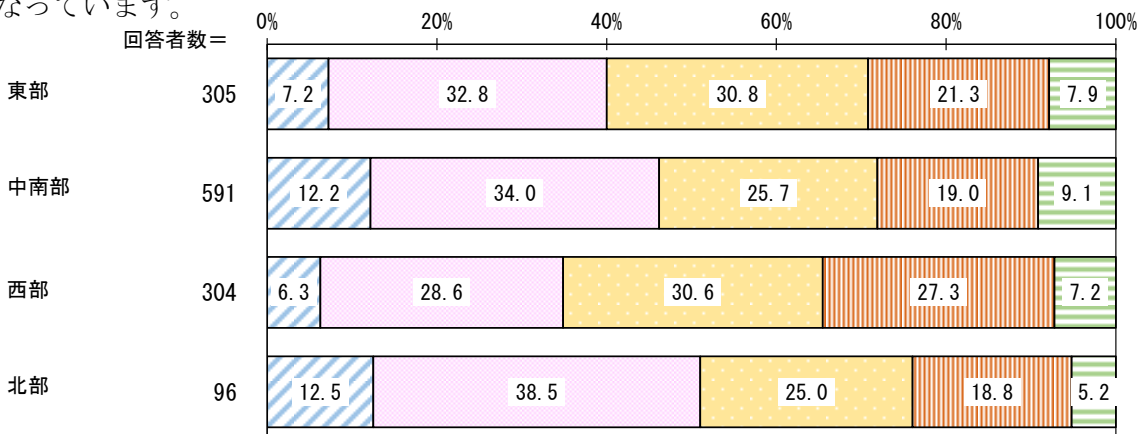
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“持っている”の割合が高くなる傾向が見られます。



**【居住地区別】**

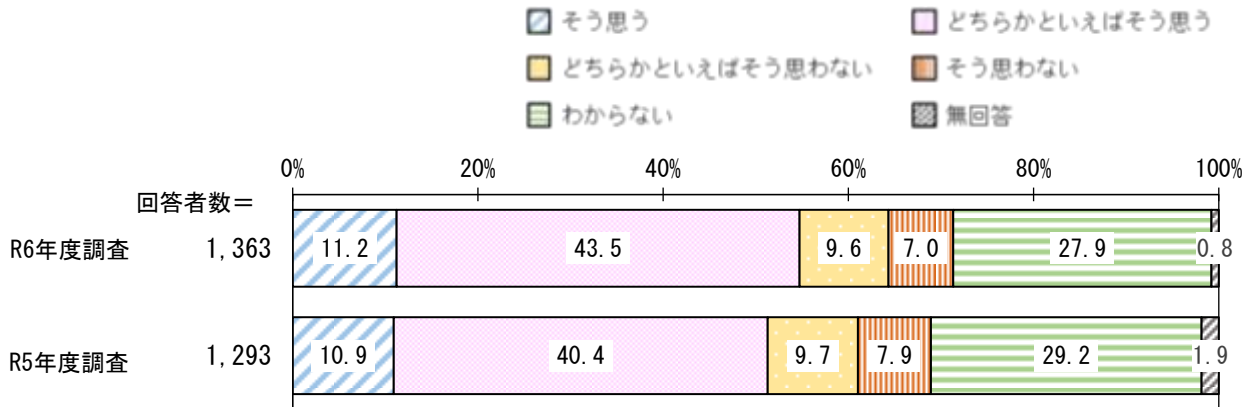
居住地区別でみると、他の地区に比べて、中南部地区と北部地区で“持っている”の割合が高くなっています。



#### (4) 人権尊重や健康・福祉・医療について

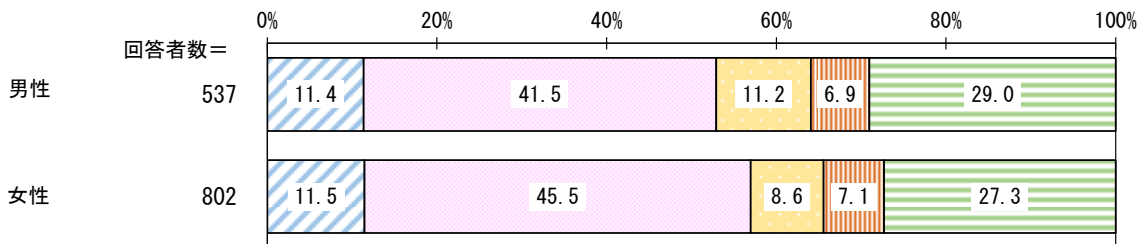
##### Q30 一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が54.7%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が16.6%となっています。



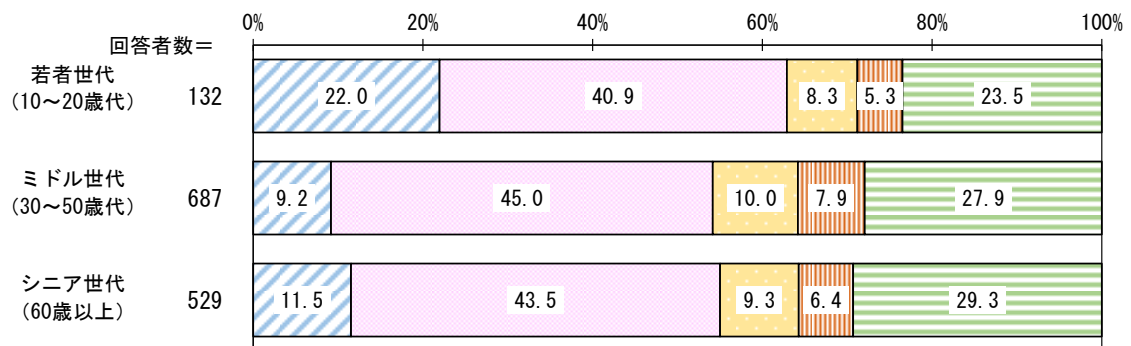
##### 【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



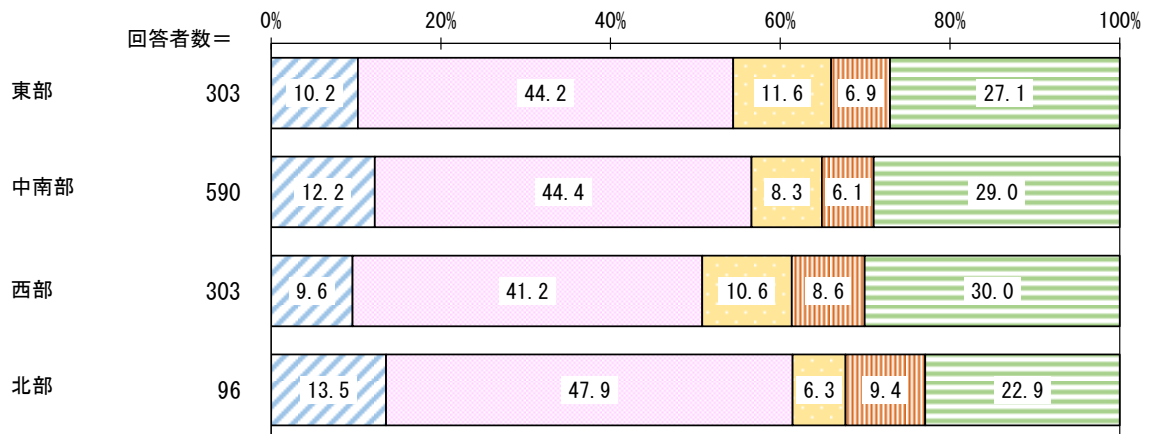
##### 【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べて、若者世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



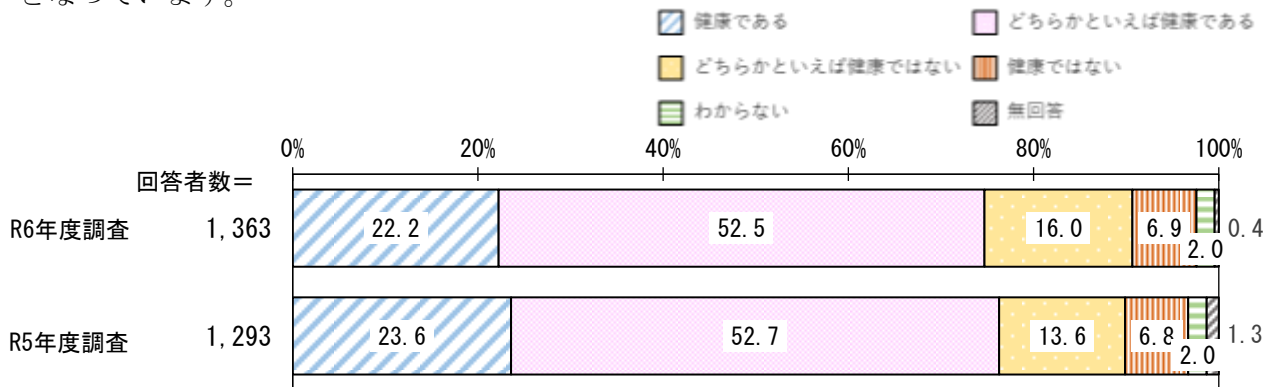
【居住地区別】

居住地区別で見ると、他の地区に比べて、北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



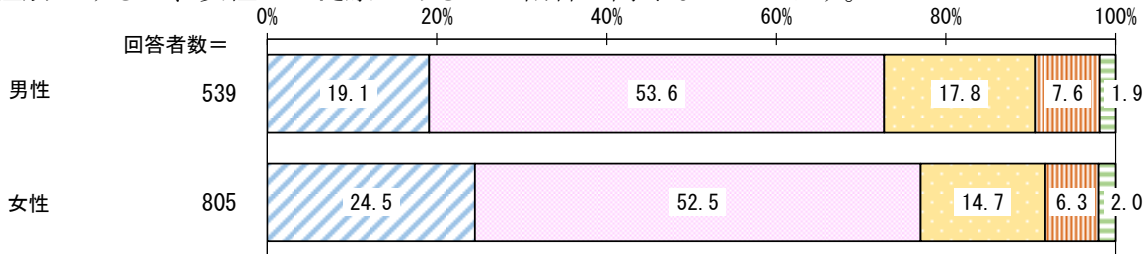
**Q31 あなた自身の健康についてどう感じていますか。(〇は1つ)**

「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた“健康である”の割合が74.7%、「どちらかといえば健康ではない」と「健康ではない」を合わせた“健康ではない”の割合が22.9%となっています。



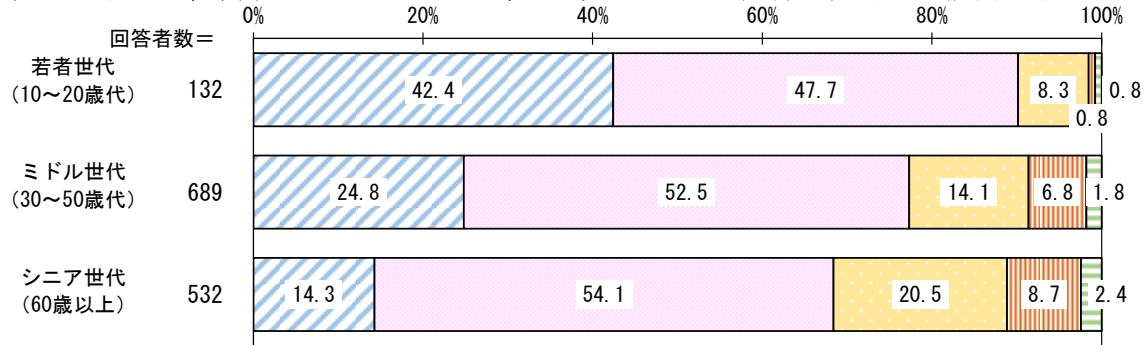
**【性別】**

性別でみると、女性で“健康である”の割合が高くなっています。



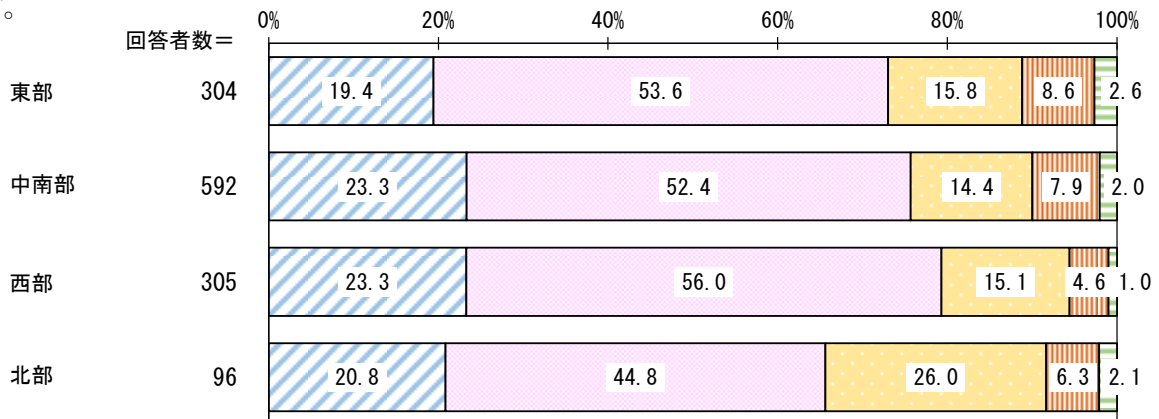
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“健康である”の割合が低くなる傾向がみられます。



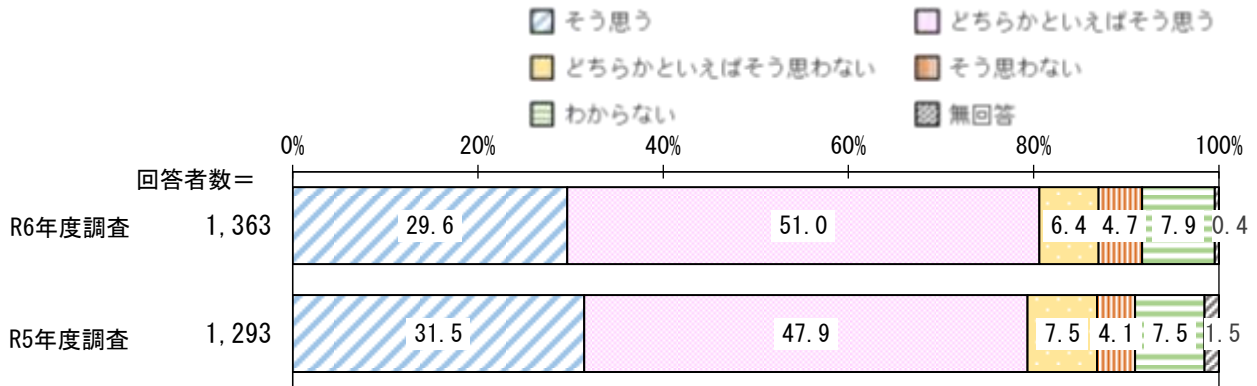
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、西部地区で“健康である”の割合が高くなっています。



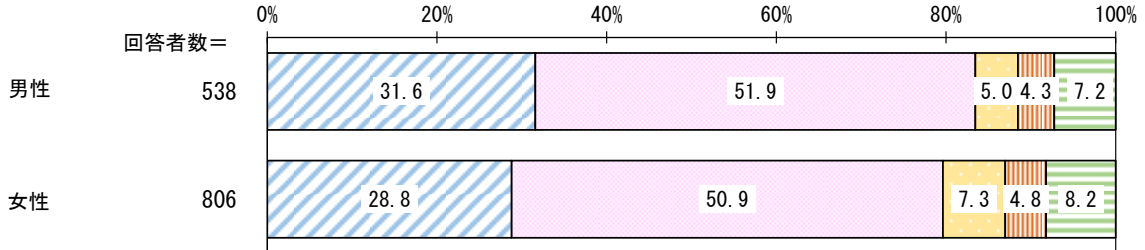
**Q32 医療体制が充実していると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が80.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が11.1%となっています。



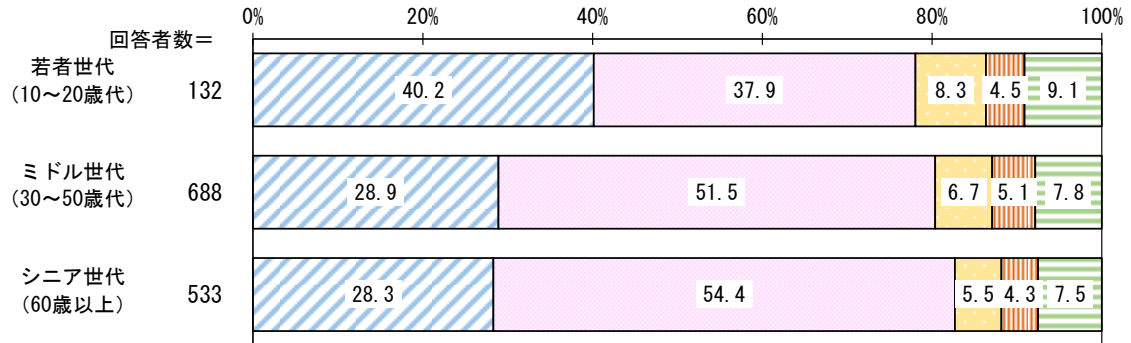
**【性別】**

性別でみると、男性で“そう思う”の割合が高くなっています。



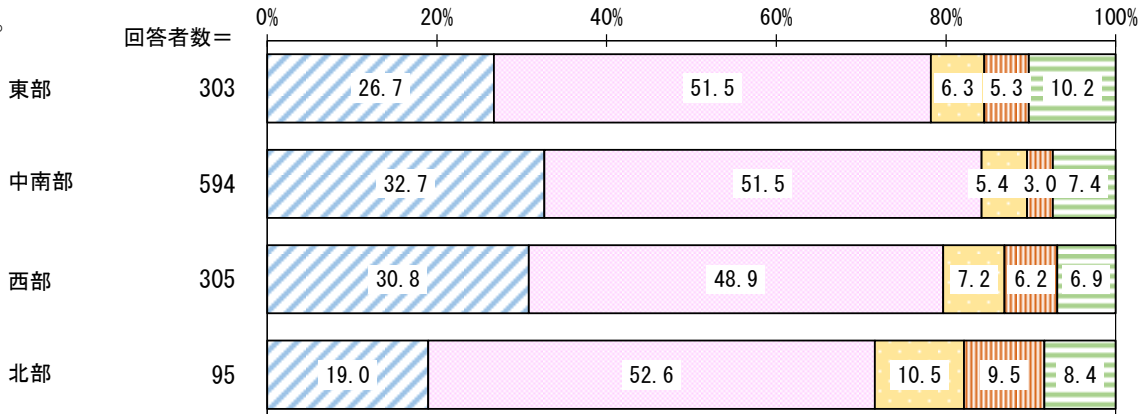
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“そう思う”の割合が高くなっています。



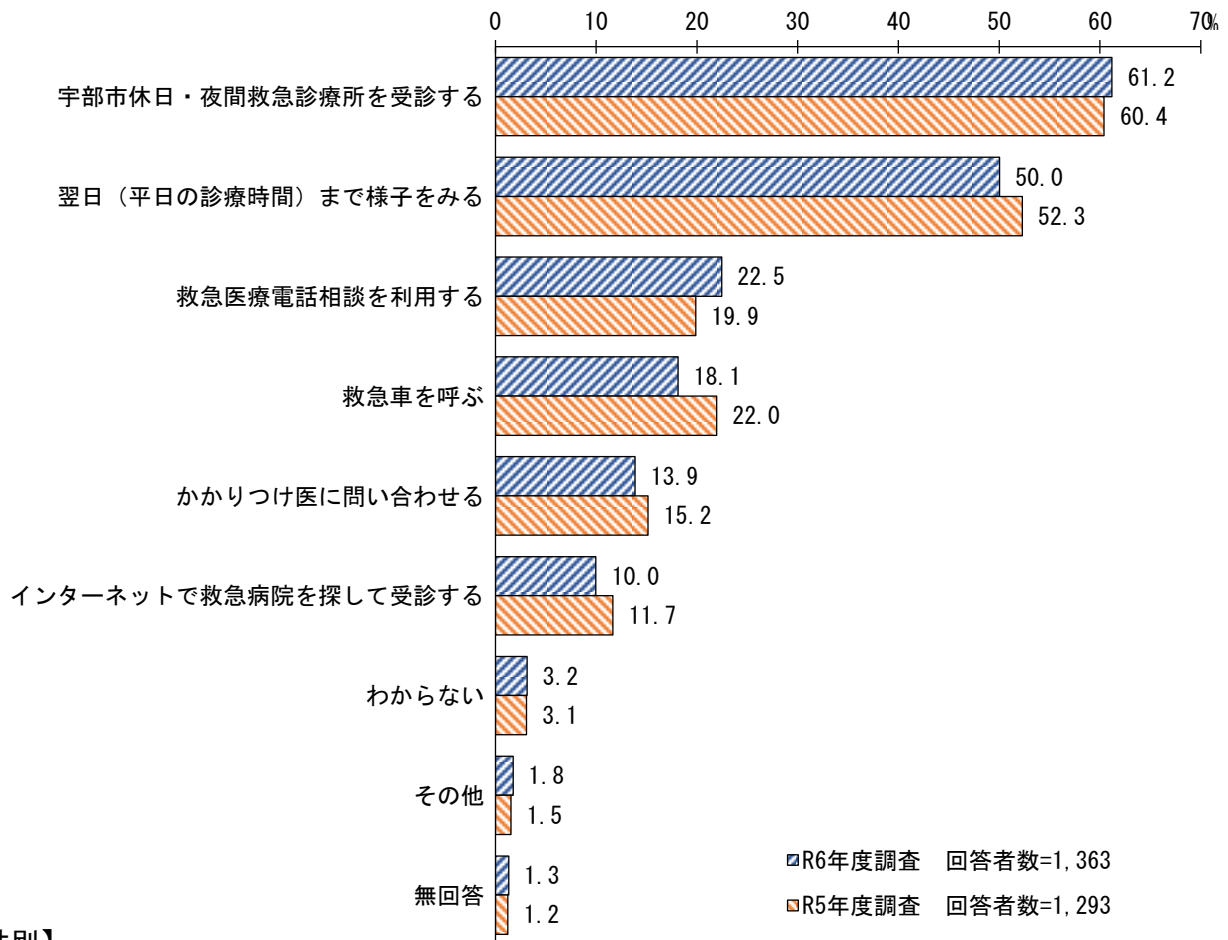
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、中南部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



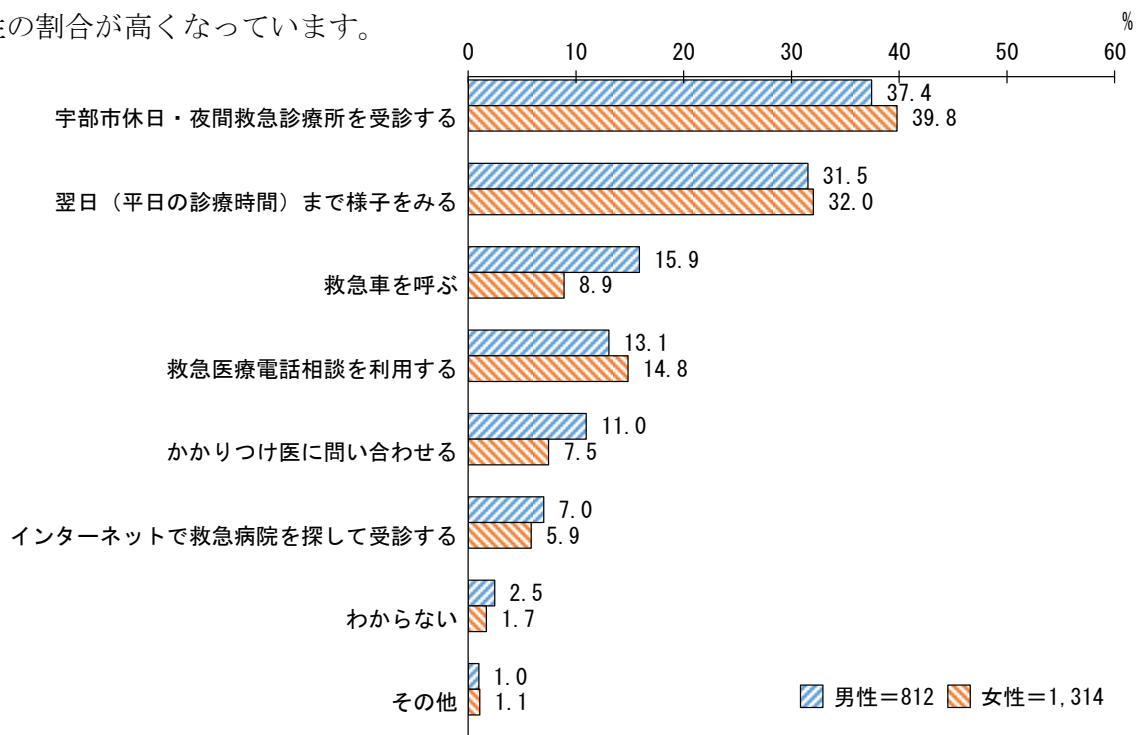
**Q33 夜間や休日など、診療時間外に体調不良となったとき、どうしますか。(〇は3つまで)**

「宇部市休日・夜間救急診療所を受診する」が61.2%と最も多く、次に「翌日（平日の診療時間）まで様子をみる」が50.0%、「救急医療電話相談を利用する」が22.5%となっています。



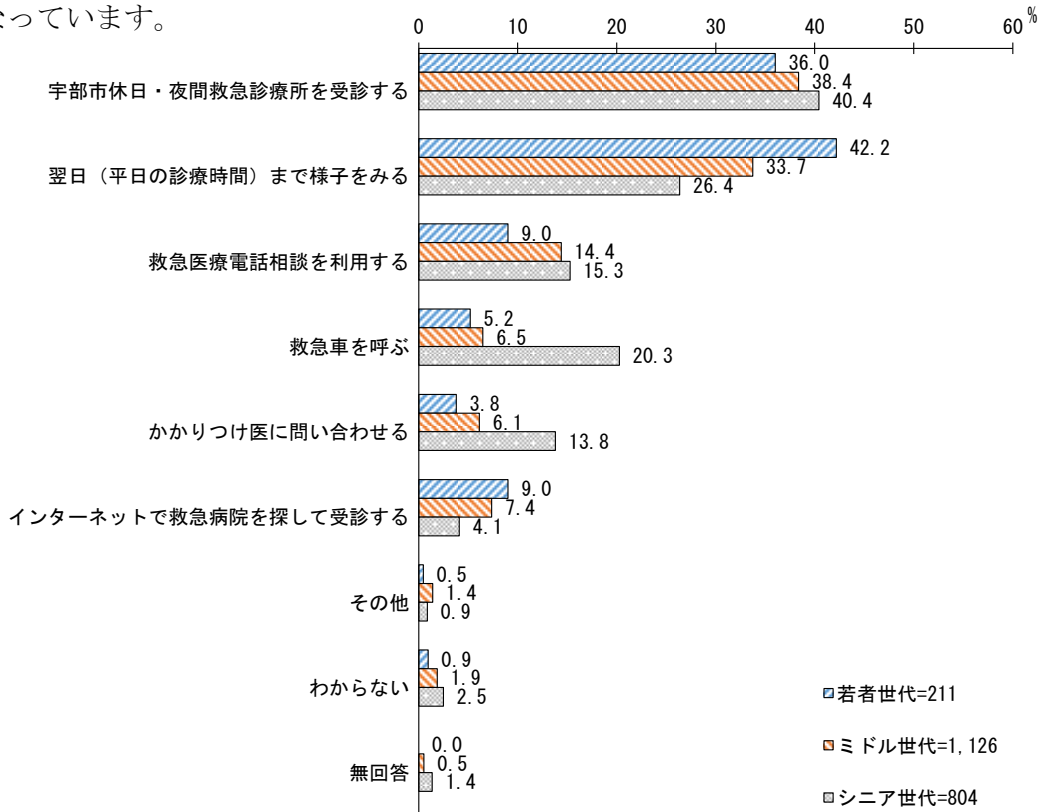
**【性別】**

性別でみると、「宇部市休日・夜間救急診療所を受診する」では女性が、「救急車を呼ぶ」では男性の割合が高くなっています。



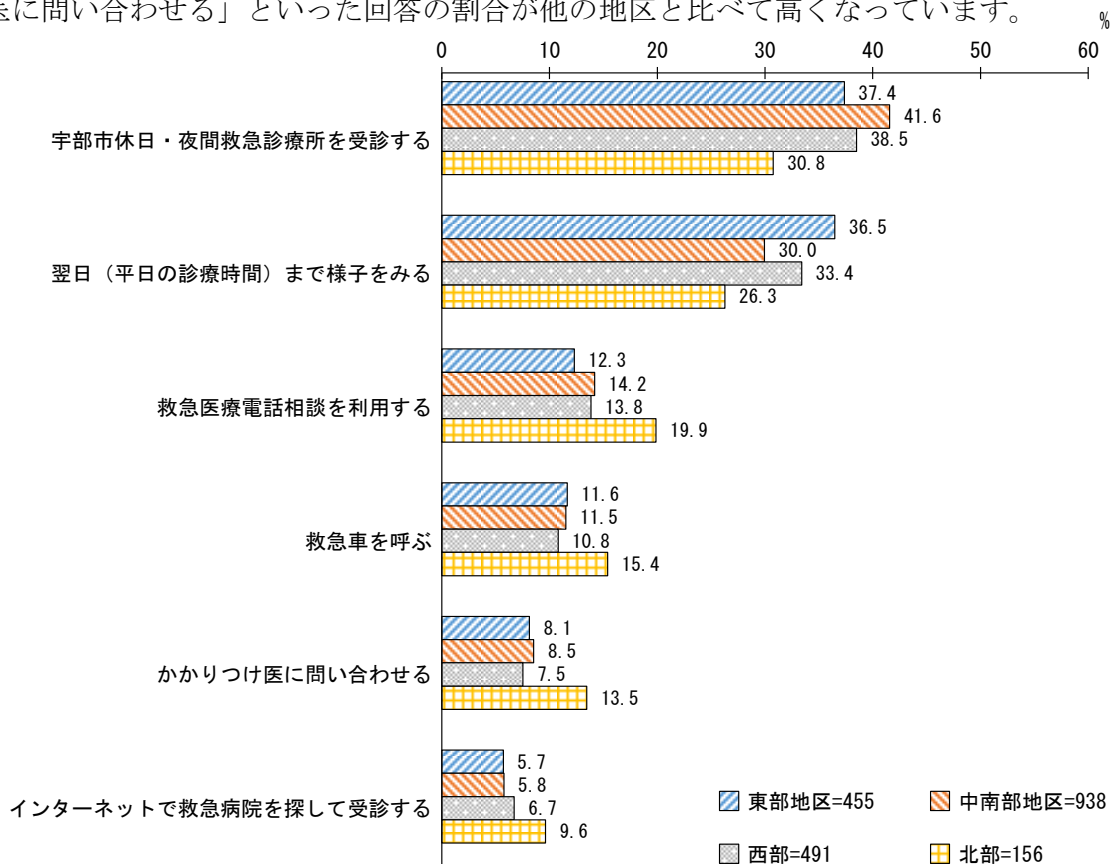
## 【世代別】

世代別でみると、若者世代とミドル世代では、「翌日（平日の診療時間）まで様子を見る」の割合が高く、シニア世代では、「宇部市休日・夜間救急診療所を受診する」「救急車を呼ぶ」の割合が高くなっています。



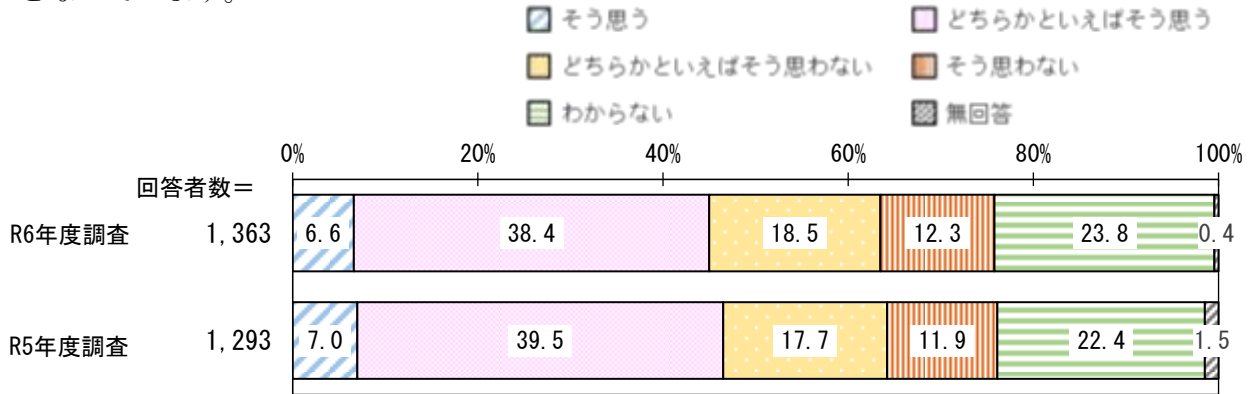
## 【居住地区別】

居住地区別では、北部地区において「救急医療電話相談を利用する」「救急車を呼ぶ」「かかりつけ医に問い合わせる」といった回答の割合が他の地区と比べて高くなっています。



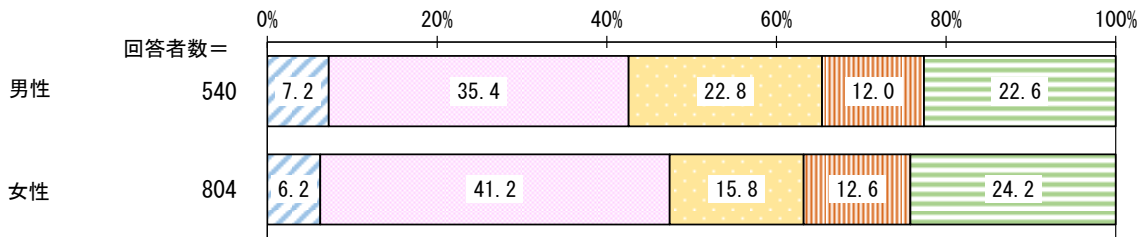
**Q34 お住まいの地域では、支えあいの仕組みや自分らしく暮らせる環境が整っていると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が45.0%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が30.8%となっています。



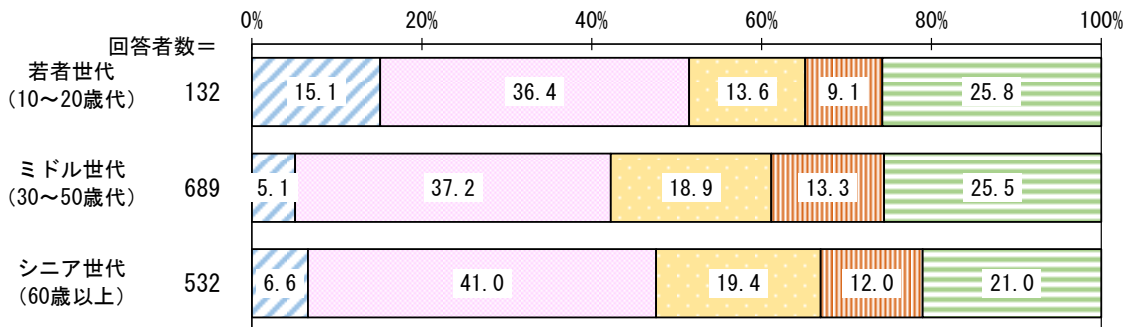
**【性別】**

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



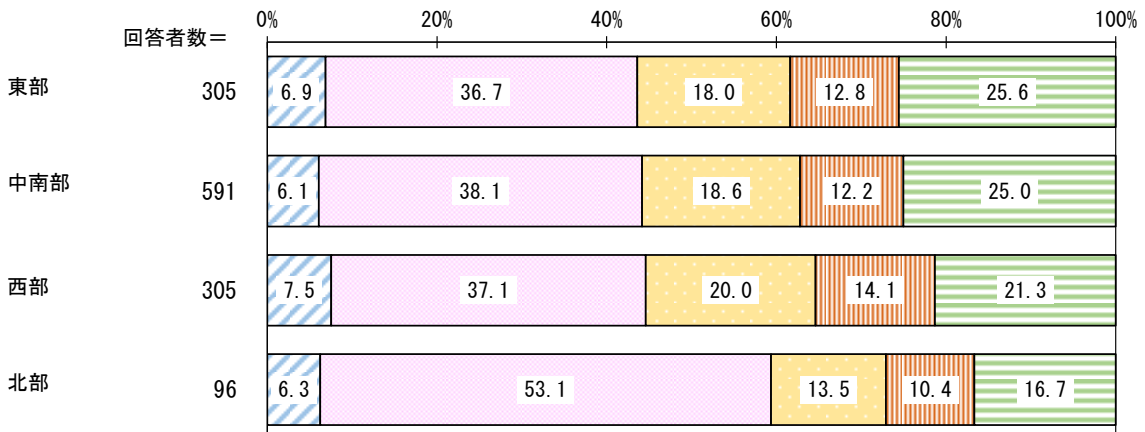
**【世代別】**

世代別でみると、他の世代に比べて、ミドル世代で“そう思う”の割合が低くなっています。



**【居住地区別】**

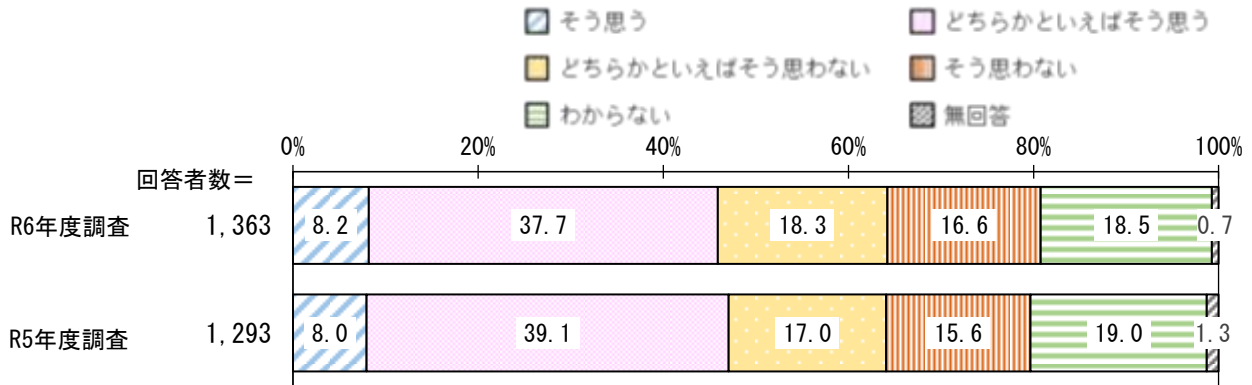
居住地区別でみると、北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。





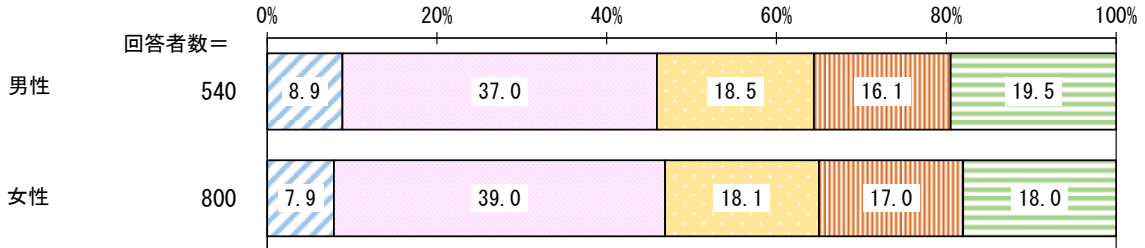
**Q35 高齢になっても安心して暮らせることができますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が45.9%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が34.9%となっています。



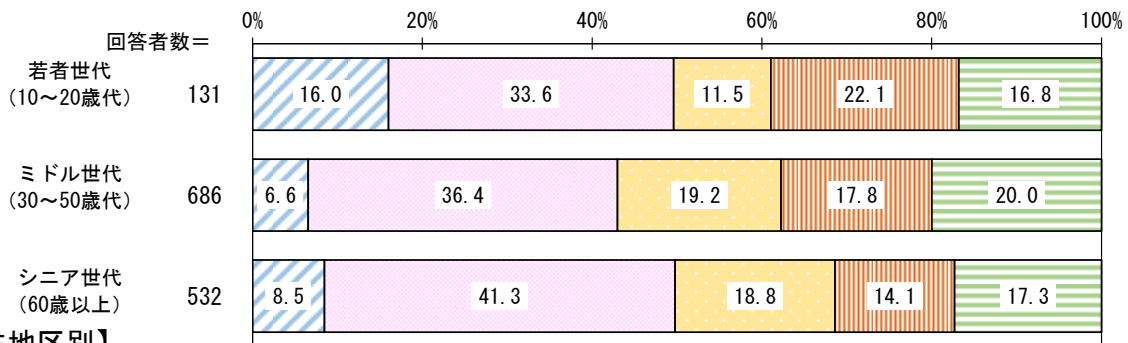
**【性別】**

性別でみると、大きな差異は見られません。



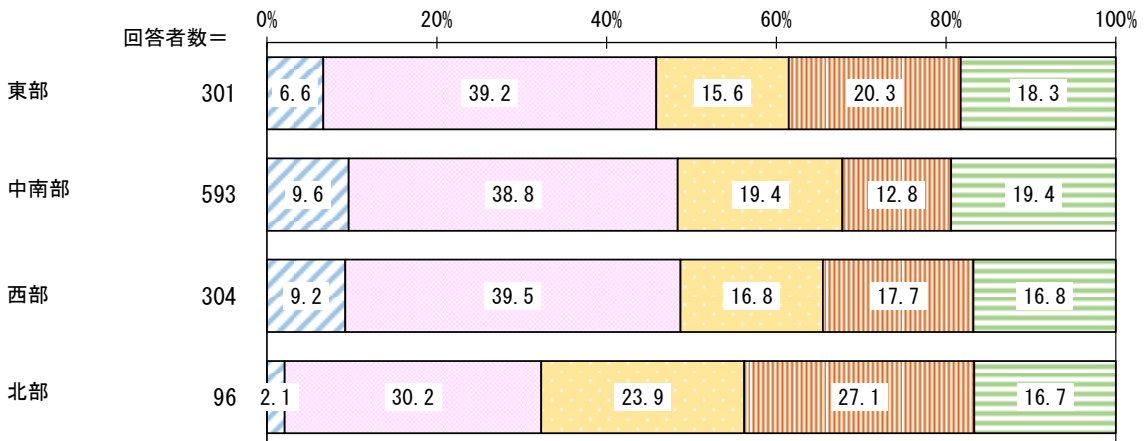
**【世代別】**

世代別でみると、他の世代に比べて、ミドル世代で“そう思う”の割合が低くなっています。



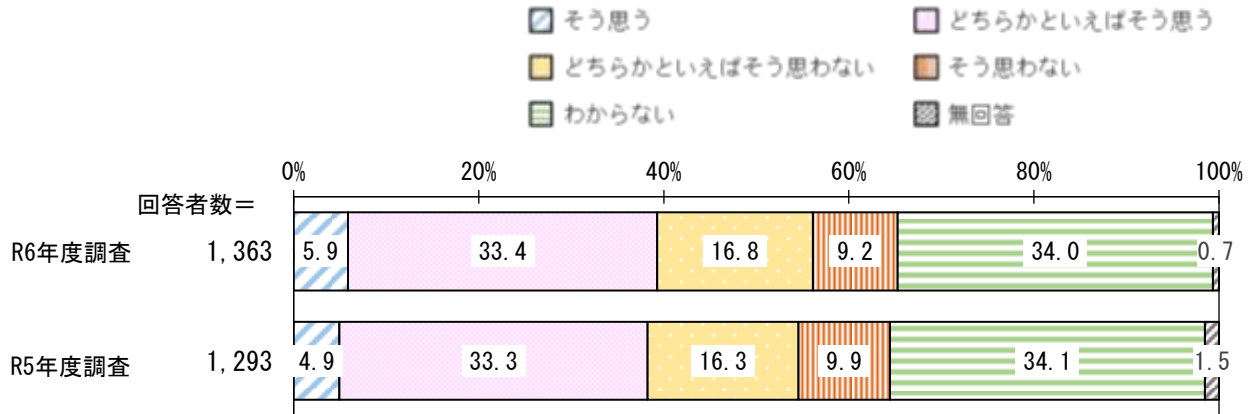
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で“そう思う”の割合が低くなっています。



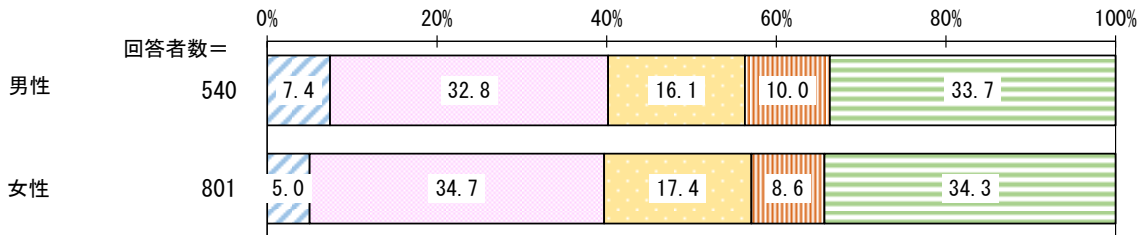
**Q36 障害のある人や障害について、地域の人々の理解がありますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が39.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が26.0%となっています。



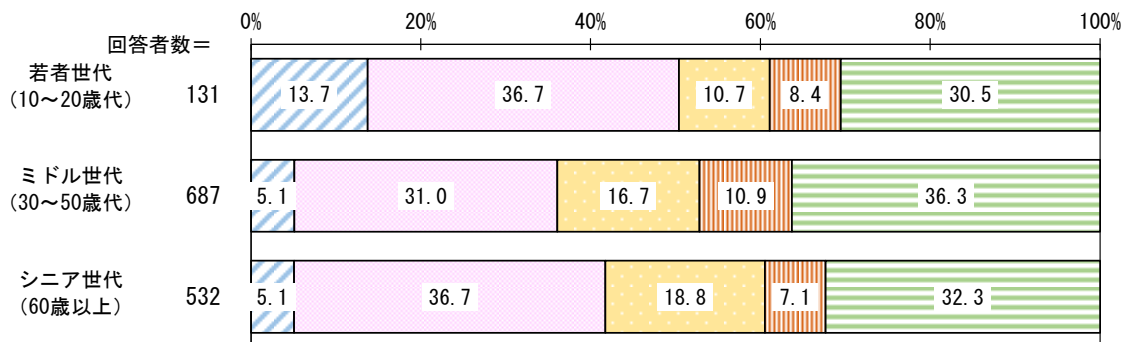
**【性別】**

性別でみると、大きな差異はみられません。



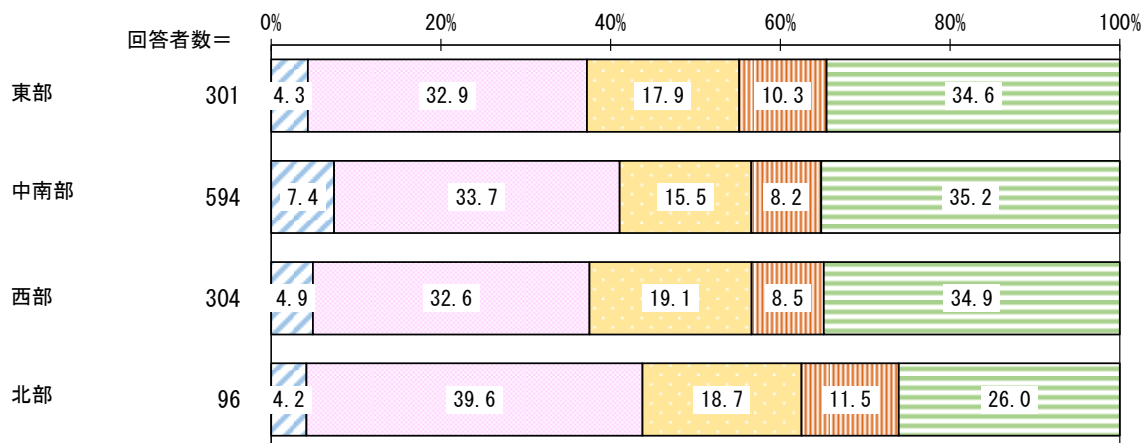
**【世代別】**

世代別でみると、他の世代に比べて、ミドル世代で“そう思う”の割合が低くなっています。



### 【居住地区別】

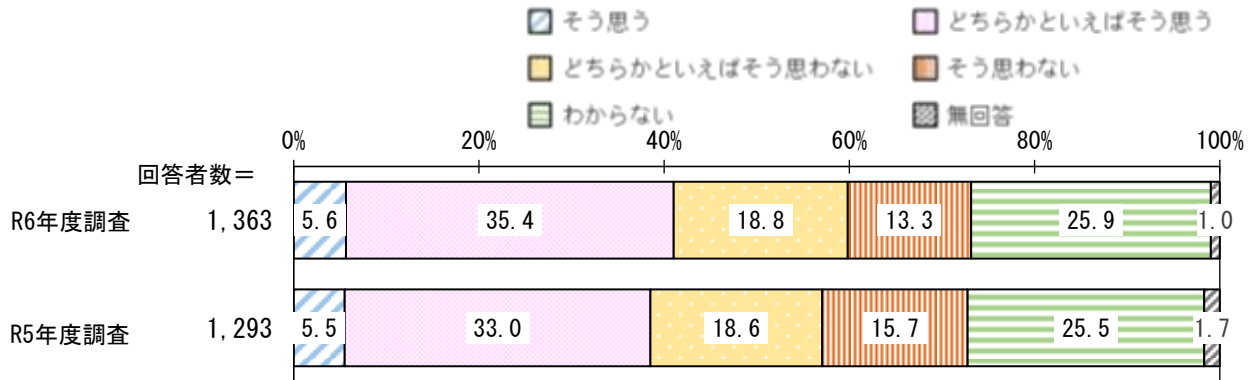
居住地区別で見ると、他の地区に比べて、北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



(5) コミュニティや環境保全、安心安全、都市基盤などについて

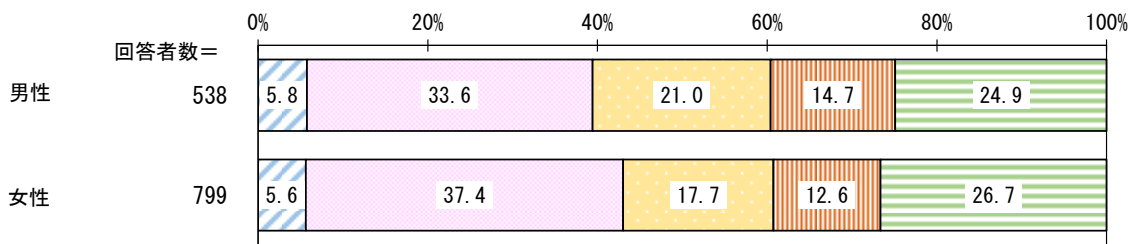
Q37 お住まいの地域では、地域コミュニティ活動が活発だと思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が41.0%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が32.1%となっています。



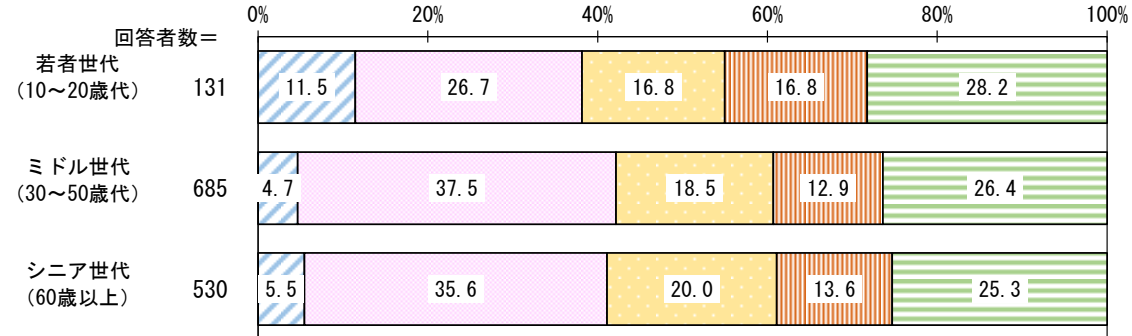
【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



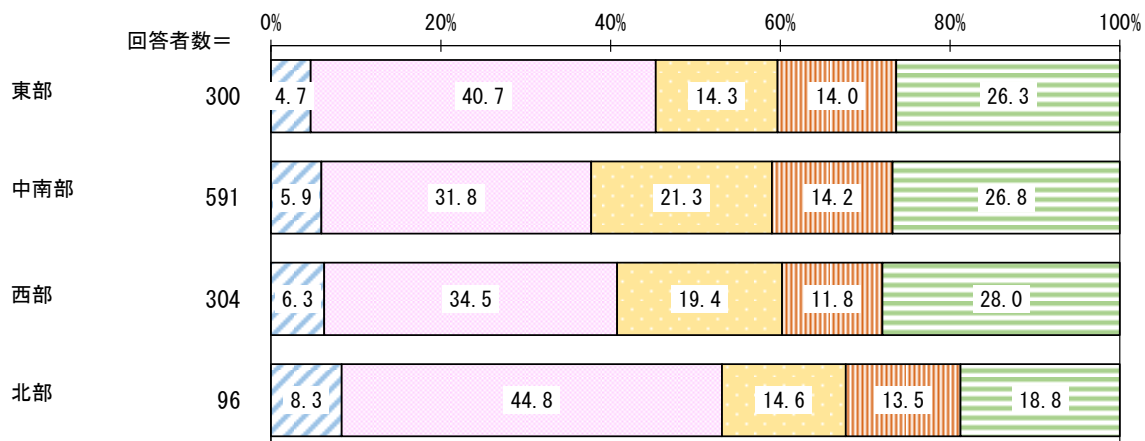
【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べて、若者世代で“そう思う”の割合が低くなっています。



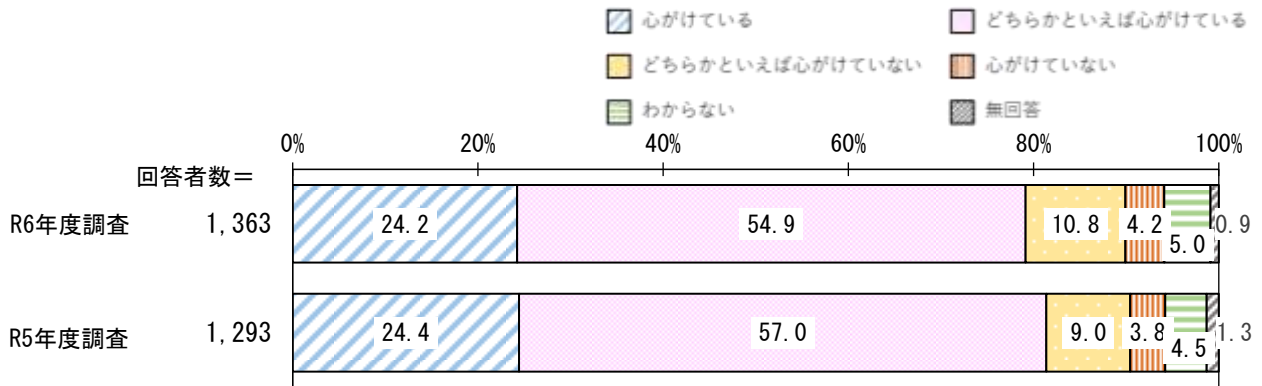
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



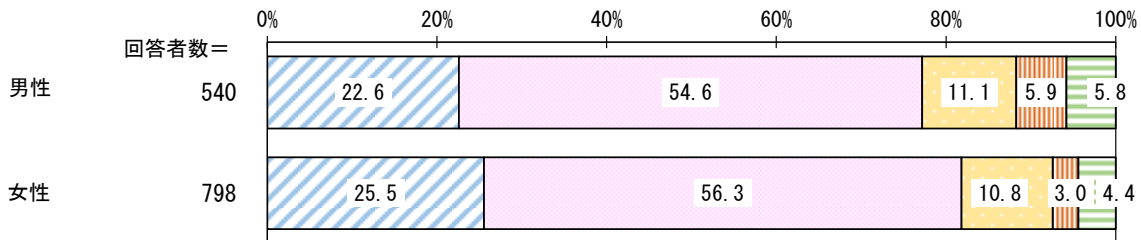
**Q38 日々の暮らしで、省資源や省エネルギーに心がけていますか。(〇は1つ)**

「心がけている」と「どちらかといえば心がけている」を合わせた“心がけている”の割合が79.1%、「どちらかといえば心がけていない」と「心がけていない」を合わせた“心がけていない”の割合が15.0%となっています。



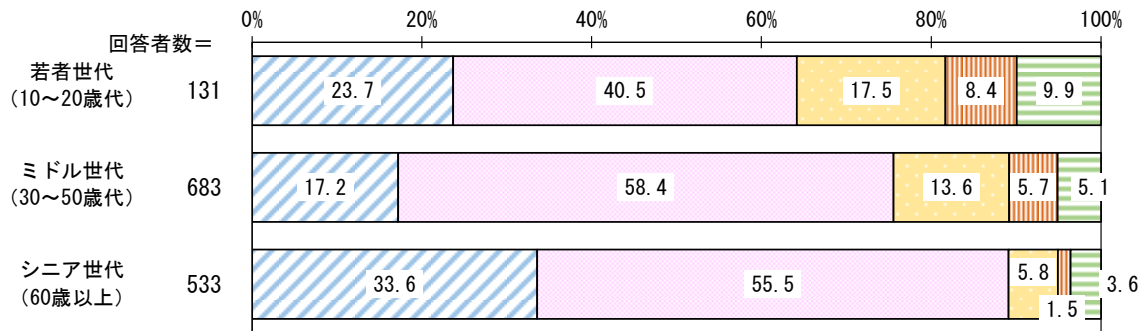
**【性別】**

性別でみると、女性で“心がけている”の割合が高くなっています。



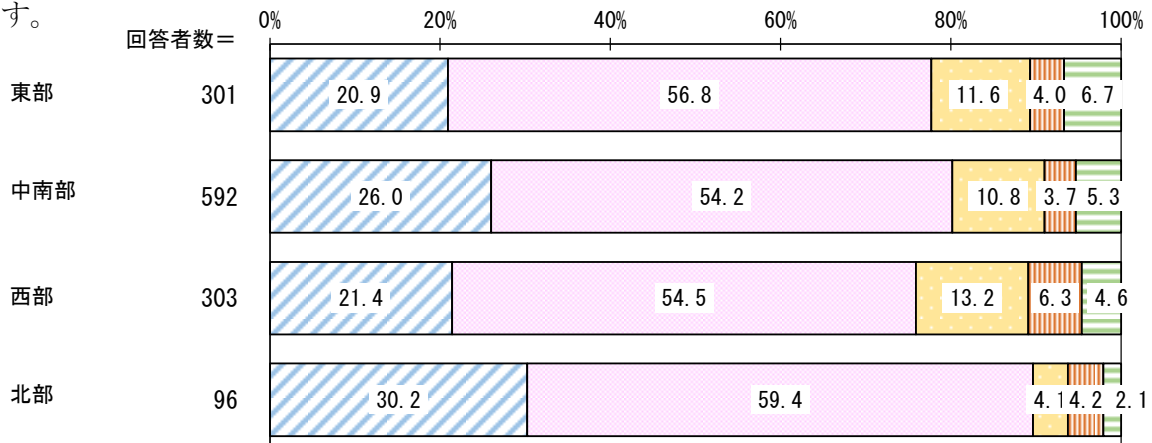
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“心がけている”の割合が高くなる傾向がみられます。



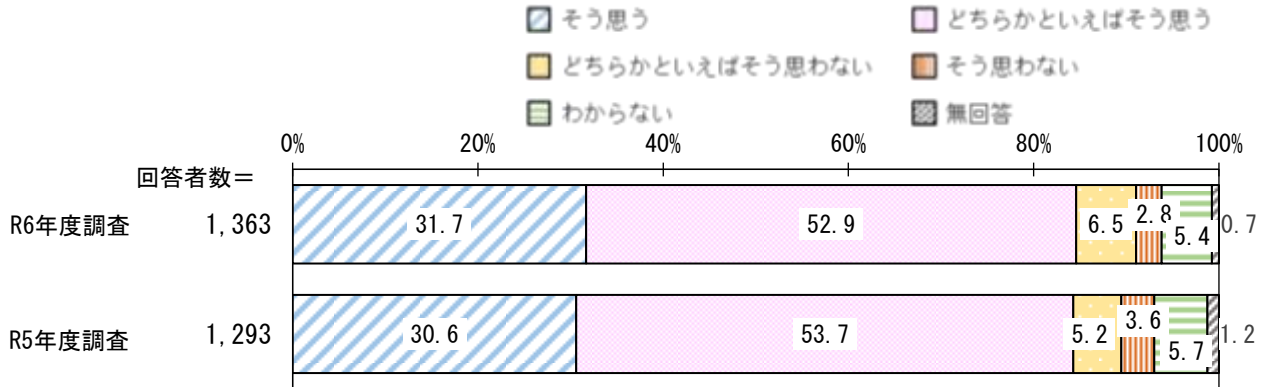
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で“心がけている”の割合が高くなっています。



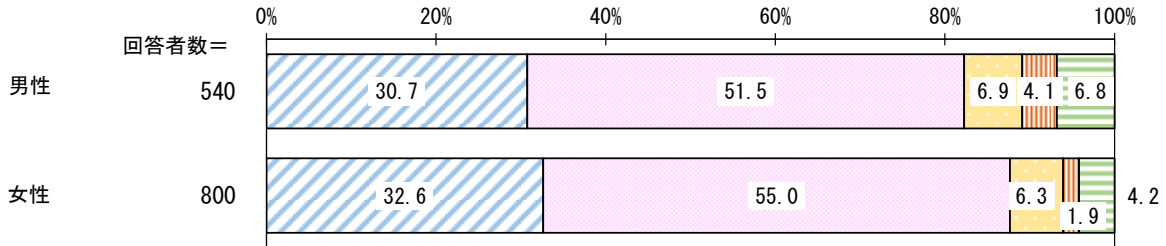
**Q39 マイバッグの利用やごみの分別・リサイクルの徹底など、ごみ減量に向けた活動が広がっていると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「そう思う」の割合が84.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない」の割合が9.3%となっています。



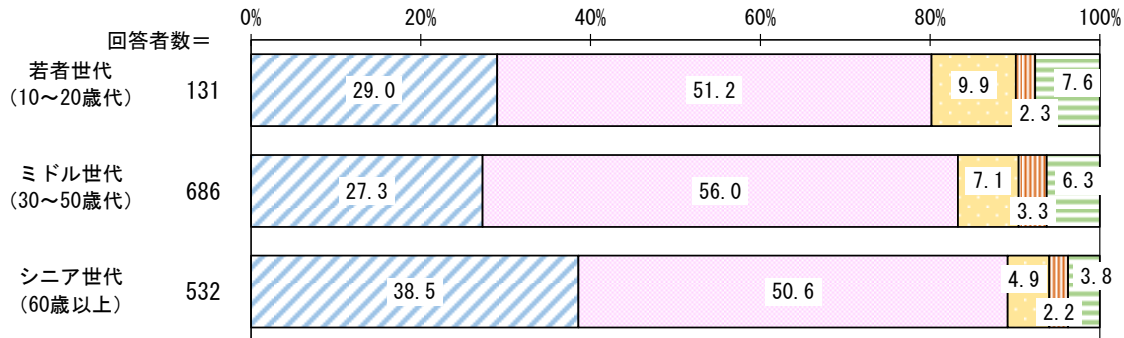
**【性別】**

性別でみると、女性で「そう思う」の割合が高くなっています。



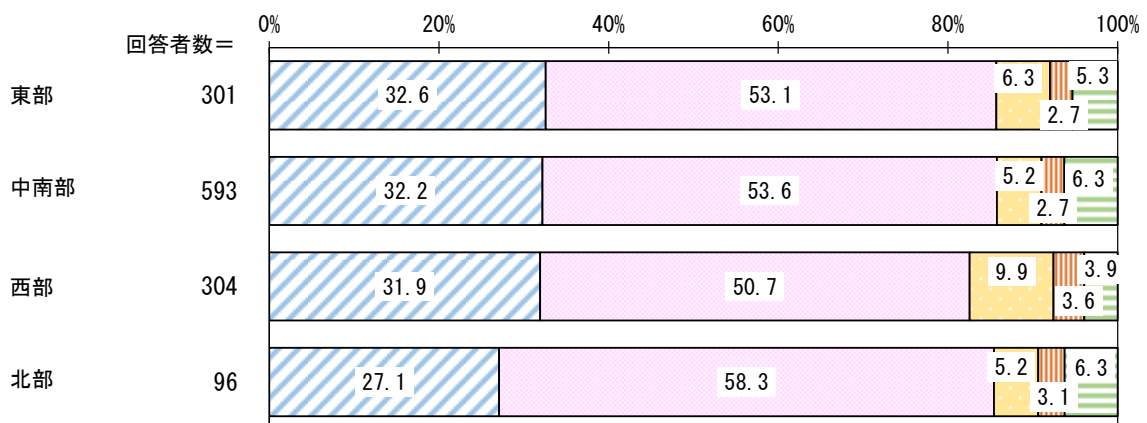
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、「そう思う」の割合が高くなる傾向がみられます。



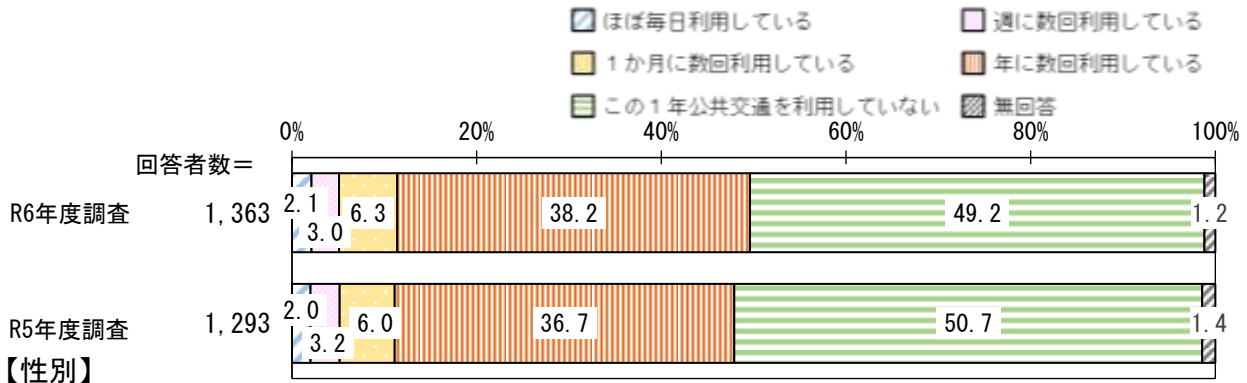
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、大きな差異はみられません。



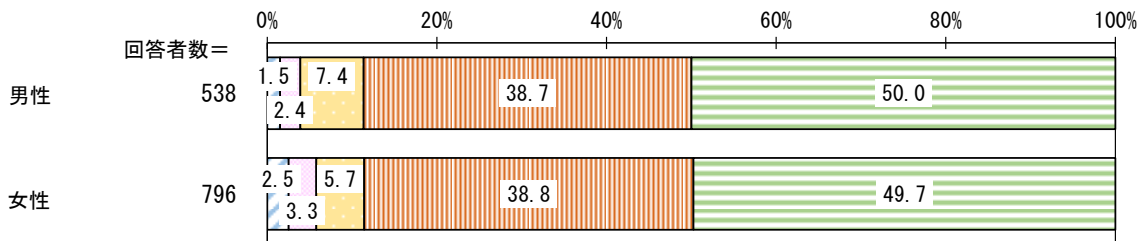
**Q40 鉄道や路線バスなどの公共交通を利用していますか。(〇は1つ)**

「この1年公共交通を利用していない」の割合が49.2%と最も高く、次いで「年に数回利用している」が38.2%、「1か月に数回利用している」が6.3%と続いています。



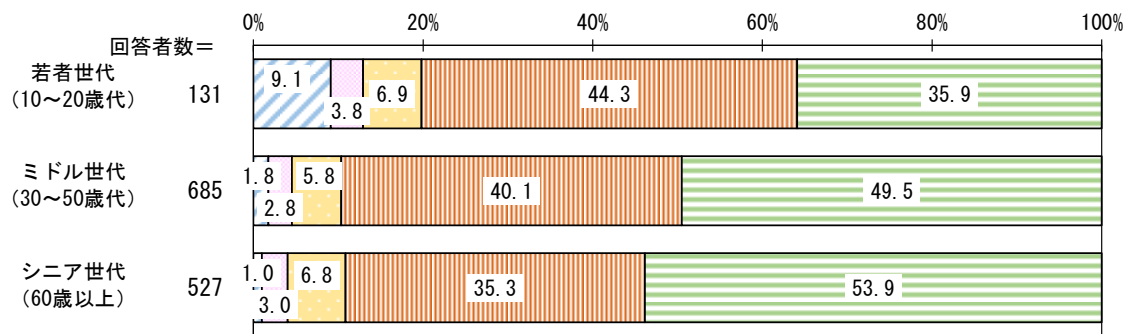
**【性別】**

性別でみると、男性、女性ともに「この1年間公共交通を利用していない」「年に数回利用している」で、全体の約9割を占めています。



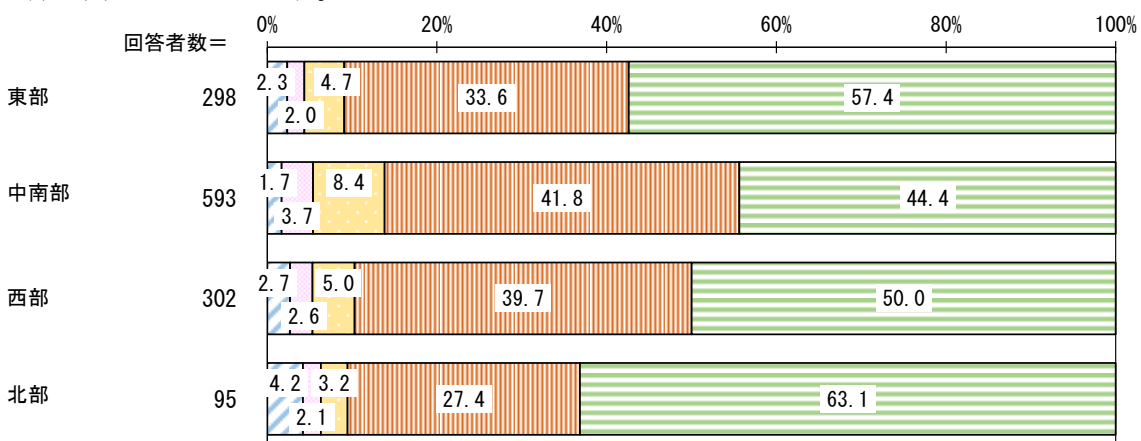
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、「この1年間公共交通を利用していない」の割合が高くなる傾向がみられます。



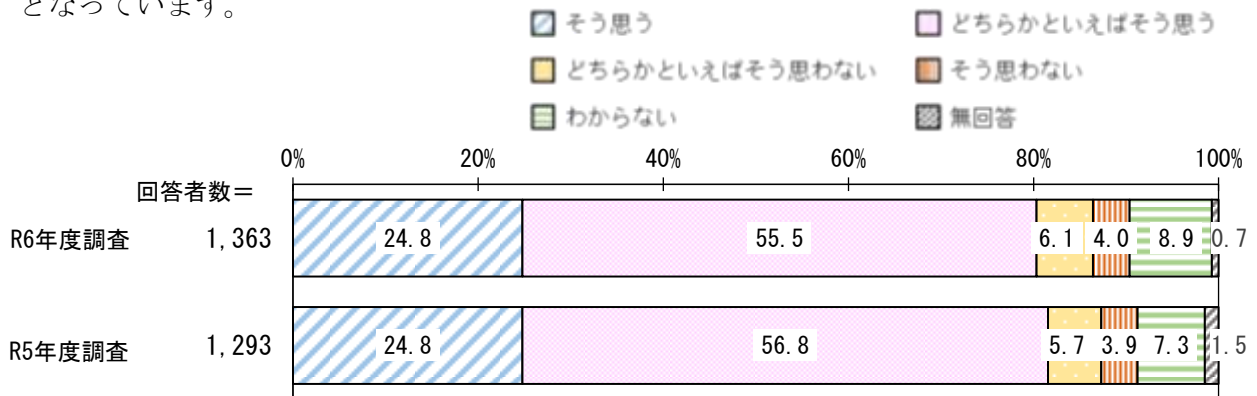
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で「この1年間公共交通を利用していない」の割合が高くなっています。



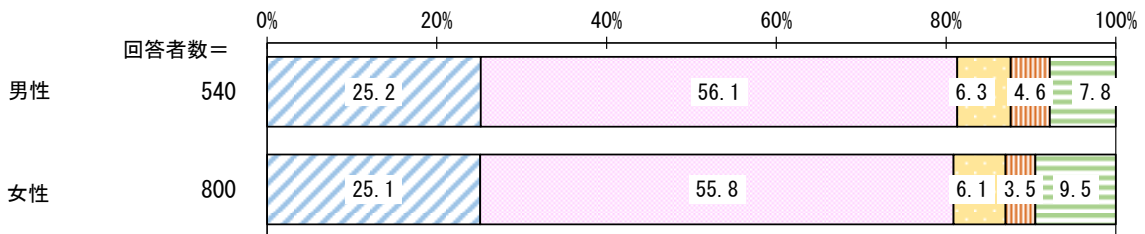
**Q41 犯罪が少なく、地域の治安が良いと思いますか。(○は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が80.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が10.1%となっています。



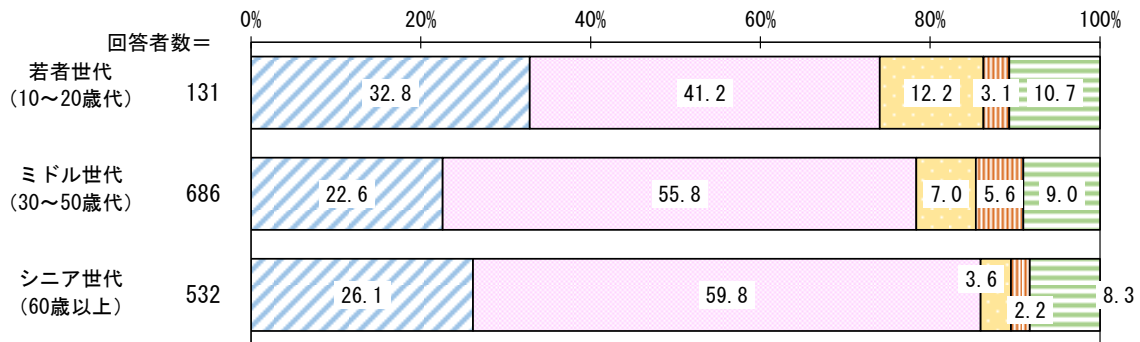
**【性別】**

性別でみると、大きな差異はみられません。



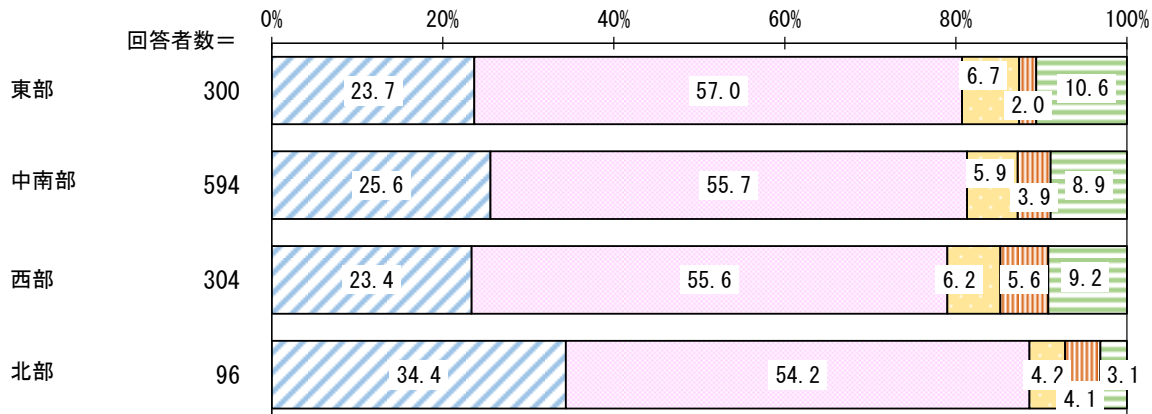
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“そう思う”の割合が高くなる傾向が見られます。



**【居住地区別】**

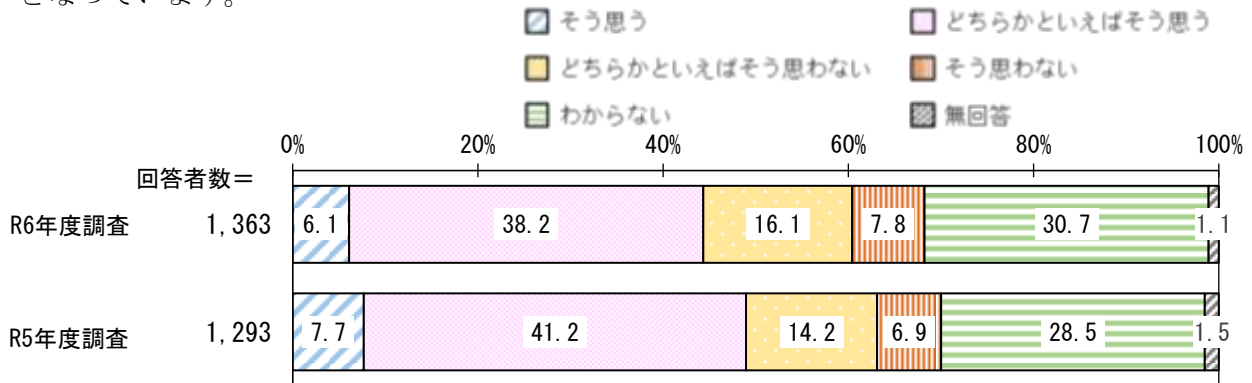
居住地区別でみると、北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。





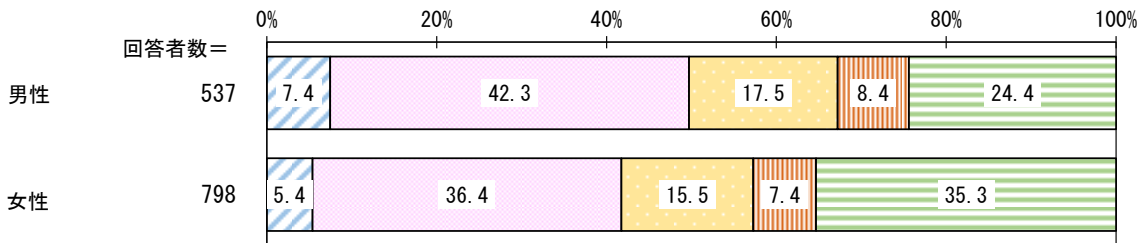
**Q42 防災対策が充実していると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が44.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が23.9%となっています。



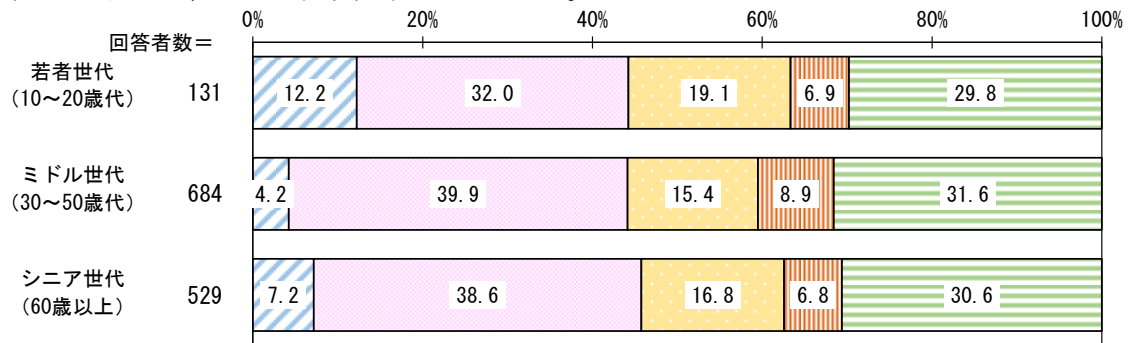
**【性別】**

性別でみると、男性で“そう思う”の割合が高くなっています。



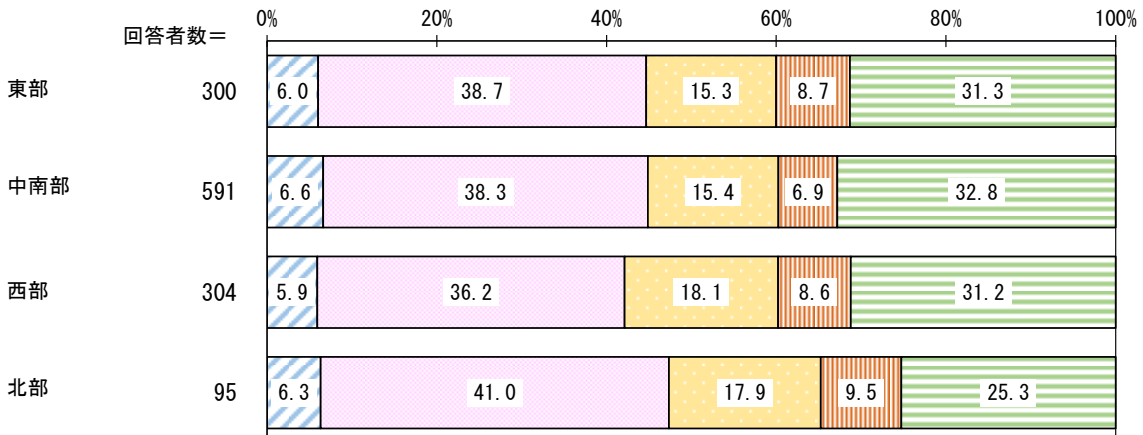
**【世代別】**

世代別でみると、大きな差異は見られません。



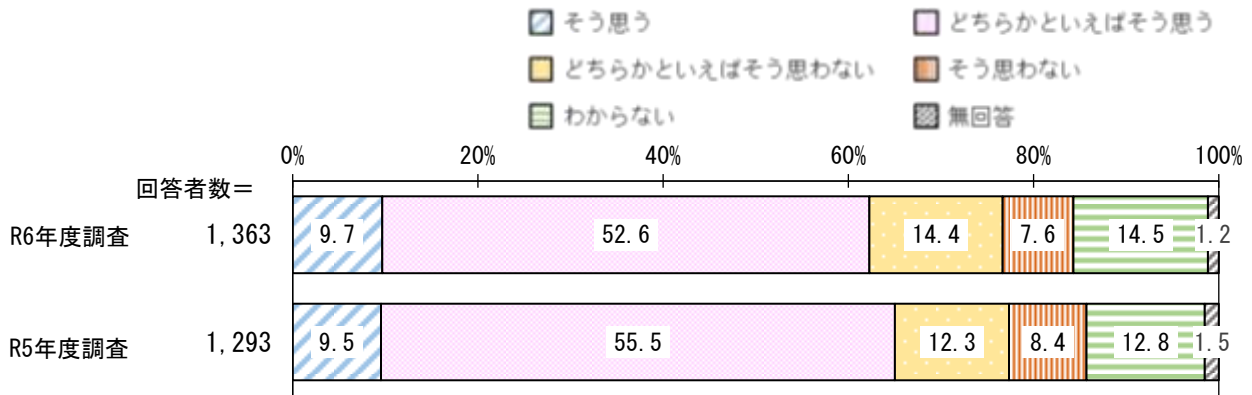
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、西部地区と北部地区で“そう思わない”の割合が高くなっています。



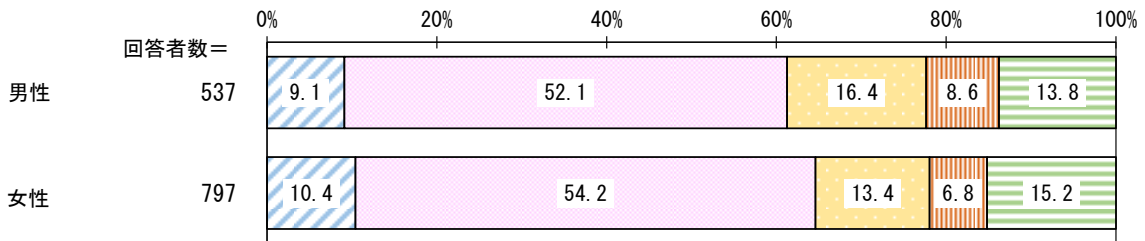
**Q43 良好な景観が保たれ、快適な住環境が整っていると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が62.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が22.0%となっています。



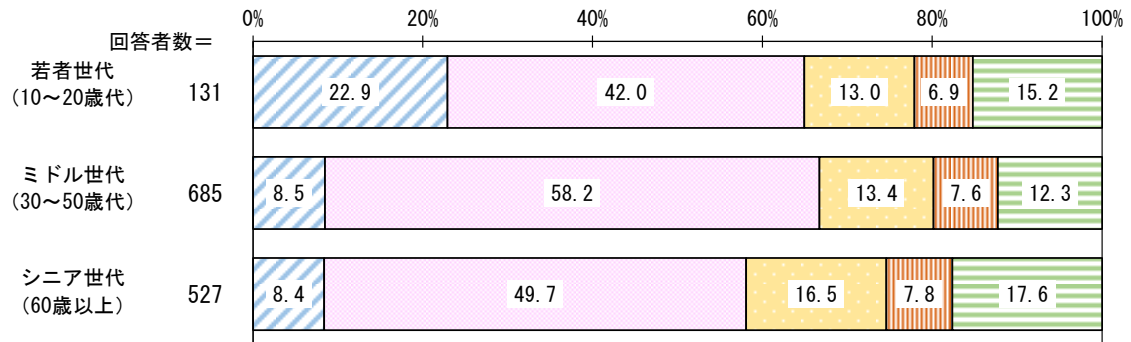
**【性別】**

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



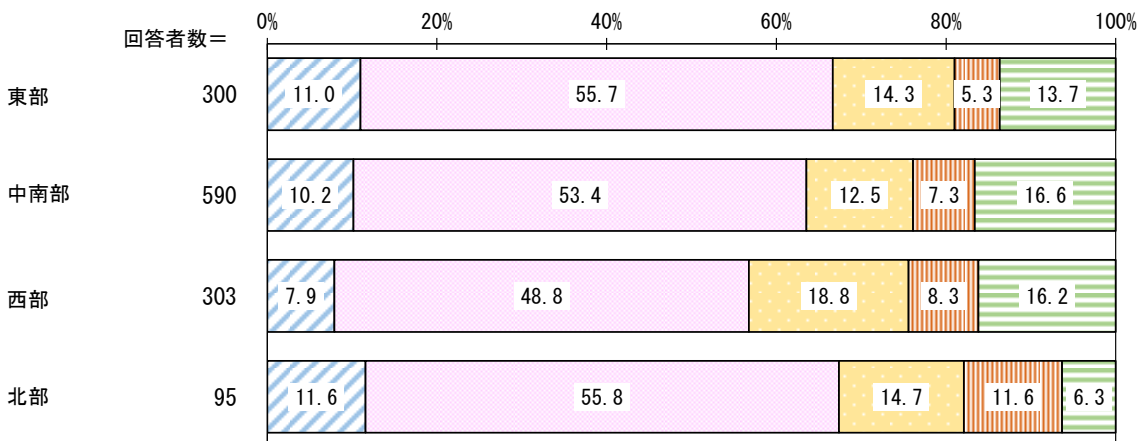
**【世代別】**

世代別でみると、他の世代に比べて、シニア世代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



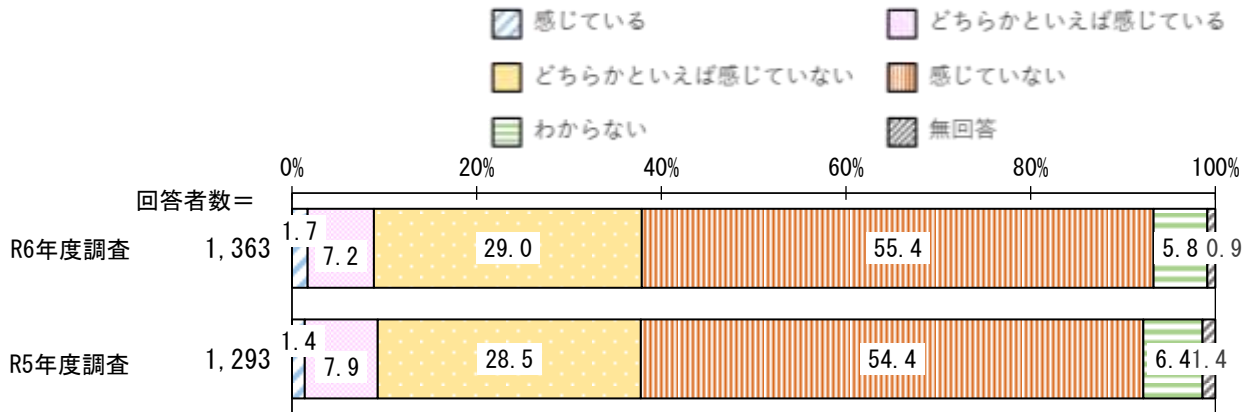
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、西部地区で“そう思う”の割合が低くなっています。



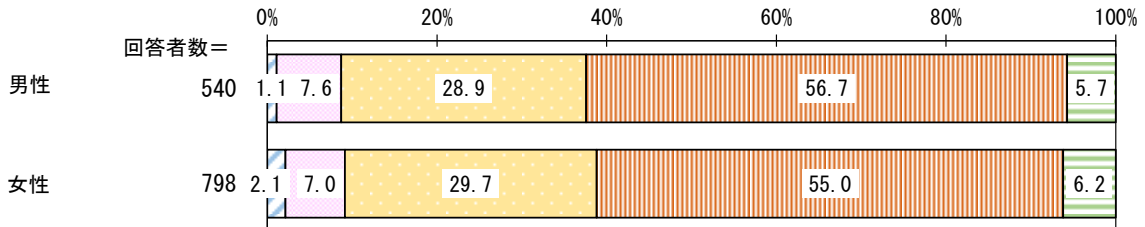
**Q44 中心市街地に魅力や賑わいを感じますか。(〇は1つ)**

「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じる”の割合が8.9%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”の割合が84.4%となっています。



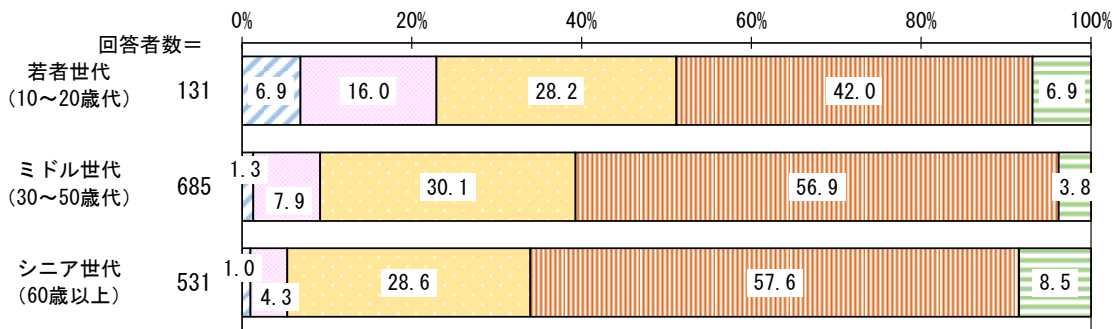
**【性別】**

性別でみると、大きな差異はみられません。



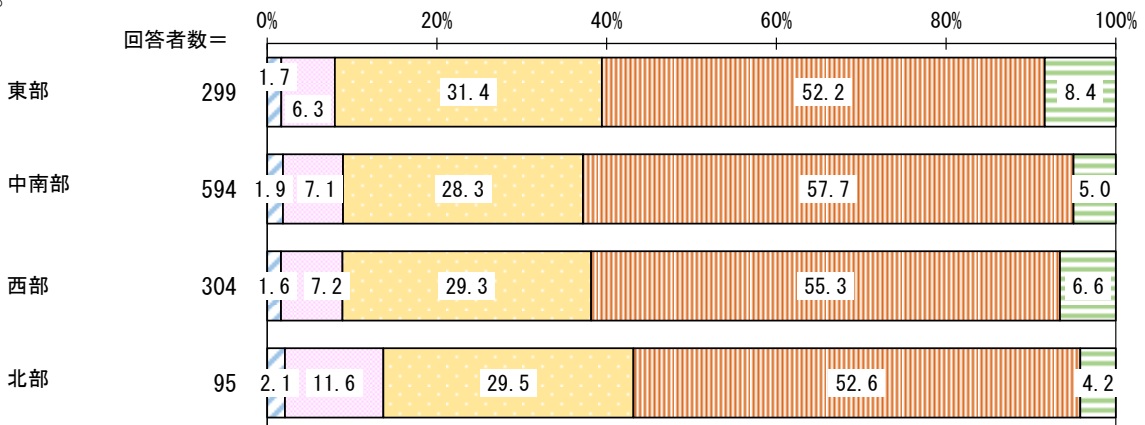
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“感じている”の割合が低くなる傾向がみられます。



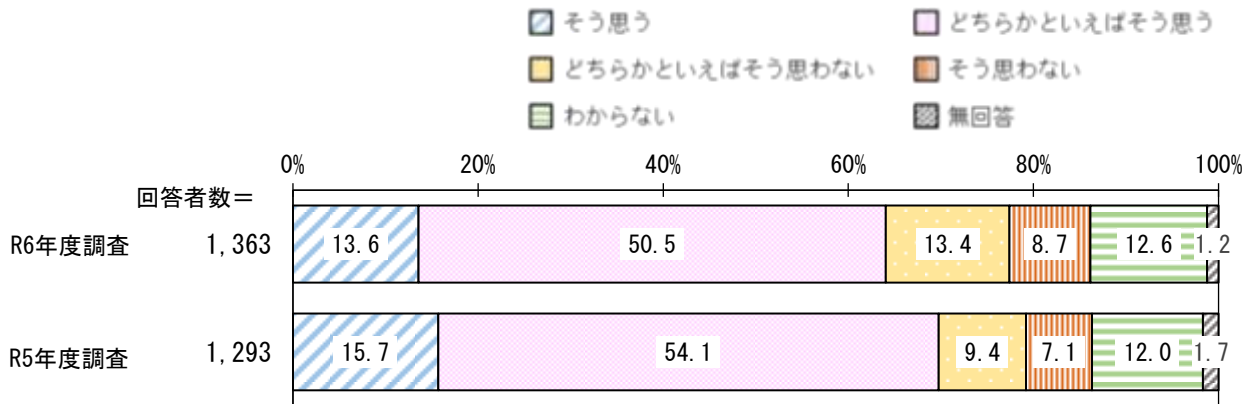
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で“感じている”の割合が高くなっています。



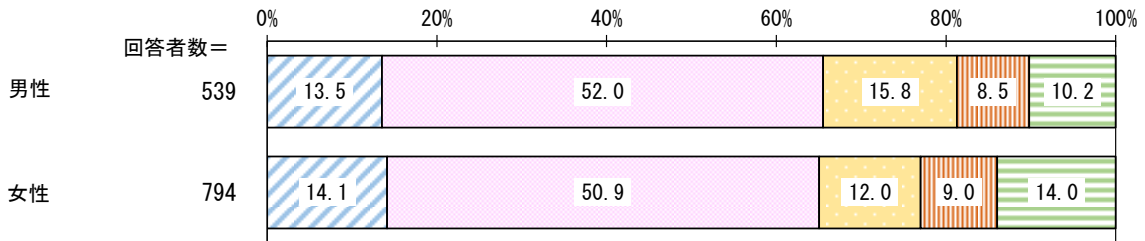
**Q45 道路や橋梁は、安心安全な状態で管理されていると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が64.1%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が22.1%となっています。



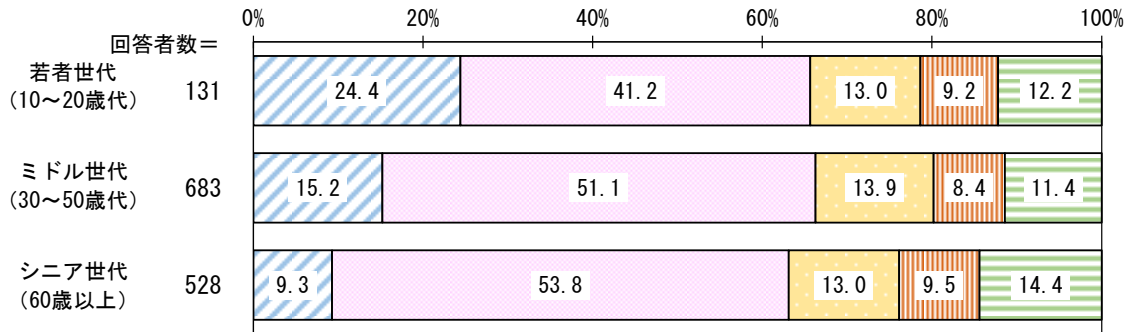
**【性別】**

性別でみると、大きな差異はみられません。



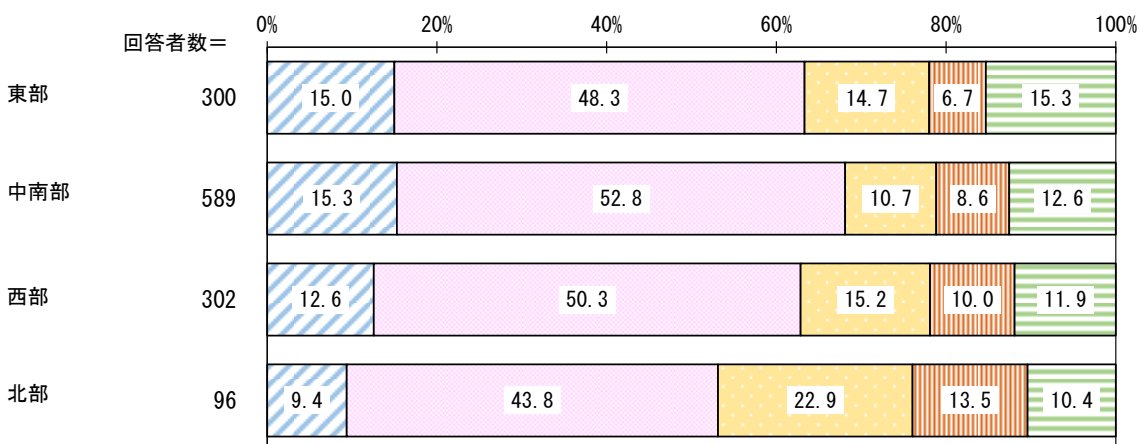
**【世代別】**

世代別でみると、大きな差異はみられません。



**【居住地区別】**

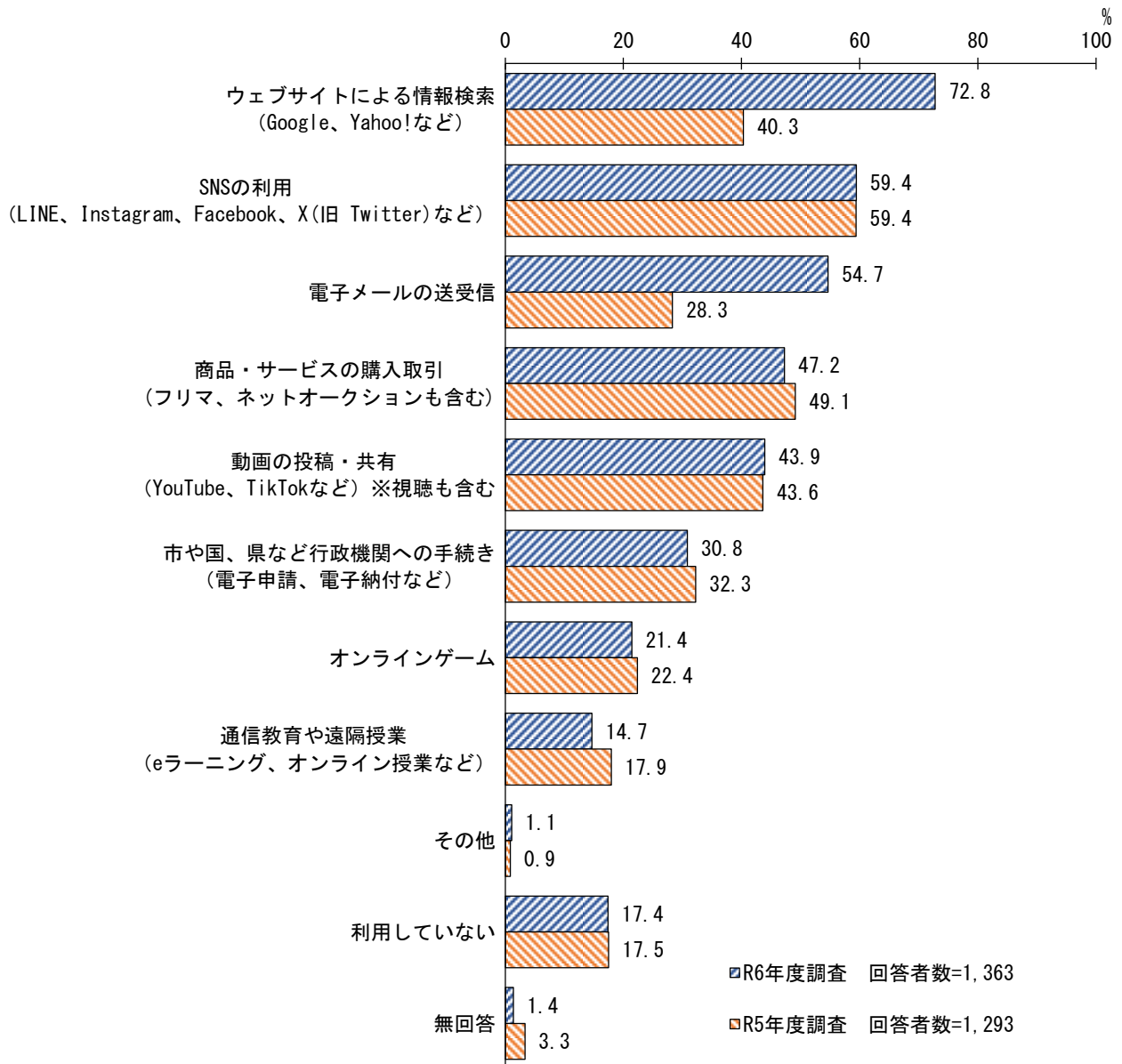
居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で“そう思う”の割合が低くなっています。



(6) 行政運営について

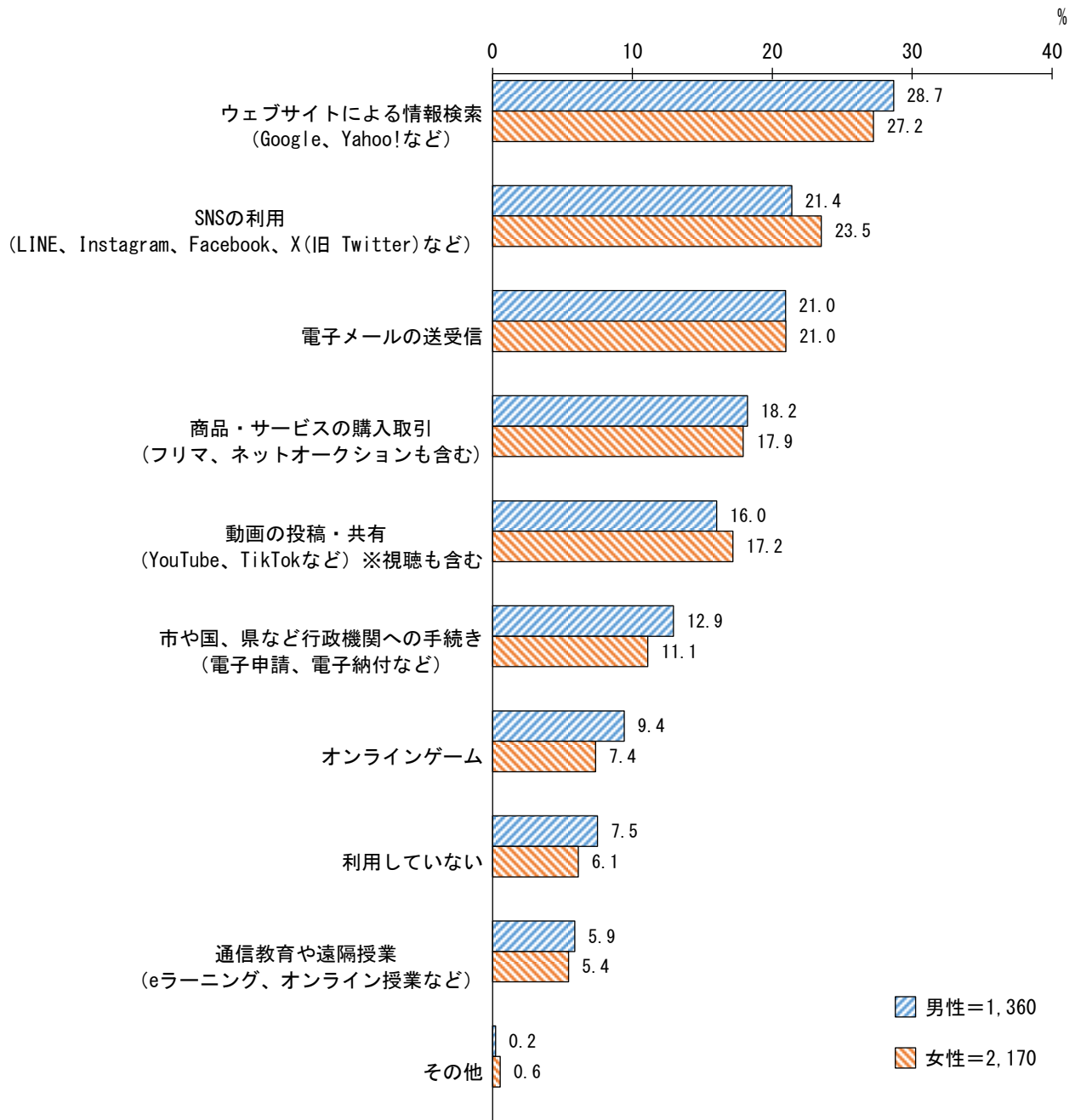
Q46 過去1年間でどのようなインターネットサービスを利用しましたか。(あてはまるものすべてに○)

「ウェブサイトによる情報検索 (Google、Yahoo!など)」の割合が72.8%と最も多く、次に「SNSの利用 (LINE、Instagram、Facebook、X(旧 Twitter)など)」が59.4%、「電子メールの送受信」が54.7%となっています。一方で、17.4%が「利用していない」と回答しています。



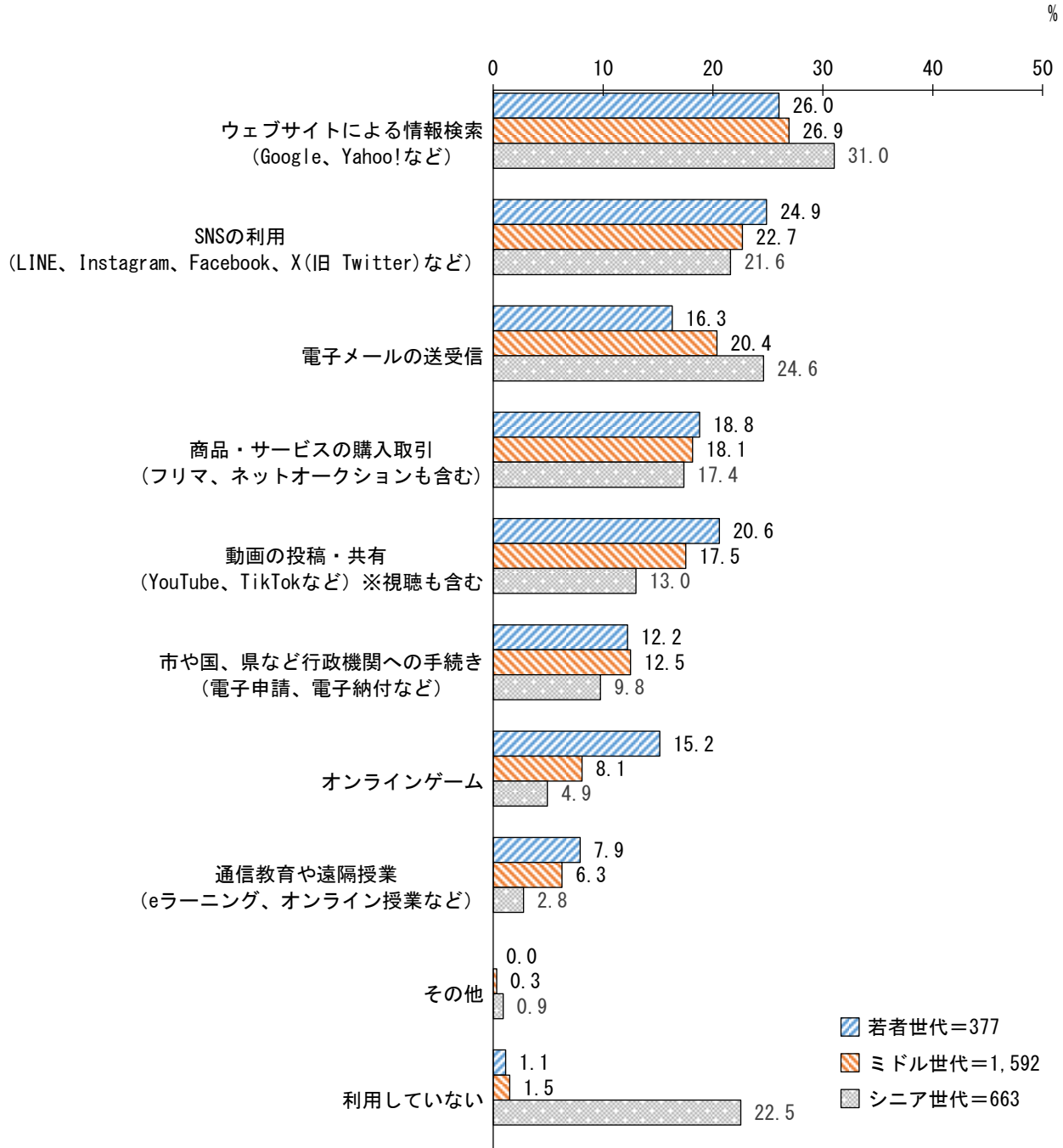
## 【性別】

性別で見ると、「ウェブサイトによる情報検索(Google、Yahoo!など)」「商品・サービスの購入取引(フリマ、ネットオークションも含む)」では男性が、「SNSの利用(LINE、Instagram、Facebook、X(旧 Twitter)など)」「動画の投稿・共有 (YouTube、TikTok など) ※視聴も含む」では女性の割合が高くなっています。



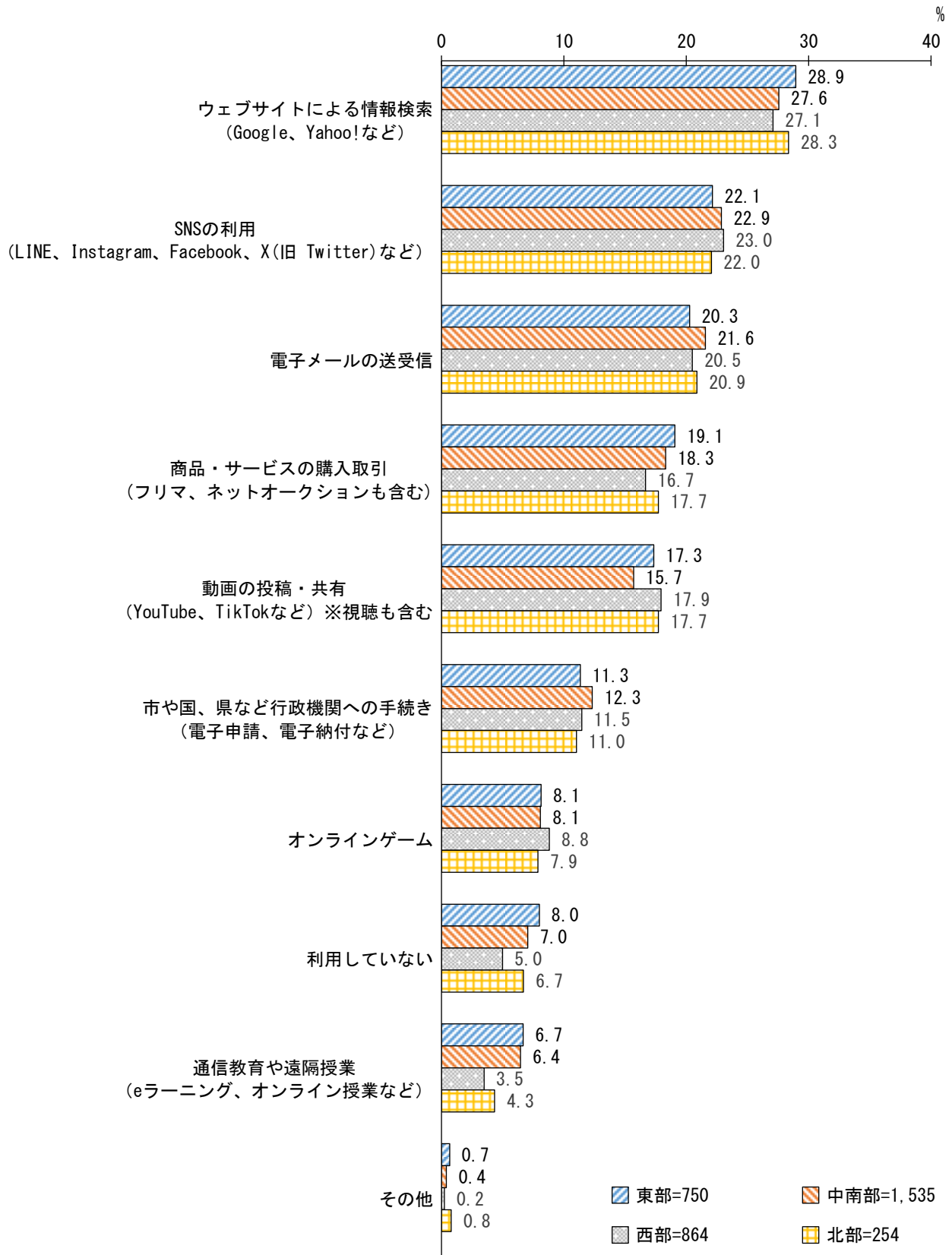
## 【世代別】

世代別でみると、若者世代では「SNS の利用（LINE、Instagram、Facebook、X(旧 Twitter)など）」「動画の投稿・共有（YouTube、TikTok など）※視聴も含む」が、シニア世代では「ウェブサイトによる情報検索(Google、Yahoo!など）」「電子メールの送受信」「利用していない」の割合が高くなっています。



## 【居住地区別】

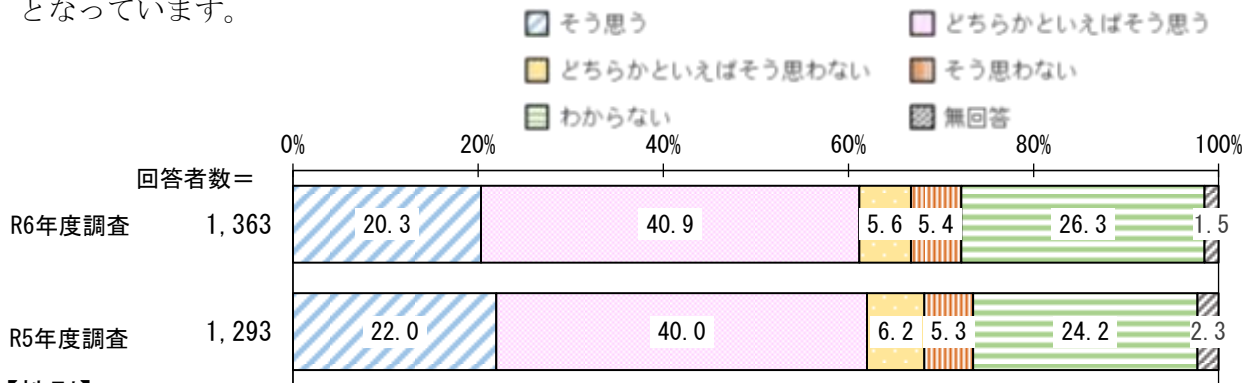
居住地区別で見ると、特に大きな差異はみられません。





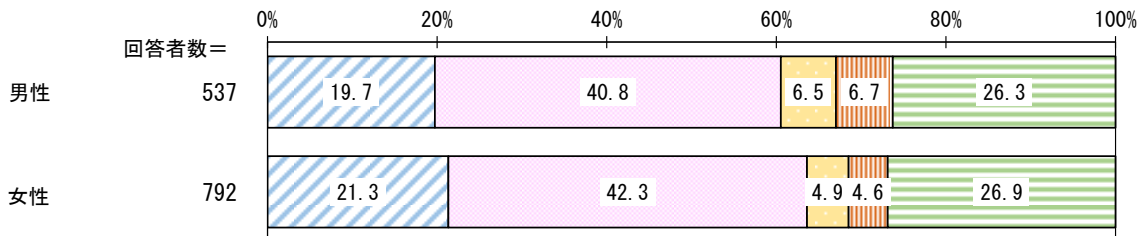
**Q47 インターネットから行政情報を入手できたり、公共施設の予約ができたりするなど、行政サービスが便利になったと思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が61.2%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が11.0%となっています。



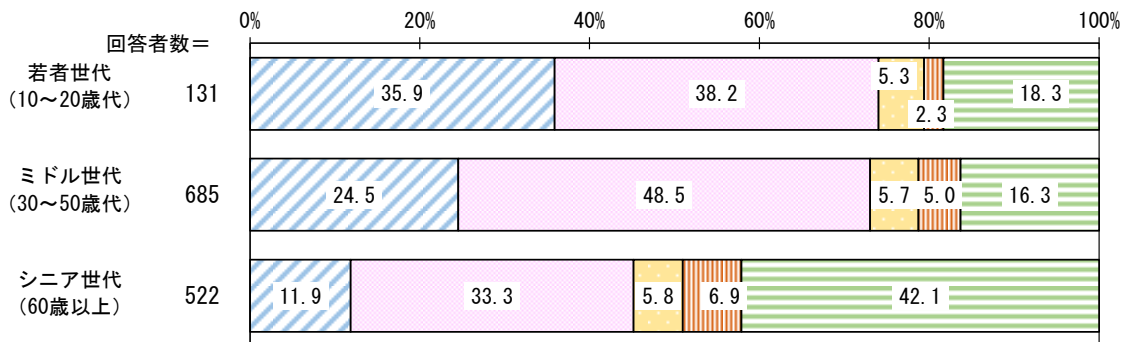
**【性別】**

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



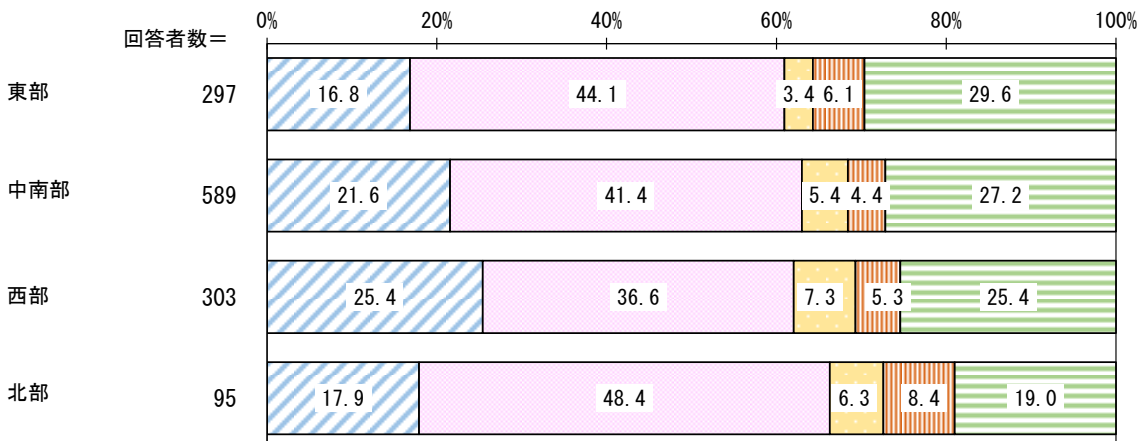
**【世代別】**

世代別でみると、他の世代に比べて、シニア世代で“そう思う”の割合が低くなっています。



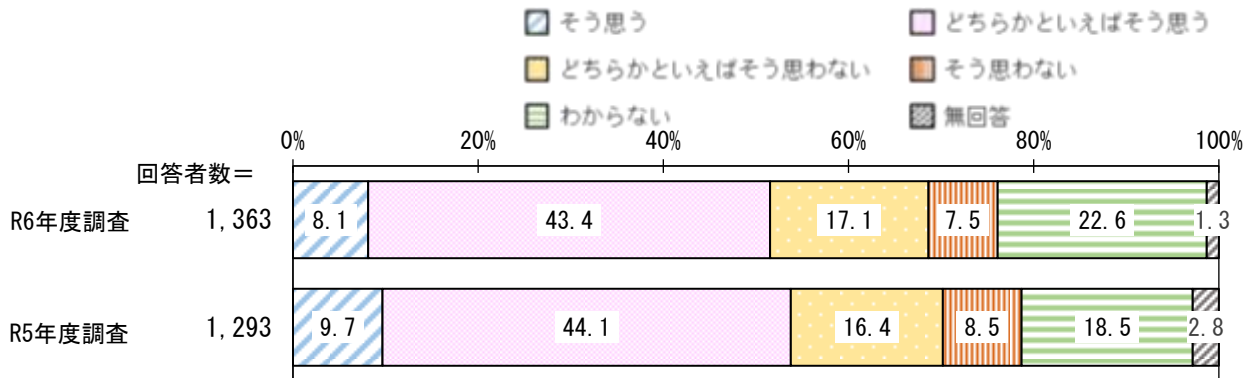
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、他の地区に比べて、北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



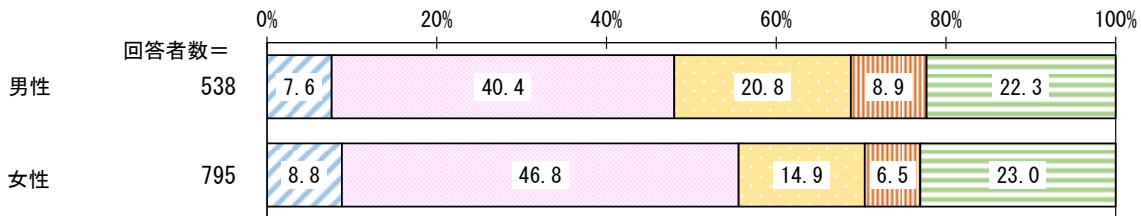
**Q48 市政情報がわかりやすく提供されていると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が51.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が24.6%となっています。



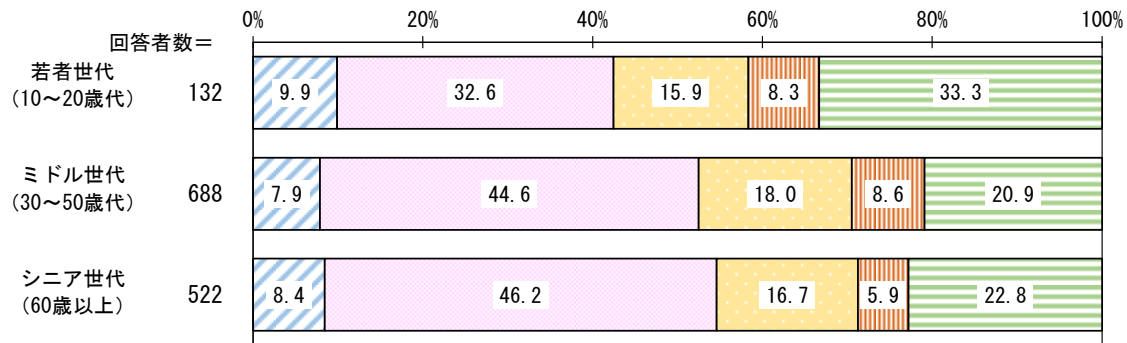
**【性別】**

性別でみると、女性で、“そう思う”の割合が高くなっています。



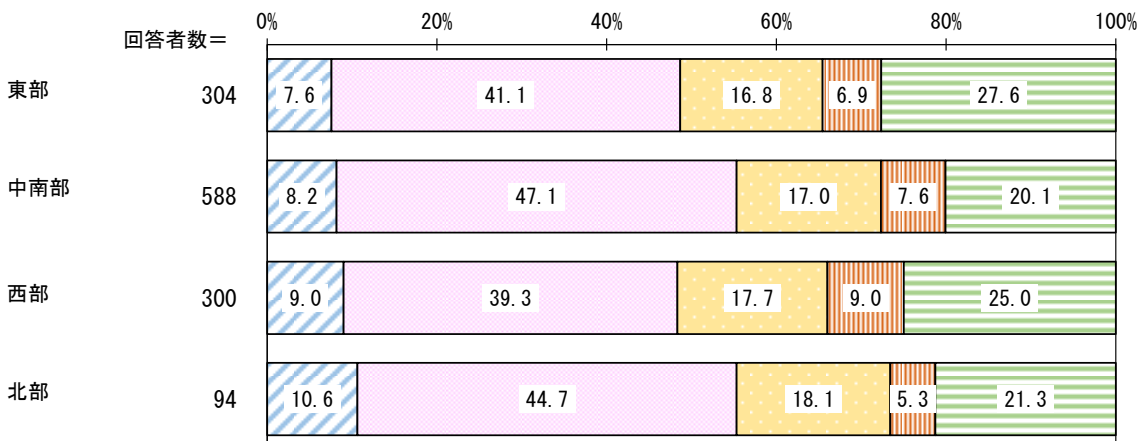
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



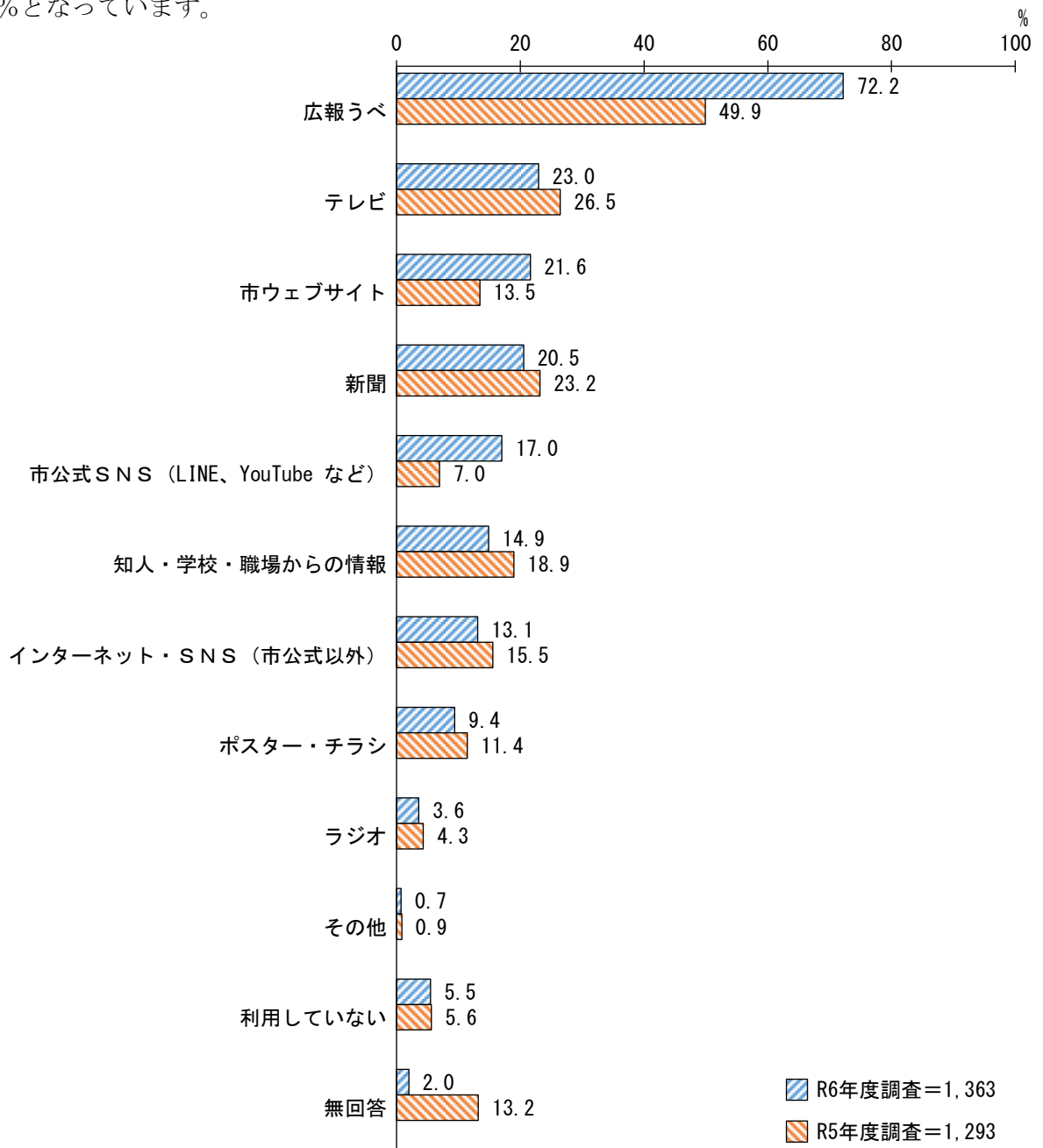
**【居住地区別】**

居住地区別でみると、中南部地区と西部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



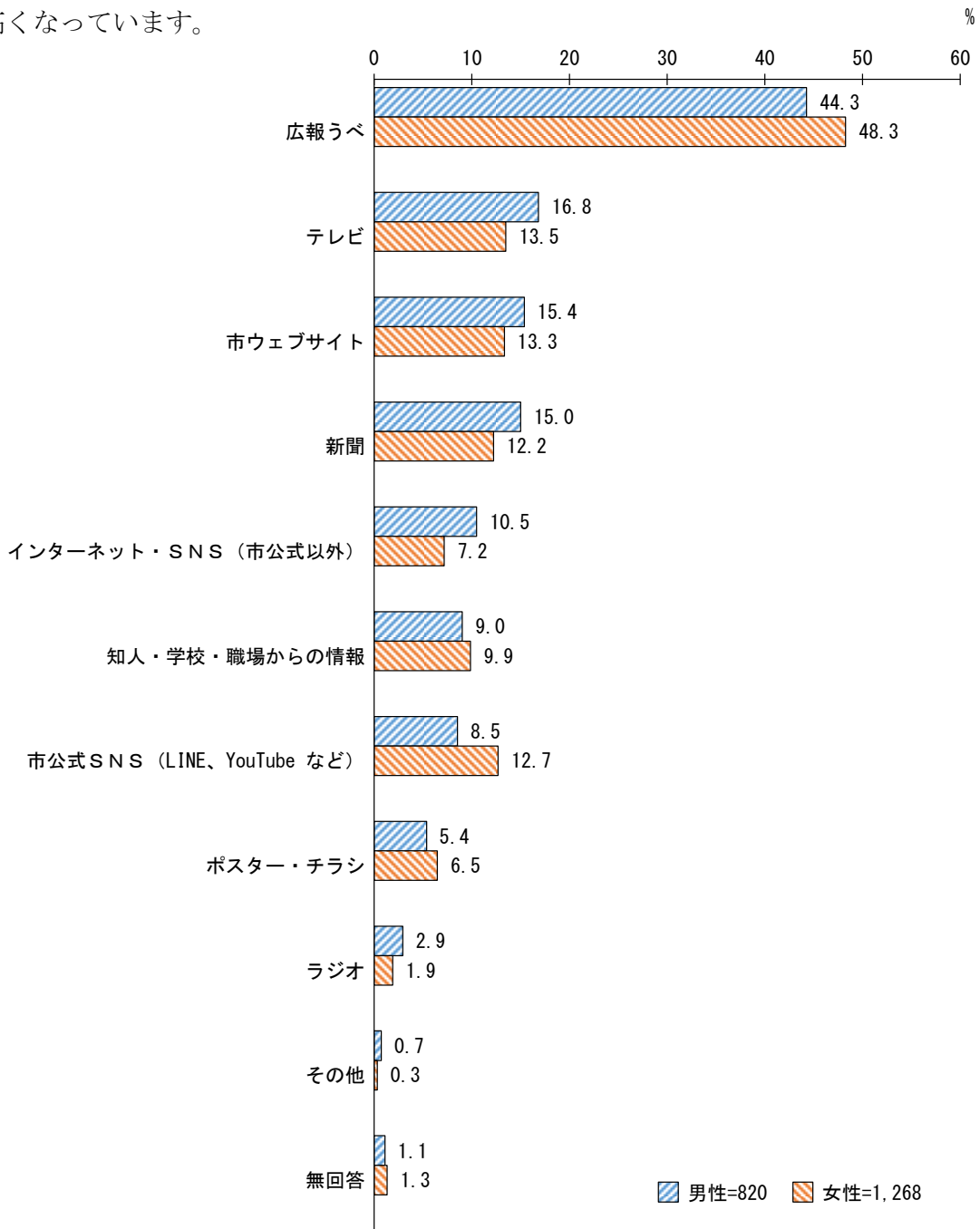
**Q49 市政に関する情報について、あなたが普段入手している手段は、次のうちどれですか。（利用頻度の高いもの3つに○）**

「広報うべ」の割合が72.2%と最も高く、次いで「テレビ」が23.0%、「市ウェブサイト」が21.6%となっています。



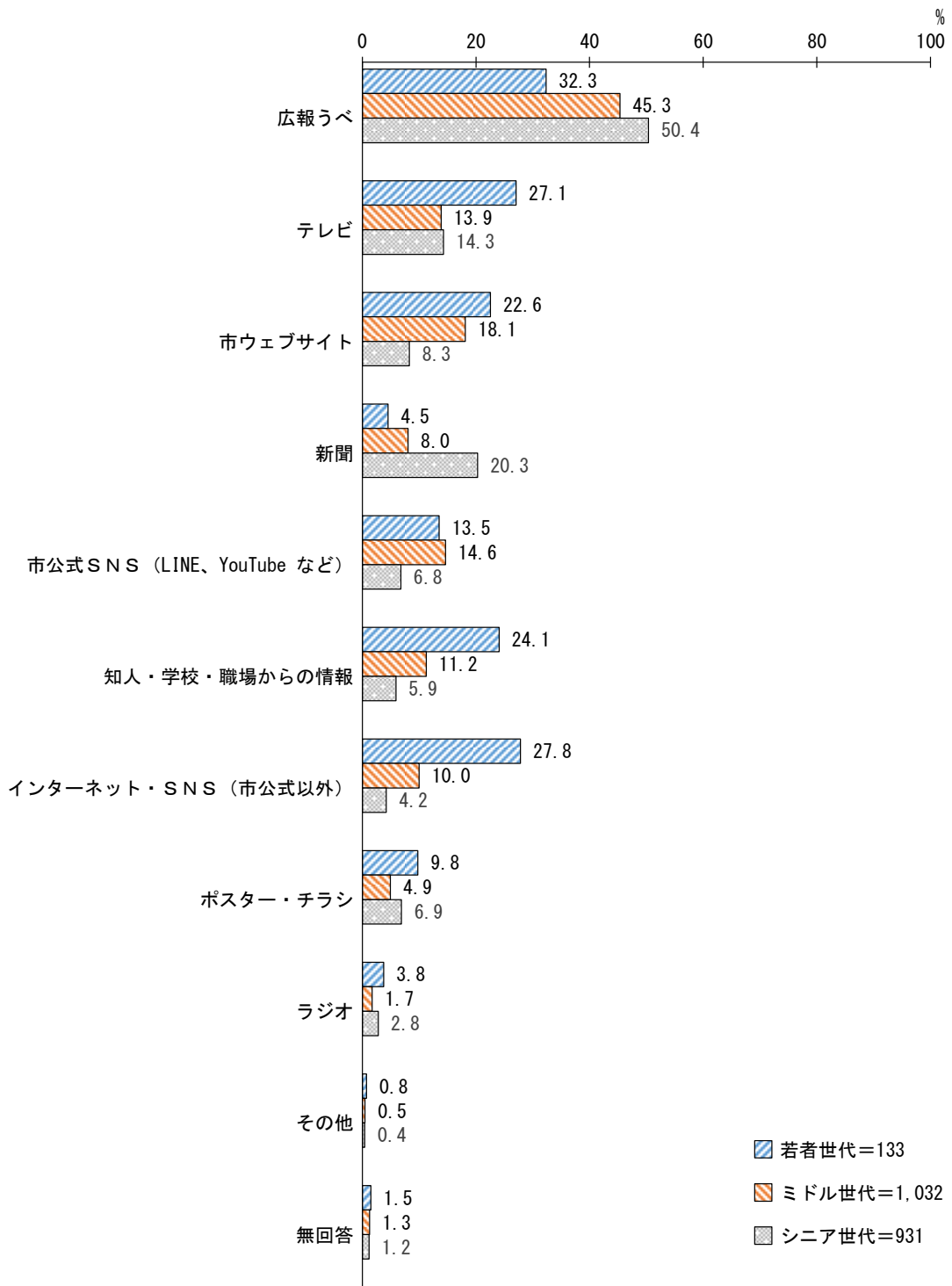
## 【性別】

性別でみると、「広報うべ」「知人・学校・職場からの情報」「市公式 SNS (LINE、YouTube など)」は女性が、「テレビ」「市ウェブサイト」「新聞」「インターネット・SNS (市公式以外)」では男性の割合が高くなっています。



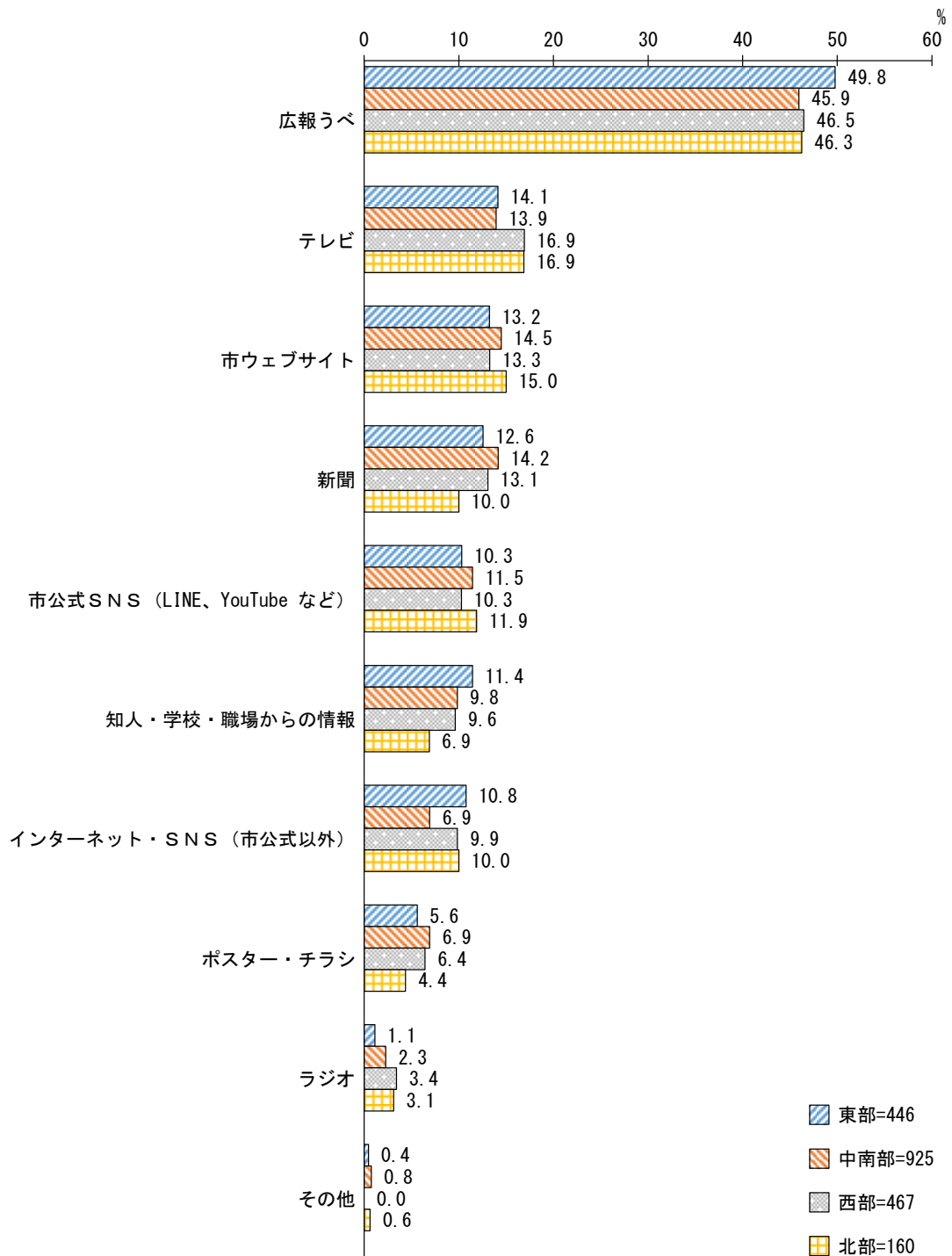
## 【世代別】

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、「広報うべ」「新聞」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が若くなるほど、「テレビ」「市ウェブサイト」「知人・学校・職場からの情報」「インターネット・SNS（市公式以外）」の割合が高くなる傾向がみられます。



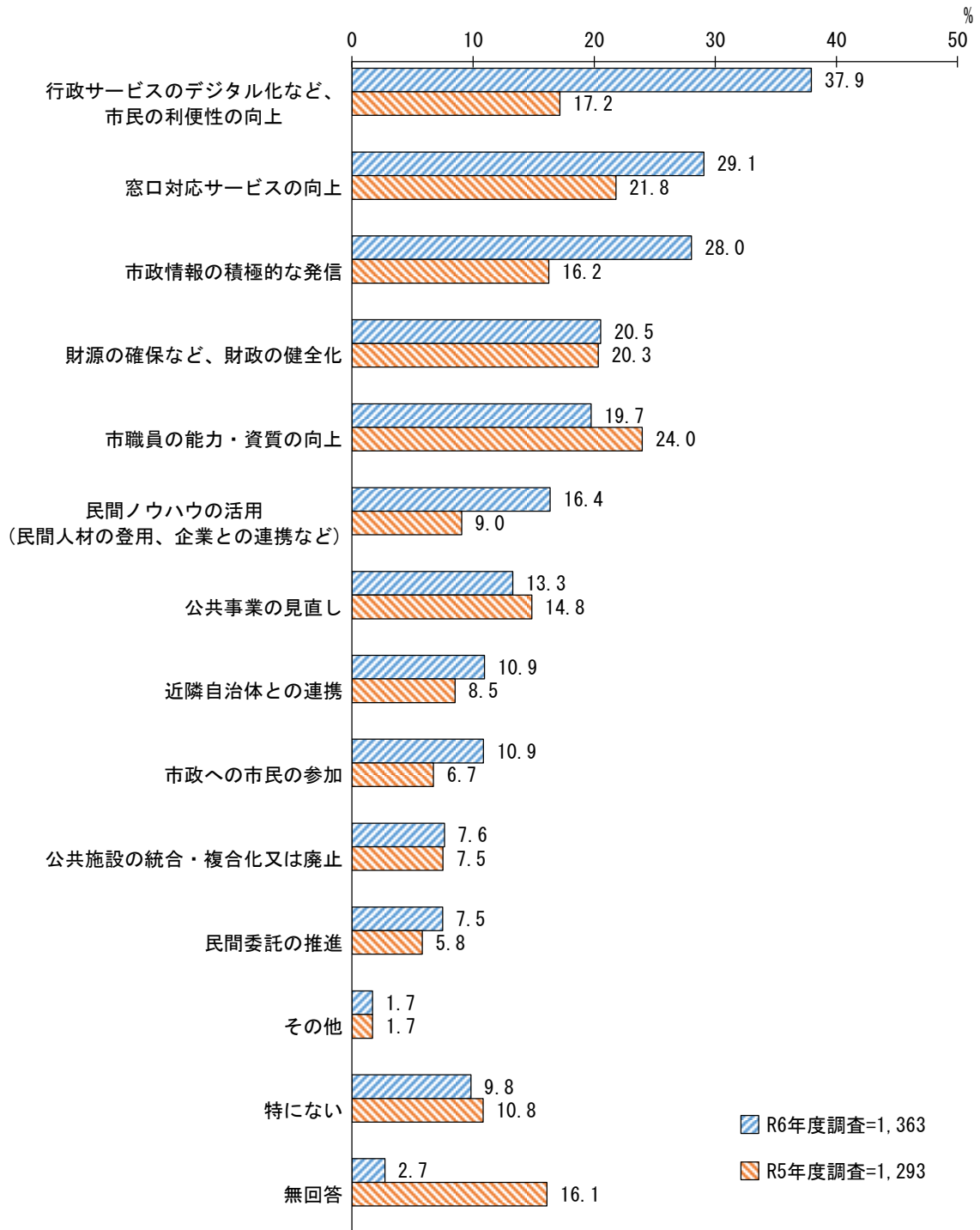
## 【居住地区別】

居住地区別で見ると、特に大きな差異はみられません。



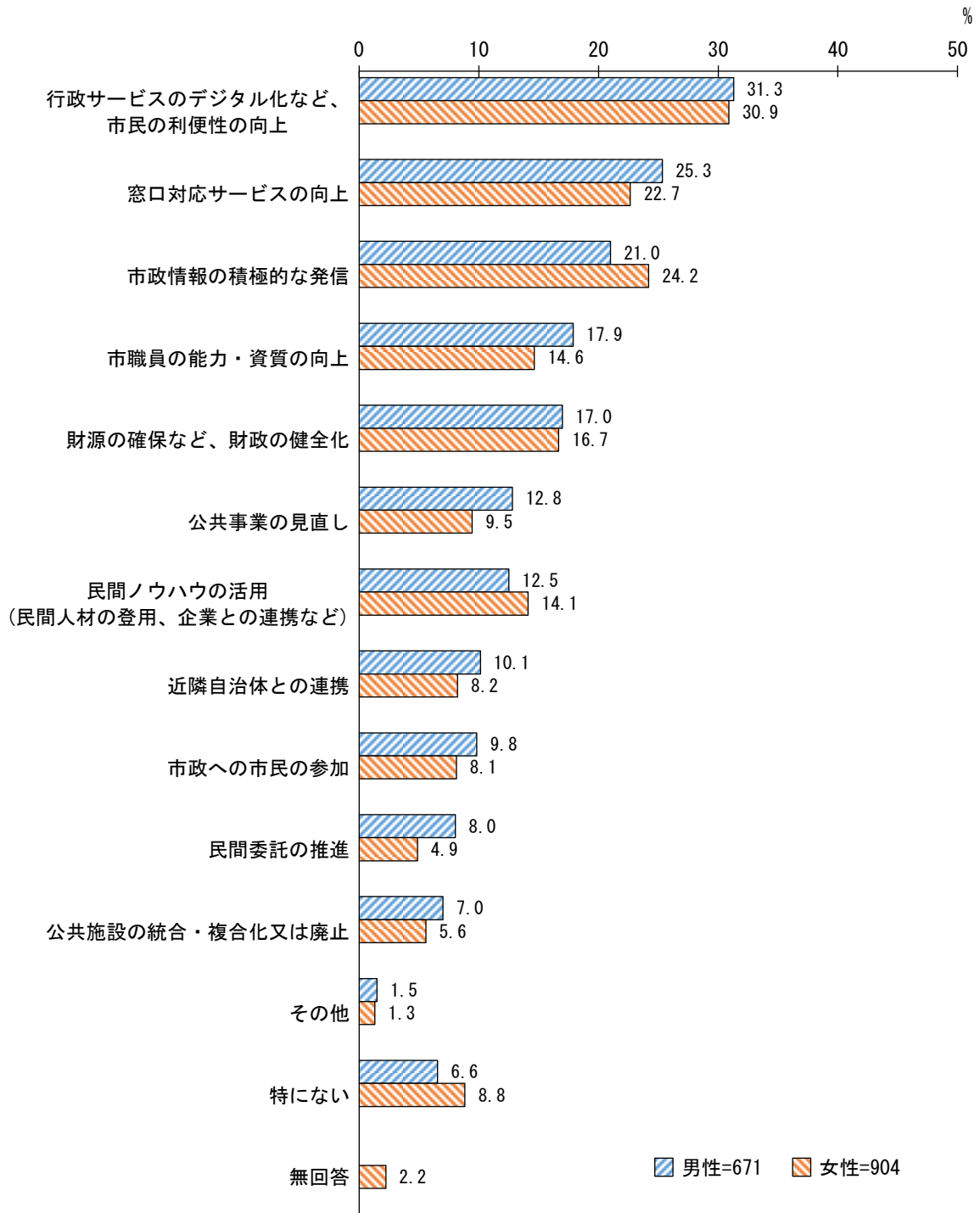
Q50 効率的・効果的な行政運営を行う上で、重要だと思うことは何ですか。  
(〇は3つまで)

「行政サービスのデジタル化など、市民の利便性の向上」の割合が37.9%と最も高く、次いで「窓口対応サービスの向上」が29.1%、「市政情報の積極的な発信」が28.0%となっています。



## 【性別】

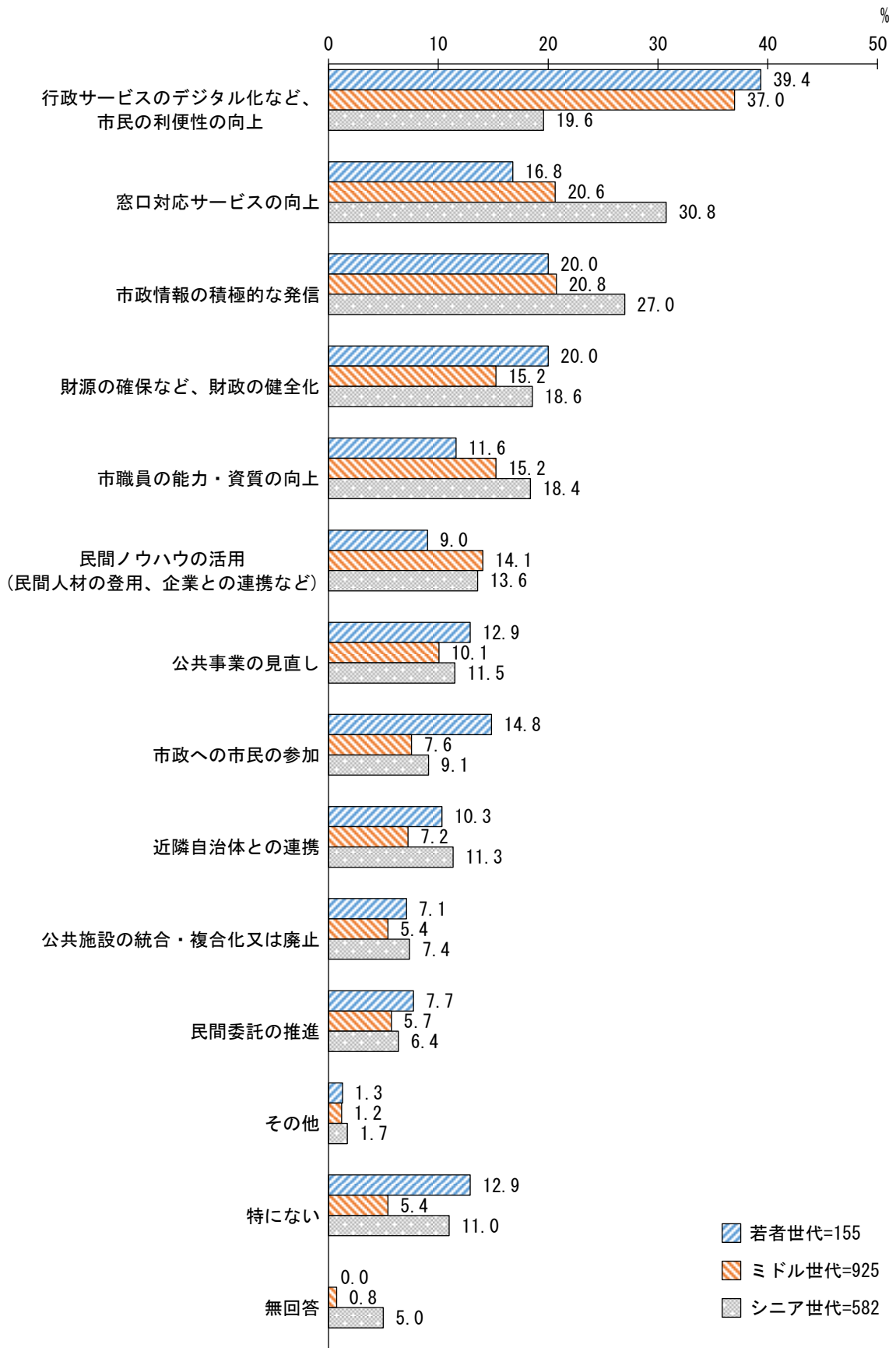
性別でみると、「窓口対応サービスの向上」「市職員の能力・資質の向上」「公共事業の見直し」は男性が、「市政情報の積極的な発信」「民間ノウハウの活用(民間人材の登用、企業との連携など)」では女性の割合が高くなっています。





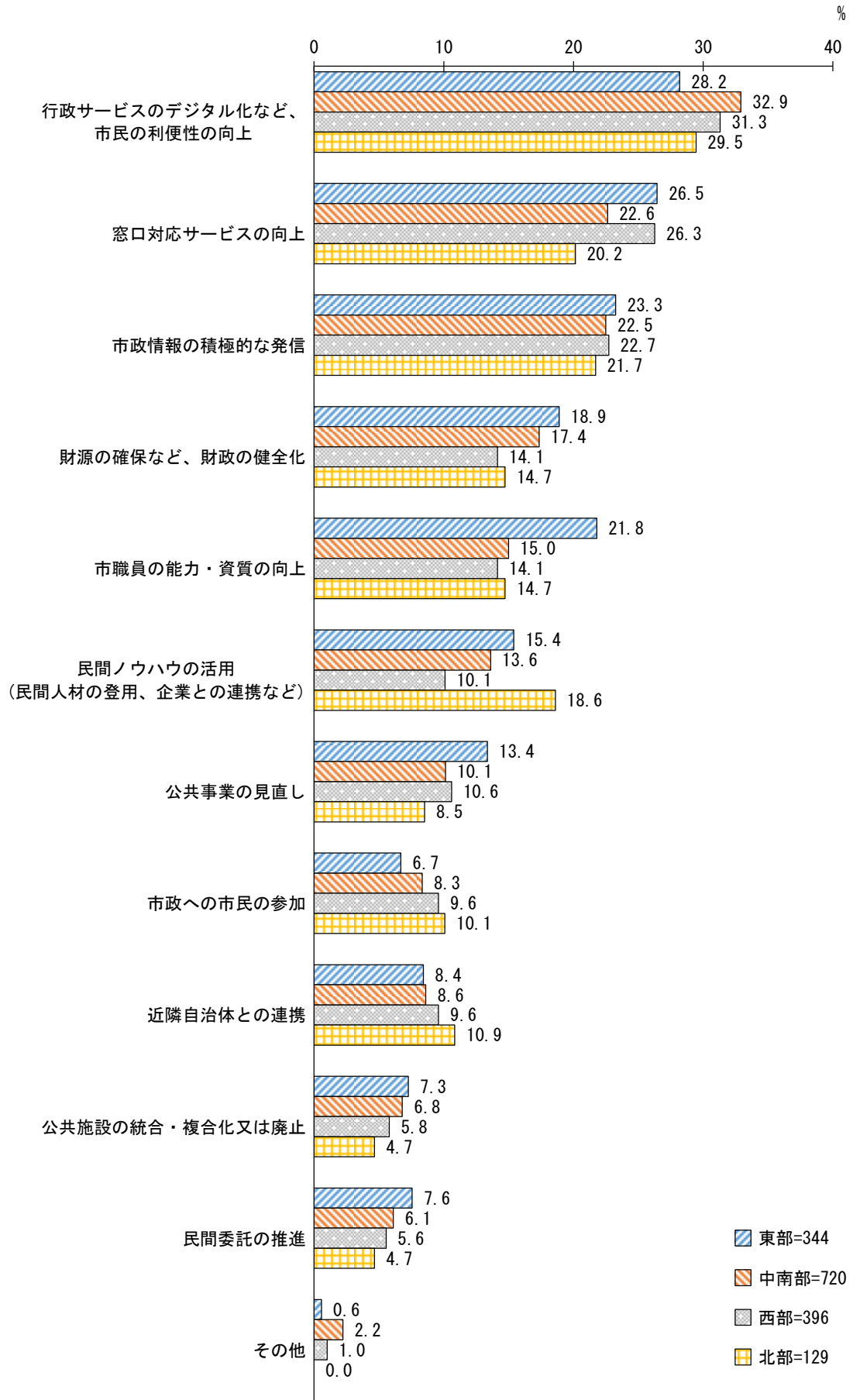
## 【世代別】

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、「窓口対応サービスの向上」「市政情報の積極的な発信」「市職員の能力・資質の向上」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が若いほど、「行政サービスのデジタル化など、市民の利便性の向上」の割合が高くなる傾向がみられます。



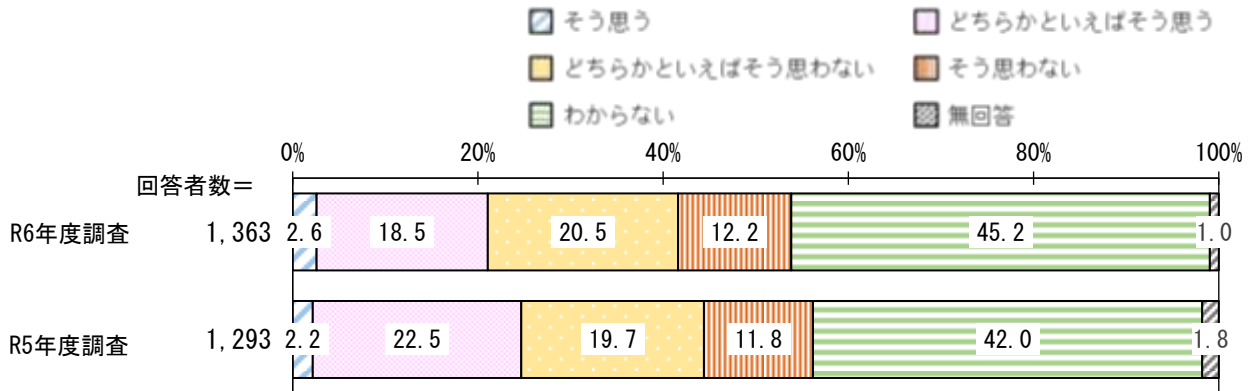
## 【居住地区別】

居住地区別で見ると、他の地区に比べて、東部地区で「市職員の能力・資質の向上」の割合が、北部地区で「民間ノウハウの活用(民間人材の登用、企業との連携など)」の割合が高くなっています。



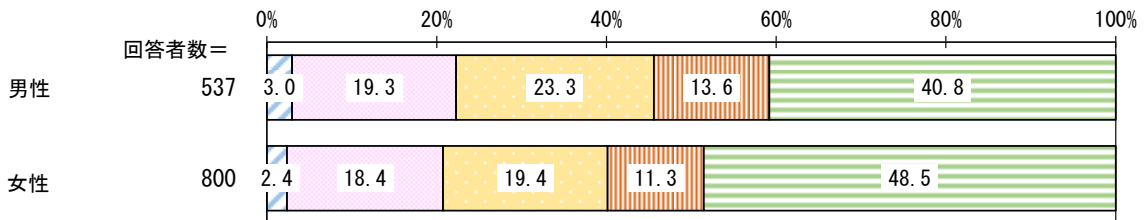
**Q51 市民の意見や活動がまちづくりに反映されていると思いますか。(〇は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が21.1%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が32.7%となっています。



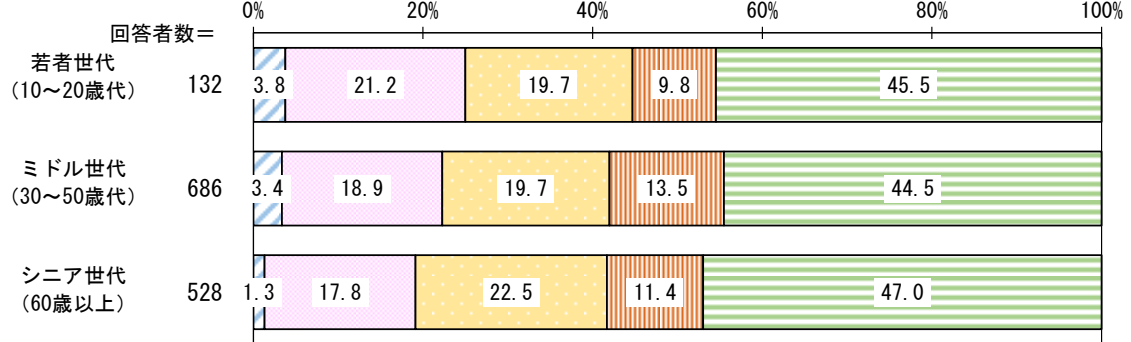
**【性別】**

性別でみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



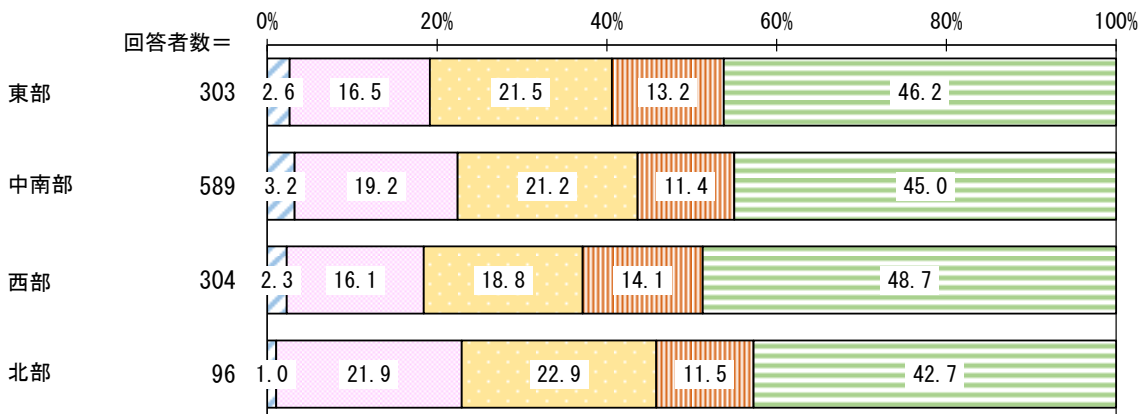
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“そう思う”の割合が低くなる傾向がみられます。



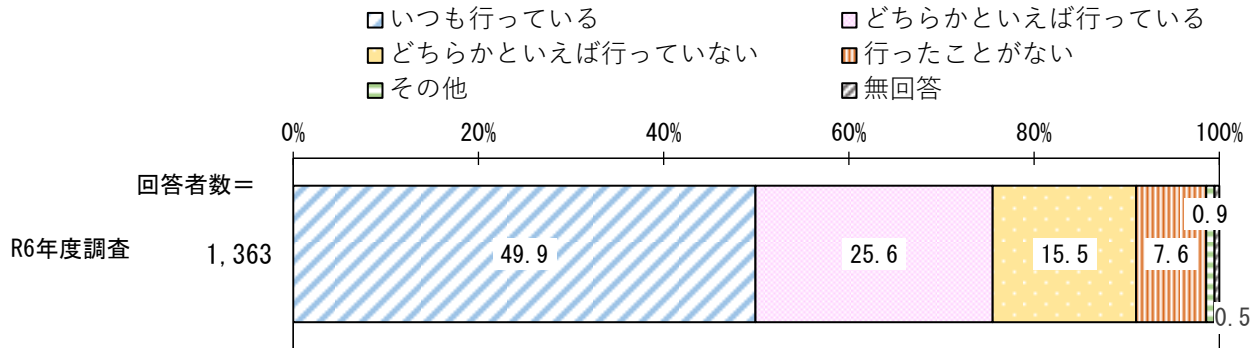
**【居住地区別】**

居住地区別では、中南部地区と北部地区で“そう思う”の割合が高くなっています。



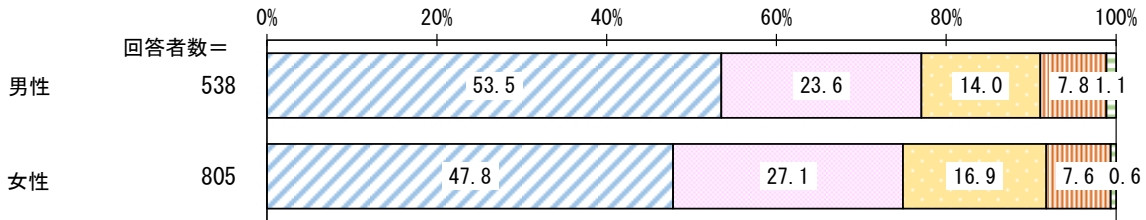
**Q52 あなたは、ふだん選挙の時に投票に行っていますか。(〇は1つ)**

「いつも行っている」と「どちらかといえば行っている」を合わせた“行っている”の割合が75.5%、「どちらかといえば行っていない」と「行ったことがない」を合わせた“行っていない”の割合が23.1%となっています（今回より調査項目に追加）。



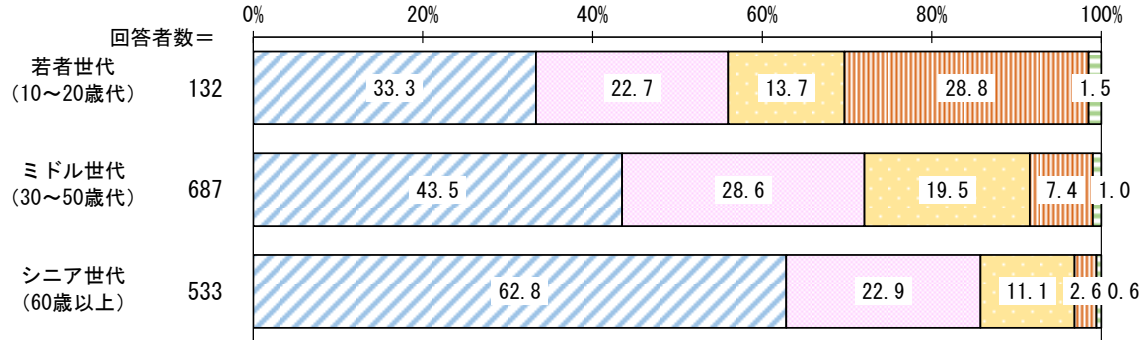
**【性別】**

性別でみると、男性で“行っている”の割合が高くなっています。



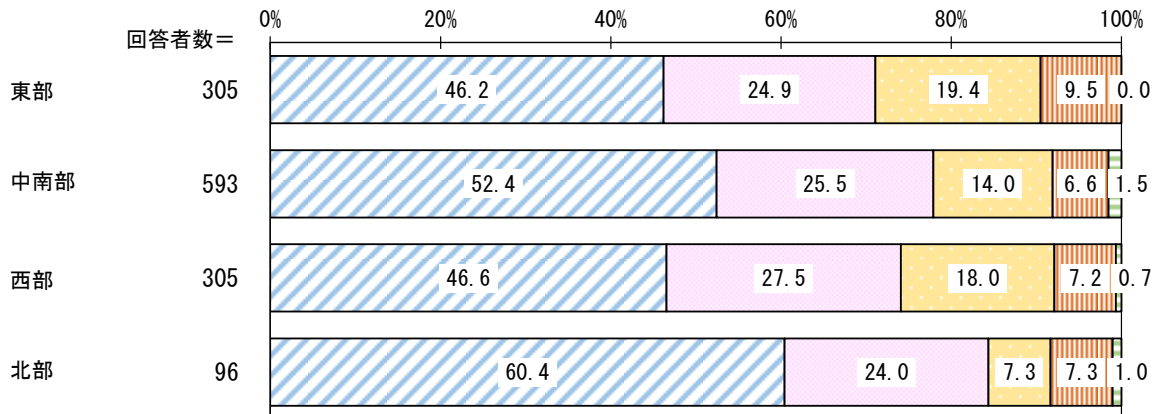
**【世代別】**

世代別でみると、年齢が上がるにつれて、“行っている”の割合が高くなる傾向がみられます。



**【居住地区別】**

居住地区別では、北部地区で“行っている”の割合が高くなっています。



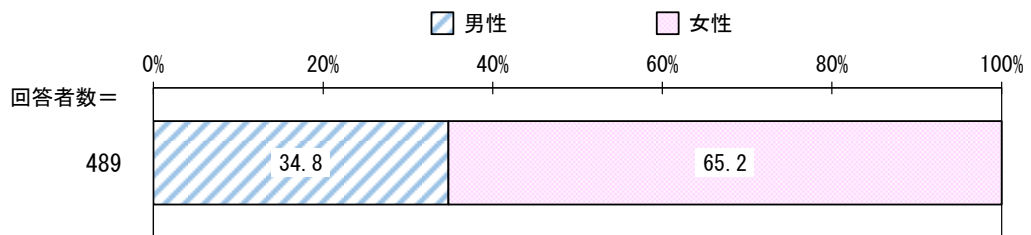
## (7) 市民の行動等に関する分析

スポーツ・レクリエーション活動、省資源や省エネルギーへの心がけ、ごみ減量に向けた活動、公共交通の利用など、市民の行動や活動等に関する設問において、「(活動・利用)していない」や「心がけていない」、「そう思わない」等の回答をされた層について、その属性を分析します。

Q27 「あなたはどのくらいの頻度でスポーツ・レクリエーション活動を行っていますか。」の設問で「全くしない」と回答した人(36.4%)について

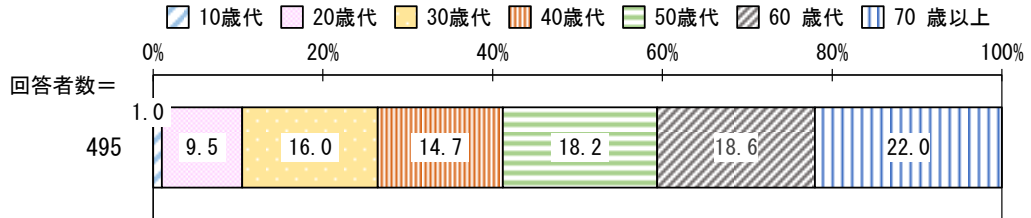
### 【性別】

「男性」の割合が34.8%、「女性」の割合が65.2%となっています。



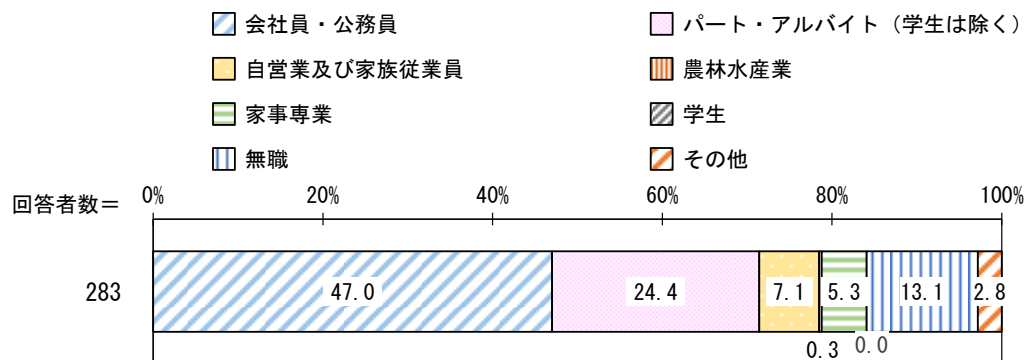
### 【年代】

「70歳以上」の割合が22.0%と最も高く、次いで「60歳代」が18.6%、「50歳代」が18.2%となっています。



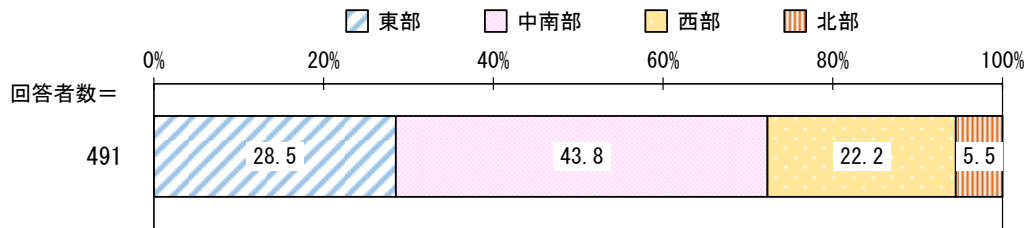
### 【職業】

「会社員・公務員」の割合が47.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト(学生は除く)」が24.4%、「無職」が13.1%となっています。



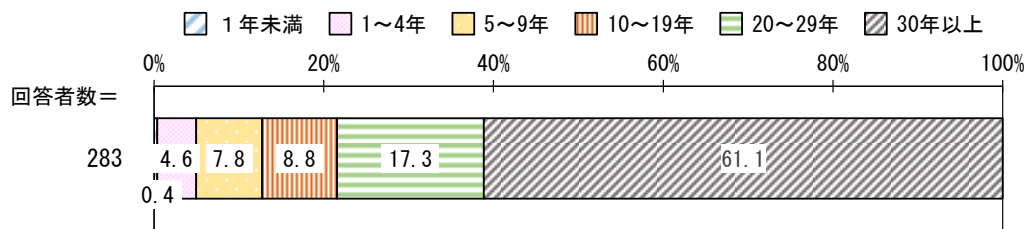
### 【居住地区】

「中南部」の割合が43.8%と最も高く、次いで「東部」が28.5%、「西部」が22.2%となっています。



### 【居住年数】

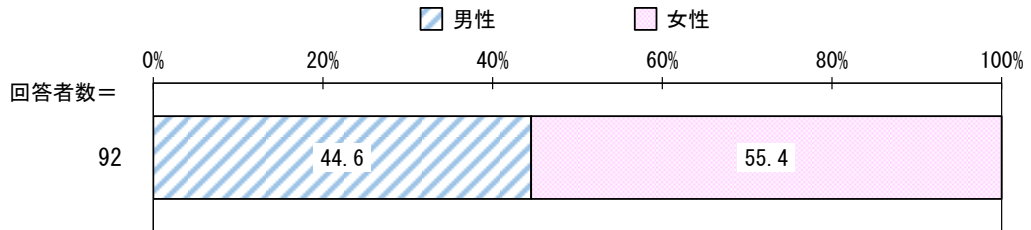
「30年以上」の割合が61.1%と最も高く、次いで「20～29年」が17.3%、「10～19年」が8.8%となっています。



Q31 「あなた自身の健康についてどう感じていますか。」の設問で「健康ではない」と回答した人(22.9%)について

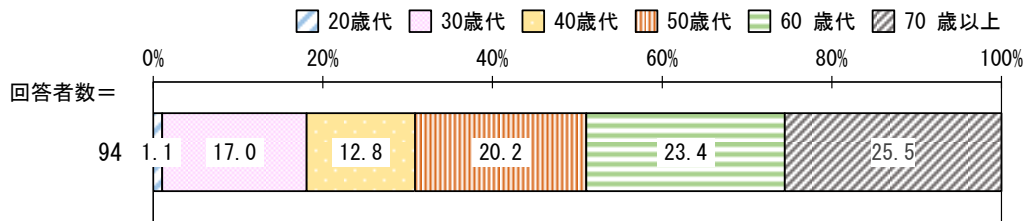
【性別】

「男性」の割合が44.6%、「女性」の割合が55.4%となっています。



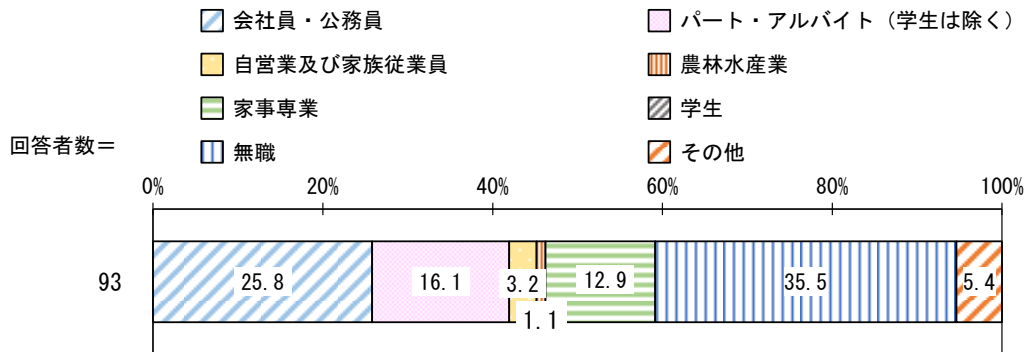
【年代】

「70歳以上」の割合が25.5%と最も高く、次いで「60歳代」が23.4%、「50歳代」が20.2%となっています。



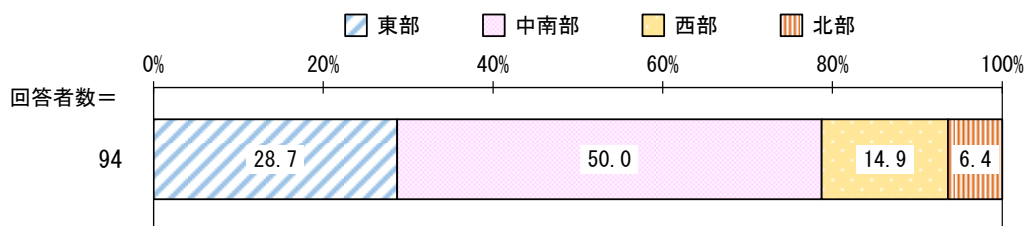
【職業】

「無職」の割合が35.5%と最も高く、次いで「会社員・公務員」が25.8%、「パート・アルバイト（学生は除く）」が16.1%となっています。



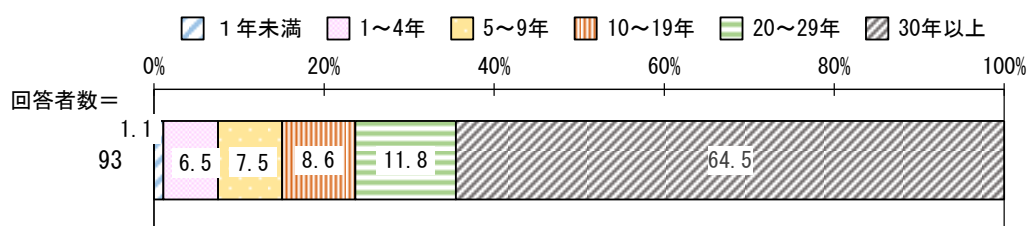
### 【居住地区】

「中南部」の割合が50.0%と最も高く、次いで「東部」が28.7%、「西部」が14.9%となっています。



### 【居住年数】

「30年以上」の割合が64.5%と最も高く、次いで「20～29年」が11.8%、「10～19年」が8.6%となっています。

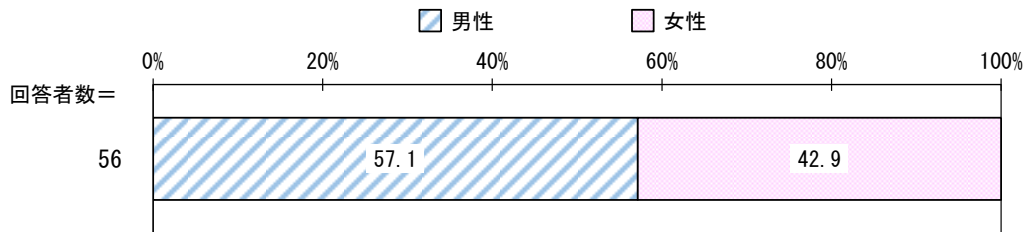




Q38 「日々の暮らしで、省資源や省エネルギーに心がけていますか。」の設問で「心がけていない」と回答した人(15.0%)について

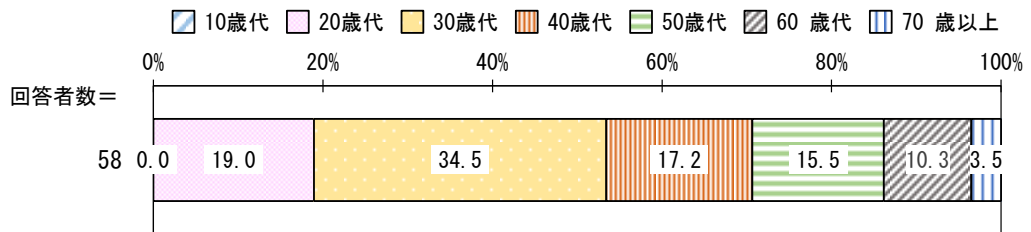
【性別】

「男性」の割合が57.1%、「女性」の割合が42.9%となっています。



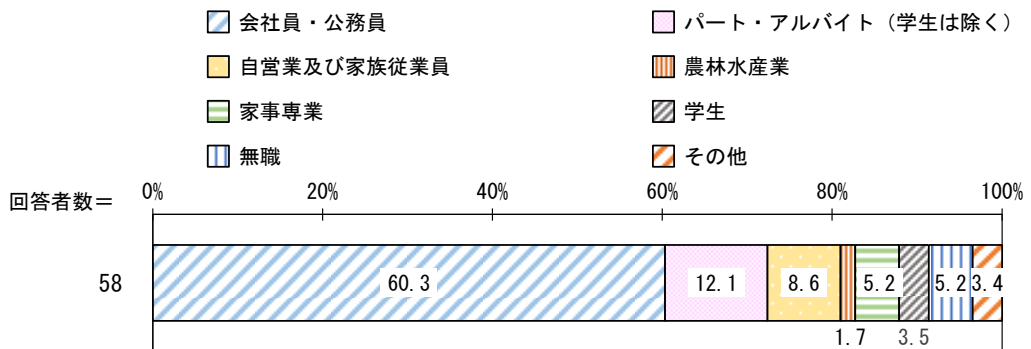
【年代】

「30歳代」の割合が34.5%と最も高く、次いで「20歳代」が19.0%、「40歳代」が17.2%となっています。



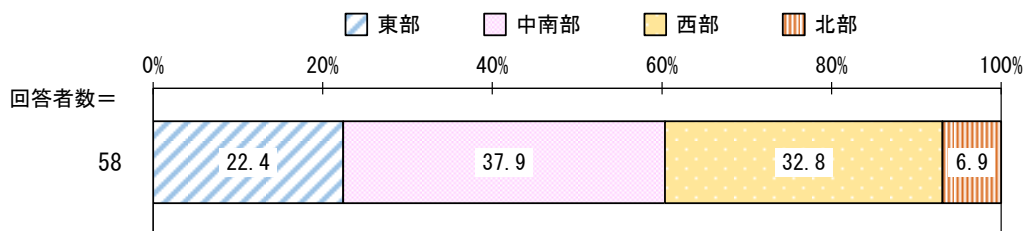
【職業】

「会社員・公務員」の割合が60.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト（学生は除く）」が12.1%、「自営業及び家族従業員」が8.6%となっています。



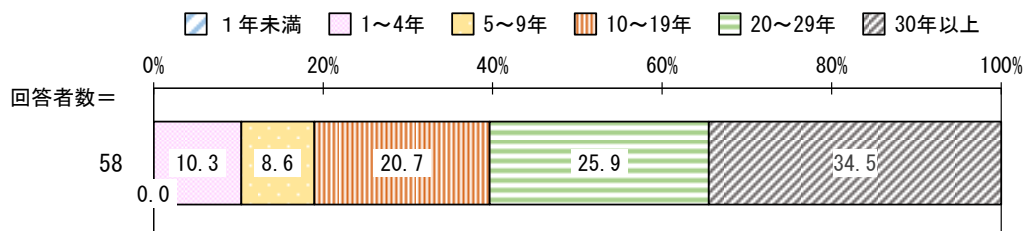
### 【居住地区】

「中南部」の割合が37.9%と最も高く、次いで「西部」が32.8%、「東部」が22.4%となっています。



### 【居住年数】

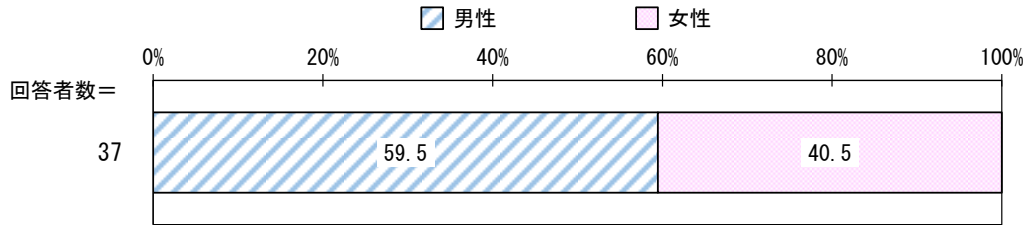
「30年以上」の割合が34.5%と最も高く、次いで「20～29年」が25.9%、「10～19年」が20.7%となっています。



Q39 「マイバッグの利用やごみの分別・リサイクルの徹底など、ごみ減量に向けた活動が広がっていると思いますか。」の設問で「そう思わない」と回答した人(9.3%)について

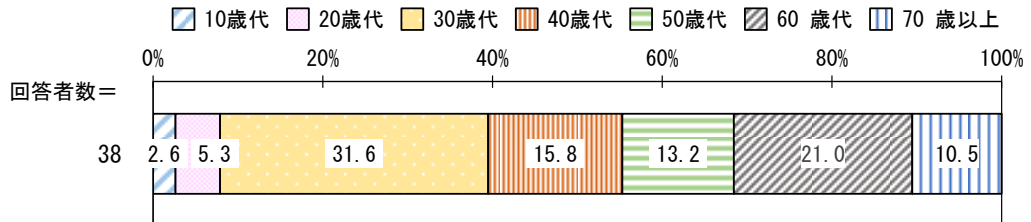
【性別】

「男性」の割合が59.5%、「女性」の割合が40.5%となっています。



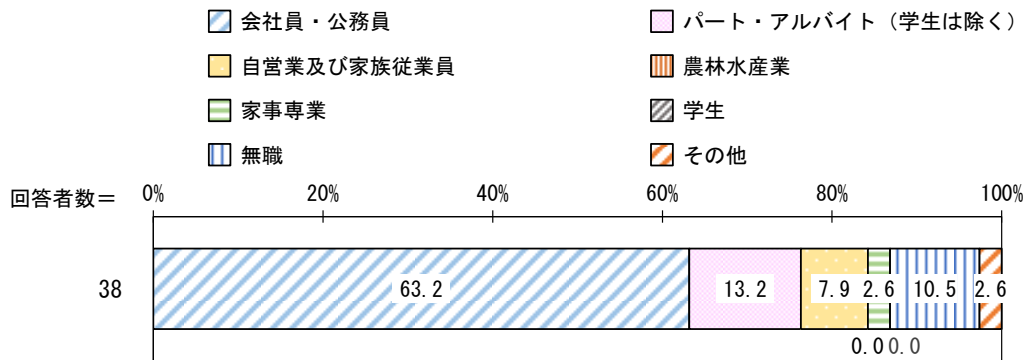
【年代】

「30歳代」の割合が31.6%と最も高く、次いで「60歳代」が21.0%、「40歳代」が15.8%となっています。



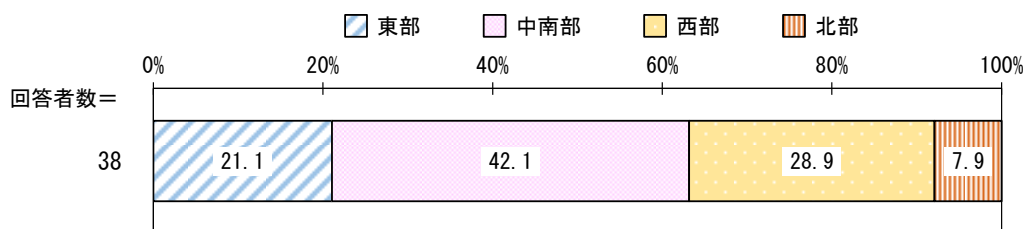
【職業】

「会社員・公務員」の割合が63.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト（学生は除く）」が13.2%、「無職」が10.5%となっています。



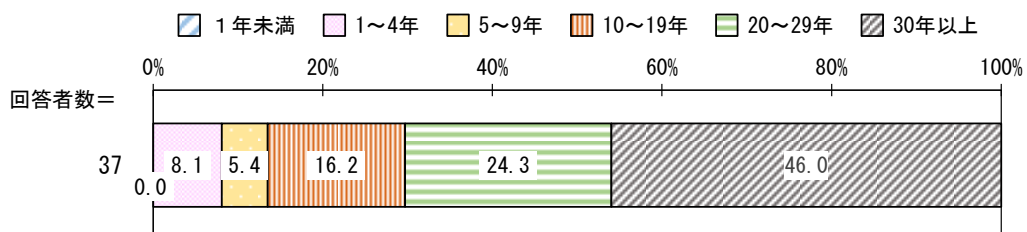
### 【居住地区】

「中南部」の割合が42.1%と最も高く、次いで「西部」が28.9%、「東部」が21.1%となっています。



### 【居住年数】

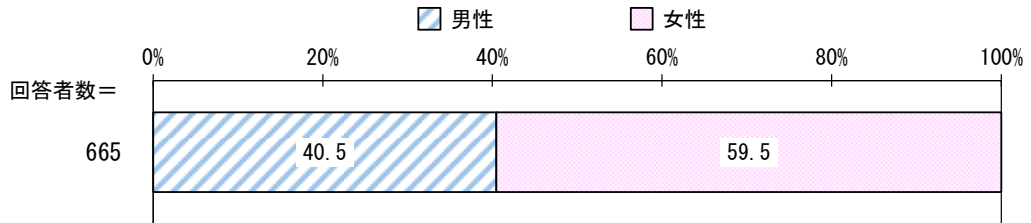
「30年以上」の割合が46.0%と最も高く、次いで「20～29年」が24.3%、「10～19年」が16.2%となっています。



Q40 「鉄道や路線バスなどの公共交通を利用していますか。」の設問で「この1年公共交通を利用していない」と回答した人(49.2%)について

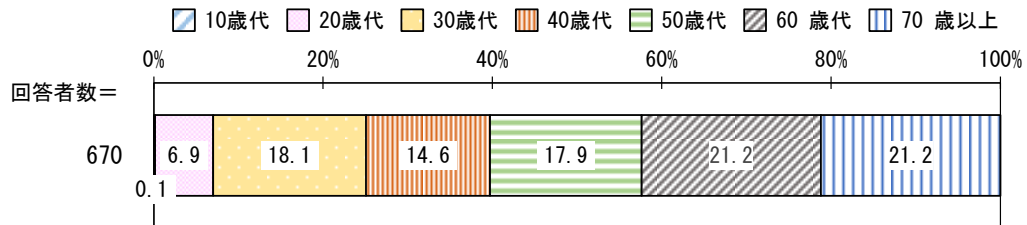
【性別】

「男性」の割合が40.5%、「女性」の割合が59.5%となっています。



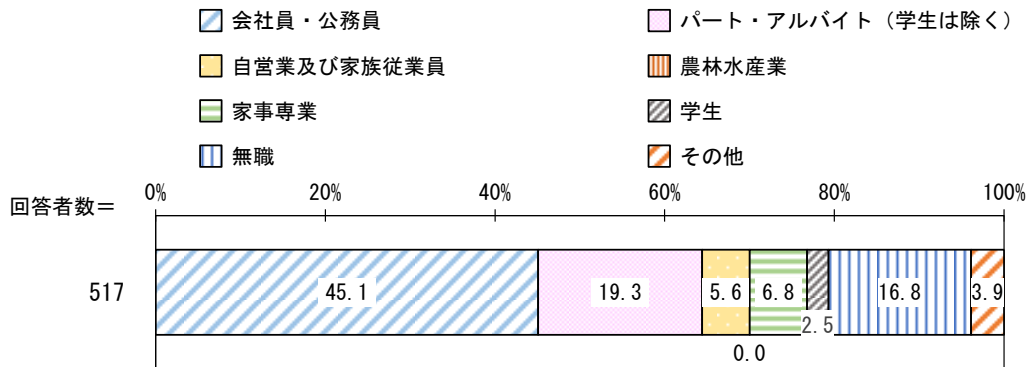
【年代】

「60歳代」と「70歳以上」の割合が21.2%と最も高く、次いで「30歳代」が18.1%、「50歳代」が17.9%となっています。



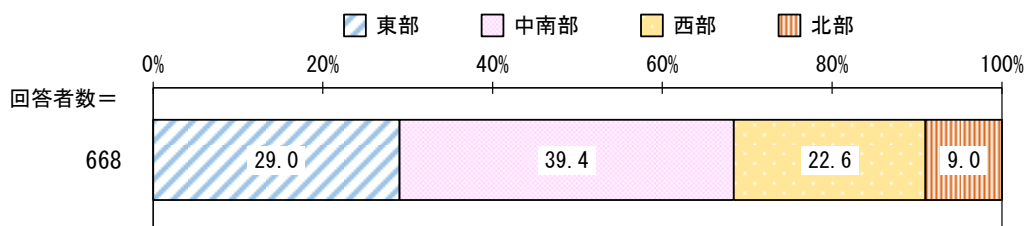
【職業】

「会社員・公務員（フルタイム）」の割合が45.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト（学生は除く）」が19.3%、「無職」が16.8%となっています。



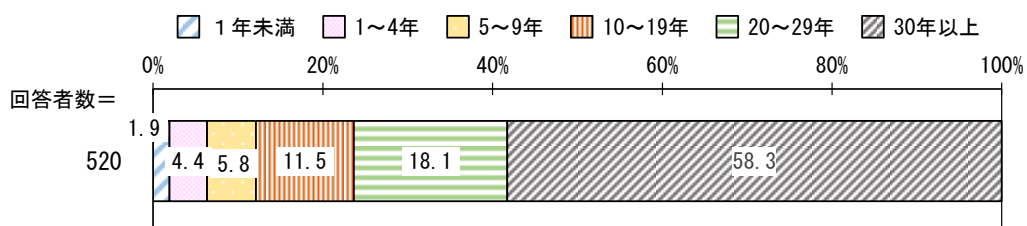
### 【居住地区】

「中南部」の割合が39.4%と最も高く、次いで「東部」が29.0%、「西部」が22.6%となっています。



### 【居住年数】

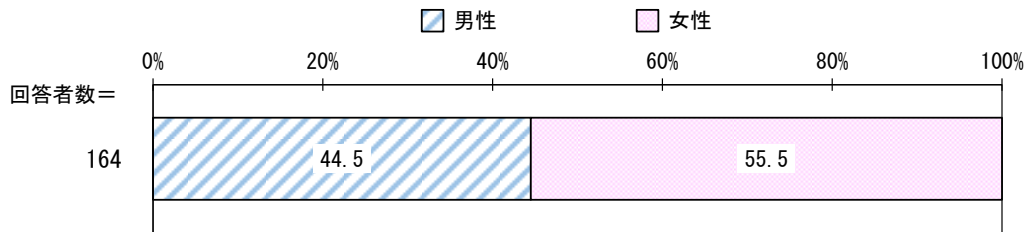
「30年以上」の割合が58.3%と最も高く、次いで「20～29年」が18.1%、「10～19年」が11.5%となっています。



Q51 「市民の意見や活動がまちづくりに反映されていると思いますか。」の設問で「そう思わない」と回答した人(32.7%)について

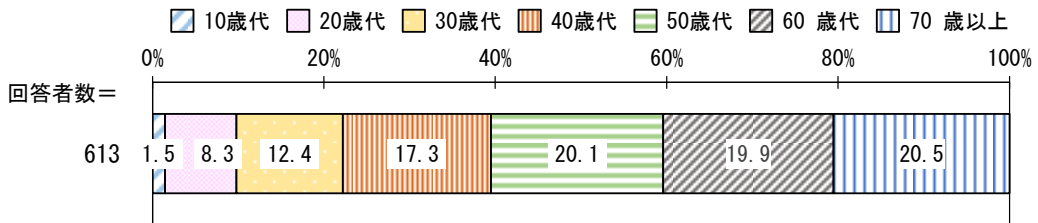
【性別】

「男性」の割合が44.5%、「女性」の割合が55.5%となっています。



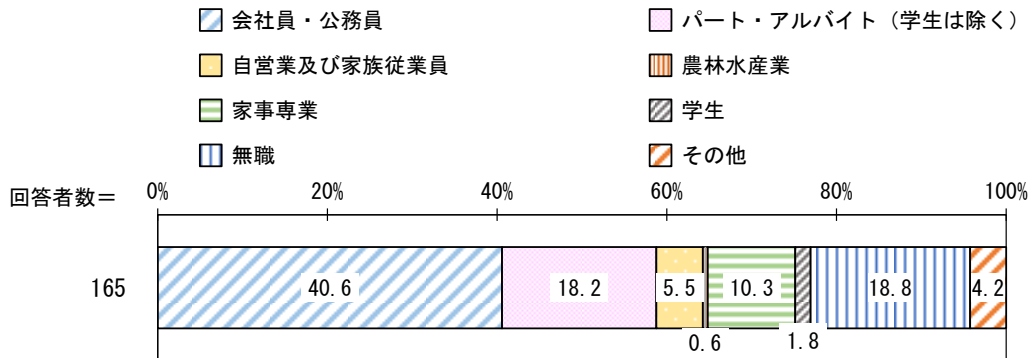
【年代】

「70歳以上」の割合が20.5%と最も高く、次いで「50歳代」が20.1%、「60歳代」が19.9%となっています。



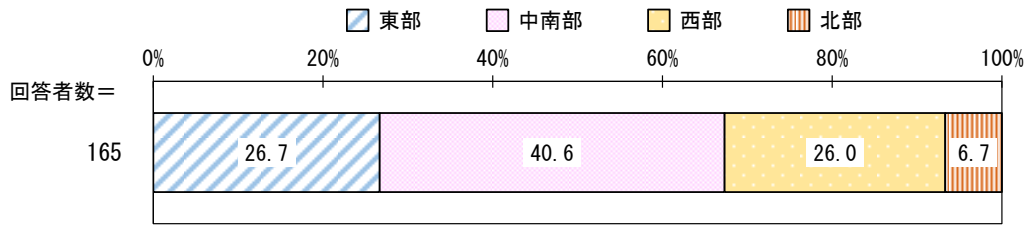
【職業】

「会社員・公務員」の割合が40.6%と最も高く、次いで「無職」が18.8%、「パート・アルバイト（学生は除く）」が18.2%となっています。



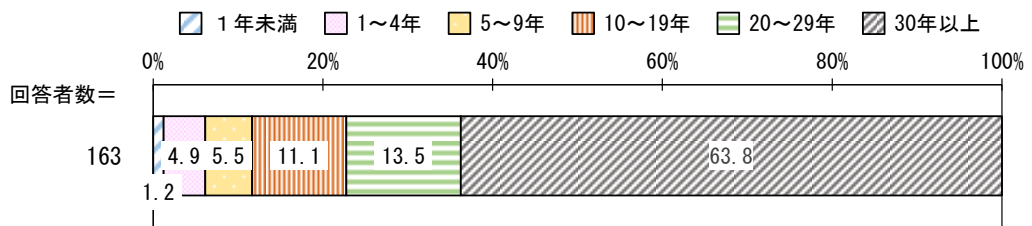
### 【居住地区】

「中南部」の割合が40.6%と最も高く、次いで「東部」が26.7%、「西部」が26.0%となっています。



### 【居住年数】

「30年以上」の割合が63.8%と最も高く、次いで「20～29年」が13.5%、「10～19年」が11.1%となっています。





## 4 第五次宇部市総合計画 前期実行計画 各施策の満足度・重要度について

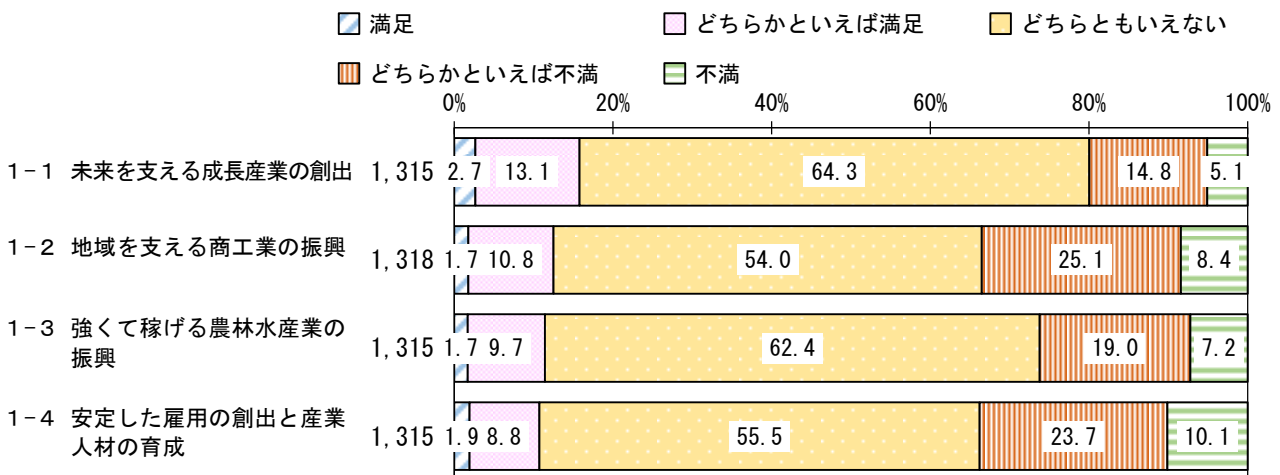
Q53 宇部市が実施している主な施策について、あなたが感じている現状の「満足度」と、まちづくり全体からみた今後の「重要度」をお答えください。  
 (「満足度」「重要度」それぞれ1つに○)

### (1) 各施策の満足度・重要度

#### ① 活気に満ちた強い産業のまち

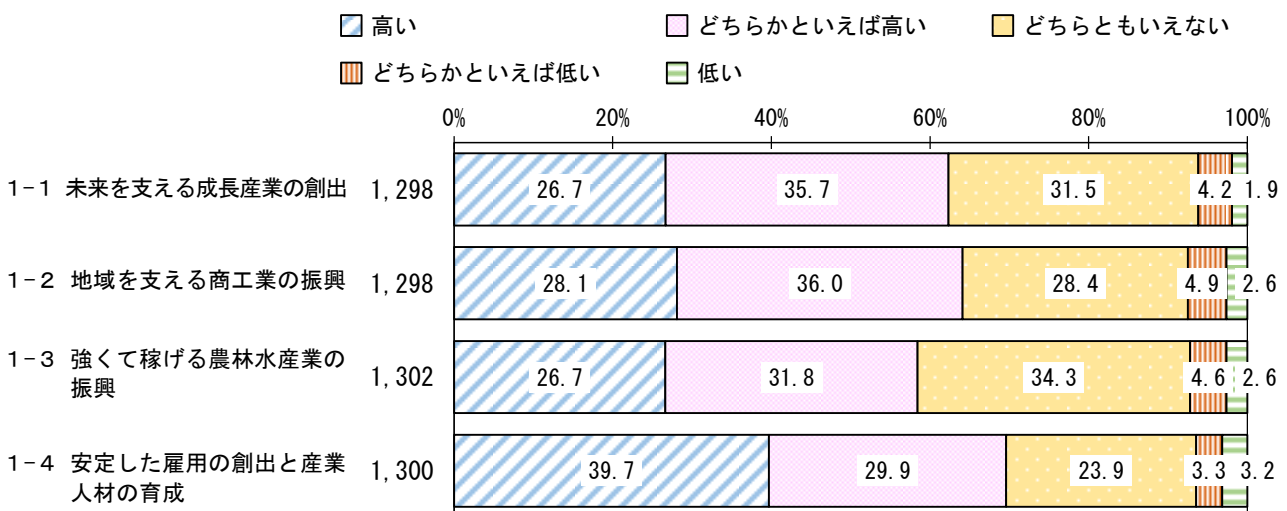
##### 【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『1-1 未来を支える成長産業の創出』で15.8%と最も高く、次いで『1-2 地域を支える商工業の振興』で12.5%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成』で33.8%と最も高く、次いで『1-2 地域を支える商工業の振興』で33.5%となっています。



##### 【今後の重要度】

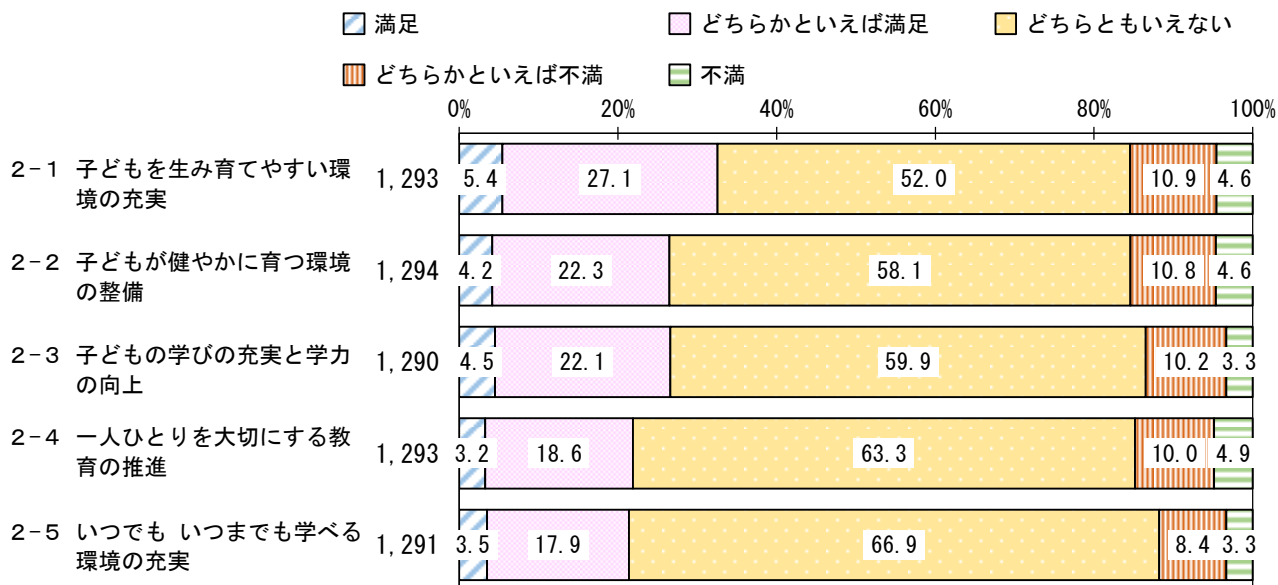
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成』で69.6%と最も高く、次いで『1-2 地域を支える商工業の振興』で64.1%、『1-1 未来を支える成長産業の創出』で62.4%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は、『1-2 地域を支える商工業の振興』で7.5%と最も高く、次いで『1-3 強く稼げる農林水産業の振興』で7.2%となっています。



## ② 未来を拓くひとを育むまち

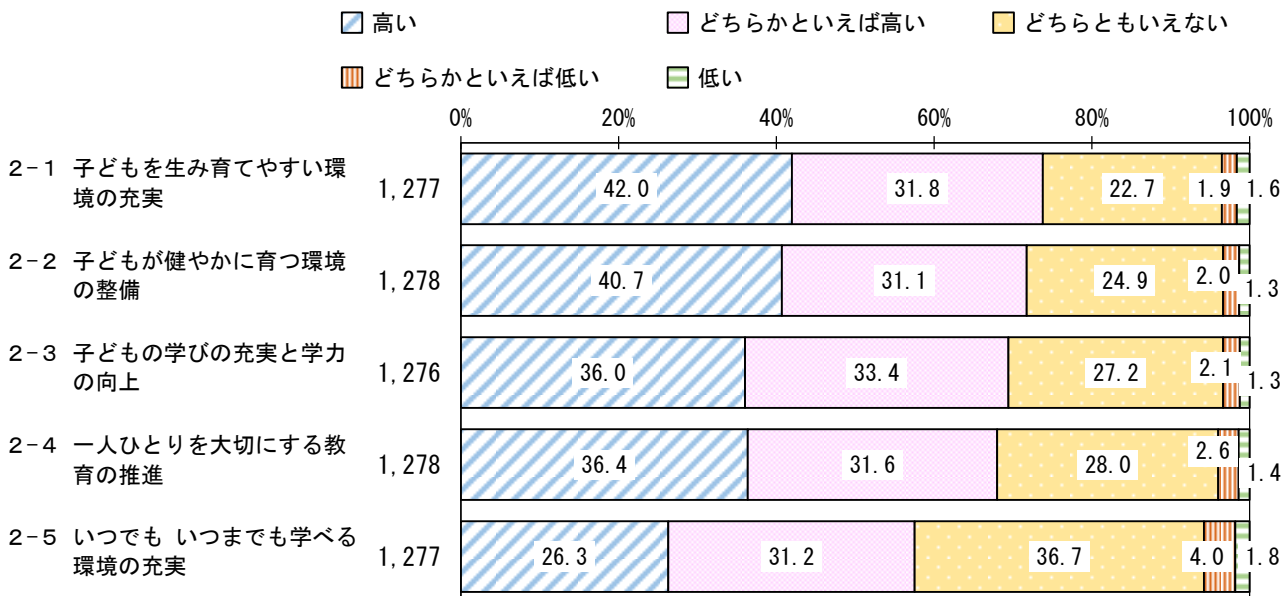
### 【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実』で32.5%と最も高く、次いで『2-3 子どもの学びの充実と学力の向上』で26.6%、『2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備』で26.5%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実』で15.5%と最も高く、次いで『2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備』で15.4%となっています。



### 【今後の重要度】

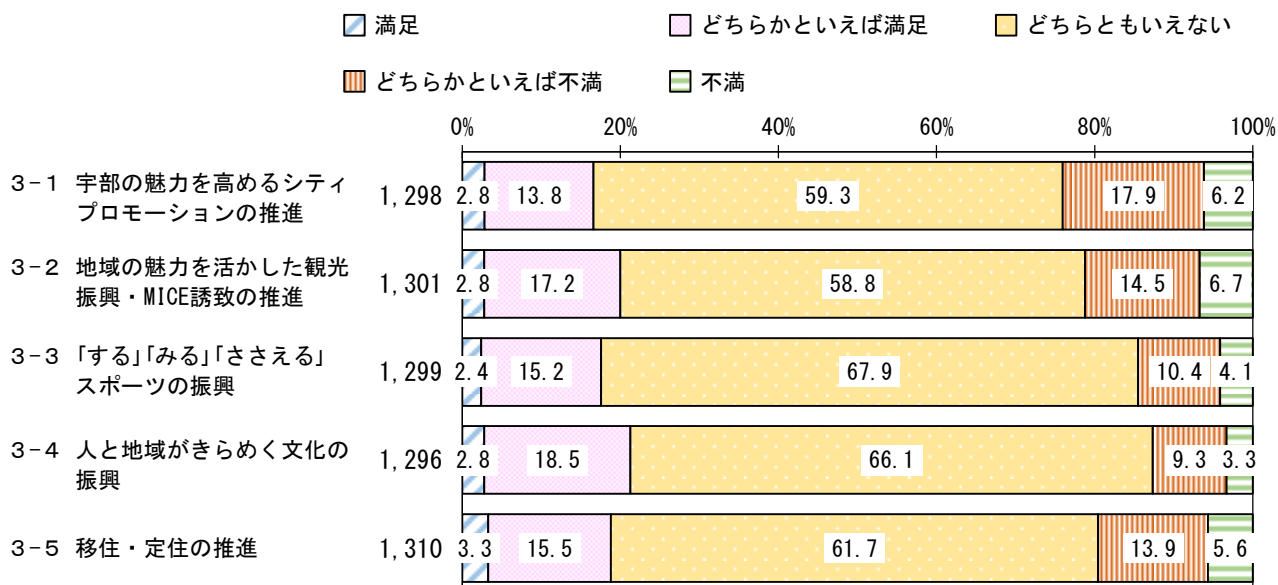
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実』で73.8%と最も高く、次いで『2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備』で71.8%、『2-3 子どもの学びの充実と学力の向上』で69.4%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は『2-5 いつでもいつまでも学べる環境の充実』で5.8%と最も高く、次いで『2-4 一人ひとりを大切にする教育の推進』で4.0%となっています。



### ③ 魅力と賑わいにあふれるまち

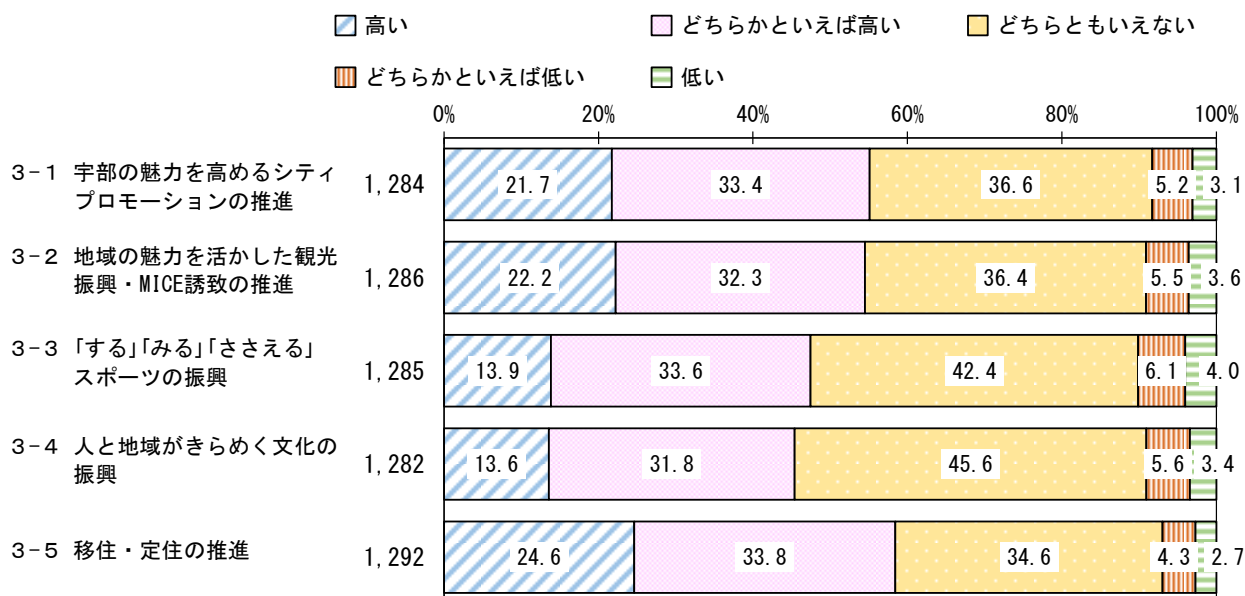
#### 【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『3-4 人と地域がきらめく文化の振興』で21.3%と最も高く、次いで『3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進』で20.0%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進』で24.1%と最も高く、次いで『3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進』で21.2%となっています。



#### 【今後の重要度】

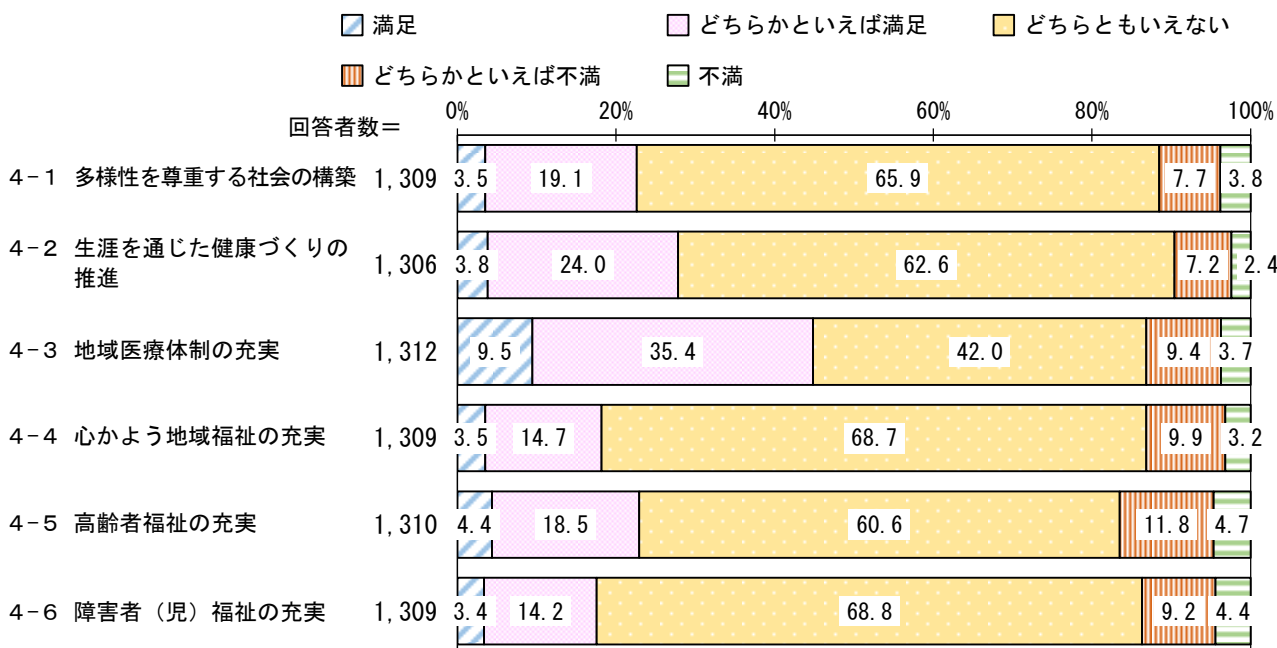
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『3-5 移住・定住の推進』で58.4%と最も高く、次いで『3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進』で55.1%、『3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進』で54.5%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は『3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興』で10.1%と最も高く、次いで『3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進』で9.1%となっています。



#### ④ 誰もが健康で自分らしく暮らせるまち

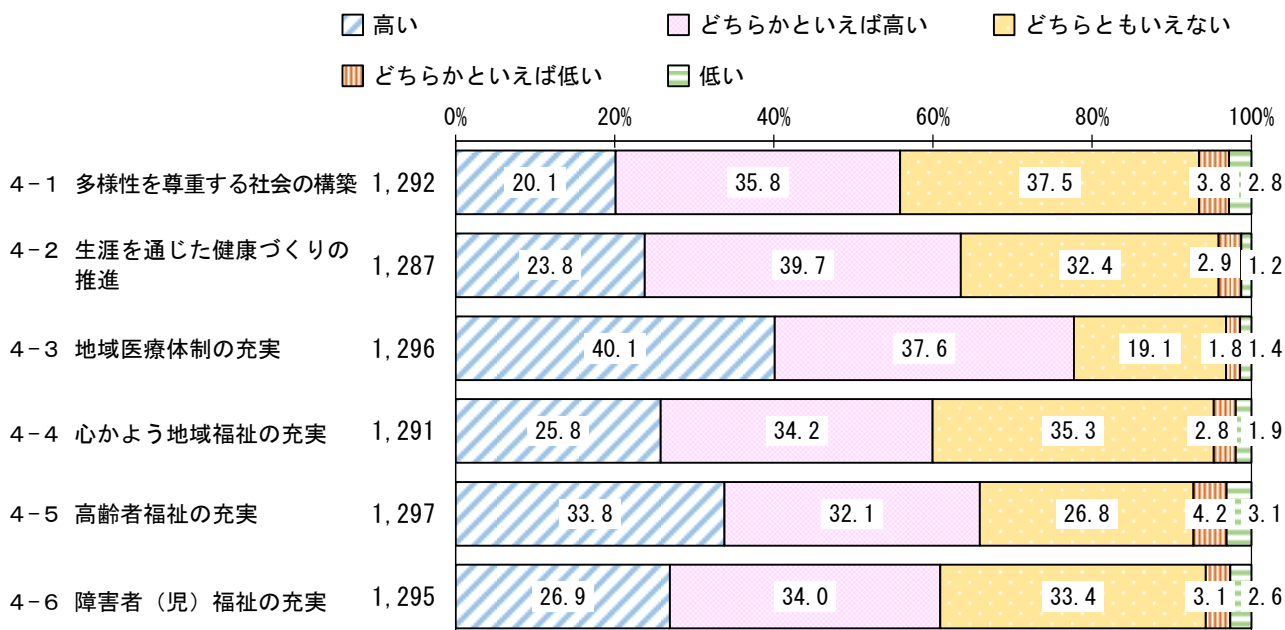
##### 【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『4-3 地域医療体制の充実』で44.9%と最も高く、次いで『4-2 生涯を通じた健康づくりの推進』で27.8%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『4-5 高齢者福祉の充実』で16.5%と最も高く、次いで『4-6 障害者（児）福祉の充実』で13.6%となっています。



##### 【今後の重要度】

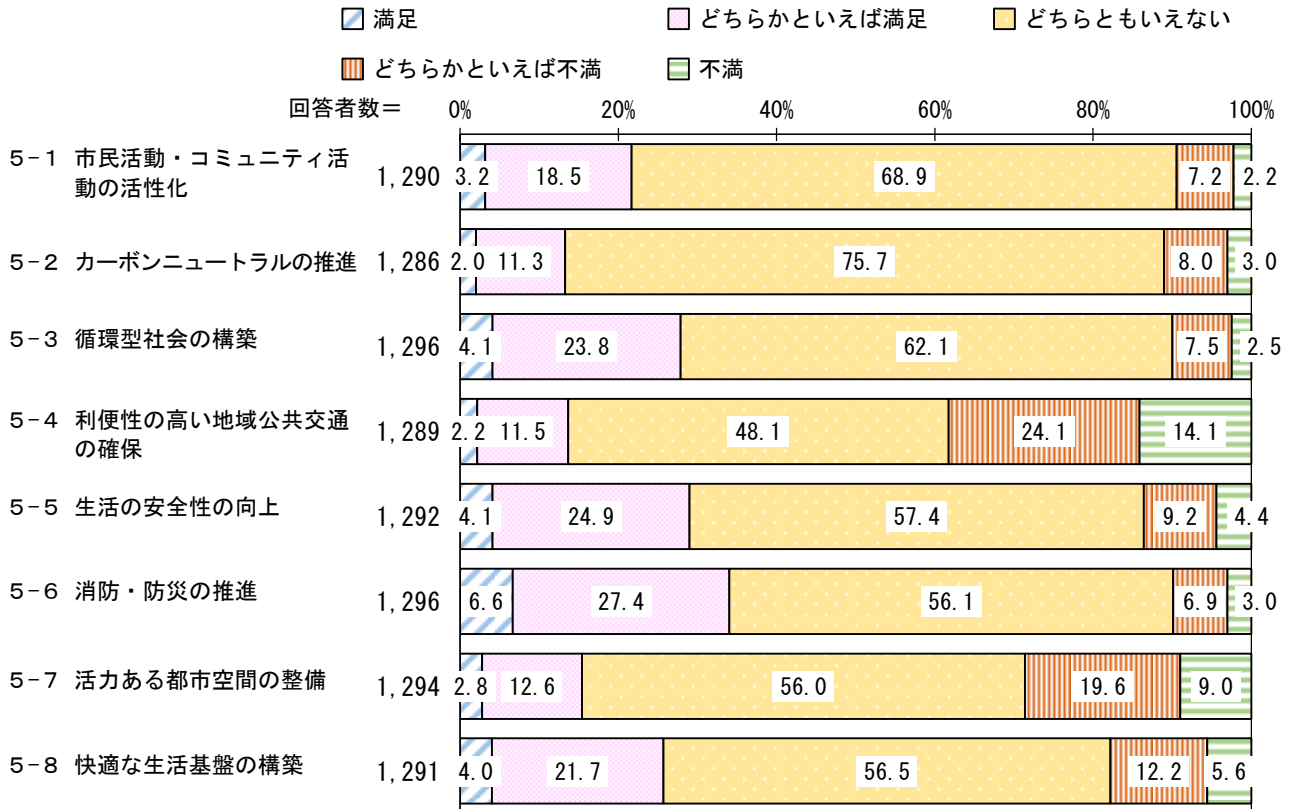
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『4-3 地域医療体制の充実』で77.7%と最も高く、次いで『4-5 高齢者福祉の充実』で65.9%、『4-2 生涯を通じた健康づくりの推進』で63.5%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は『4-5 高齢者福祉の充実』で7.3%と最も高く、次いで『4-1 多様性を尊重する社会の構築』で6.6%となっています。



## ⑤ 安心・安全で快適に暮らせるまち

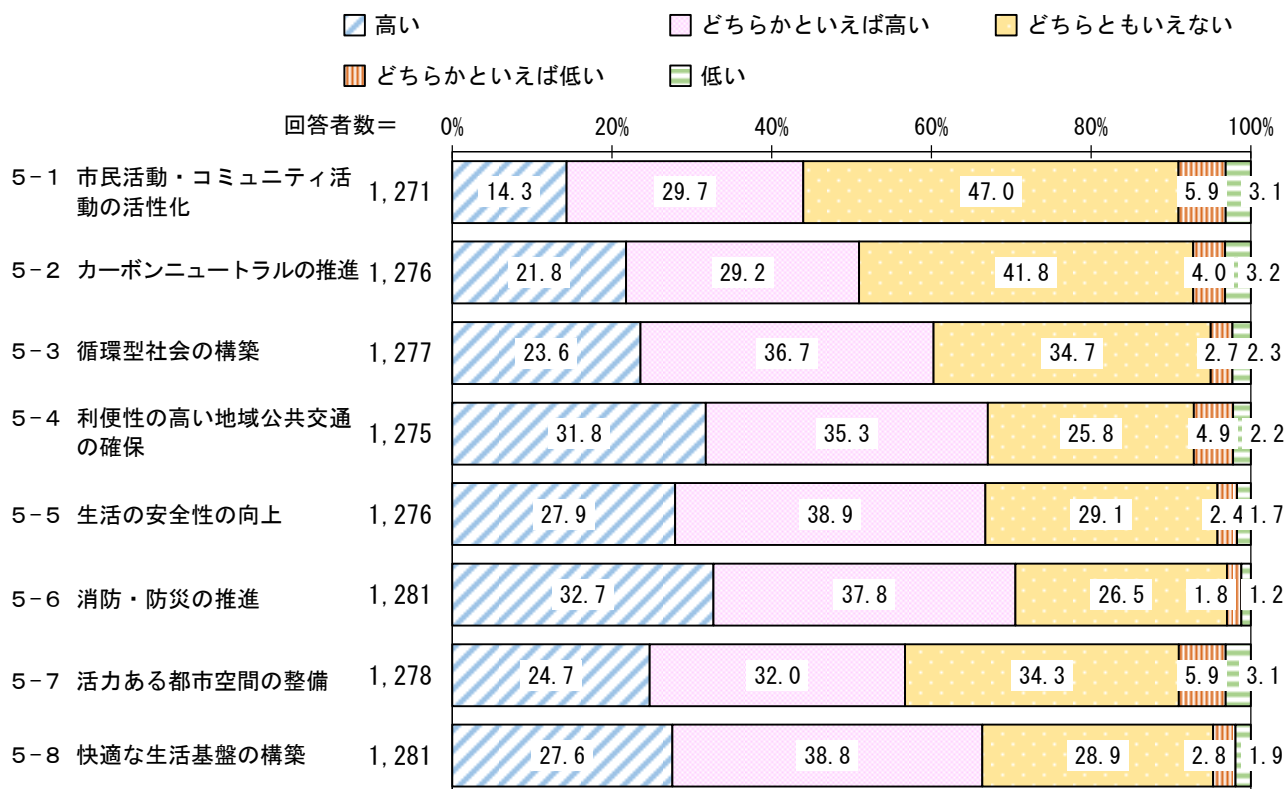
### 【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『5-6 消防・防災の推進』で34.0%と最も高く、次いで『5-5 生活の安全性の向上』で29.0%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『5-4 利便性の高い地域公共交通の確保』で38.2%と最も高く、次いで『5-7 活力ある都市空間の整備』で28.6%となっています。



## 【今後の重要度】

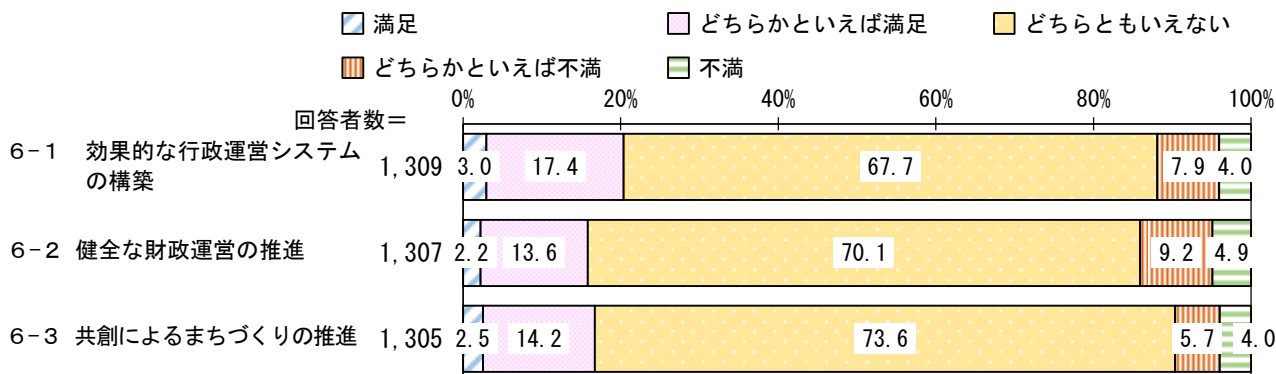
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『5-6 消防・防災の推進』で70.5%と最も高く、次いで『5-4 利便性の高い地域公共交通の確保』で67.1%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は『5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化』『5-7 活力ある都市空間の整備』で9.0%と最も高く、次いで『5-2 カーボンニュートラルの推進』が7.2%となっています。



## ⑥ まちづくりの推進に向けて

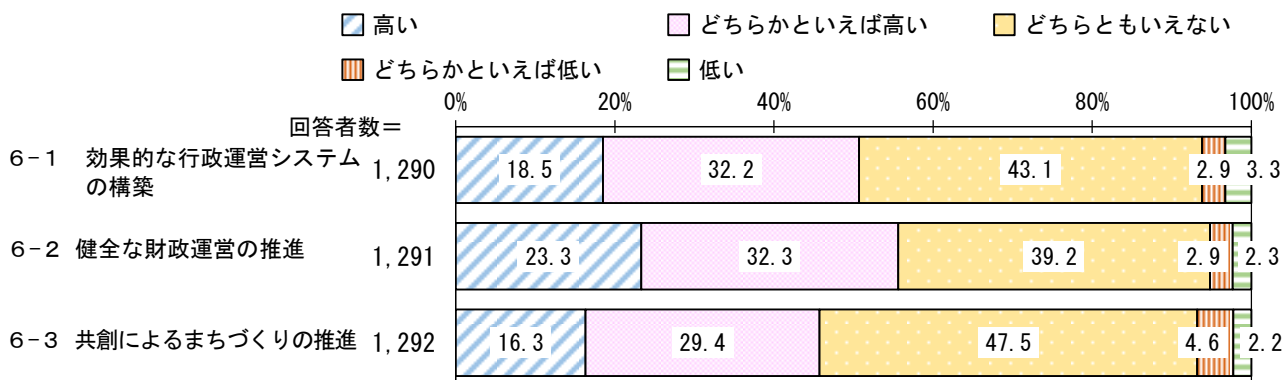
### 【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『6-1 効果的な行政運営システムの構築』で20.4%と最も高く、次いで『6-3 共創によるまちづくりの推進』が16.7%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『6-2 健全な財政運営の推進』で14.1%と最も高く、次いで『6-1 効果的な行政運営システムの構築』で11.9%となっています。



### 【今後の重要度】

「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『6-2 健全な財政運営の推進』で55.6%と最も高く、次いで『6-1 効果的な行政運営システムの構築』が50.7%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は『6-3 共創によるまちづくりの推進』で6.8%と最も高く、次いで『6-1 効果的な行政運営システムの構築』で6.2%となっています。



## (2) ライフステージ別の満足度

市政に関する関心や満足の度合いは、その市民の置かれているライフステージ（年齢や家族構成、同居家族の有無などによって定義される人生の段階）によって異なるものと考えられます。

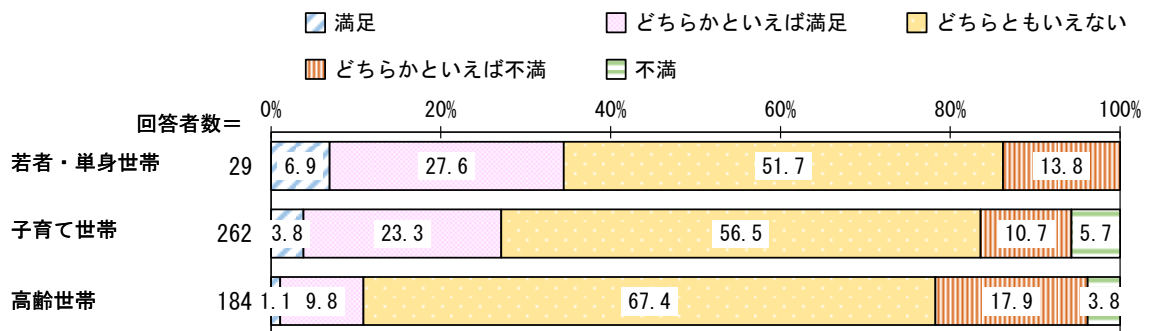
本調査では「年齢」、「家族構成」、「同居家族」の3つの属性に関する回答から、人生における様々なライフステージにおいて、下記の3パターンに絞って分析を行うことにより、ライフステージによって異なる市民の施策満足度の傾向を明らかにします。

ライフステージ (世帯構成のパターン)	本調査での定義		
	年齢	家族構成	同居家族
パターンⅠ 若者・単身世帯	10歳代～20歳代	単身	—
パターンⅡ 子育て世帯	10歳代～40歳代	2世代世帯(親子)、 3世代世帯(親・子・孫)	就学前の乳幼児、 小学生、中学生
パターンⅢ 高齢世帯	70歳以上	単身、 1世代世帯(夫婦のみ)	—

### ① 活かに満ちた強い産業のまち

#### 1-1 未来を支える成長産業の創出

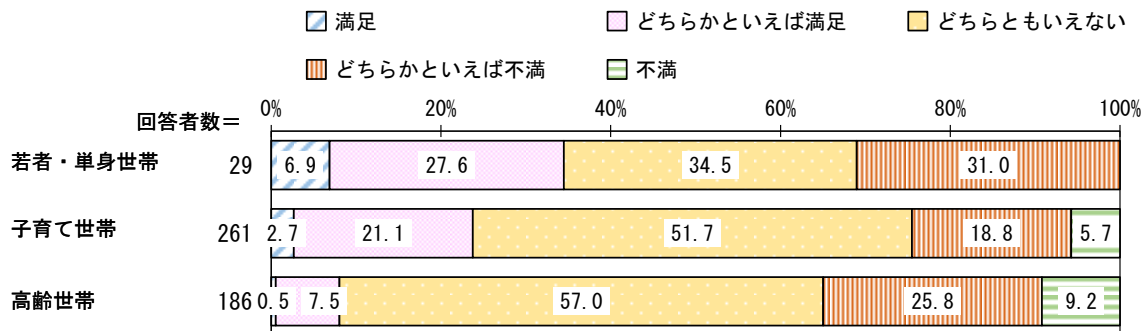
若者・単身世帯で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合が34.5%と、他のライフステージと比べて高くなっていますが、ライフステージの進行に伴って、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高くなる傾向がみられます。





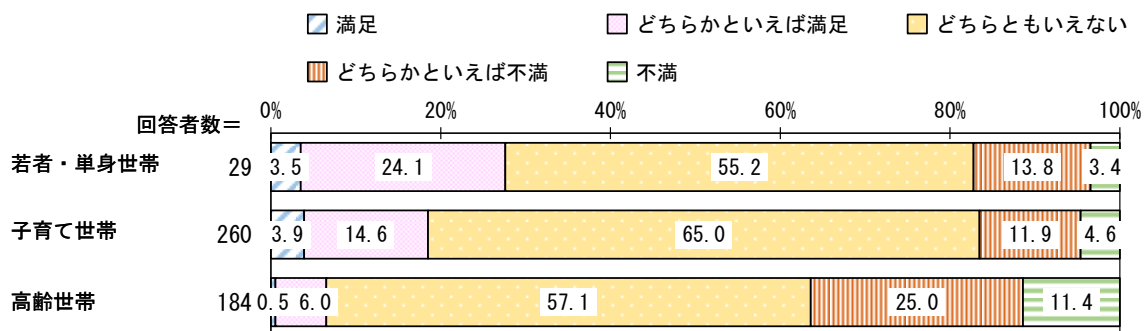
### 1-2 地域を支える商工業の振興

若者・単身世帯で“満足”の割合が34.5%と、他のライフステージと比べて高くなっている一方で、高齢世帯では“不満”の割合が35.0%となっています。



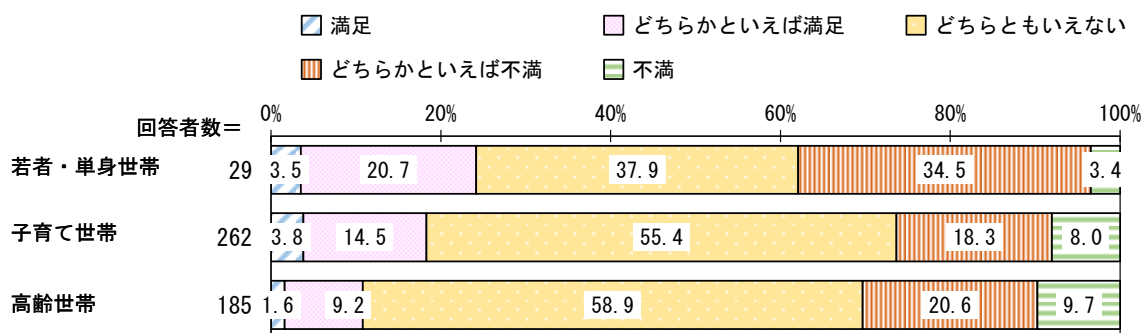
### 1-3 強くて稼げる農林水産業の振興

若者・単身世帯で“満足”の割合が27.6%と、他のライフステージと比べて高くなっている一方で、高齢世帯では“不満”の割合が36.4%となっています。



### 1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成

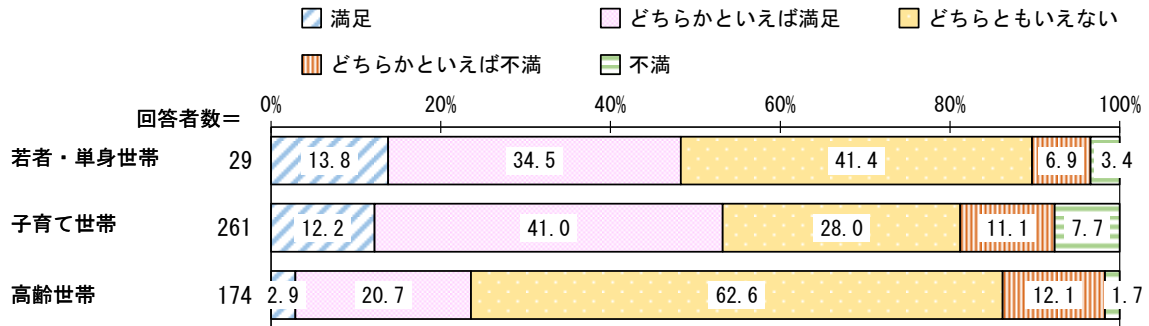
若者・単身世帯では“満足”の割合が24.2%と、他のライフステージと比べて高くなっている一方で、“不満”の割合も37.9%と、他のライフステージと比べて高くなっています。



## ② 未来を拓くひとを育むまち

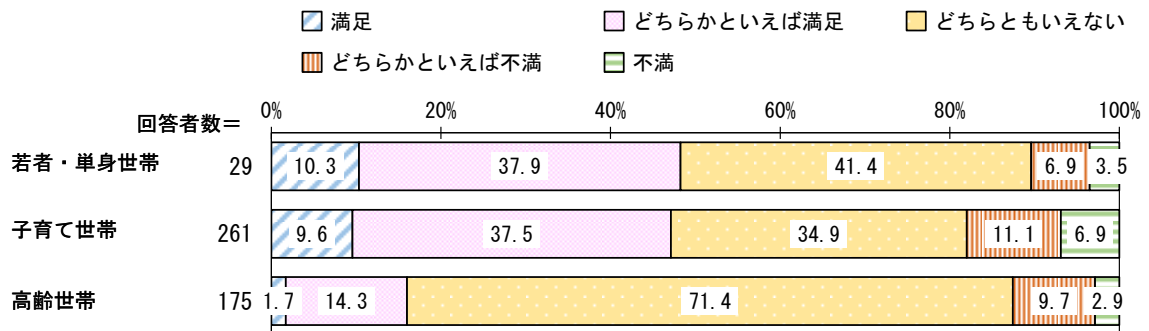
### 2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実

子育て世帯で“満足”の割合が5割を超えています、一方で“不満”の割合も18.8%と、他のライフステージに比べて高くなっています。



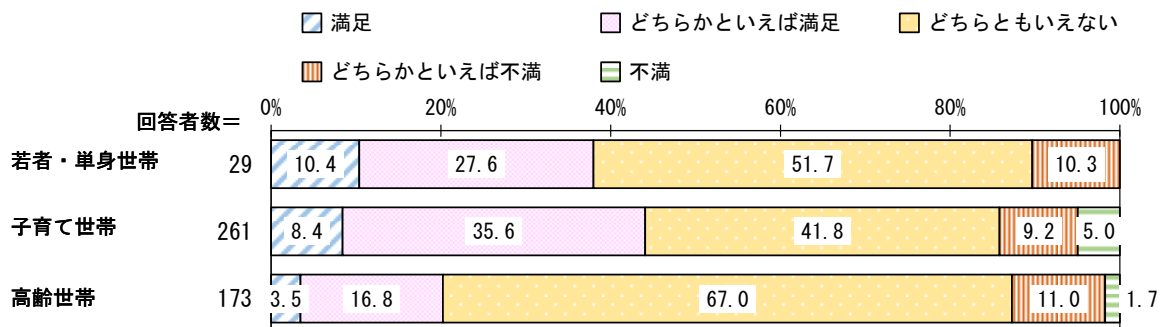
### 2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備

若者・単身世帯と子育て世帯の約5割が“満足”と回答していますが、一方、子育て世帯では“不満”の割合が18.0%と、他のライフステージに比べて高くなっています。



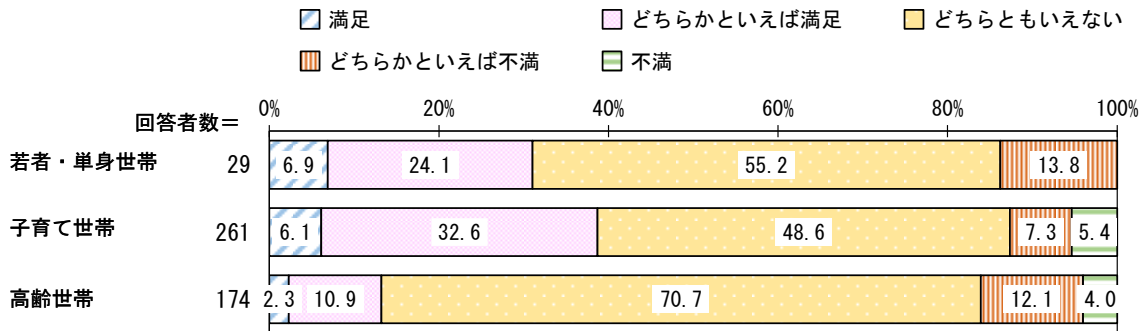
### 2-3 子どもの学びの充実と学力の向上

子育て世帯で“満足”の割合が4割を超えている一方で、“不満”の割合が14.2%と、他のライフステージに比べて高くなっています。



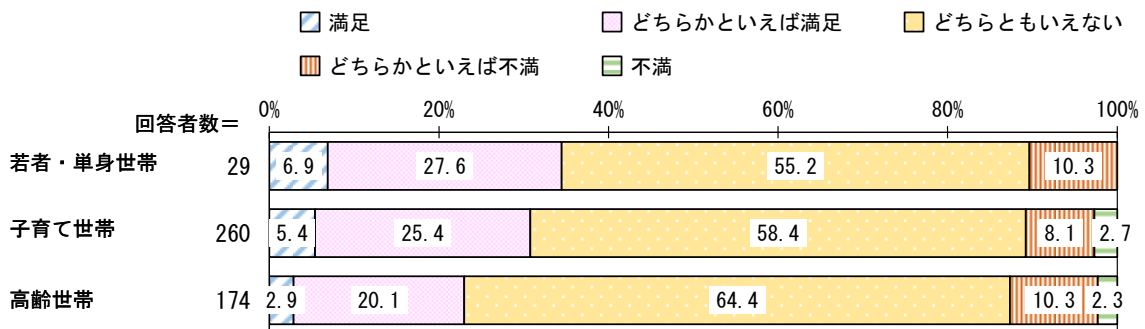
## 2-4 一人ひとりを大切にする教育の推進

子育て世帯で“満足”の割合が38.7%と、他のライフステージに比べて高くなっており、また、“不満”の割合は12.7%と、他のライフステージに比べて低くなっています。



## 2-5 いつでも いつまでも学べる環境の充実

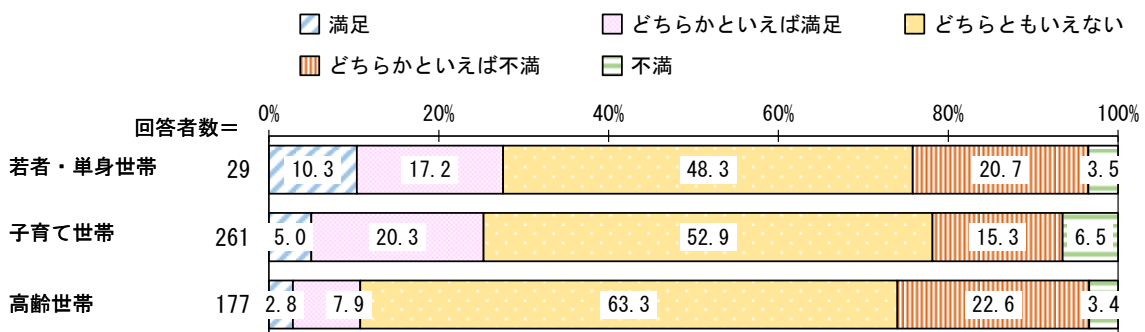
若者・単身世帯で“満足”の割合が34.5%と、他のライフステージに比べて高くなっています。また、“不満”の割合はライフステージの進行に伴って、高くなる傾向がみられます。



## ③ 魅力と賑わいにあふれるまち

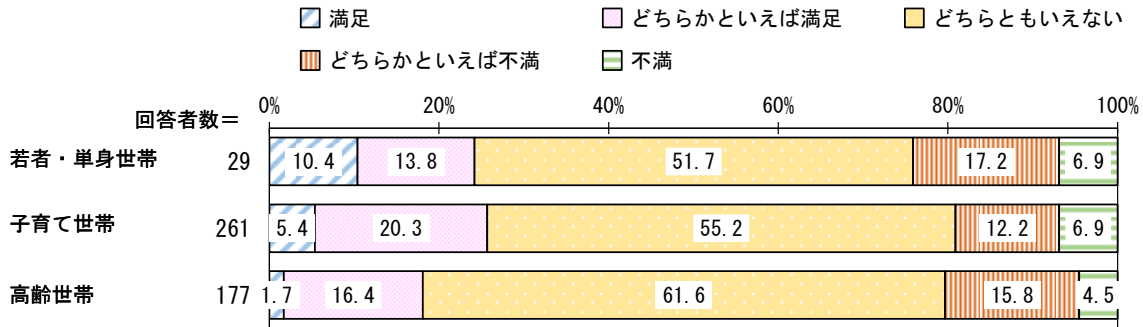
### 3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が27.5%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



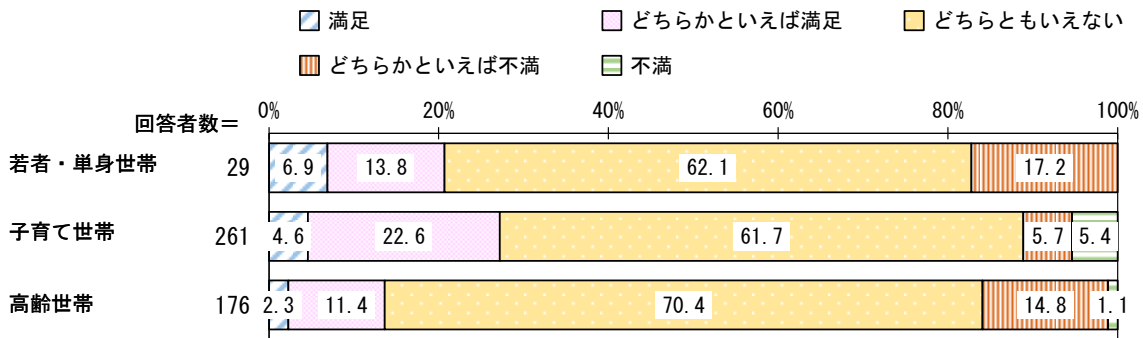
### 3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE 誘致の推進

子育て世帯で“満足”の割合が25.7%と、他のライフステージに比べて高い一方で、若者・単身世帯では“不満”の割合が24.1%と高くなっています。



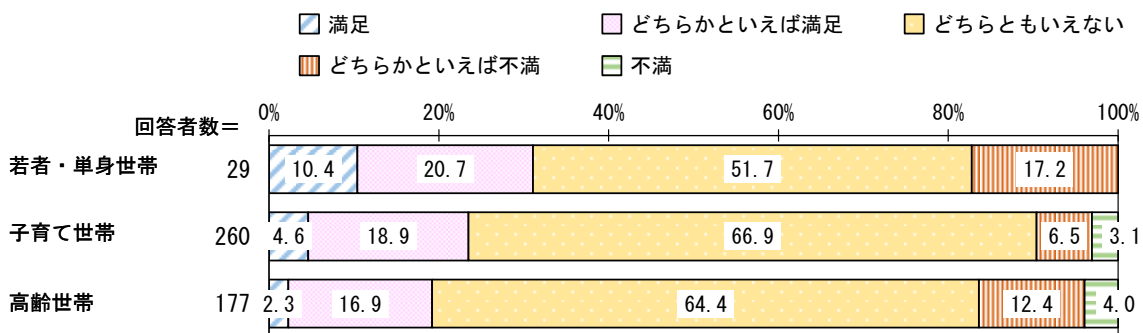
### 3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興

子育て世帯で“満足”の割合が27.2%と、他のライフステージに比べて高くなっており、“不満”の割合は11.1%と、他のライフステージに比べて低くなっています。



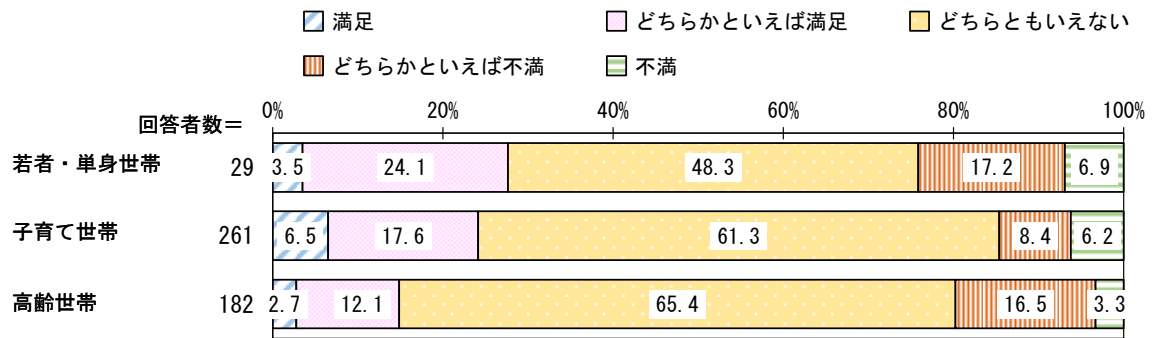
### 3-4 人と地域がきらめく文化の振興

若者・単身世帯で“満足”の割合が高く、31.1%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



### 3-5 移住・定住の推進

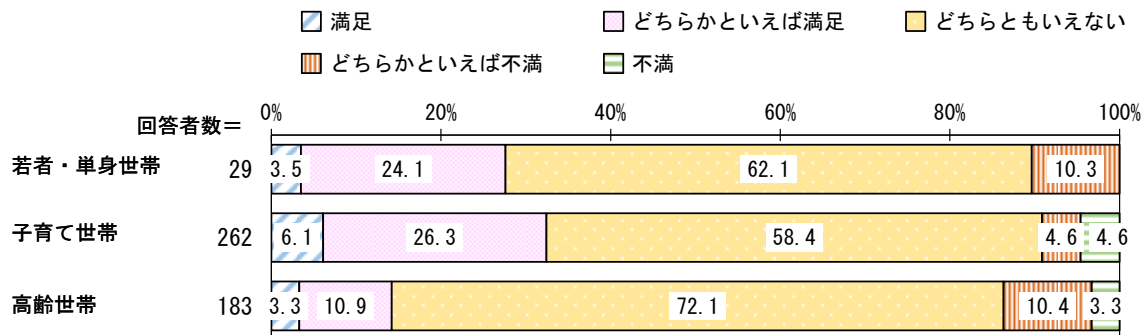
若者・単身世帯で“満足”の割合が高く、27.6%となっていますが、“ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



## ④ 誰もが健康で自分らしく暮らせるまち

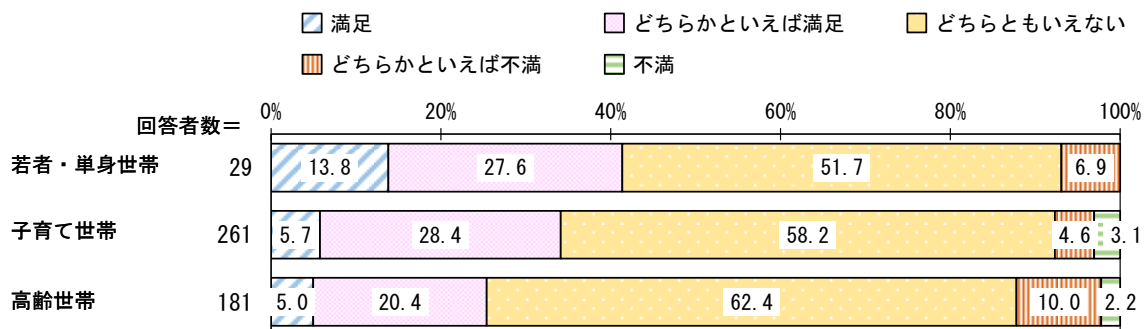
### 4-1 多様性を尊重する社会の構築

子育て世帯で“満足”の割合が高く、32.4%となっている一方で、高齢世帯では“不満”の割合が13.7%となっています。



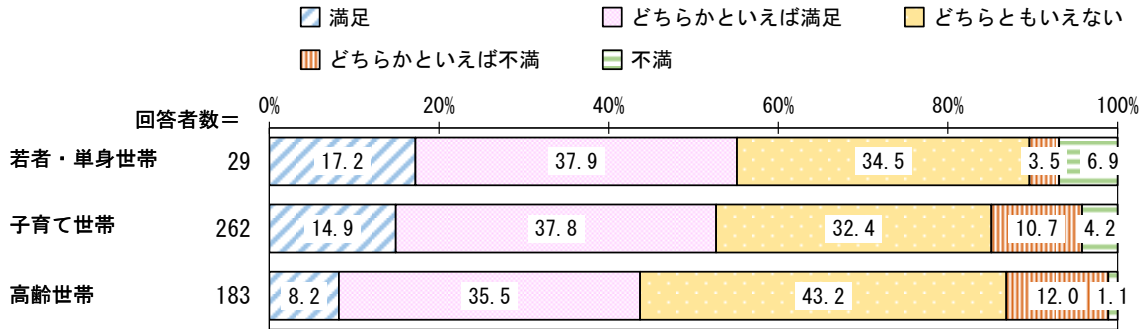
### 4-2 生涯を通じた健康づくりの推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が高く、41.4%となっている一方で、高齢世帯では“不満”の割合が12.2%と高くなっています。



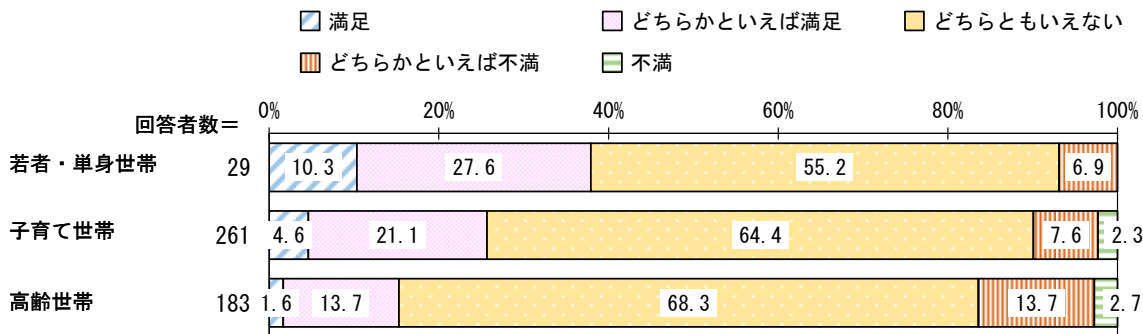
#### 4-3 地域医療体制の充実

若者・単身世帯と子育て世帯の5割超が“満足”と回答していますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



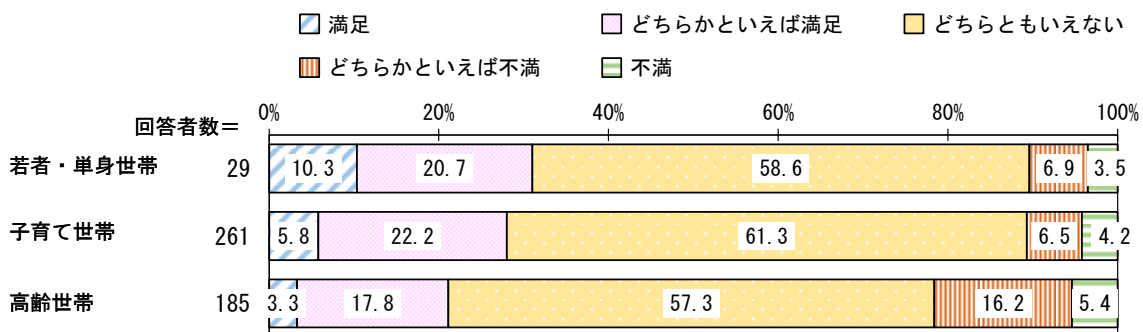
#### 4-4 心かよう地域福祉の充実

若者・単身世帯で“満足”の割合が37.9%と、他のライフステージに比べて高くなっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



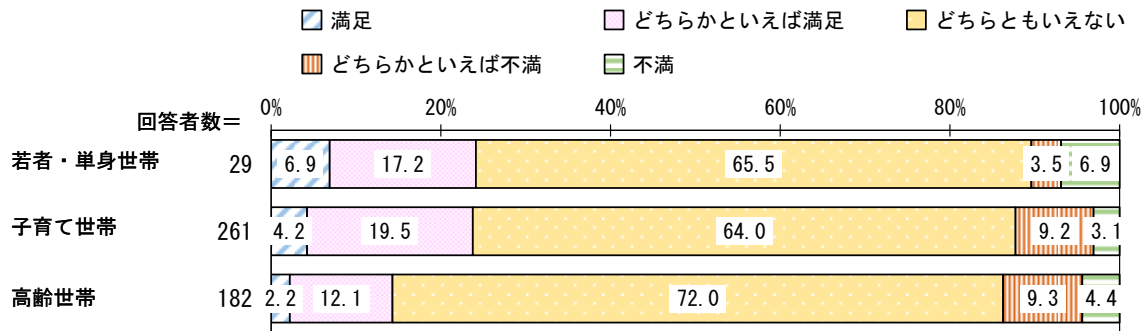
#### 4-5 高齢者福祉の充実

若者・単身世帯で“満足”の割合が31.0%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



#### 4-6 障害者（児）福祉の充実

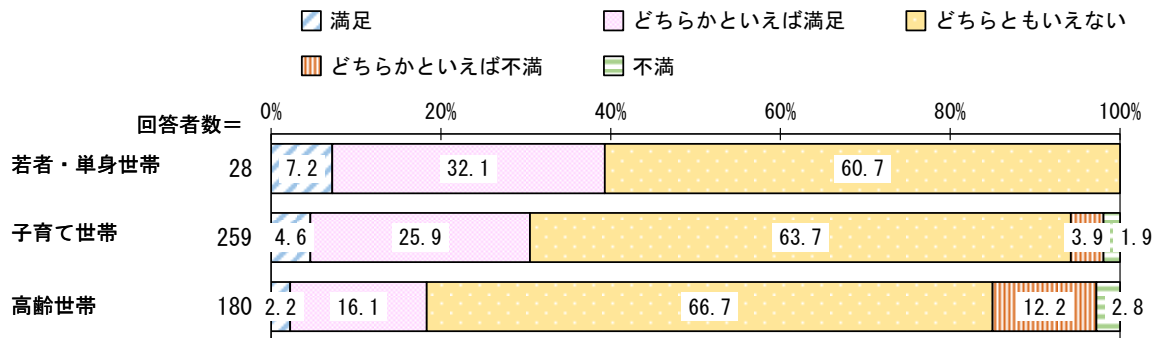
若者・単身世帯で“満足”の割合が24.1%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



### ⑤ 安心・安全で快適に暮らせるまち

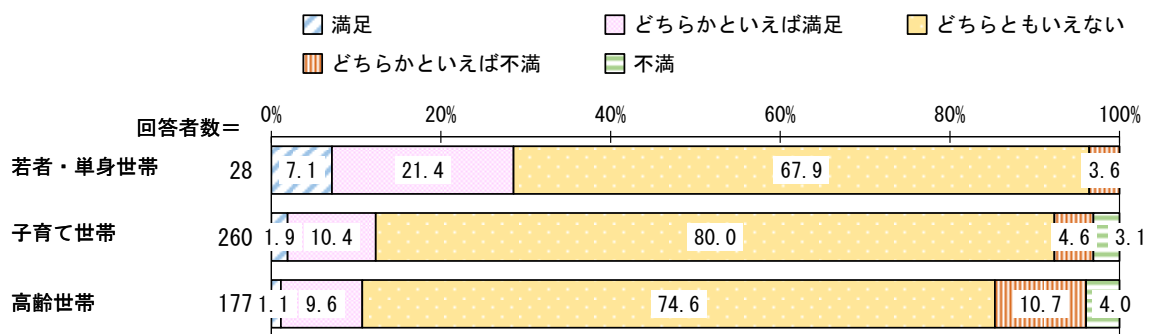
#### 5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化

若者・単身世帯で“満足”の割合が39.3%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



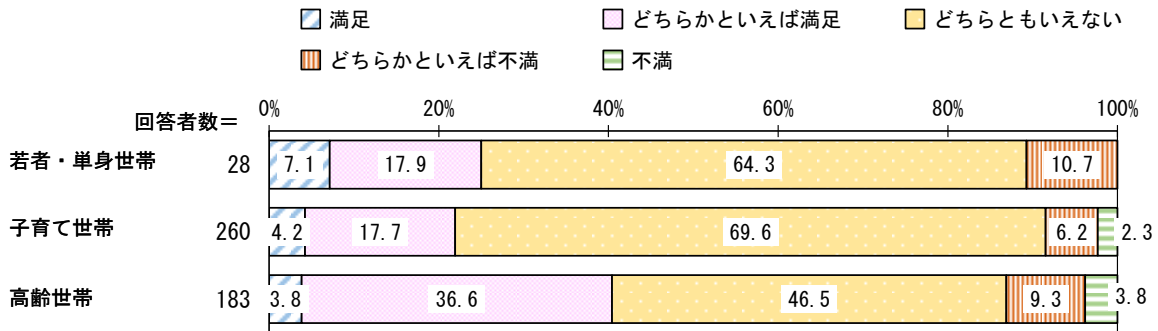
#### 5-2 カーボンニュートラルの推進

若者・単身世帯の約3割が“満足”と回答していますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



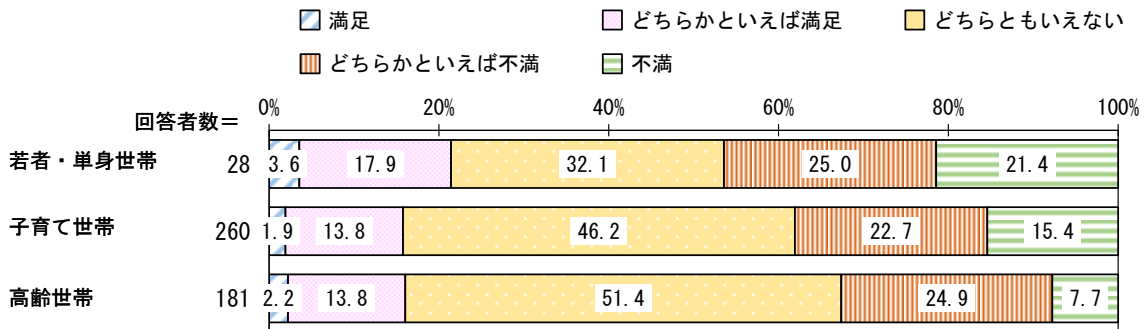
### 5-3 循環型社会の構築

高齢世帯の4割が“満足”と回答している一方で、“不満”の割合も他のライフステージと比べて高くなっています。



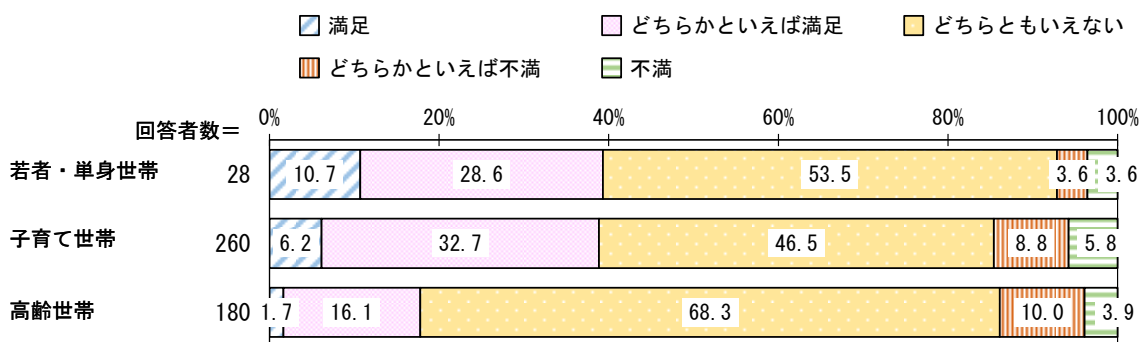
### 5-4 利便性の高い地域公共交通の確保

若者・単身世帯で“満足”の割合が21.5%と、他のライフステージに比べて高い一方で、“不満”の割合は5割に近い状況です。



### 5-5 生活の安全性の向上

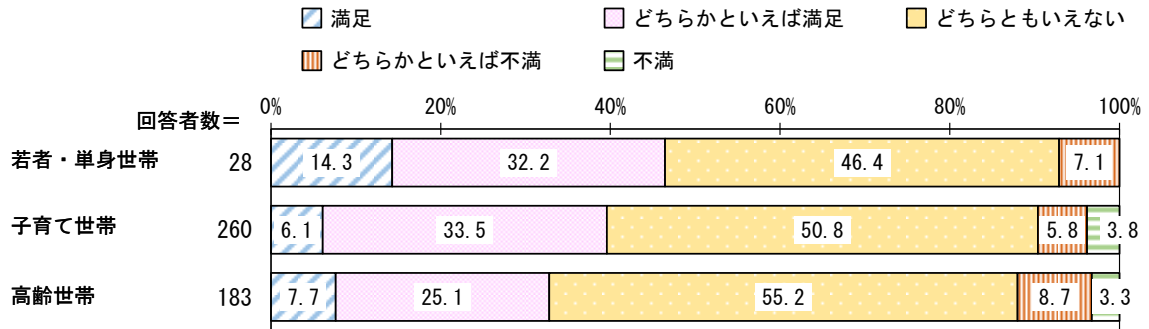
若者・単身世帯と子育て世帯の約4割が“満足”と回答していますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。





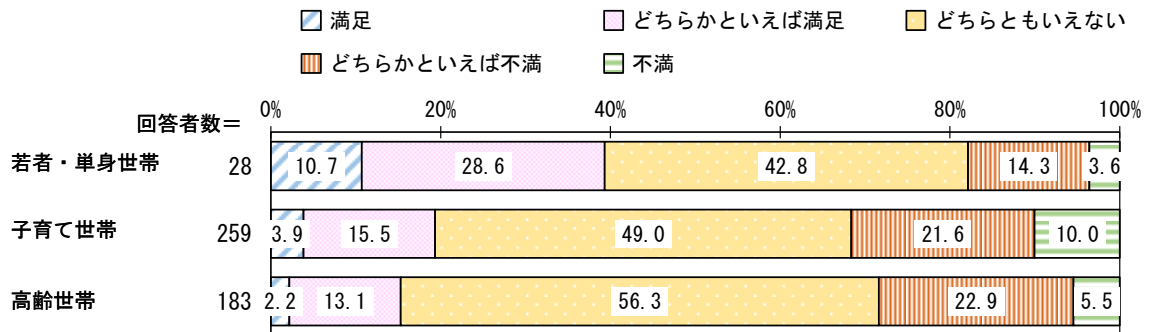
### 5-6 消防・防災の推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が4割を超えていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



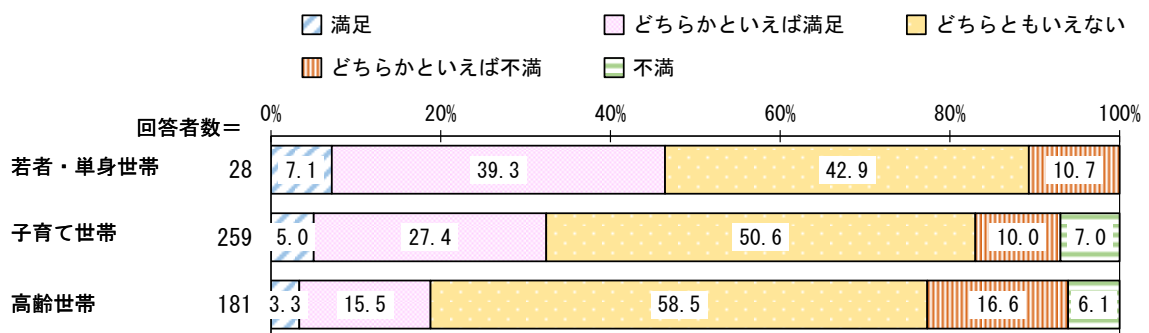
### 5-7 活力ある都市空間の整備

若者・単身世帯で“満足”の割合が39.3%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



### 5-8 快適な生活基盤の構築

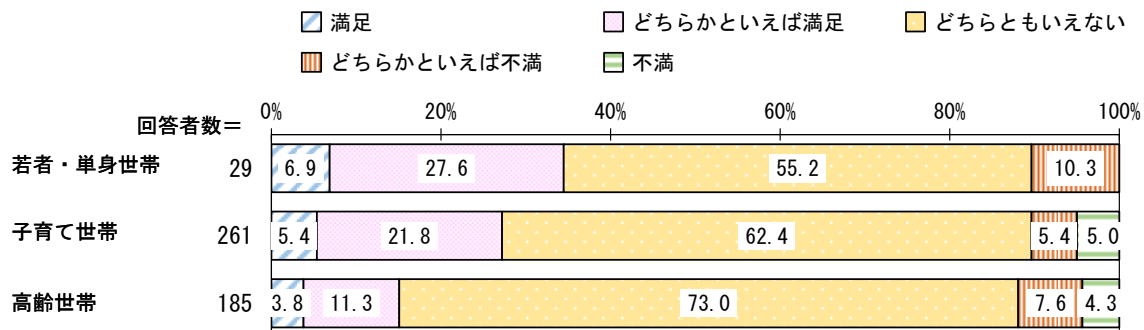
若者・単身世帯で“満足”の割合が46.4%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



## ⑥ まちづくりの推進に向けて

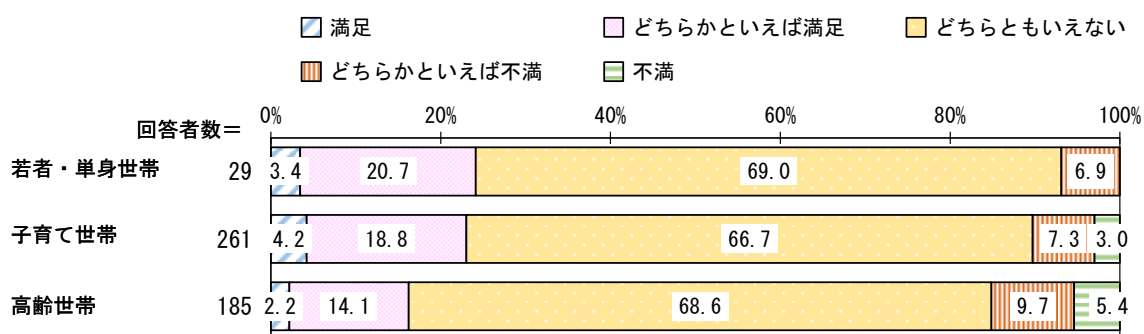
### 6-1 効果的な行政運営システムの構築

若者・単身世帯で“満足”の割合が34.5%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



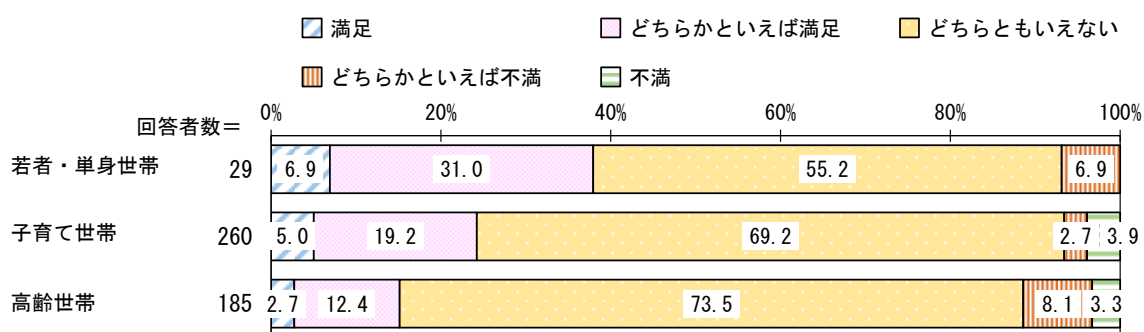
### 6-2 健全な財政運営の推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が24.1%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



### 6-3 共創によるまちづくりの推進

若者・単身世帯で“満足”の割合が37.9%となっていますが、ライフステージの進行に伴って、“満足”の割合が低くなる傾向がみられます。



### (3) ポートフォリオ分析

#### 〔満足度・重要度の得点化〕

「第五次宇部市総合計画 前期実行計画」に位置付けた各施策に対して、「現状の満足度」と「今後の重要度」について、回答された5つの選択肢を下記の手順で得点化し、分析を行いました。

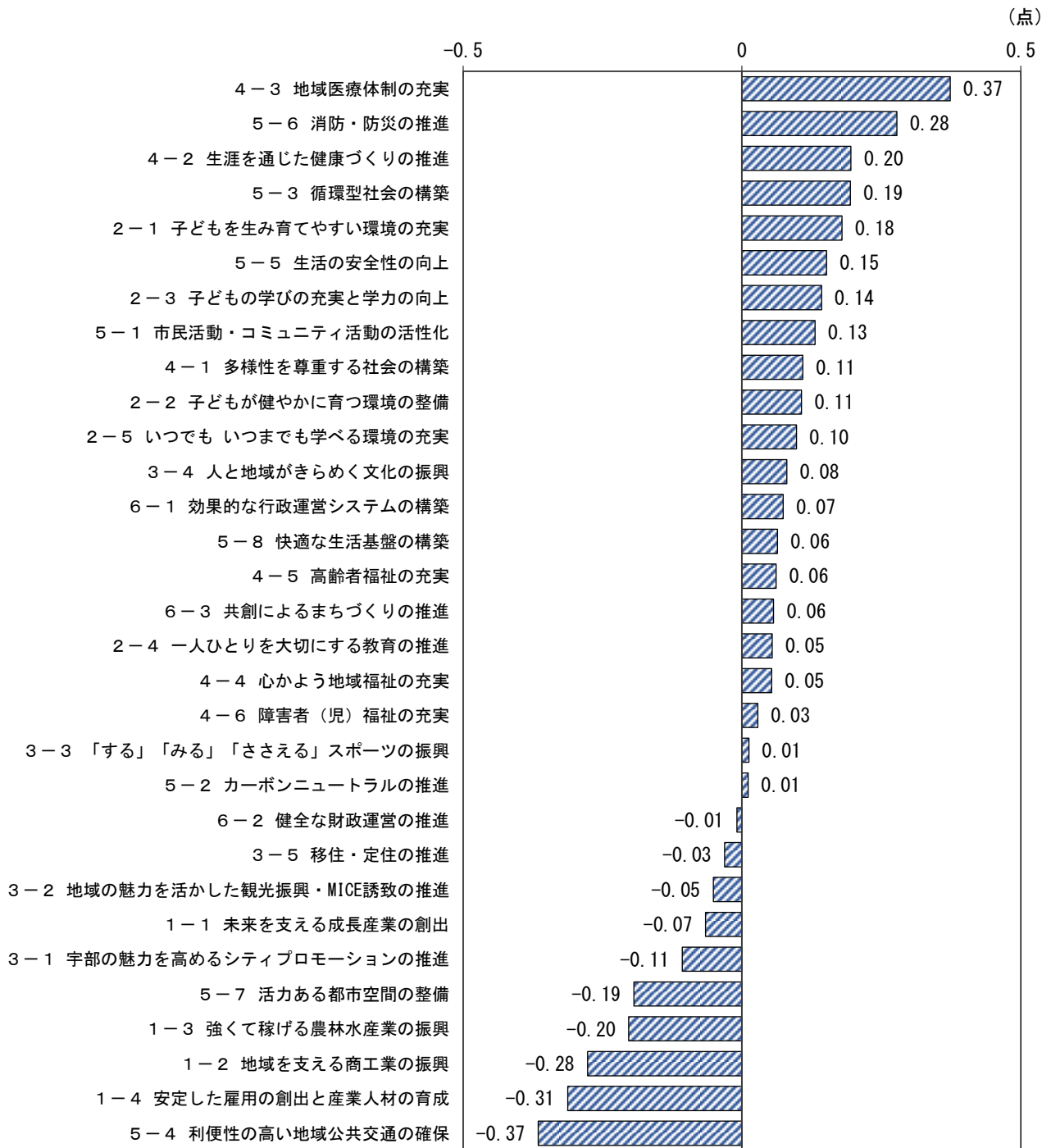
#### ●満足度・重要度の得点化の手順

満足度		得点	重要度		得点
不満	→	-2点	低い	→	-2点
どちらかといえば不満	→	-1点	どちらかといえば低い	→	-1点
どちらともいえない	→	0点	どちらともいえない	→	0点
どちらかといえば満足	→	1点	どちらかといえば高い	→	1点
満足	→	2点	高い	→	2点
無回答	→	計算対象外	無回答	→	計算対象外

#### ●得点の算出式

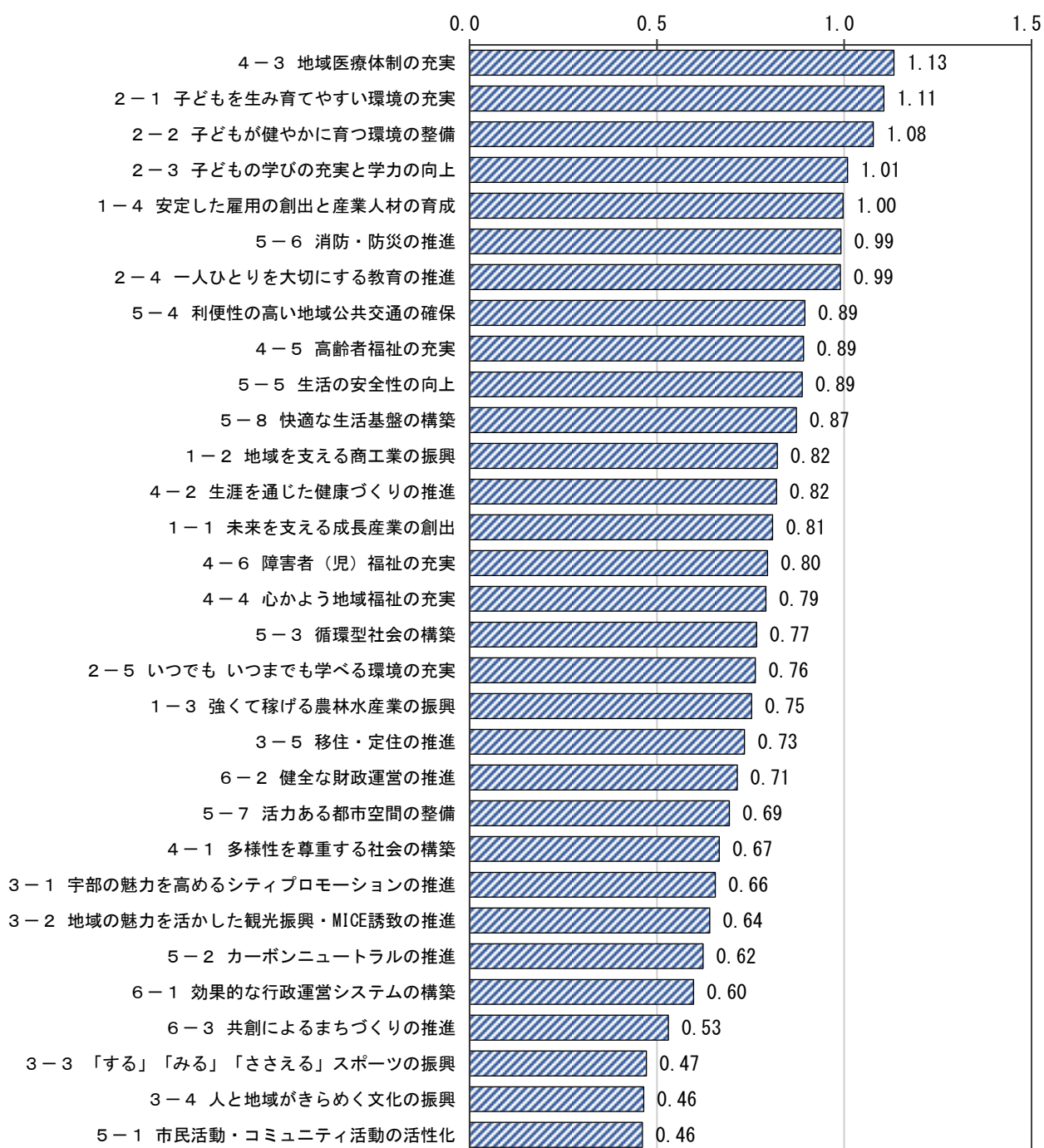
2点×「満足(高い)」の回答数  
 +1点×「どちらかといえば満足(どちらかといえば高い)」の回答数  
 +0点×「どちらともいえない」の回答数  
 -1点×「どちらかといえば不満(どちらかといえば低い)」の回答数  
 -2点×「不満(低い)」の回答数／無回答を除く回答数

## ◆施策の満足度について



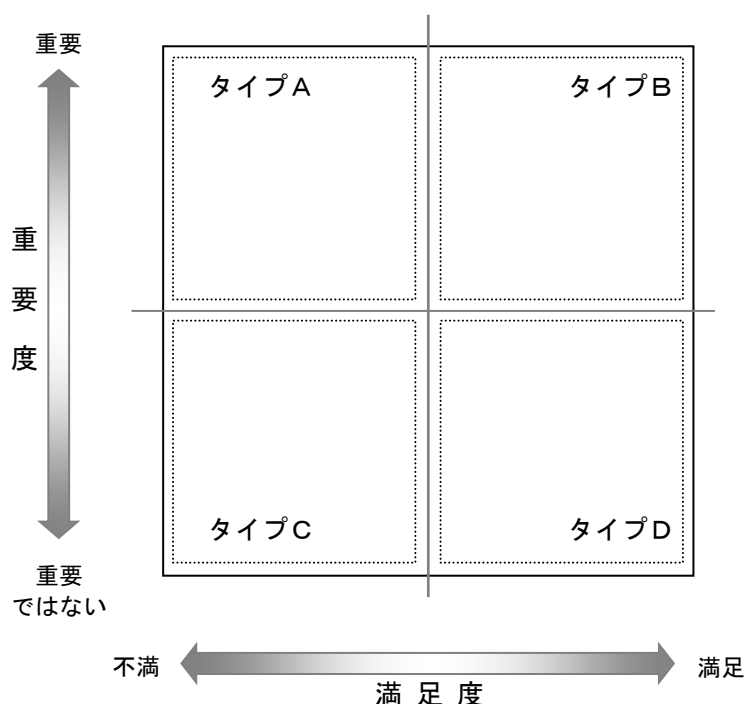
## ◆施策の重要度について

(点)



## 〔満足度・重要度の相対評価〕

各施策の満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分した散布図を作成しました。



### ◆タイプA：重点的に取り組むべき施策

→今後の重要度は高いものの、現在の取組に対する満足度が低い施策と考えられます。施策の改善や新たな施策の検討など、他のタイプの施策より優先して取り組む必要があります。

### ◆タイプB：充実が望まれる施策

→今後の重要度と現在の取組に対する満足度ともに高い施策と考えられます。今後も現在の水準を下げることなく、着実に取り組んでいく必要があります。

### ◆タイプC：関心の低い施策

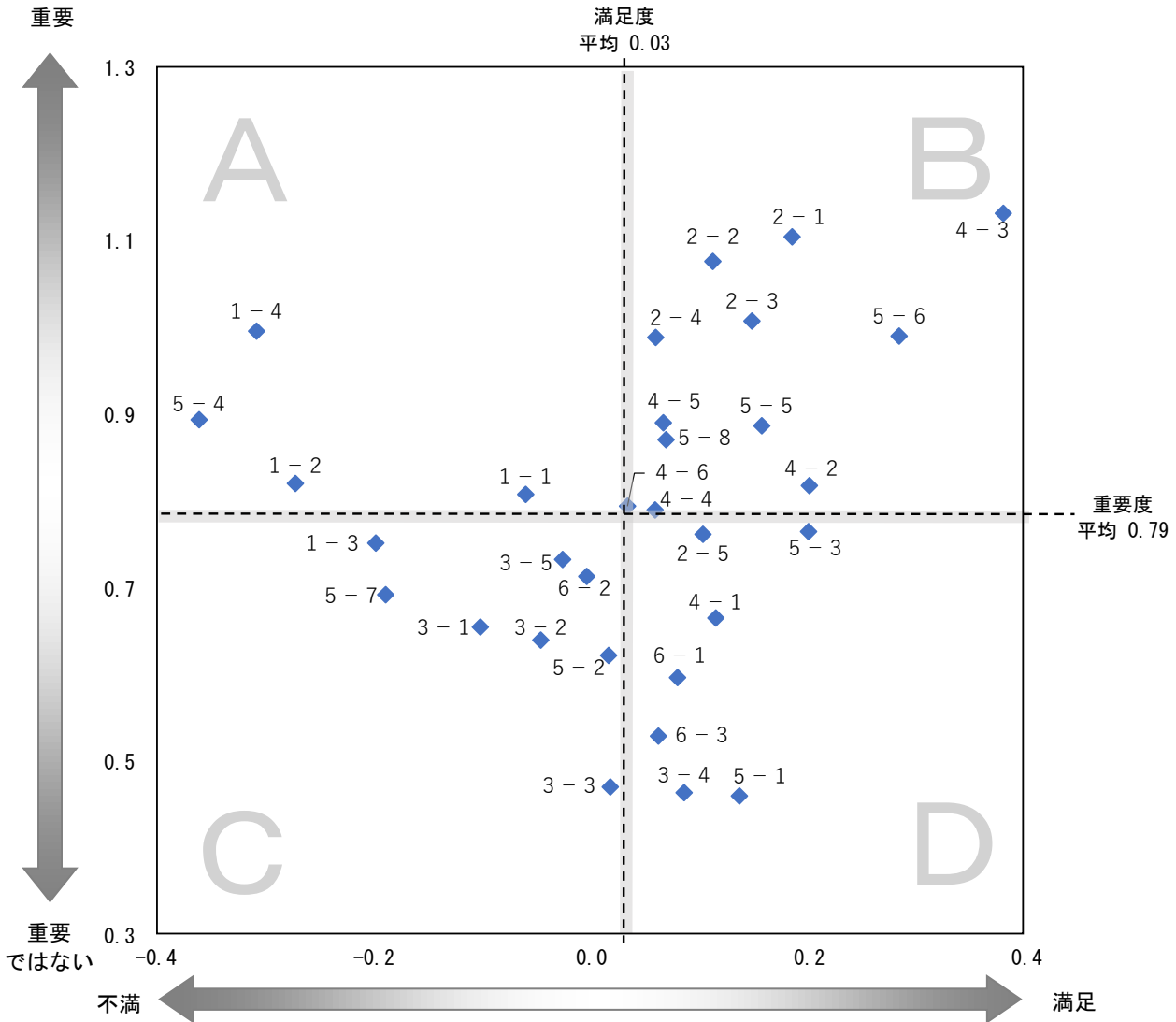
→今後の重要度と現在の取組に対する満足度がともに低い施策と考えられます。施策の方向性や取組の見直しについて検討する必要があります。また、施策の状況が市民に見えにくいと考えられるため、認知度向上に向けた取組も必要です。

### ◆タイプD：維持が望まれる施策

→今後の重要度は低いものの、現在の取組は満足している施策と考えられます。今後も満足度の水準を下げることなく、着実に取り組んでいく必要があります。

### ① 全体集計

全体的には、「4-3 地域医療体制の充実」「2-1 子どもを生き育てやすい環境の充実」「2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備」等の分野において満足度・重要度ともに高い結果が出ています。一方で、「1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」「5-4 利便性の高い地域公共交通の確保」については、重要度が高いにも関わらず、満足度が低い状況となっています。

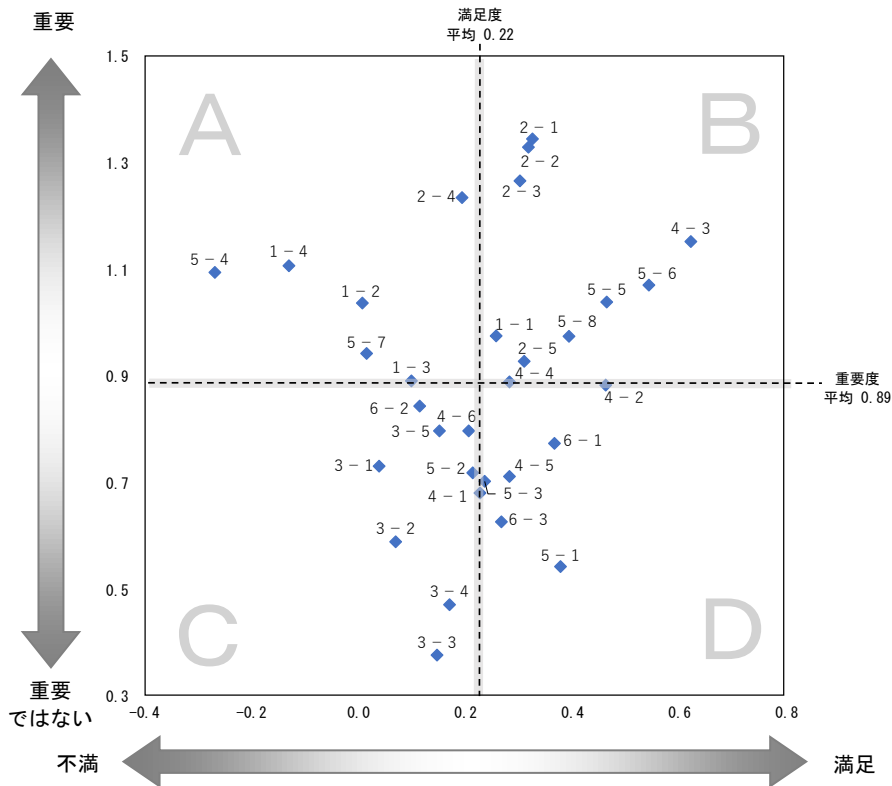


項目	
1-1 未来を支える成長産業の創出	4-3 地域医療体制の充実
1-2 地域を支える商工業の振興	4-4 心かよう地域福祉の充実
1-3 強く稼げる農林水産業の振興	4-5 高齢者福祉の充実
1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成	4-6 障害者(児)福祉の充実
2-1 子どもを生き育てやすい環境の充実	5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化
2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備	5-2 カーボンニュートラルの推進
2-3 子どもの学びの充実と学力の向上	5-3 循環型社会の構築
2-4 一人ひとりを大切にす教育の推進	5-4 利便性の高い地域公共交通の確保
2-5 いつでもいつまでも学べる環境の充実	5-5 生活の安全性の向上
3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進	5-6 消防・防災の推進
3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進	5-7 活力ある都市空間の整備
3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興	5-8 快適な生活基盤の構築
3-4 人と地域がきらめく文化の振興	6-1 効果的な行政運営システムの構築
3-5 移住・定住の推進	6-2 健全な財政運営の推進
4-1 多様性を尊重する社会の構築	6-3 共創によるまちづくりの推進
4-2 生涯を通じた健康づくりの推進	

## ②世代別集計

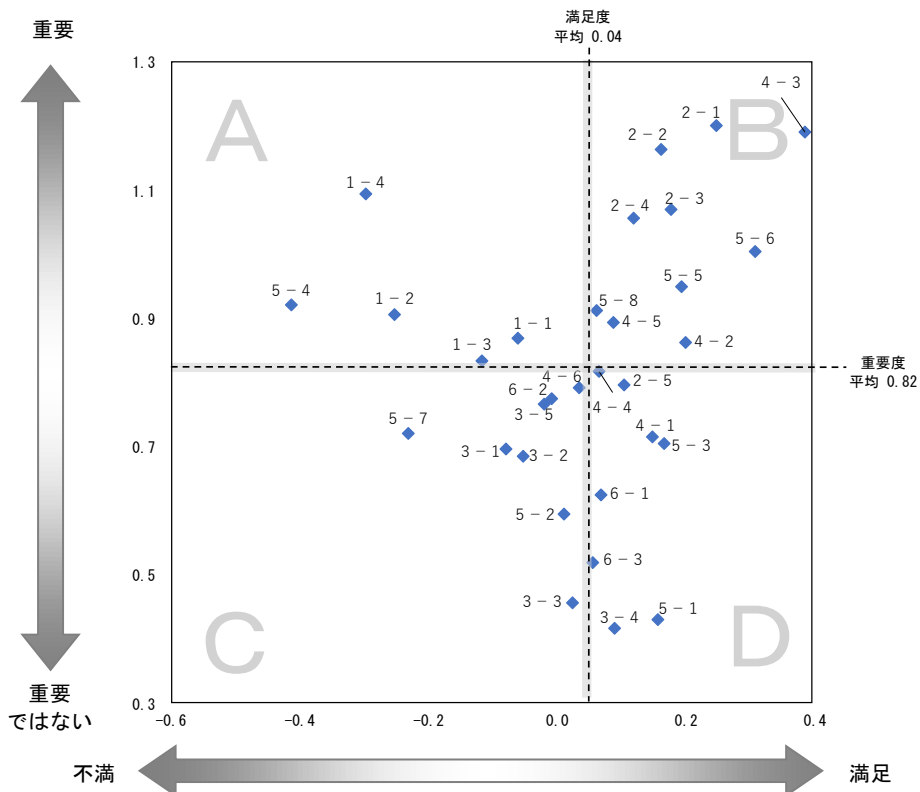
### ◆若者世代(10~20 歳代)

「1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」「5-4 利便性の高い地域公共交通の確保」「1-2 地域を支える商工業の振興」等が、重要度が高い一方で満足度が低い状況です。



### ◆ミドル世代(30~50 歳代)

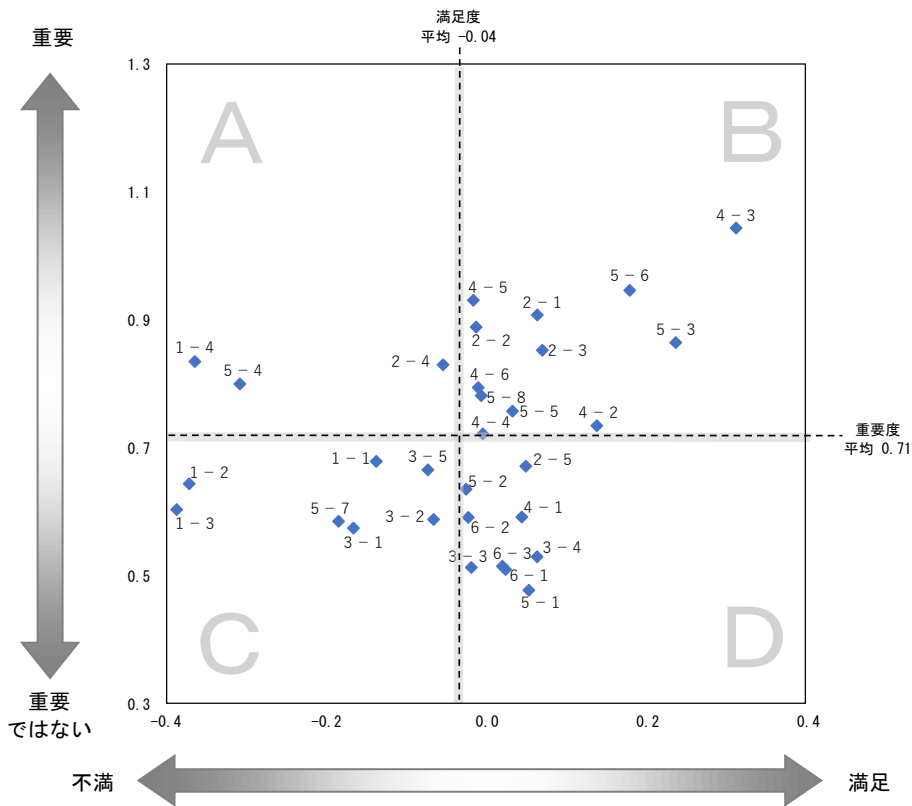
「1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」「5-4 利便性の高い地域公共交通の確保」「1-2 地域を支える商工業の振興」等が、重要度が高い一方で満足度が低い状況です。





◆シニア世代(60歳以上)

「1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」「5-4 利便性の高い地域公共交通の確保」が、重要度が高い一方で満足度が低い状況です。

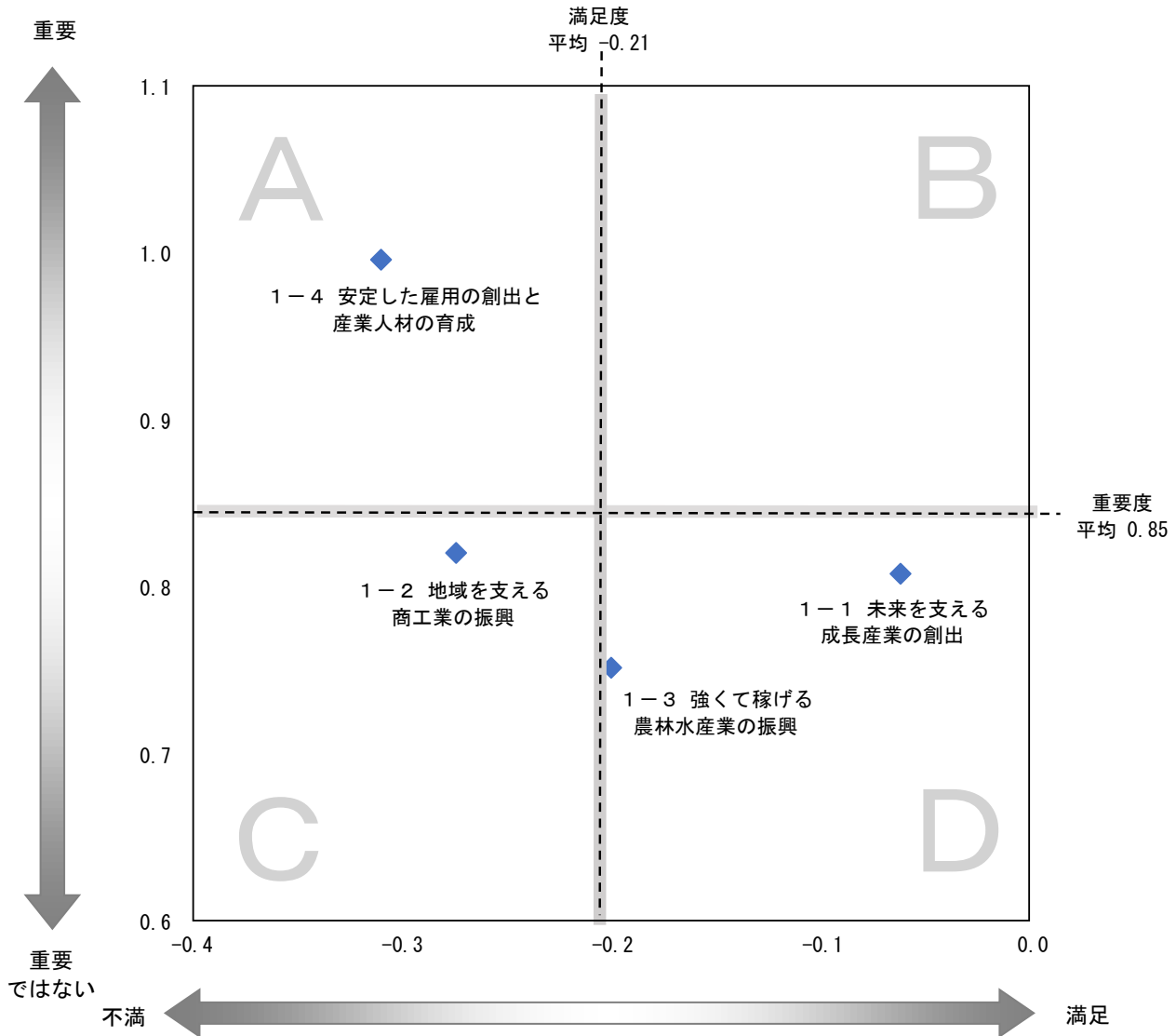


項目	
1-1 未来を支える成長産業の創出	4-3 地域医療体制の充実
1-2 地域を支える商工業の振興	4-4 心かよう地域福祉の充実
1-3 強くて稼げる農林水産業の振興	4-5 高齢者福祉の充実
1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成	4-6 障害者(児)福祉の充実
2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実	5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化
2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備	5-2 カーボンニュートラルの推進
2-3 子どもの学びの充実と学力の向上	5-3 循環型社会の構築
2-4 一人ひとりを大切にする教育の推進	5-4 利便性の高い地域公共交通の確保
2-5 いつでもいつまでも学べる環境の充実	5-5 生活の安全性の向上
3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進	5-6 消防・防災の推進
3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進	5-7 活力ある都市空間の整備
3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興	5-8 快適な生活基盤の構築
3-4 人と地域がきらめく文化の振興	6-1 効果的な行政運営システムの構築
3-5 移住・定住の推進	6-2 健全な財政運営の推進
4-1 多様性を尊重する社会の構築	6-3 共創によるまちづくりの推進
4-2 生涯を通じた健康づくりの推進	

### ③ 前期実行計画・基本目標ごとの集計

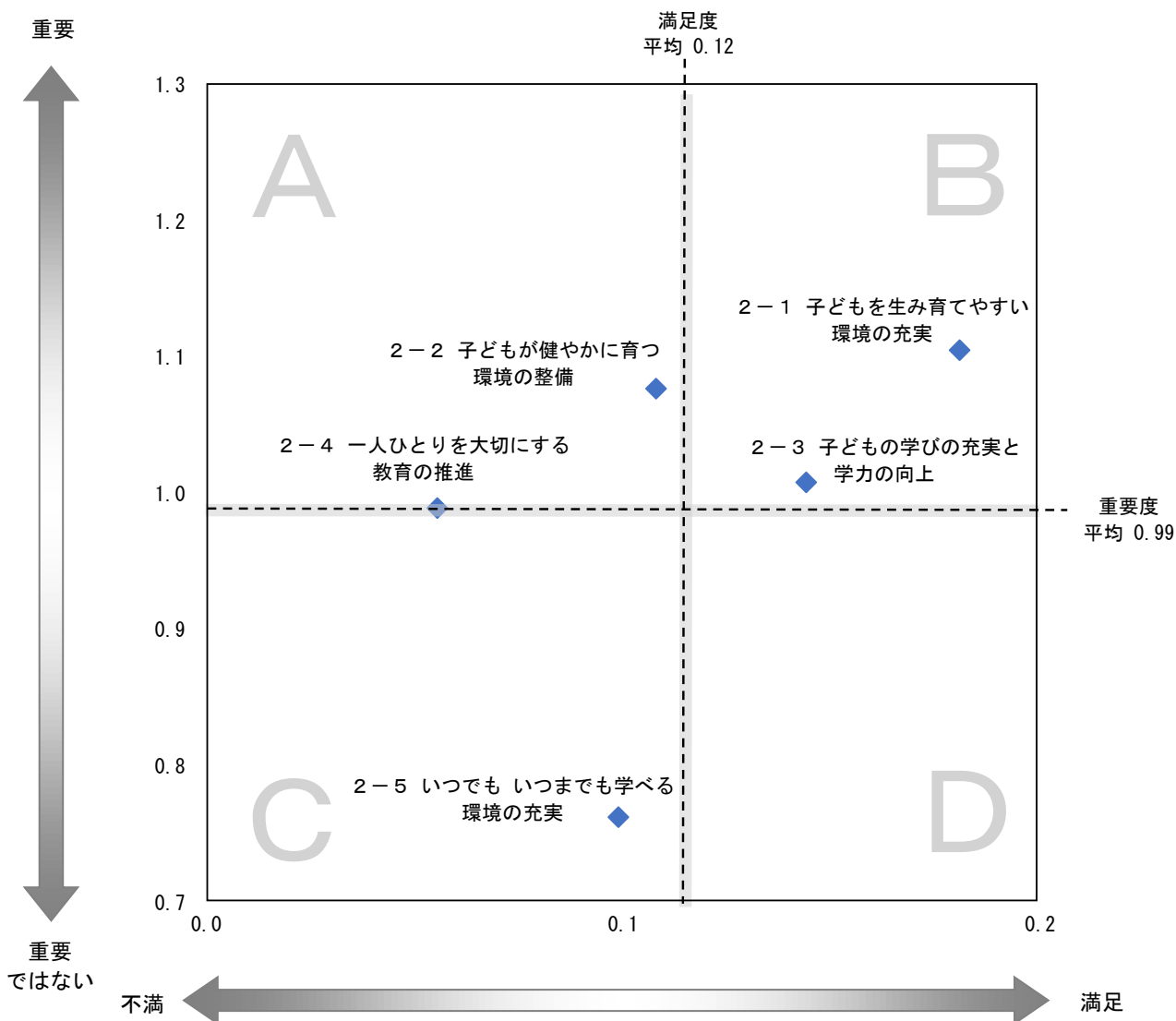
#### ◆ 活力に満ちた強い産業のまち

この分野では、「1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」が、重要度が高い一方で満足度が低く、また、「1-2 地域を支える商工業の振興」は、重要度・満足度ともに低い状況です。



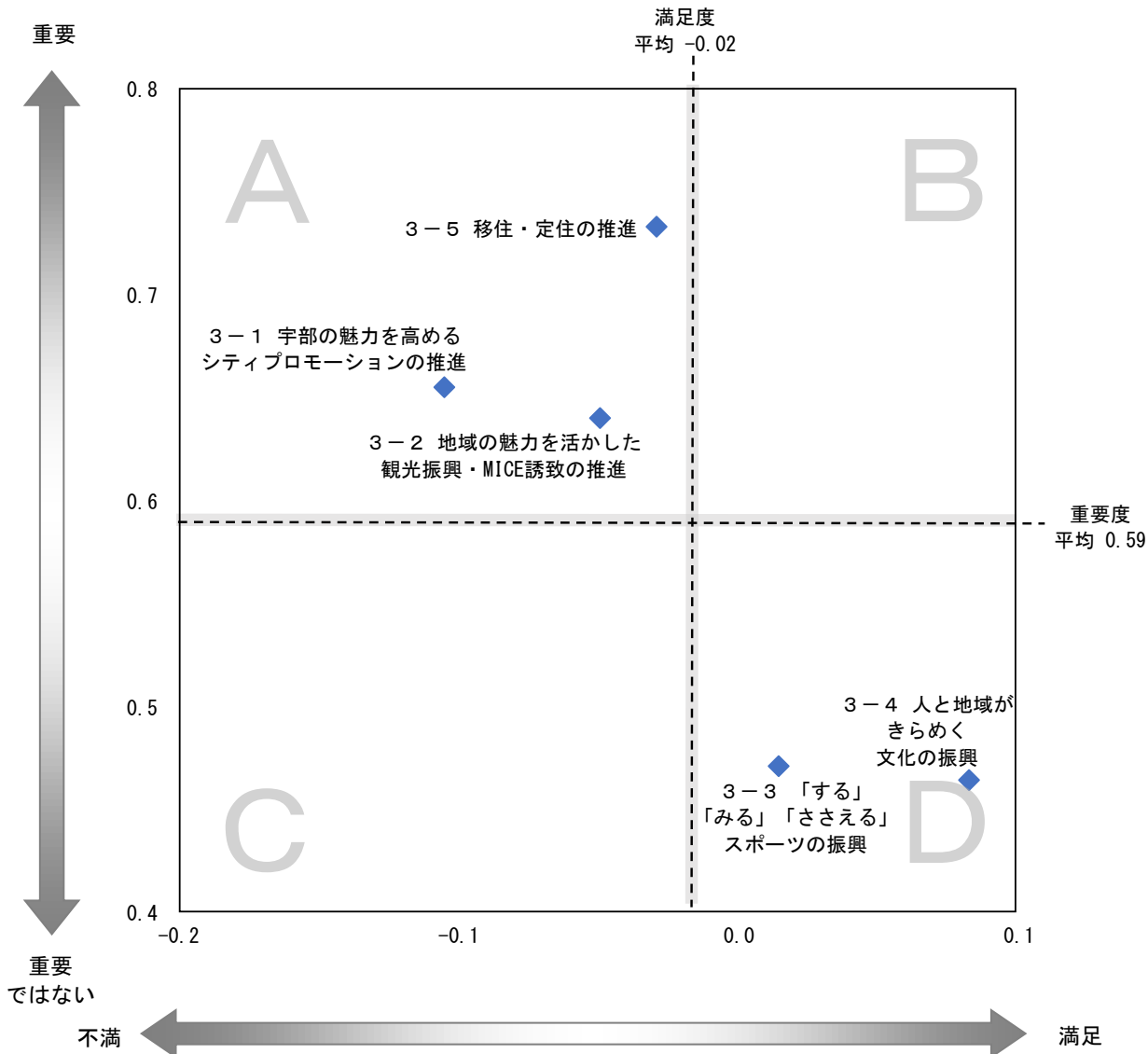
◆ 未来を拓くひとを育むまち

この分野では、「2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実」が重要度・満足度ともに高く、また、「2-5 いつでも いつまでも学べる環境の充実」は重要度・満足度ともに低い状況です。



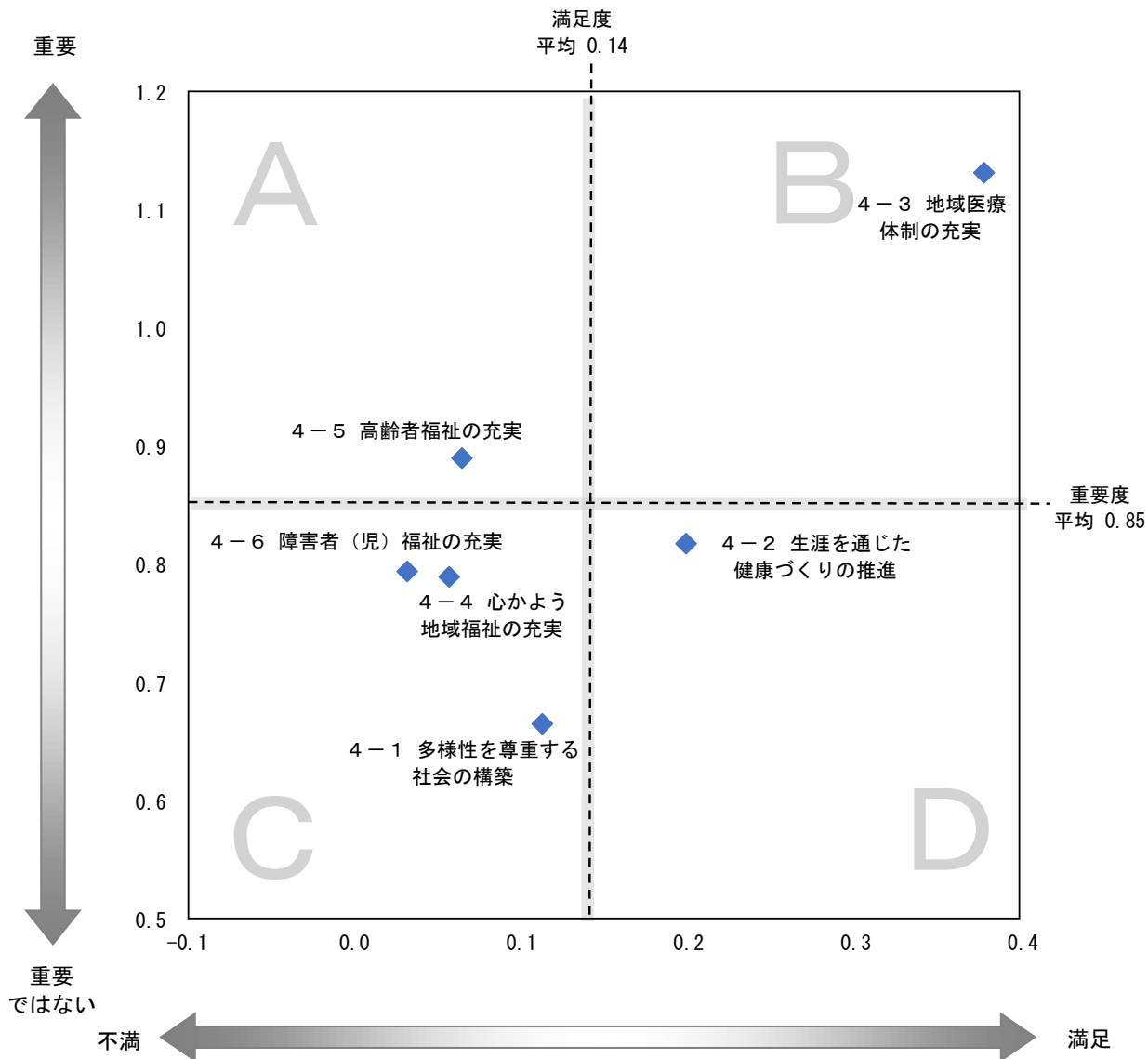
◆ 魅力と賑わいにあふれるまち

この分野では、「3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進」「3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進」「3-5 移住・定住の推進」が、重要度が高い一方で満足度が低い状況です。



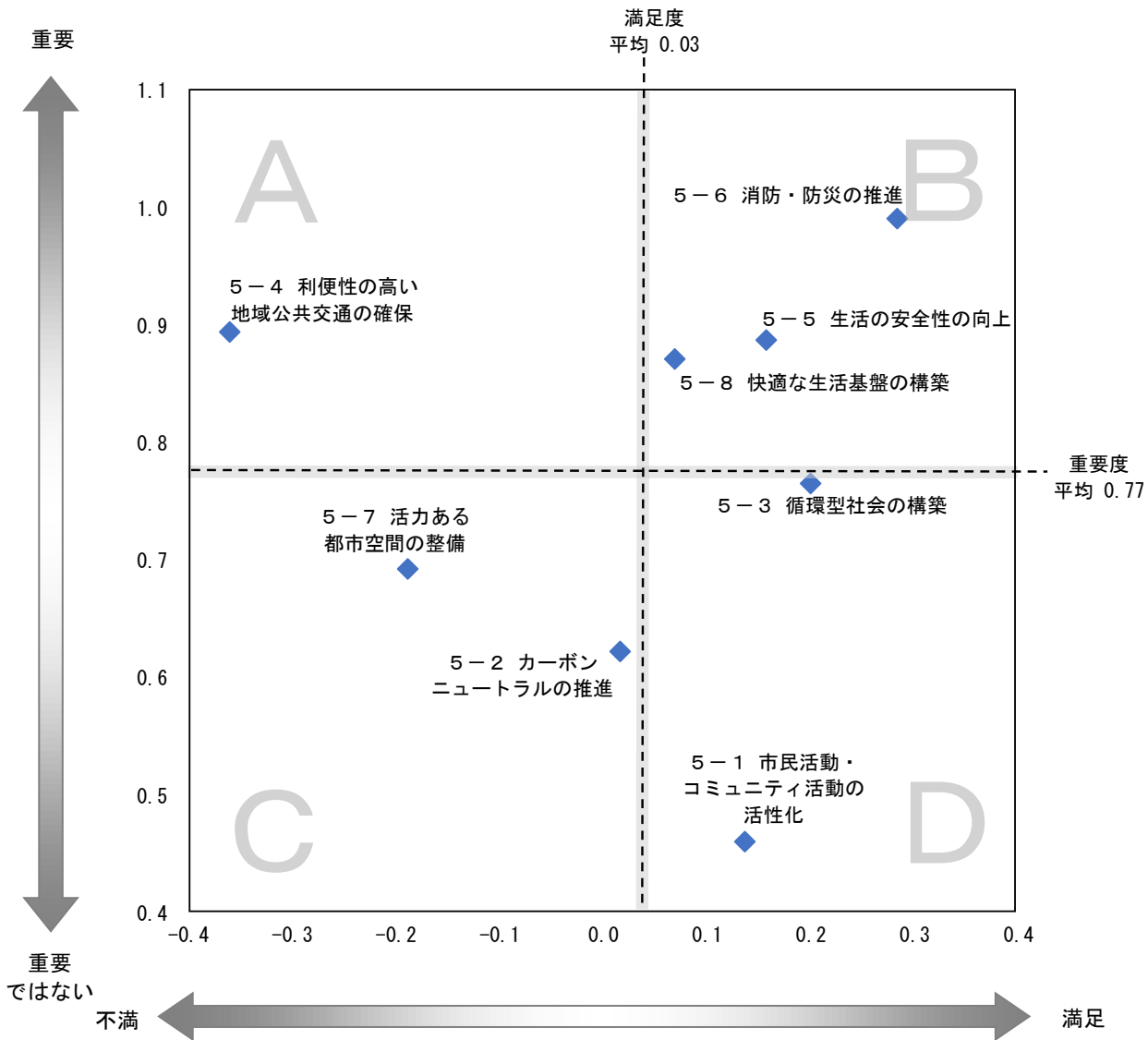
◆ 誰もが健康で自分らしく暮らせるまち

この分野では、「4-5 高齢者福祉の充実」が、重要度が高い一方で満足度が低く、また、「4-1 多様性を尊重する社会の構築」「4-4 心かよう地域福祉の充実」「4-6 障害者（児）福祉の充実」は、満足度・重要度ともに低い状況です。



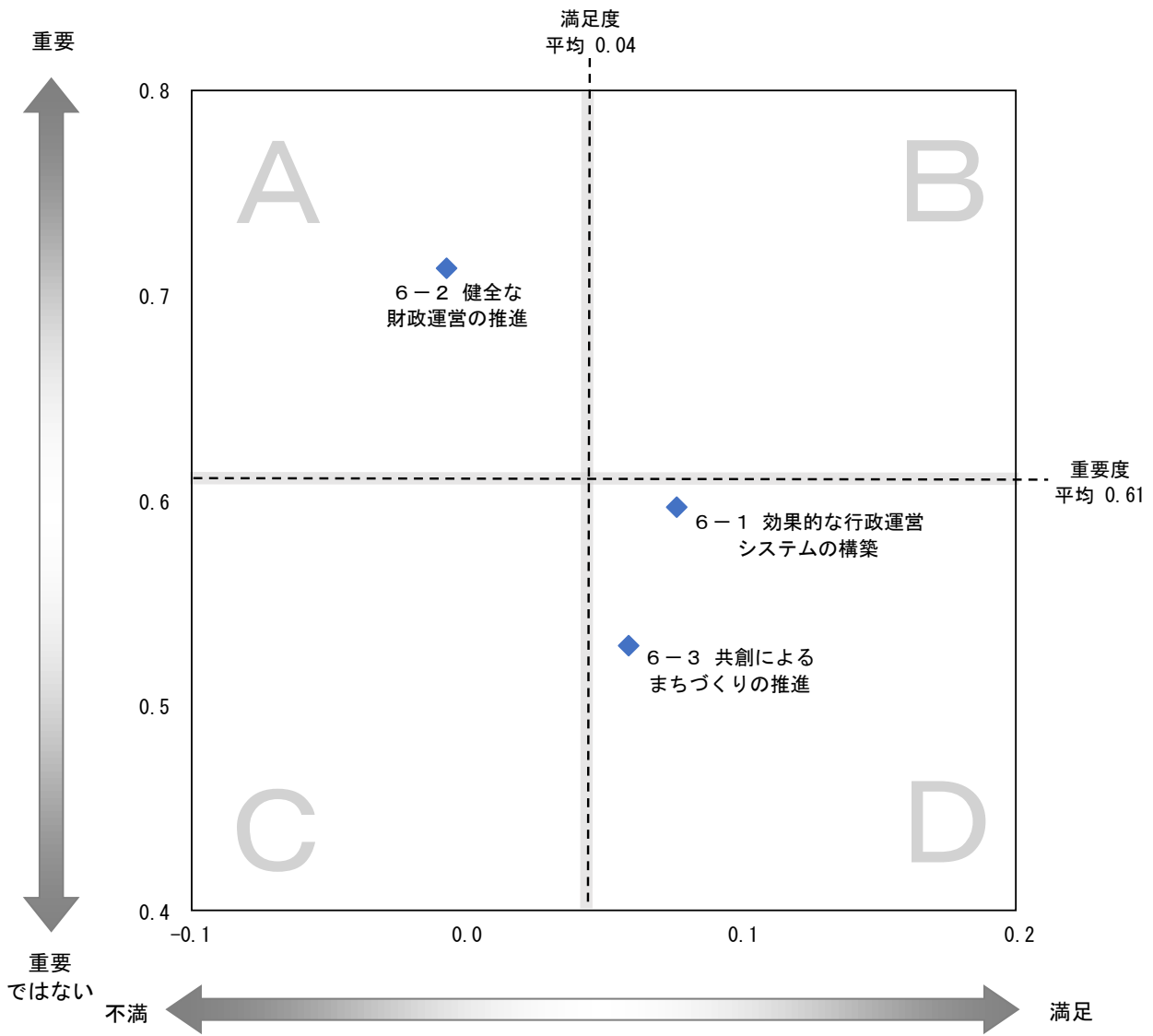
◆ 安心・安全で快適に暮らせるまち

この分野では、「5-4 利便性の高い地域公共交通の確保」が、重要度が高い一方で満足度が低く、また、「5-7 活力ある都市空間の整備」「5-2 カーボンニュートラルの推進」は、満足度・重要度ともに低い状況です。

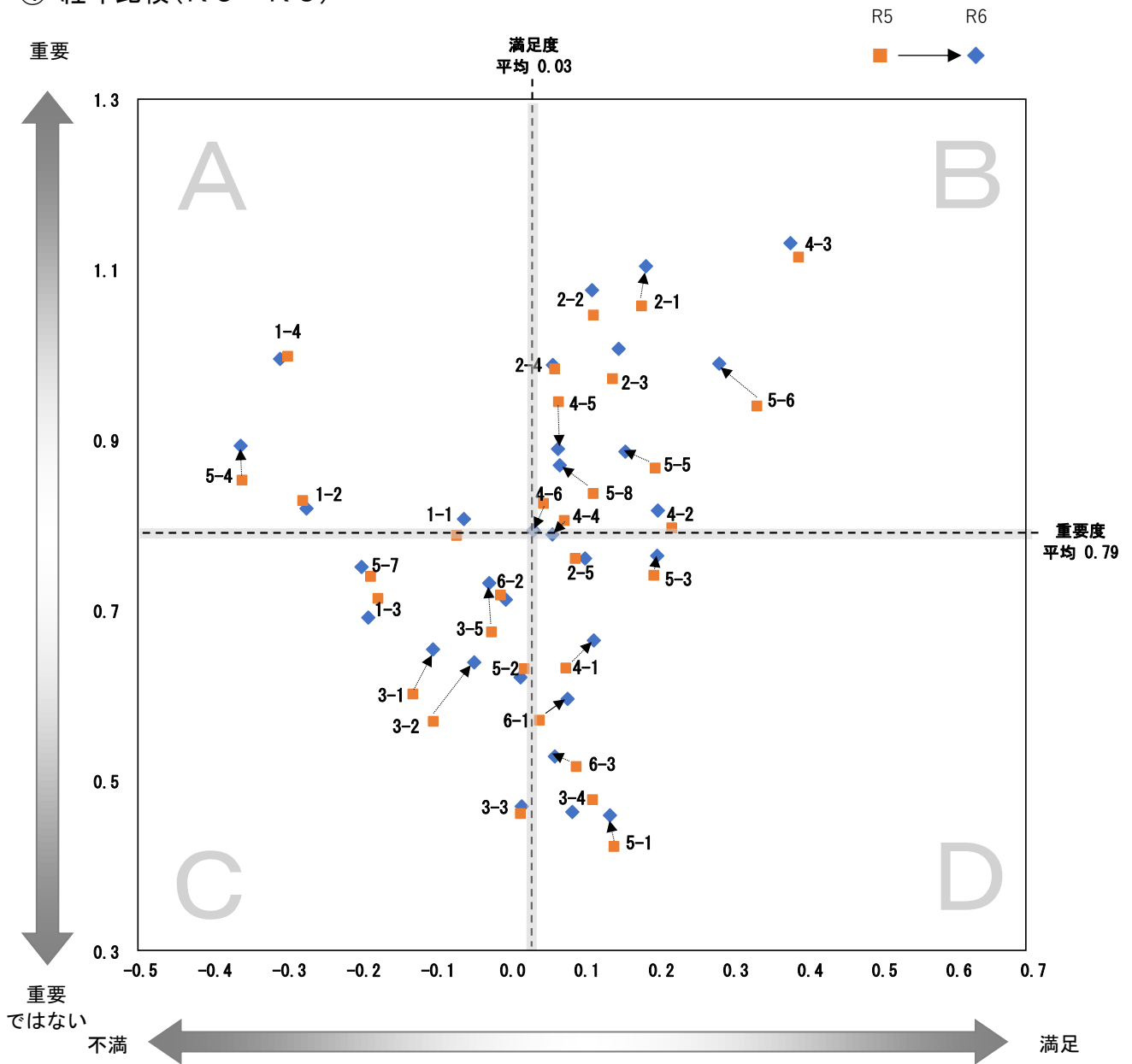


◆ 計画の推進に向けて

この分野では、「6-2 健全な財政運営の推進」が、重要度が高い一方で満足度が低い状況です。



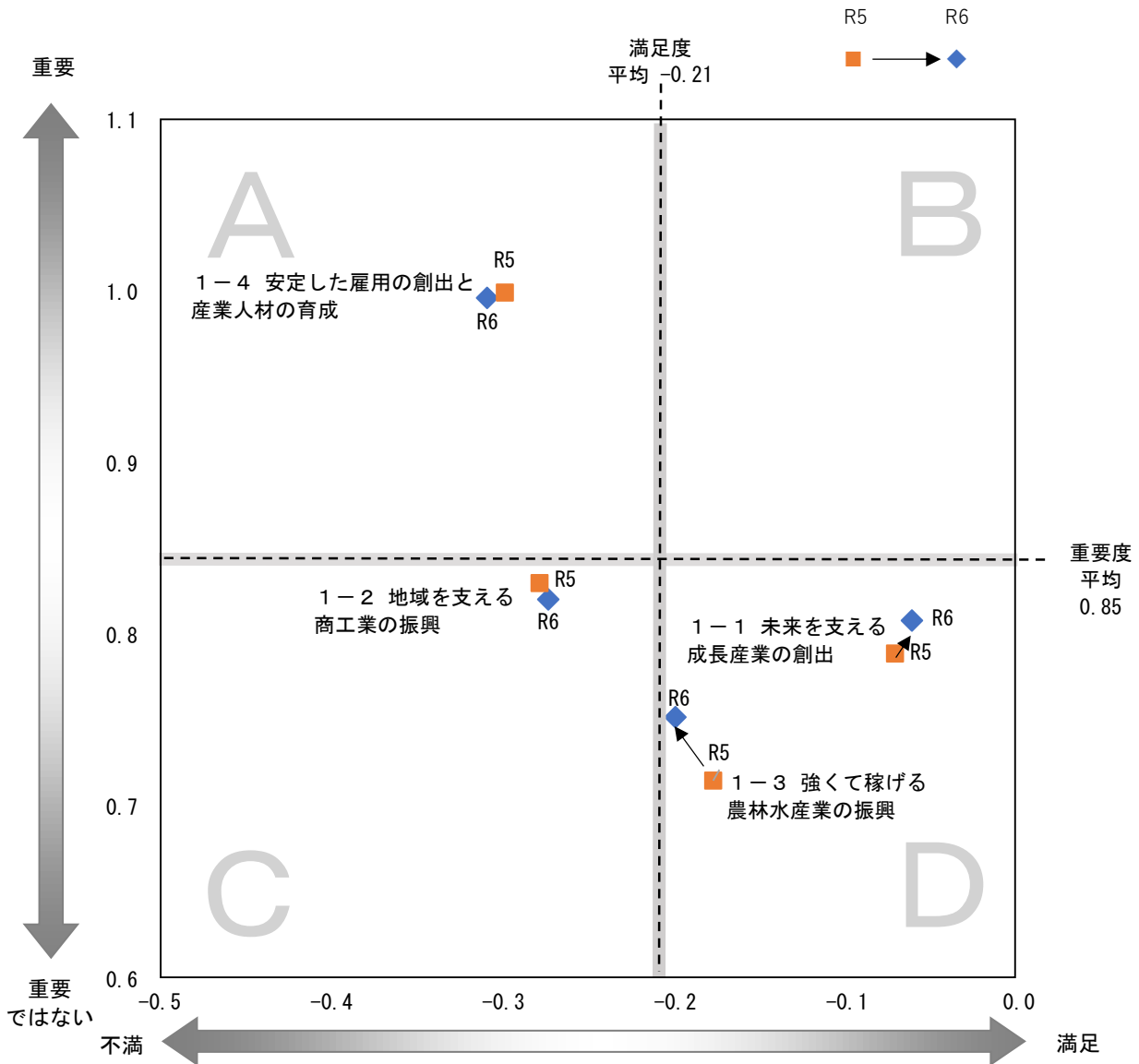
④ 経年比較 (R5 → R6)





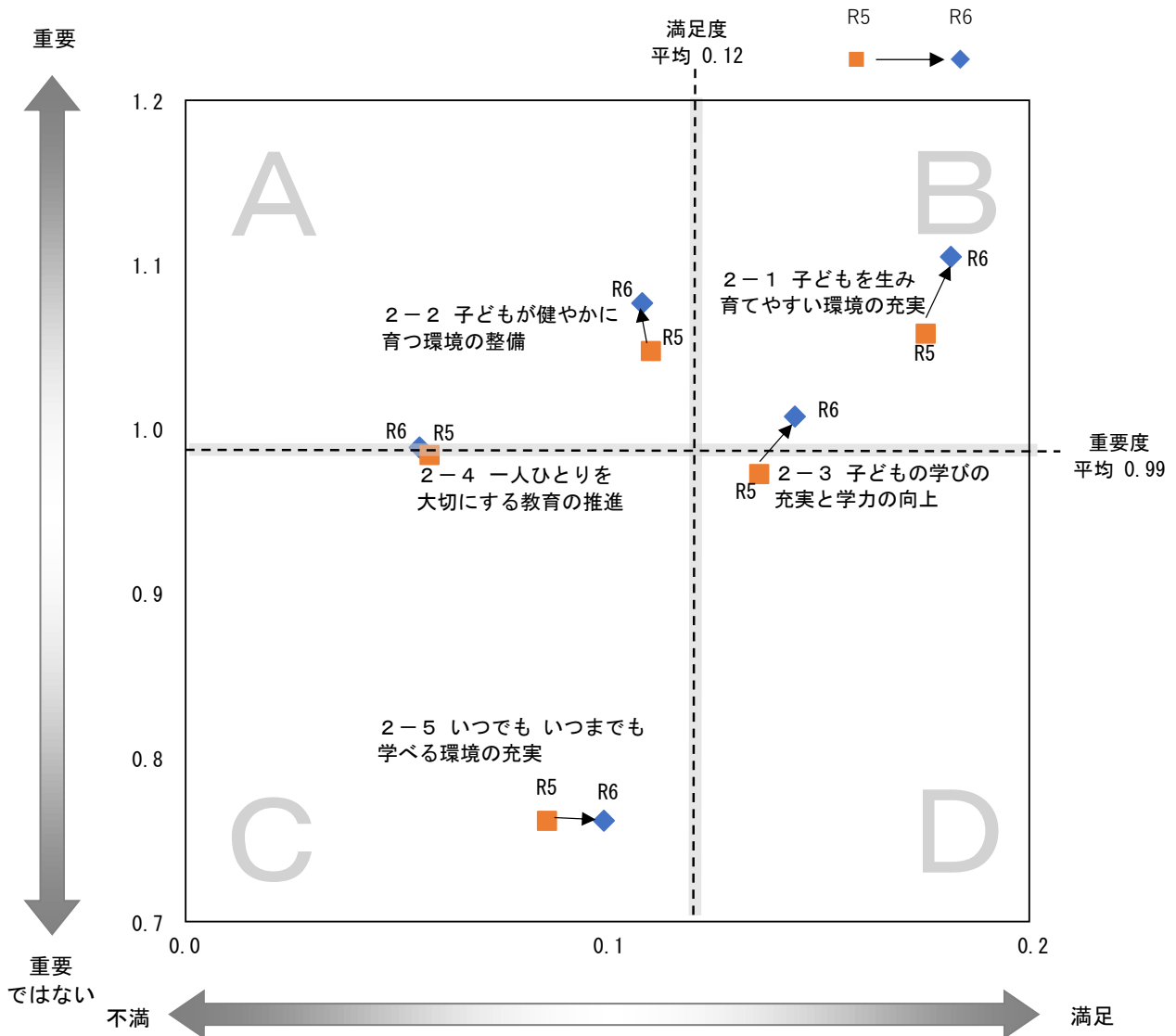
◆ 活気に満ちた強い産業のまち

令和5年度調査と比較すると、「1-3 強くて稼げる農林水産業の振興」において、満足度が低下し重要度が高まっています。



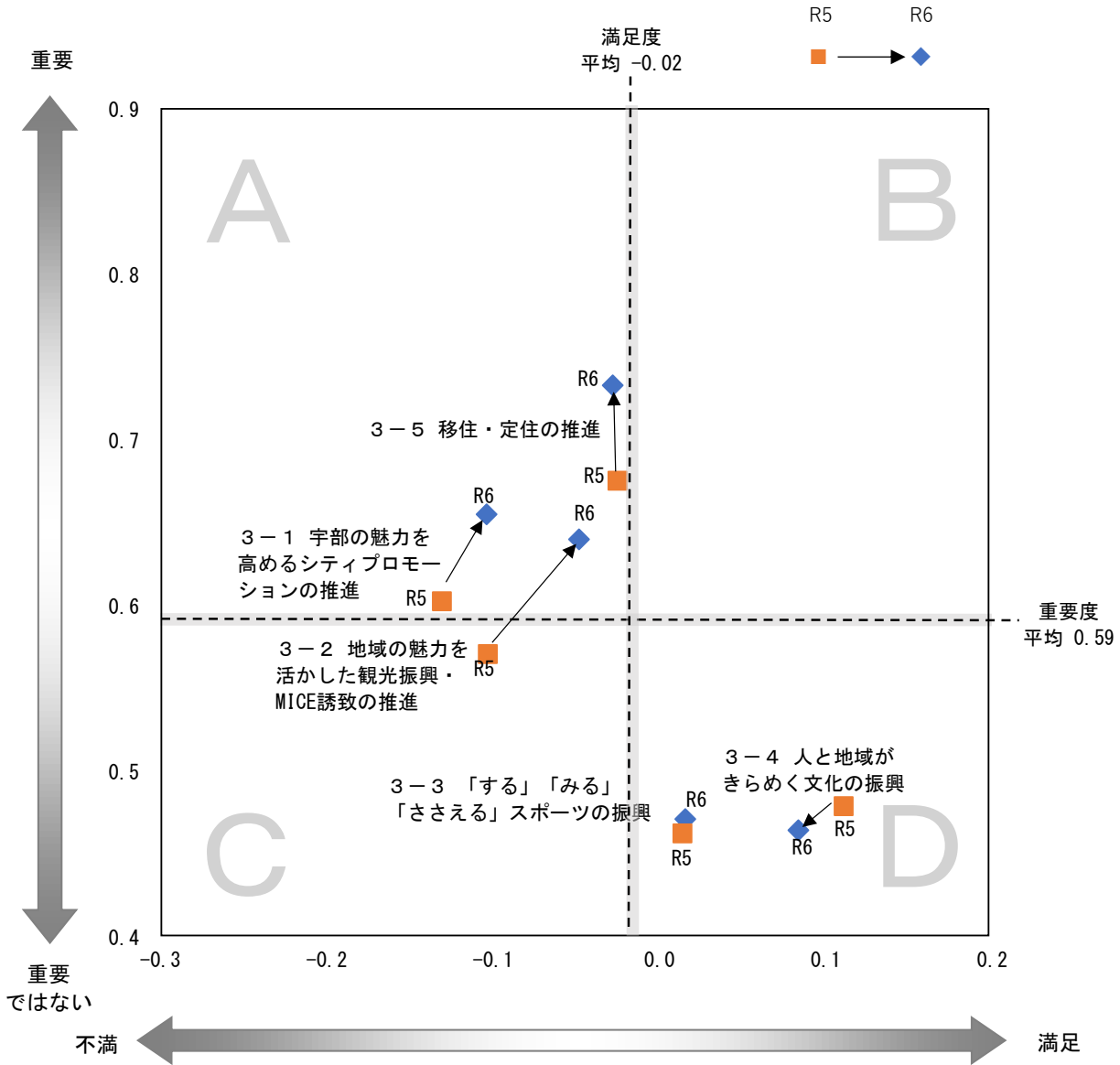
◆ 未来を拓くひとを育むまち

令和5年度調査と比較すると、「2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実」「2-3 子どもの学びの充実と学力の向上」において、満足度・重要度ともに高まっています。また、「2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備」では、重要度が高まっています。



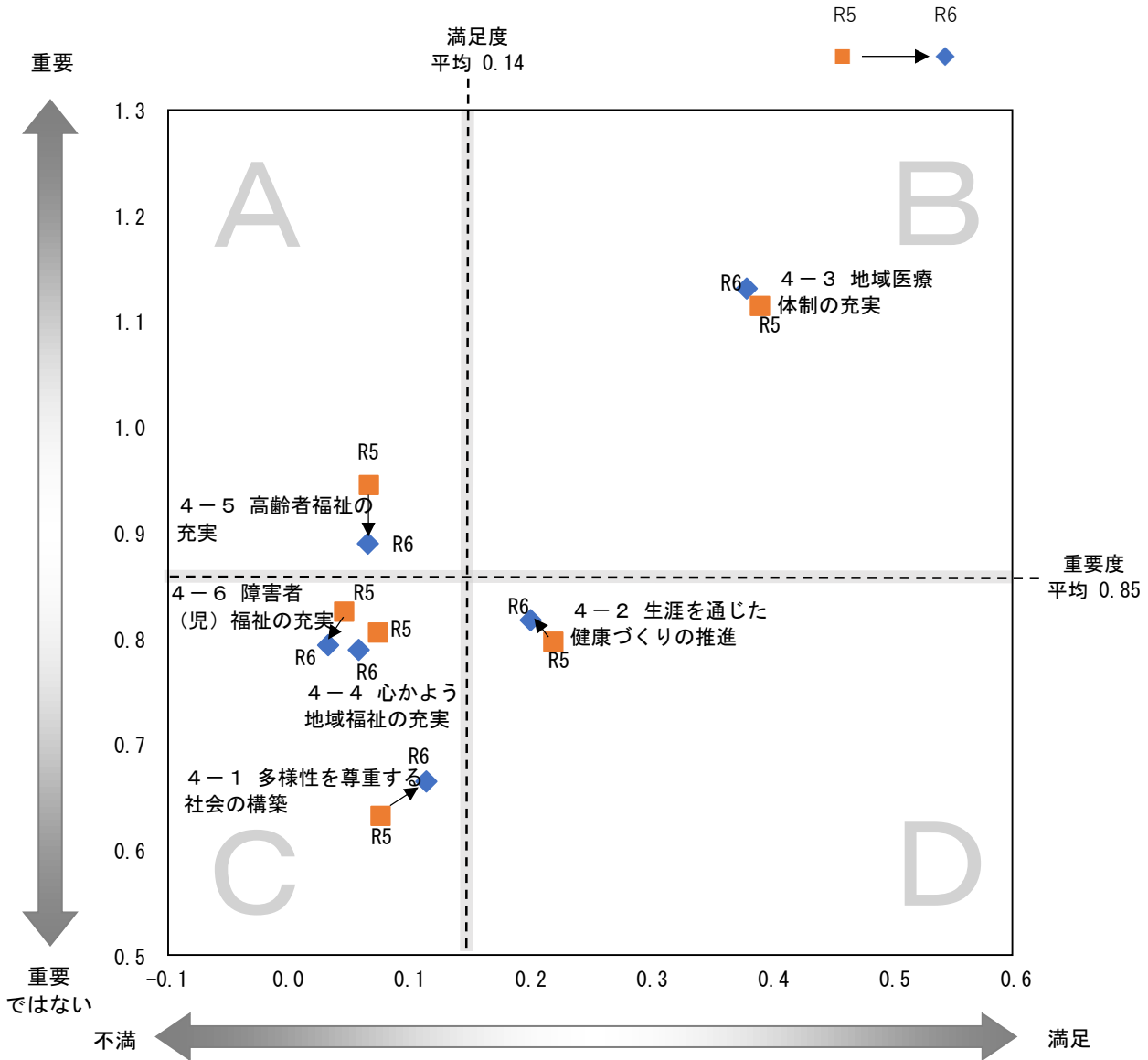
◆ 魅力と賑わいにあふれるまち

令和5年度調査と比較すると、「3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進」「3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進」において、満足度・重要度ともに高まっています。また、「3-5 移住・定住の推進」では、重要度が高まっています。



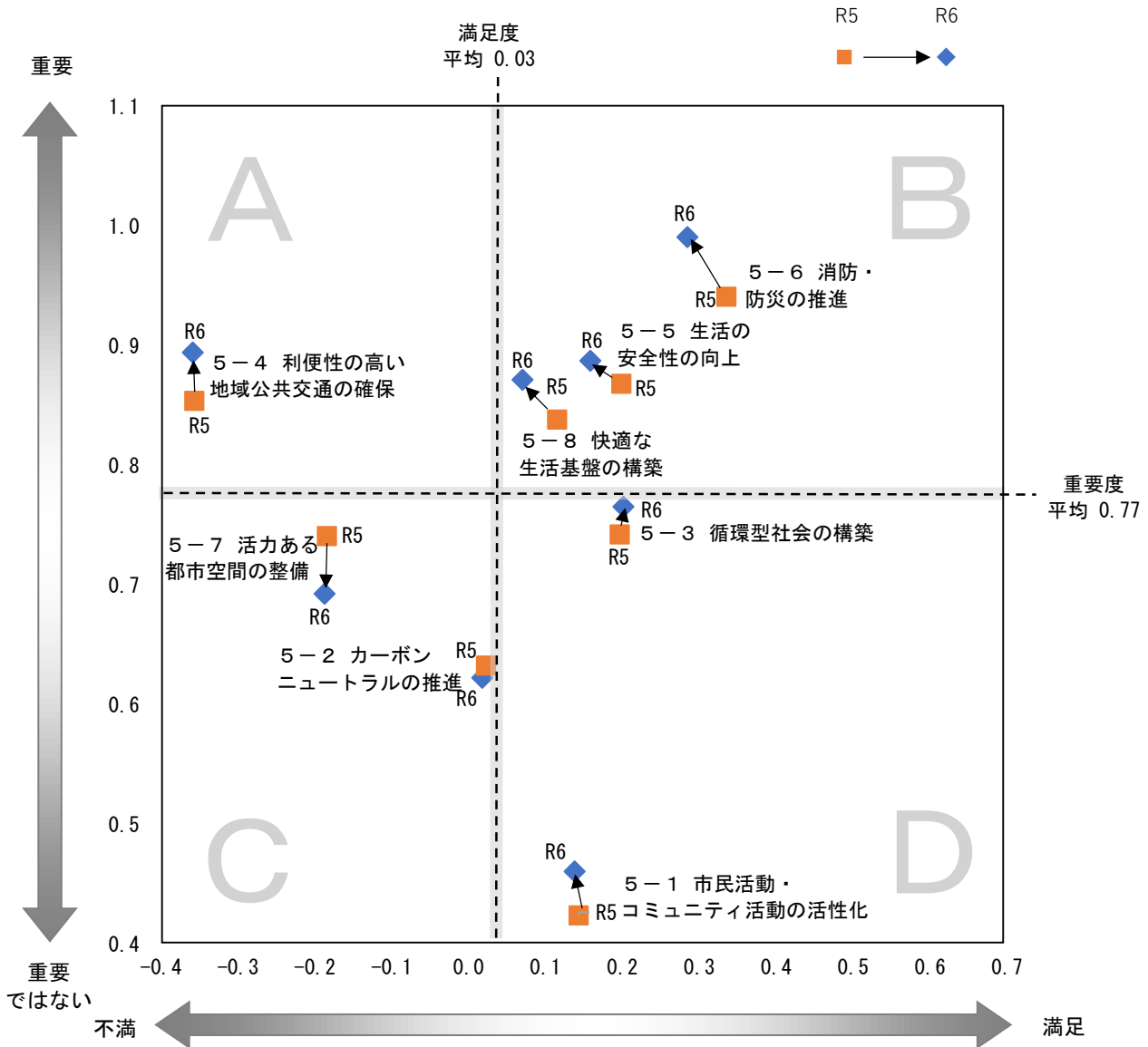
◆ 誰もが健康で自分らしく暮らせるまち

令和5年度調査と比較すると、「4-1 多様性を尊重する社会の構築」において、満足度・重要度ともに高まっています。また、「4-5 高齢者福祉の充実」「4-6 障害者（児）福祉の充実」「4-4 心かよう地域福祉の充実」では、重要度が低下しています。



◆ 安心・安全で快適に暮らせるまち

令和5年度調査と比較すると、「5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化」「5-4 利便性の高い地域公共交通の確保」「5-5 生活の安全性の向上」「5-6 消防・防災の推進」「5-8 快適な生活基盤の構築」において、重要度が高まっています。また、「5-7 活力ある都市空間の整備」では、重要度が低下しています。



◆ 計画の推進に向けて

令和5年度調査と比較すると、「6-1 効果的な行政運営システムの構築」において、満足度・重要度ともに高まっています。また、「6-3 共創によるまちづくりの推進」では、満足度が低下しています。

